

史料目録 第108集

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録
(その11)

平成31年3月

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館
学術資料事業部

史料目録 第108集

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録
(その11)

The catalogue of historical collections

Vol. 108

The catalogue of papers of the Hatta Family, Merchants and Town Officers
in the Early Modern Japan at Ise-cho, Matsushiro Castle Town, Hanishina County, Shinano Province

No.11

National Institute of Japanese Literature, 2019

ISBN978-4-87592-191-2

ISSN2189-9010



写真1 切紙文書の束の連続状況

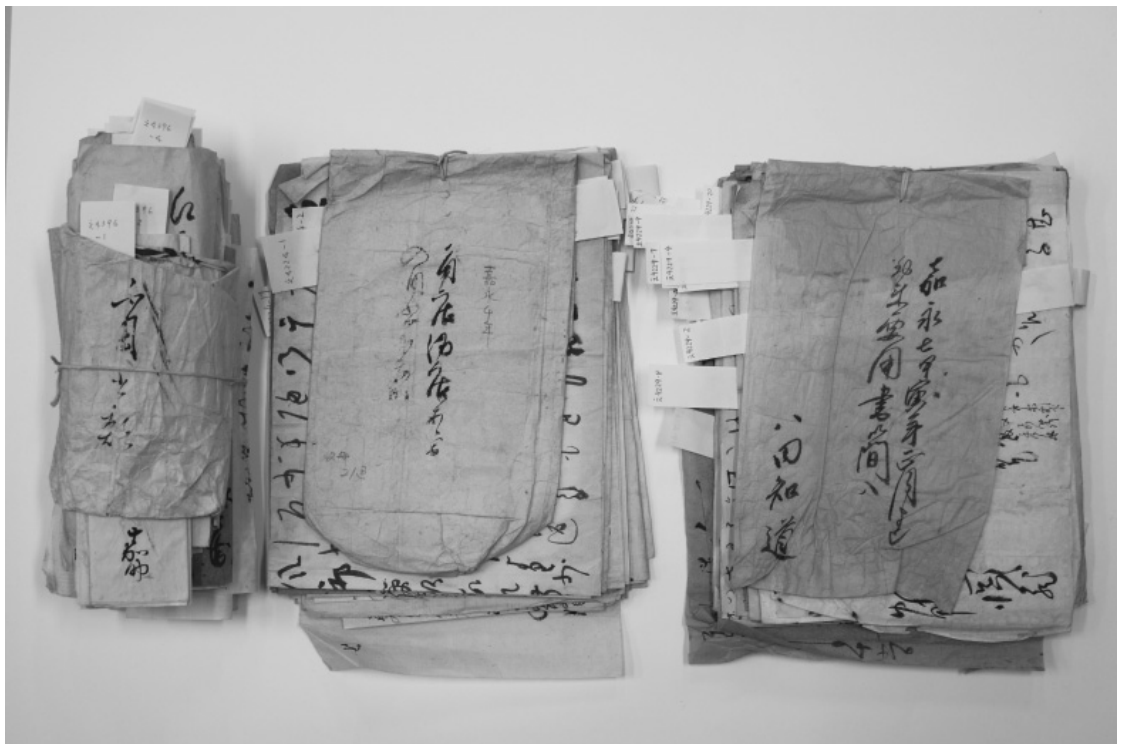


写真2 綴りと束

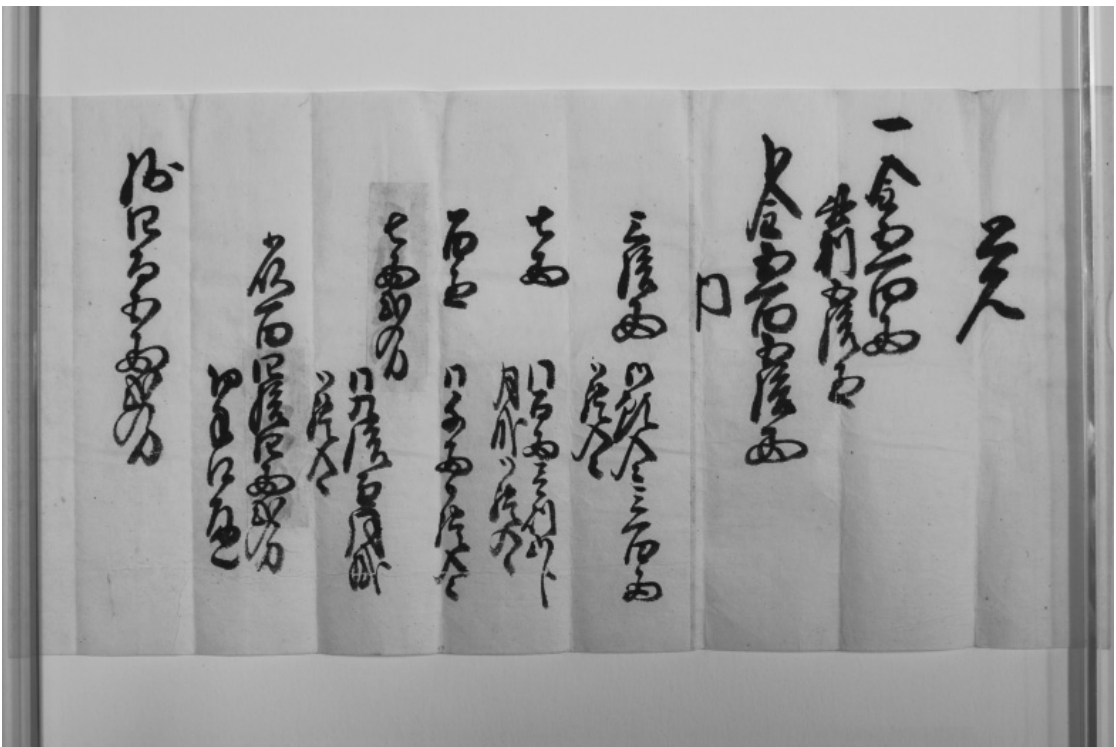


写真3 覚（500両利子差引勘定書付）（え 4432-18）

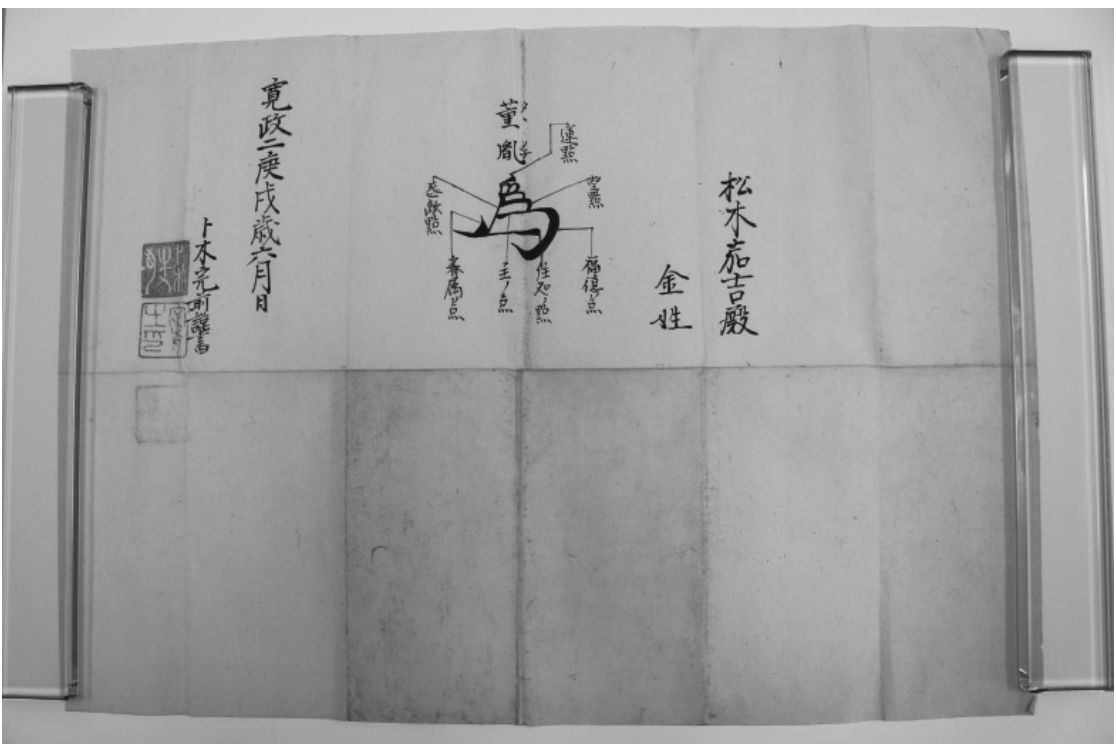


写真4 寛政2年（1790）松木嘉吉薫胤花押鑑定書（え 4389-50）

凡 例

- 1 本目録は、『史料目録』第 108 集として「信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録(その 11)」(資料記号 28 B)を収めた。信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書(以下、八田家文書と略)に関しては『史料目録』第 41 集(1985 年)・第 48 集(1989 年)・第 50 集(1990 年)・第 94 集(2012 年)・第 96 集(2013 年)・第 97 集(2013 年)・第 99 集(2014 年)・第 101 集(2015 年)・第 102 集(2016 年)・第 107 集(2018 年)にも収録しており、合わせて参照頂きたい。
- 2 目録編成にあたっては、ISAD(G)(国際標準・記録記述の一般原則)の考え方も参考にしつつ、文書群を発生させた組織・集団の機能に留意し、文書群の持つ体系的なコンテキストを把握することに努めるとともに、上記既刊八田家文書目録の階層構造を生かすように心掛けた。
- 3 本文記載は、(1) 表題、(2) 作成者または差出人、(3) 宛名、(4) 作成年月日、(5) 形態・数量、(6) 整理番号の順である。一括状況などの情報は、(5) 史料形態に続けて / (半角スラッシュ) で区切った上で、これを明記した。また紙質や保存状態などの情報も同様に適宜注記した。原文書の判読不能箇所などは、□もしくは[]をもって字数を埋めた。
- 4 表題は原表題のあるものはそれを採り、ないものについては()を付して仮表題を与えた。また、表題のみでは内容が判別できないものについても、簡単な内容摘記を行い、同様に()を付した。
- 5 作成年は和年号で示し、干支だけの場合はそれを採録した。推定年月日については、()を付した。
- 6 史料の形態は、本目録の大半を占める書付文書の場合、縦紙、折紙、縦切紙、横切紙、縦継紙、横切継紙、小切紙、小紙、札などと表記することで、料紙の使用法の違いを示した。冊子型史料では、半(半紙縦折判)、美(美濃縦折判)、横長半(半紙横折判)、横長美(美濃横折判)、横半半折(半紙横折紙半折判)などの略称によって原書の大概を示した。また絵図類や定形外の印刷物は、縦横の寸法をセンチメートル単位で示し、紙継があるものは鋪、ないもの(1 枚もの)は枚とした。
- 7 整理番号は、仮整理時に付与されたものを踏まえ、一部に関しては今回新たにこれを付与した。
- 8 本目録は研究部渡辺浩一がこれを担当し、学術情報課の高木謙一がこれを補佐した。文書の目録データの作成にあたっては、荒木仁朗、菅原一、竹内竜馬、武子裕美、竹中友亮、西口正隆、古畑侑亮、丸山康文の各氏の協力を得た。

総 目 次

口 絵

凡 例

総目次

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録（その11）本文細目次	1
解題	9
1. 綴りと束一伊勢町八田家文書の伝来と編成記述の方針	9
2. 機能と組織の概要―出所の歴史	10
3. 資料群の階層構造と内容	12
文政4年八田家所有地一覧（松代藩領内分）	18
八田家関連村々一覧	19
伊勢町八田家家系図	20
木町八田家家系図	22
目録本文	25
内方	25
店方	152
町方／町年寄	158
松代藩御用	161
糸会所	164
産物会所	166
松代商法社	184
会所・商社来状一括	185
松木家	186
その他	200
混入文書	203
既刊目録に見られる八田家文書の階層構造一覧	205

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録（その 11）本文細目次

1. 内方	25
1.1. 系図・親類書	25
1.2. 相続・家督	25
1.3. 家訓・規定	25
1.3.1. 条目・遺言	25
1.4. 家族・奉公人	26
1.4.1. 本家勝手向立て直し	26
1.4.2. 婚姻	26
1.4.3. 鉄之助嫡子	26
1.4.4. 鉄治郎不行跡	26
1.4.5. 鉄治郎金井家養子入り	27
1.4.6. 辰三郎引き取り	27
1.4.7. 八田喜兵衛一件	27
1.4.8. 役代	27
1.4.9. 奉公人勤向	27
1.4.10. 奉公人給金	28
1.4.11. 書状その他	29
1.5. 親類	29
1.5.1. 八田本之進跡目申立入用書類	29
1.5.2. 書状	30
1.5.3. その他	31
1.6. 藩への上納金・才覚金	31
1.7. 藩関係	32
1.7.1. 御目見	32
1.7.2. 勤務	32
1.7.3. 藩士との交際	32
1.7.4. その他	33
1.8. 土地経営	35

1.8.1. 借家	35
1.8.2. 持地・抱屋敷絵図	35
1.8.3. 買取・質取	35
1.8.4. 売渡	36
1.8.5. 家賃・小作年貢取立	36
1.8.6. 年貢諸役上納	36
1.8.7. 下屋敷	38
1.8.8. 矢代村	39
1.8.9. 根津村	39
1.8.10. 東条村	39
1.8.11. 西条村	40
1.8.12. 中条村	40
1.8.13. 荒町	40
1.8.14. 練光寺	40
1.8.15. その他	40
1.9. 小作年貢滞り出入一件	41
1.9.1. 中野質地一件	41
1.9.2. その他	41
1.10. 材木方	41
1.11. 通船方	42
1.12. 金融	42
1.12.1. 借入金・預り金	42
1.12.2. 貸付金	45
1.12.3. 他家拝借片付け	55
1.12.4. 無尽	56
1.12.5. 広田筑後・岩出六右衛門無尽一条	63
1.12.6. 飯山藩・岩村田藩領	65
1.12.7. 伊勢山田御師広田筑後一件	66
1.12.8. 貸借金	66
1.13. 飯山領	67
1.13.1. 無尽	67

1.13.2. 訴訟	67
1.13.3. 貸付金	68
1.13.4. 質地	68
1.14. 岩村田領	68
1.14.1. 貸付金	68
1.14.2. 訴訟	70
1.14.3. その他	70
1.15. 赤倉温泉	71
1.16. 出張	71
1.17. 金銭・穀物請払	73
1.17.1. 金銭請取	73
1.17.2. 金銭差引	74
1.17.3. 穀物・諸品請払	76
1.17.4. 金銭払方	80
1.17.5. 普請	81
1.17.6. 株券・公債	81
1.17.7. その他	81
1.18. 賄	82
1.18.1. 賄穀物請払	82
1.18.2. 入用	82
1.18.3. 諸品通帳	82
1.18.4. 諸品請払	82
1.18.5. 献立	83
1.19. 勝手向	84
1.20. 儀礼	85
1.20.1. 元服・成人	85
1.20.2. 贈答・進物	85
1.20.3. 婚姻・離縁	86
1.20.4. 葬儀・法事	86
1.20.5. 先祖供養	89
1.20.6. 年中行事	89

1.20.7. 書状	89
1.21. 旅	90
1.22. 寺社	90
1.22.1. 浄福寺	90
1.22.2. 菩提寺浄福寺一件	91
1.22.3. 松代大林寺	91
1.22.4. 江戸	91
1.22.5. その他	92
1.23. 家財	93
1.23.1. 武器	93
1.23.2. 衣類・諸道具・書画ほか	94
1.24. 蔵書・読書	95
1.25. 見聞・風説書	96
1.26. 諸芸	96
1.26.1. 武芸・文芸	96
1.26.2. 茶の湯	97
1.26.3. 柔術	98
1.26.4. 手習	98
1.26.5. 占い	98
1.26.6. その他	98
1.27. 信心	99
1.28. 書状類	99
1.28.1. 嘉永6年12月中到来書状綴	99
1.28.2. 嘉永7年正月より到来書簡	101
1.28.3. 嘉永7年3月よりの到来書簡	103
1.28.4. 嘉永7年4月よりの到来書簡	107
1.28.5. 安政2年10月よりの来状	108
1.28.6. 安政2年11月中よりの書簡綴	110
1.28.7. 安政2年12月よりの来簡	113
1.28.8. 安政3年6月よりの来簡	115
1.28.9. 安政3年7月よりの来簡	117

1.28.10. 安政 3 年 11 月中より来状	119
1.28.11. 安政 3 年 12 月書簡綴	120
1.28.12. 安政 4 年 4 月中より到来の書簡	122
1.28.13. 安政 4 年 7 月よりの来状	123
1.28.14. 安政 4 年 10 月中より到来の要用書簡	125
1.28.15. 安政 5 年正月より到来書簡	125
1.28.16. 年代不明の袋	126
1.28.17. その他	129
1.29. 諸書類	139
1.29.1. 弘化年間金銭書上書類綴	139
1.29.2. 書出品々入綴	142
1.29.3. 諸色代金書上一括	143
1.29.4. 不用書類	144
1.30. その他	147
2. 店方	152
2.1. 酒造方	152
2.1.1. 酒造株高	152
2.1.2. 酒造鑑札	152
2.1.3. 酒蔵・酒店勘定	152
2.1.4. 仕法	152
2.1.5. 酒造高	153
2.1.6. 奉公人	153
2.1.7. 書状	153
2.1.8. 酒造関係綴	153
2.1.9. 藩御用	154
2.2. 呉服店	154
2.2.1. 売買	154
2.2.2. その他	155
2.3. 醤油店	155
2.3.1. 売買差引勘定	155
2.3.2. 入用	155

2.3.3. 藩御用	155
2.4. 質店	155
2.5. 角店・酒店	156
2.6. その他	157
3. 町方／町年寄	158
3.1. 宗門改	158
3.2. 殿様御用	158
3.2.1. 殿様御入接待	158
3.3. 救済	158
3.3.1. 飢饉	158
3.3.2. 火災・水害	159
3.4. 触書写控	160
3.5. 町政	160
3.6. 祭礼	160
4. 松代藩御用	161
4.1. 年貢諸役取立請負・御用米金調達	161
4.2. 御勝手御用役	161
4.3. 産物御用掛	161
4.4. 川船会所	161
4.5. 御用金	162
4.6. その他	162
5. 糸会所	164
5.1. 会所貸下金	164
5.2. 借入金・預り金	164
5.3. 繭仲買	164
5.4. 紬市統制	164
5.5. 糸売買	164
5.6. 諸書類	165
6. 産物会所	166
6.1. 拝借金	166
6.2. 藩より拝借金	166

6.3. 会所貸下金	167
6.4. 会所より貸下げ品・拝借金	169
6.4.1. 拝借金	169
6.5. 冥加金	169
6.6. 絹紬類売捌	169
6.7. 駄送	170
6.8. 金銭請払	170
6.9. 金銭請払取調勘定	170
6.10. 会所役人心得方・取計方	170
6.11. 産物無尽	171
6.12. 産業統制	171
6.12.1. 行司	171
6.12.2. 鑑札	171
6.12.3. 甘草	171
6.12.4. 杏仁	171
6.12.5. 楮	172
6.12.6. 諸品	172
6.13. 葉藍	172
6.14. 陶器竈	172
6.15. 大坂交易	173
6.15.1. 西国産物買入	173
6.15.2. 杏仁売捌	174
6.15.3. 炭屋孫七関係書状など綴	175
6.15.4. その他	176
6.16. 大坂にて金子調達	177
6.17. 京都での取引	177
6.18. 横浜での取引	178
6.19. 江戸での取引	178
6.20. 入用	178
6.20.1. 会所普請・作事入用	178
6.21. 会所運営・賄い領収書	178

6.21.1. 諸品	178
6.21.2. 役人任免・俸禄	179
6.21.3. 賄い領収書	179
6.22. 川船会所	179
6.23. 役人任免	180
6.24. 用状	180
6.25. その他	182
7. 松代商法社	184
8. 会所・商社来状一括	185
9. 松木家	186
9.1. 書簡	186
9.2. その他	198
10. その他	200
10.1. 不明	200
10.2. 袋・包紙・こより等	201
10.3. 白紙	202
11. 混入文書	203
11.1. 信濃国佐久郡御馬寄村町田家文書	203
11.2. 出羽国村山郡山家村山口家文書	203
11.3. 陸奥国白河郡栃本村根本家文書	204
11.4. 甲斐国山梨郡下井尻村	204

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録（その 11） 解題

資料記号 28B

資料名称 信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書

年代 正徳 3 年 (1713) ～明治 18 年 (1885)

数量 3065 レコード

1. 綴りと束—伊勢町八田家文書の伝来と編成記述の方針

伊勢町八田家文書は、信州松代城下町における御用商人かつ町役人の文書群である。出所の八田家は宝永 6 年 (1709) より現在に至るまで、信濃国埴科郡松代伊勢町（長野県長野市松代町）に存在している。1953 年に文部省史料館に譲渡された。受け入れ時に冊子形態と単葉形態に分離し、単葉形態は堅紙文書、切紙文書の順に配列された。これは現在では明らかに間違った整理方法である。

受け入れ後は仮目録で閲覧に供していたが、1985 年に目録（その 1）が刊行された。以下、各目録刊行年と収録閲覧番号を示す。

- その 1（第 41 集、1985 年） 請求番号あ 1 ～ 3411（中性紙箱 74 箱分）
- その 2（第 48 集、1989 年） 請求番号い 1 ～ 1046（中性紙箱 10 箱分）
- その 3（第 50 集、1990 年） 請求番号う 1 ～ 937（中性紙箱 7 箱分）
- その 4（第 94 集、2012 年） 請求番号え 1 ～ 870
- その 5（第 96 集、2013 年） 請求番号え 871 ～ 1342、2289 ～ 2295
- その 6（第 97 集、2013 年） 請求番号え 1343 ～ 1751
- その 7（第 99 集、2014 年） 請求番号え 1752 ～ 2053
- その 8（第 101 集、2015 年） 請求番号え 2054 ～ 3435
- その 9（第 102 集、2016 年） 請求番号え 3436 ～ 4023
- その 10（第 107 集、2017 年） 請求番号え 4024 ～ 4208

（その 2）までが主として冊子形態、（その 3）以後が主として単葉形態文書の目録になっている。現在は、口絵写真 1 のような切紙文書の綴りと束の連続という状態になっている。

以上のような物理的状況を前提として、ここ数年の八田家文書目録における編成記述（わかりやすくいえば整理）方針を以下に述べる。ただその前に、最近の関連図書ではあまり強調されなくなった、電子情報化以前のアーカイブズ学の四つの基本原則をここで再確認しておきたい [国文学研究資料館史料館 2003]。

- ①出所の原則
- ②原秩序尊重の原則
- ③原形保存の原則
- ④記録の原則

八田家文書は全てが紙媒体の記録史料群であるため、この古典的な原則がそのまま適用される。

以上の原則のうえに、出所の機能および内部組織・関係組織に応じて資料群の階層構造を分析し、検索手段に反映させるというのが通称国立史料館（国文学研究資料館に附置された史料館）以来の編成記述方針である。

本目録は形態上単葉文書がほとんどであるので、そうした形態上の特徴に応じた整理方針は以下の通りである。

（その 11）の限りでは、綴りは、先頭に文書袋が綴られているケースが多く、その袋には例えば、「嘉永七甲寅年正月より到来要用書簡入 八田知道」（え 4229-1）という表題が書かれている（写真2右端）。恐らく、史料館が受け入れたあと仮整理の段階で、袋から取り出された単葉文書が綴られ、その先頭に袋も綴じ込まれたものと想像される。また、八田知道とは、後掲 20 ページの系図によれば、伊勢町八田家六代目当主慎蔵（文政 12 年生、明治 40 年没）のことであるから、この綴りは八田家文書が現用段階にあった状態を知る者によって整理された結果がそのまま残されていることがわかる（詳細は後述）。したがって、袋に入った多数の単葉文書というカタマリが原形であったと考えられ、それは当時の原秩序と言ってよいであろう。そのため、このようなケースの綴りに関しては、原秩序尊重の原則に従って、現状の物理的な配列をそのまま目録上のアイテムの配列に採用した。

一方、綴りではなく、束になっている切紙を主とした文書のカタマリはどうであろうか。後述のように、束のなかに出所を伊勢町八田家としない文書が含まれているケースが 4 束あった。これは、1950 年代の文部省史料館では出所の原則が必ずしも厳密に守られていなかったことを示している。しかしその点をここで強調したいわけではない。記録史料群の編成記述のために重要な点は、このことが、少なくともこの 4 束に関しては、文部省史料館が受け入れたのちに形成されたことを示しているということである。また、束の場合は、そこに含まれている文書の内容が多様であり、束ねた意図を図りかねるものが多い。そのため、このような場合には、検索手段上では束の配列を無視して、八田家の内部組織とその機能に即して設定した編成（わかりやすくいえば分類項目）のなかに、ばらばらに配列した。なお、当然のことではあるが、束のなかに含まれる束に関しては、同一の機能の下位概念を意味するプロセス〔シェパード＋ヨー 2016〕に即して授受作成された文書の数点のカタマリである場合が多いので、束としてまとめて配列した。

2. 機能と組織の概要―出所の歴史

記録史料群としてのアーカイブズを編成記述するためには、まずもって出所の機能と内部組織の分析が必要である。これは今までの解題で十分になされてきたが、いずれも詳細に過ぎ、全体像が捉えにくくなっている。そこで本目録では必要最小限の情報に絞って、八田家の機能と内部組織・関係組織の略述を行う。

松代伊勢町八田家は、木町の本家から宝永4年(1707)に分家し、同6年に伊勢町に居を定めたことによって始まる。以下、八田家の歴史を、文書群の階層構造に関連する事項に限って簡潔に略述する。そのポイントは、八田家の内部組織とその機能、および内部組織以外の諸機能である。記述内容は過去の10冊の目録解題に全面的に依拠する。

八田家の機能は、第一に酒造と呉服を中心とする商業である。主要な経営部門が六つあり、それらを統括する内部組織として内方^{うちかた}が置かれていた。内方は家政機関でもあった。八田家には第二の機能として地主としての土地経営とそれに密接に関連する金融もあり、それらの経営行為を行っていたのも内方である。

内方が統括していた五つの経営部門は以下の通りである。

酒造方は、名称の通り酒を醸造し販売するという機能を持っていた。天保4年(1833)時点の支配人は和七である。本店と出店に分化しており、それぞれ鏡屋町と中町にあった。

呉服店^{たな}は角店ともいい、呉服を仕入れて販売することが機能であった。古着も扱っていた。酒造方と呉服店はかなり早い段階から存在したようである。

油店は寛保3年(1743)には既にその存在が確認される。油と醤油を取り扱っていた。

醤油店は、味噌・醤油の醸造・販売を機能とする。文政初年(1819年前後)に中町と錦町に開設された。

*ここまで出てきた鏡屋町・中町・錦町は松代城下町町人地の個別町の名称である。

質店は、金融業である。内方の金融機能が発展して寛政期(1789-1800)に設置された。ただし、その後も内方の金融機能は失われていない点は注意を要する。支配人は天保4年時点では勝之助であった。

八田家の機能の第二は行政機能である。八田家の当主は宝永6年の伊勢町での営業開始と同時に町年寄^{まちどしより}に就任している。町年寄とは、松代城下町町人地八ヶ町全体を統括する役職である。以後八田家の当主は代々町年寄を勤めた。

八田家の第三の機能は、松代藩御用である。八田家は初代孫左衛門の時期(18世紀前半)から松代藩に御用金上納を継続的に行った結果、享和2年(1802)に三代目当主孫左衛門は給人格御勝手御用役を命じられた。文化13年(1816)には四代目当主嘉右衛門が産物御用掛に任命され、松代藩の産業政策に深く関与することになる。このことが八田家の第四・第五の機能と組織を派生させることとなる。

以上が純粋に八田家内部の機能と組織である。以下は八田家外部の人間も加わった組織、糸会所(第四の機能・組織)と産物会所(第五の機能・組織)について述べる。

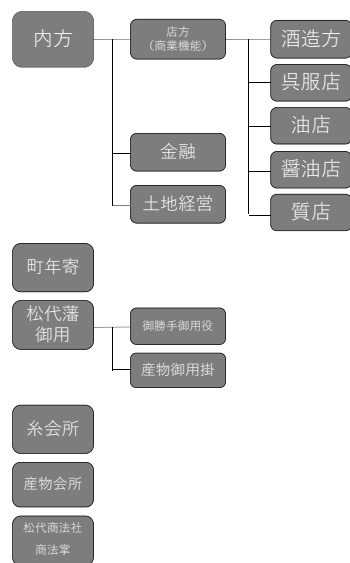
糸会所は、文政9年(1826)に設立された。その取締役には産物御用掛を勤めていた四代目当主嘉右衛門が任命され、惣元方にも一族(別家)の八田喜兵衛・同辰三郎が任命された。また、会所の建物は惣元方喜兵衛の役代(当主に代わって公的行為をする奉公人)惣兵衛の屋敷の一部を借りたものであった。したがって、糸会所の責任者は八田家の当主であるが、副次的責任者は一族すなわち伊勢町八田家の外部の人間であり、場所も伊勢町八田家の所在地ではないところにあった。半ば外部の組織である。その機能は、藩と城下町商人からの資金を生糸生産者に貸与し、生産された生糸を販売することであった。

産物会所は天保4年の設立である。幹部の人的構成は取締役が八田嘉右衛門、元方が八田喜兵衛・辰三郎であり糸会所と基本的に同じである。五代目当主嘉助・六代目当主慎蔵も産物会所掛に就任してい

る。また、産物会所掛役人として松代藩の家臣が8名加わっている点が特徴的である。したがって、この産物会所も糸会所と同様に八田家の内部組織ではなく、半ば外部の組織である。産物会所の機能は、領内産業の育成と統制である。具体的には産物助成金の貸し下げ、鑑札の発行と冥加金の徴収、産物取引をめぐる調停機能である。取り扱った産物としては、絹紬・甘草・杏仁などがある。

さらに、明治2年（1869）には六代目当主慎蔵は松代商法社の商法掌に任命され、その経営に参加したものとみられる。しかし、八田家はこの組織に関しては中心的な存在ではない。

以上略述した八田家の機能と組織を図示すれば右図のようになる。



3. 資料群の階層構造と内容

以上の八田家の機能と組織の把握に基づき、3065レコードの文書に対して細目次のような編成をほどこした。以下、編成の意図をいくつかの点に絞って説明する。

(1) 内方

内方に所属させた文書は、狭義の家および土地経営・金融等の経営活動その他に関わる文書である。切紙文書が主であるため、各項目に所属させた文書から業務のプロセスを説明することは難しい。ただし、中項目「金融」の小項目「貸付金」（以下「内方／金融／貸付金」と表記）に所属している文書が多い点のみは説明を要するであろう。その理由は、八田家の経営活動の特徴が、質店という内部組織があるにもかかわらず、内店でも金融を行っていたという点にあるからである。帳簿類では両者の区別が可能であったが、本目録収録文書のように借金証文や関連する書状などになると、内方の貸付か質店の貸付か区別が付かないものが大半である。そのため、明確に質店であることが判明する文書を除いては、全て「内方」に所属させるという方針を取った。この方針は、他の項目全てにわたっても貫かれる。本目録において「内方」所属文書が大半を占めるのはこのためである。

さて、本目録収録文書は前述の通り、切紙文書が多いことである。これは編成作業上多大な困難を伴う。どのような判断で文書の所属項目を決めているのかを、具体的な事例に即して以下説明したい。

例えば、写真3の切紙文書は、「覚」という柱書（タイトル）を持ち、しっかりとした字体で書かれている（え4432-18）。内容は、金500両とその利子50両の合計550両の内訳の一部が四口の「御礼金」であり、その合計金額を差し引いた残額が計算されている、というものである。「御礼金」の意味は、二つ目の「七両」の下に「同（御預金）百両壺割式分月掛御礼金」とあることから利子の意味であることが読み取れる。ここで参照すべきは、八田家文書では産物会所に貸し下げられた藩の資金にかかる利子のことを「御礼金」

と表現していることが既に明らかにされていることである[西村 2014]。これからすれば、この文書は大項目「産物会所／藩より拝借金」に位置付けてよいようにも思われる。しかし、写真の通り、この文書は年代も作成者も宛先も欠いており、上述以外の可能性も否定できない。そのため、上述の方針にしたがって、明確に産物会所の文書であることが確定できないため、この文書は大項目「内方／金融／借入金・預り金」に仮に所属させておいた。ただし、八田家が貸した金に関する文書の可能性もあるが、作成者と宛先を欠いている以上、そのことすら確定できない。しかし、切紙形態の文書はこのような記載であることが非常に多いため、これを「不明」にしてしまうと、ほとんどを「不明」に所属させることになってしまい、検索手段としての魅をなさなくなってしまう。以上のように本目録は、あるいは以後の八田家文書目録における編成は、上記のような性格のものであることを理解したうえで検索手段を使用していただければと思う。

もっとも、上記のような事例ばかりではない。関連文書の存在に気付いたため、編成上の位置づけが明確になった例もある。それは (2) 産物方の方で述べる。

本目録収録文書の文書類型のうち、書状は 1299 通と三分の一以上を占める。これを例えば「書状」という項目にまとめて、例えば作成者別に分類してしまうことは、個々の書状が持つコンテキストを示すことにはならない。アーカイブズ学では、個々の文書は、出所の「機能」およびその下位概念である「プロセス」のなかに位置付けられるべきと言われる [シェパード+ヨー 2016]。そのため、個々の書状から読み取れる限りにおいて、その機能から多様な項目に書状を所属させている。

ただし、前述の通り、先頭に袋が綴られている書状の綴りに関しては、袋の大きさも勘案すると、綴られ

た書状が全て袋にもともとは入っていたと推測される。この点をより詳細に検討するために表を掲出する。この表のなかで八田知道、義井堂、澹菴は、全て八田家六代当主慎蔵のことである。したがって、これらの袋は幕末から明治にかけての八田家当主の整理の結果であることが明確である。そのために中項目「書状類」にはまずこれらの袋を年代順に並べた。最後に、書状のうち、現段階での

文書番号	子番号	袋表題
4237	1	(袋上書)「嘉永六癸丑年十二月中到来要用書状入 八田知道」
4241	1	(袋上書)「安政二乙卯年十一月中より之書簡入 義井堂」
4231	1	(袋上書)「安政三丙辰年十一月中より之要用来帖入」
4242	1	(袋上書)「安政三丙辰年十二月より到来要用書簡入」
4218	1	(袋上書)「安政四丁巳歳十月中より到来之要用書簡入 義井堂」
4220	1	(袋上書)「嘉永七甲寅年三月より勤来要用書簡入」
4238	1	(袋上書)「安政四丁巳年二月中より到来要用書簡 澹菴」
4244	1	(袋上書)「安政五戊午歳正月中より到来要用書簡 義井堂澹菴」
4225	1	(袋上書)「安政二乙卯年十二月中より之来簡入 義井堂」
4226	1	(袋上書)「安政三丙辰年七月中より之来簡入 義井堂」
4228	1	(袋上書)「安政二乙卯十月中より之来状入 義井堂」
4229	1	(袋上書)「嘉永七甲寅年正月より到来要用書簡入 八田知道」
4232	1	(袋上書)「安政四丁巳年七月中より之来状入 義井堂」
4233	1	(袋上書)「安政三丙辰年六月中より之要用来簡入 義井堂」
4240	1	(袋上書)「巳年より午年迄 品金書類入 申六月中迄 八田氏」
4239	1	(袋上書)「未七月申六月中迄書出品々入」
4396	1	(封筒裏書)「不用書類」
4224	1	(袋上書)「角店酒店等ニ而入用書□□□」
4230	1	(袋上書)「安政四丁乙歳四月中より到来之書簡入 澹菴」
4223	1	(袋上書)「諸色請取通帳其外半紙書類入」

編成体系のどこにも位置付けられない書状をここに所属させた。したがって、他の項目と同様に、内方ではない書状も含まれている可能性がある。

「内方／諸書類」には「不用書類」が含まれる(写真2左端)。表に散見されるように八田家における「不用」の反対語は「要用」であり、当主による評価選別の結果を窺うことができ興味深い。白紙も含まれ断簡も多く、いかにも「不用」という傾向が見て取れるが、なかには貸付金関係の内容を持つ文書も散見される。「要用」文書との区別の基準にはわかにはわからないので、将来の分析に期待したい。

今までの目録収録文書との関連も紹介しておく。例えば、え 4214 の「(天保 11 ～ 12 年諸方金銀受取切手類綴)」は、え 4214 - 1 「丑年諸方金銀受取切手類入」という上書を持つ袋に収納されていたと推定される。内容は貸付金・預り金・無尽に関わる金銀請取書 18 通である。これは特定の年の多様な機能に属する切紙文書を雑多に詰め込んだ袋ではなく、おそらくは八田家文書目録(その1)の「内方／金銭・穀物請払／金銭請取」に編成された以下の3冊の帳簿に内容的に関連するものと推測される。

「金銭上納請取通帳〔年賦返済金、家賃、無尽等〕」(天保 7 年 7 月～同 8 年 3 月、

作成者「元方」、あ 1513)

「金銭請取通帳〔田畑売代金・無尽金等預り〕」(安永 9 年 2 月～天明 4 年 3 月、

作成者「伊勢町内方」、「本町内方」宛、あ 1529)

「金銀請取覚帳〔酒蔵取集金受取、質利分上納受取、家賃蔵式金受取、小作方家賃取集金受取等〕」

(文政 13 年正月、あ 2493)

年代が重ならないため確認することはできないが、この袋は以上3点の系列の帳簿に対応するもの、八田家の内方が金銭を受け取るという経営上の同一のプロセスにより授受作成された文書であろう。踏み込んでいうと、この袋の切紙文書一通ずつの内容が上記のような帳簿に記載されていたのではないかと、ということである。

このように、これまでの目録に登載された文書との関連が推測される切紙文書は、綴りのなかの文書でない場合には、同一の項目に編成したので、末尾の全体編成表を見て、過去の目録 10 冊のなかの関連文書を追跡していただければと思う。

(2) 産物会所

この項目も他の項目と同様に、編成上特にコメントすべき点はない。極力項目を増やさないように、これまでの 10 冊の目録とつながるような編成を心掛けた。そのなかで編成上興味深かった例の一つあげる。それは以下のような文書であった。

覚

一、金三十両也

右は御礼金のうち^{たし}慥かに御預り申し候、以上

天保十四卯年十二月

八田喜兵衛^印

八田嘉助殿

(え 4427-24)

このなかで、八田喜兵衛は産物会所元方であり産物会所の実務のトップの一人である。八田嘉助は五代目当主であるが、この時点の当主は四代目嘉右衛門でありまだ家督を相続していない。ここでも「御礼金」という表現が出てくるため、藩からの拝借金に関連する文書とも理解できる。しかし、八田嘉助は家督相続前で産物会所取締役ではない可能性が高い。したがって、この文書は産物会所とは無関係の文書かもしれない。しかし、次のような関連文書が存在することに気づいた。

覚

一、金四拾九両壹分、(銀)七匁四分二厘

但し、会所御中借金のうち御手元御取り計らい分四百四拾両、寅年御礼金四拾四両拾貳匁、

外二丑年御差引残金五両拾匁四分二厘共、メて斯くの如し

右の通り慥かに受け取り申し候、以上

天保十四卯年正月廿二日

八田喜兵衛⑨

八田嘉助殿

(下げ札省略、え 4427-37)

この文書は「会所御中借金」とあることから、産物会所が藩から拝借した資金に関する文書である。産物会所中借金のうち 440 両が八田嘉助の手元にあり、その利子 44 両と「丑年御差引残金」(意味不明)を合計した金額 49 両余を、八田嘉助が産物会所元方である八田喜兵衛に渡したという内容である。したがって、この文書は八

田嘉助が受け取った故に、八田家に残されたのである。

また、産物会所の役職に付いていることが確認できない八田家当主の息子がこうした資金を手元に置く、すなわち預かることがあったことが判明する。そうすると、一つ目の引用文書も内容的には産物会所に関係する文書である。但し、文書の動きからは産物会所に蓄積された文書ではなく、八田家に蓄積され

産物会所役人表 (天保 4 年)

	氏 名
産物会所取締役	八田嘉右衛門
産物会所元方	八田喜兵衛、八田辰三郎
産物会所掛り役人 *	松本嘉十郎、山崎久右衛門、松本源八、興津権右衛門、石倉源五右衛門、春日儀左衛門、佐竹周蔵、堀内與右衛門
紬方掛り	高井善右衛門
御用達	専助、治助、彦兵衛
会所詰	周兵衛、保平、善左衛門、源左衛門、弥十郎、(善広)
松代市場世話役	吉左衛門、武左衛門、仁兵衛、保平
新町村糸締掛	音吉、源之丞
森村糸締掛	民左衛門
倉科村糸締掛	吉左衛門
笹平村糸締掛 **	勇吉、孝蔵
買次人	重郎治、友吉、祖兵衛、亀吉、伊左衛門、藤吉、清十
会所番人	相澤藤吾、庫之助、武左衛門、惣七

* 武士団の内から会所掛りとして任命されたものを一応書き加えた。本来は武士身分なので別に取扱うべきかも知れないが、会所に関係の深いものとしてここにあげた。

** 糸締掛は、例えば新町村の場合は、天保 9 年の記録では市場世話役と改称されている。なお天保 9 年より糸買宿として惣蔵、惣八郎、寛左衛門が任命され、天保 12 年には町年寄増田徳左衛門、検断伴栄助が産物会所調掛に任命されている。

(天保 5 ~ 10 年「産物方江抱候者江被下物渡帳」「会所日記」ヨリ)
吉永昭「紬市の構造と産物会所の機能」第 3 表所引

た文書である。

しかし、これらの文書を「内方／金融／借金・預り金」に所属させてしまうと、八田家が他の商人などから借金したことに関係する文書のなかに埋もれてしまい、産物会所の機能のコンテキストを表現できないことになってしまう。そのため、こうした文書は「産物会所／藩より拝借金」に所属させることにした。

極めて情報量の少ない文書を資料群全体のなかで位置付けることは困難が伴うが、丁寧に見ていけば、判別可能なものもあることがご理解いただけたかと思う。

(3) 松木家

この伊勢町八田家文書のなかには、出所が八田家でなく、松木家と思われる文書が含まれている。この点は目録（その3）で既に気づかれていたが、今回の目録で多数収録することになったので記しておきたい。

八田家五代目当主嘉助の娘、六代目当主慎蔵の妹でふ（長）は、松木薫正に嫁いだ。長は天保4年生まれ、明治17年10月31日に亡くなっている。薫正の息子が薫宣、その弟が薫隆である。息子たちは明治10年代には通学のため東京に居住しており、東京と松代の往復書簡が目録（その3）に収録されていた。今回もそれに関連する書簡も多数あるが、それ以外に江戸時代の文書も書状を中心として多数確認されたため、そこから新たに判明したことを以下記す。

本目録にリストアップした文書のなかに寛政2年（1790）の松木薫胤（嘉吉）の花押鑑定書（え4389-50、写真4）、薫胤の和歌詠草（え4388-15～19）がある。『真田家中明細書』（290頁）によれば、松木源八という藩士が知行高160石であり、寛政2年に御番入している。松木薫胤は名前から松木薫正と同一の家の者である可能性がある。

『真田家中明細書』には松木源八のあとに松木東が記されており、知行高が源八と同じで、文政元年に近習役となったのが職歴の最初である。本目録収録文書には「東」あての書状が3点ある。作成者は、宛先の姓が省略されていることから松木家の家族か親しい親族と思われる。そのため、松木源八薫胤の子か孫が松木東であると仮定する。

一方、望月主水あて八田嘉助書状控（え4384-29、年代不明11月23日付）には、「私娘儀松木東悻源太郎へ縁組仕りたき旨願い奉り候通り仰せ付けられ」とある。ここから、東と源太郎の親子関係が判明する。『真田家中明細書』には松木東のあとに松木源太郎が記載され、源太郎は源八に安政2年（1855）に改名したとある。

さらに、今回収録した文書のなかには、幕長戦争に従軍しているらしい松木源八が大坂から松代の松木家に出した書簡（え4250）など幕末維新期の書簡が多数含まれている。時期的には松木源八が松木薫正である可能性もある。

（その12）収録予定の、松代と東京の往復書簡からは松木家が松代を引き払って東京に移住する話が出てることがわかる。ここから先は完全な想像であるが、可能性の一つとして東京移住時に松木家が文書の一部を妻の実家である伊勢町八田家に預けたということが浮かびあがる（この段落は資料整理補助員菅原一氏のご教示による）。

以上推測に満ちた諸点の追求は目録（その 12）以降の課題となる。

（4）混入文書

本目録でも、他の当館所蔵文書からの混入文書が四件合計 14 点見つかった。これらはいずれも文書の束のなかの 1 点もしくは部分である。したがって、少なくともこれら 4 つの束は文部省史料館において束ねられたことが明確である。八田家文書の今後の整理作業にあたっては、混入文書へのより一層の注意が必要であろう。

なお、「混入文書／甲斐国山梨郡下井尻村」という項目名について説明しておきたい。下井尻村の文書群は、当館には井尻家文書・依田家文書・井尻区有文書の三つがあり、この書状がどこの文書群に本来属していたのか確定できなかったため、項目名を仮に「甲斐国山梨郡下井尻村」とした。

4. 階層構造一覧について

『信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録』のシリーズでは、（その 7）から閲覧利用の便を図るため、階層構造一覧を巻末に付している。通称国立史料館時代以来、八田家文書に限らず文書目録は出所の機能・組織と文書群の階層構造の分析の場として位置づけられ、それゆえ教員一人が一冊を担当するという一人一冊主義を貫いてきた。そのため、冊ごとに編成の工夫を積み重ねてきた。あるいは、各冊に収録された文書の特徴に応じて編成を変更した場合もある。そのため、結果として項目数が 700 を越え、全体の編成がわかりにくくなっている。なかには、同一もしくは類似の項目が重複している部分も散見される。

このため、本目録の階層構造一覧では、同一名の項目を削減し、類似の項目を統合することとした。そのために、（その 10）までの階層構造一覧と異なる部分が出てきていることをご了解いただきたい。

〔参考文献〕

エリザベス・シェパード、ジェフェリー・ヨー共著、森本祥子・平野泉・松崎裕子編訳『レコード・マネジメント・ハンドブッカー記録管理・アーカイブズ管理のための一』（日外アソシエーツ、2016 年、原著は 2003 年刊行）

国文学研究資料館史料館『アーカイブズの科学』上・下（柏書房、2003 年）

国立史料館編『史料館叢書 8 真田家中明細書』（東京大学出版会、1986 年）

西村慎太郎「商家文書の史料群構造分析」（国文学研究資料館編『アーカイブズの構造分析と編成記述』思文閣出版、2014 年）

表 1 文政 4 年八田家所有地一覽 (松代藩領内分)

区分	項目	面積 / 屋敷地数	備考
御持地御高小作入御居屋敷 御抱屋敷間数貸賃付覚	御居屋敷	1 カ所	
	御添屋敷	1 カ所	
	御抱屋敷	1 カ所	
	東木町御抱屋敷	1 カ所	
	伊勢町御抱屋敷	4 カ所	
	下伊勢町西側御抱屋敷	2 カ所	
	西木町御抱屋敷	1 カ所	
	鏡屋町御抱屋敷	1 カ所	
	新西木町御抱屋敷	1 カ所	
	伊勢町東側御持屋敷	1 カ所	
	中町御抱屋敷	1 カ所	
	田町御下屋敷西統	1 カ所	
	町分	4 石 3 斗 4 升 8 合	
	田中村	2 石 5 斗 8 升 8 合	内、小作地 1 石 2 斗 7 升 2 合
	河原新田	2 石 3 斗 3 升 3 合	内、小作地 1 石 3 斗 3 升 3 合
	荒町村	15 石 4 斗 3 升 4 合	内、小作地 9 石 5 斗 8 升 6 合、手作 1 石 8 斗 4 升 8 合、および収納粗 4 合
	西条村	2 石 2 斗 6 升 4 合	すべて小作地
	馬場形御高請之場所	4 石 9 斗 4 升	すべて小作地
	東寺尾村	3 石 4 斗 1 升 7 合	内、小作地 2 石 5 斗 6 升 7 合、手作 8 斗 5 升および東寺尾村地所砂溜り新田 1 割 21 坪余り
	東条村	28 石 6 斗 7 升 8 合	内、東条村北組無役本田木立 2 斗 1 升 6 合 (小作入粗 3 俵手作、残り小作地)、小作 22 石 5 斗 8 升 3 合、手作 6 斗 8 升 3 合
	鍊光寺御朱印地	4 斗 1 升 7 合 9 勺	すべて手作地
	東福寺村	6 石 8 斗 7 升 1 合	内、東福寺村畑方無役本田 5 石 9 斗 8 升 (小作入粗 35 俵手作、同 14 俵 3 斗小作)、その他はすべて小作地
	清野村	5 石 4 升 4 勺	および起地所新田 1 割坪数 146 坪、坪御用地冥加粗上納之場所此坪 34 坪 (すべて小作地)
	大林寺御朱印	3 石 7 斗 1 升 6 合	すべて小作地
	西寺尾村御高辻之内岡神明	1 石 4 斗 9 升 1 合 6 勺	すべて小作地
	□ (貼り紙により判読不能) 仮舟渡下土手外北添草野	29 坪	
	□□ (貼紙により判読不能) 舟渡道より東八番目割開発	103 坪	すべて手作地
御取替金為引当御引請之分	光徳院分	6 石 8 升 4 合	明屋敷
	矢代村御高辻之内	22 石 3 斗 2 升 7 合 3 勺 1 才	無役本田
御高地木立	東条村南組	7 斗 4 升 5 合	
	牧内村	1 斗 5 升 4 合	すべて小作地
	平林村	2 斗 2 升 2 合	すべて手作地
御持山	神主小河原紀伊殿	山高粗 3 斗	小作入 1 俵 2 斗 5 升 (内 2 斗 5 升小作 / 1 俵手作)
	東条村南組	山高粗 2 石 9 斗 6 升 5 升 7 合 5 勺	すべて小作地
	東条村北組	山高粗 5 斗 4 升 9 合	すべて小作地
	平林村	山高粗 3 斗 7 升	つくた山 1 斗 8 升 (手作) / 宮崎東富田山 1 斗 9 升 (小作地)
	荒町村	山高粗 1 石 3 斗 4 升 3 合 8 勺	内、小作山 5 斗 9 升 4 合 8 勺 / 手山 7 斗 4 升 9 合
	清野村	山高粗 2 斗 4 升	すべて小作地
	土口村	山高粗 9 斗 6 升	
	皆神山御分地山	山高粗 6 斗 1 升	すべて小作地
淨福寺殿御引請之分	田中村	11 石 1 斗 3 升 9 合	および坪数新田畑 162 坪 5 合
松屋惣左衛門より引請之分	清野村	11 石 6 斗 2 升 2 勺	

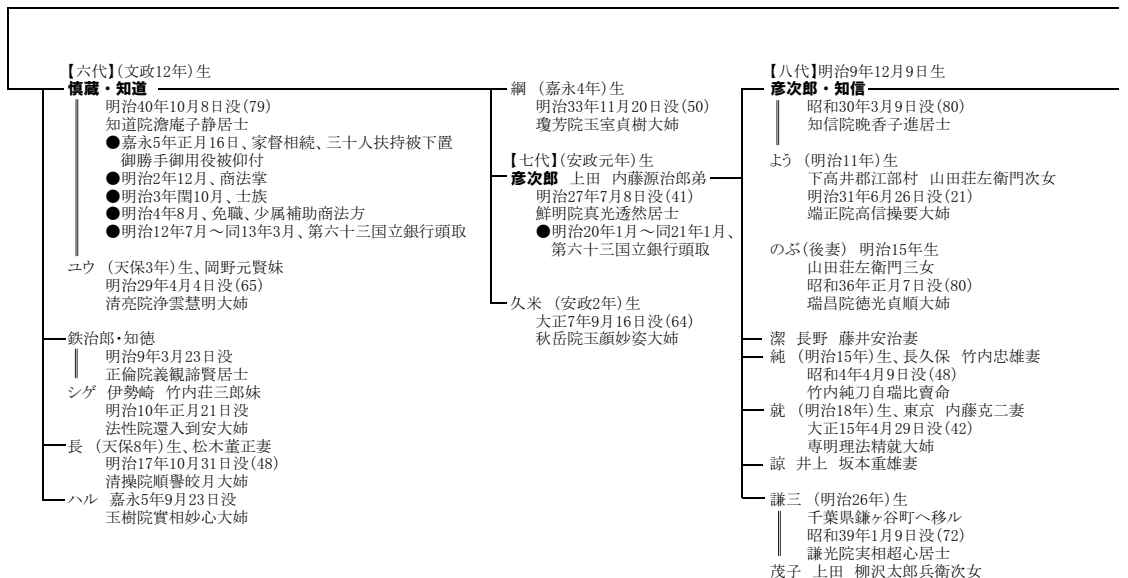
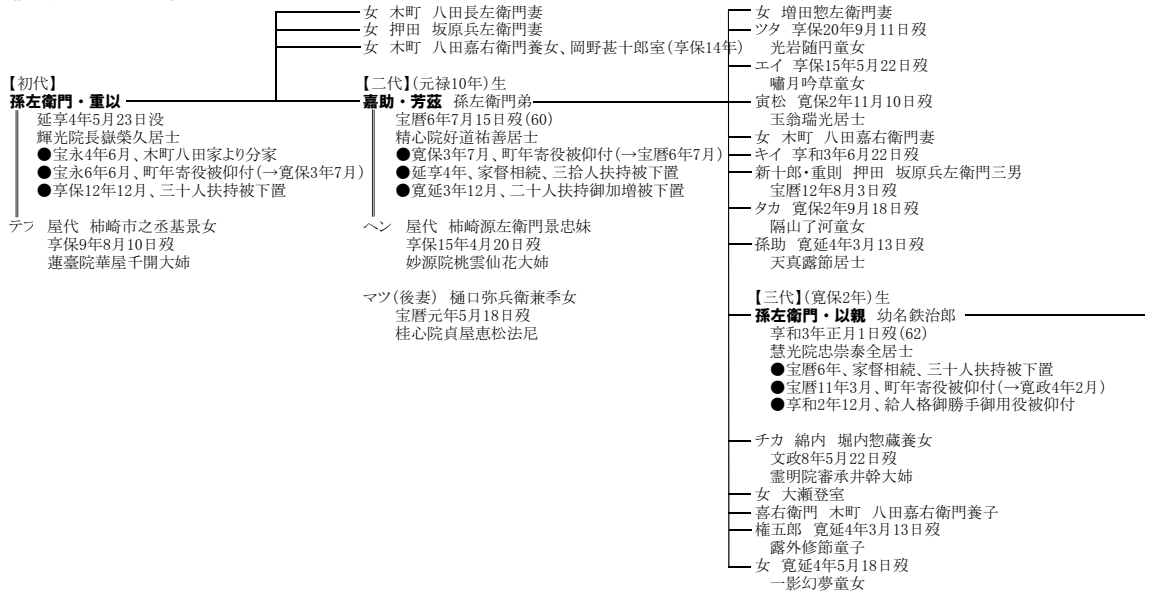
出典：文政 4 年 10 月「御持地御高小作入元帳」(整理番号あ 588) より作成。

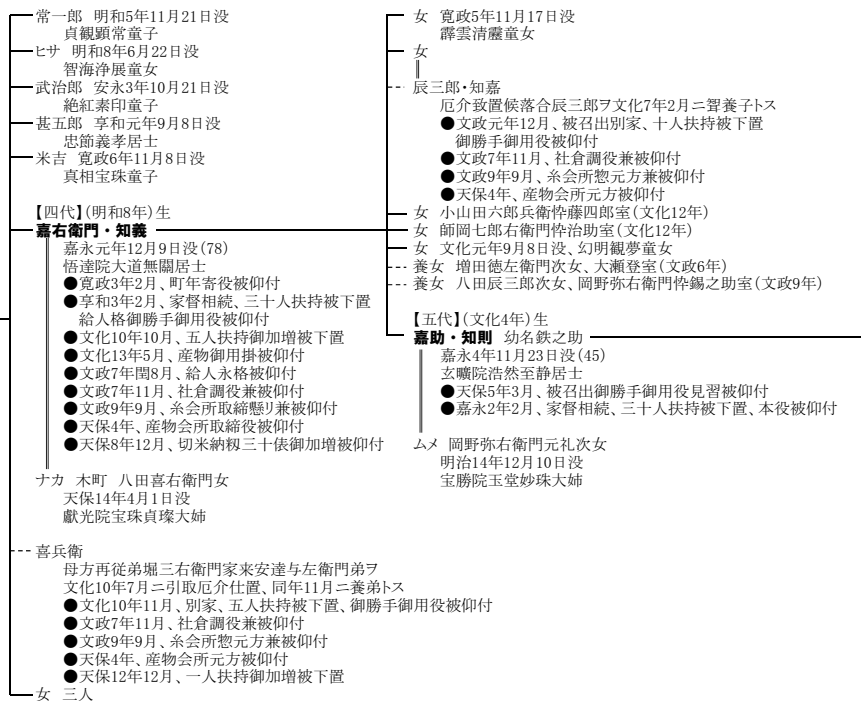
表 2 八田家関連村々一覧

支配	村名
松代藩領	荒神町 伊勢町 上八町村 鏡屋町 鍛冶町 紙屋町 木町 小越町 紺屋町 肴町 柴町 新馬喰町 外田町 寺町 中町 西木町 馬喰町 東荒町 東木町 袋町 木町 会村 雨宮村 栗佐村 伊折村 泉平村 市村 入山村 岩草村 岩野村新田 上八町村 上松村 牛嶋村 内川村 梅木村 大室村 加賀井村 上石川村 上平村 上高田村 上徳間村 北尾張部村 北郷村 北高田村 北平林村 清野村 沓野村 久保寺村 倉科村 黒沼村 桑根井村 郡村 小島村 五十平村 五十里村 五反田村 小納新田村 小堀村 小松原村 五明村 小森村 西条村 佐倉村 笹平村 里穂苅村 柴村 下小嶋田村 下水飽村 下宮野尾村 下横田村 新町村 関屋村 瀬戸川村 外鹿谷村 田中村 田野口村 丹波島村 力石村 地京原村 竹生村 土口村 網島村 妻科村 東条村 東福寺村 長井村 中沢村 奈良井村 西寺尾村 布野村 念仏寺村 橋詰村 八丁村 羽尾村 東川田村 東寺尾村 久木村 平林村 広田村 布施五明村 布施高田村 古山村 牧内村 牧嶋村 真嶋村 町川田村 水内村 南堀村 宮野尾村 三輪村 森村 矢代村 山上条村 山布施村 湯田中村 吉田村 四ツ屋村 和佐尾村
幕領	井上村 寒沢村 権堂村 下戸倉村 中野村
幕領→松代藩預かり (文政四年)	山王嶋村
幕領・松代藩領	千田村 上野村
幕領・松代藩の相給→越後椎谷藩・ 松代藩の相給（寛政四年）	中御所村
飯田藩領	荒町
飯山藩領	浅野村 中條村
岩村田藩領	岩村田町 上丸子村
上田藩領	赤岩村 上田原町 海野宿 五加村
熊野出速雄神社領	皆神山
小諸藩領	離山村 綿内村 太仔町
善光寺領	後町村 善光寺
高田藩領	赤倉温泉 岩木村 御馬屋町
高遠藩領	弥勒村
久松栄之助知行所	祢津村

出典：『史料目録』102集のうち「14.土地経営」と「15.金融」などに収録する文書の作成・受取より抜粋。

伊勢町八田家系図





【九代】明治33年11月2日生

恭平

生母のぶ、他子モ同
昭和36年12月29日没(62)
知孝院昇雲恭平居士

きよえ 松本 中田亮次女
昭和29年7月16日没(51)
琴松院観聴清音大姉

信吉 明治38年2月9日生、坂本喜久子へ養子
昭和46年5月7日没(67)
誓願院釈信乗善楽居士

恒夫 明治41年6月19日生、分家ス
昭和22年8月3日没(38)
天雄院忠岳恒道居士
美知子 北村門之丞次女

【十代】明治44年3月17日生

眞

平成12年9月15日没(89)

千鶴 大正7年9月20日生
八田謙三長女

【十一代】昭和14年5月7日生

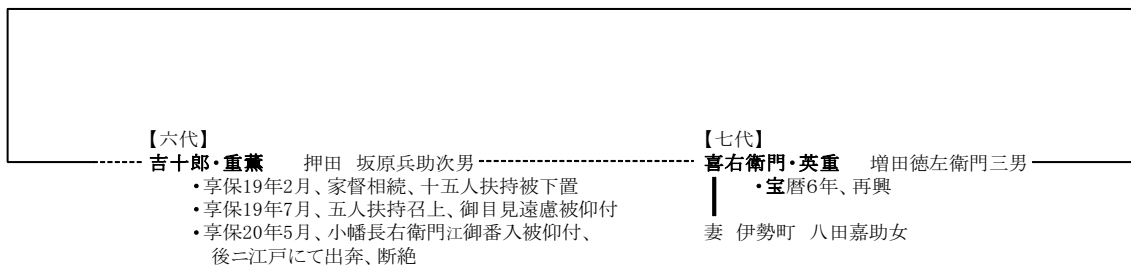
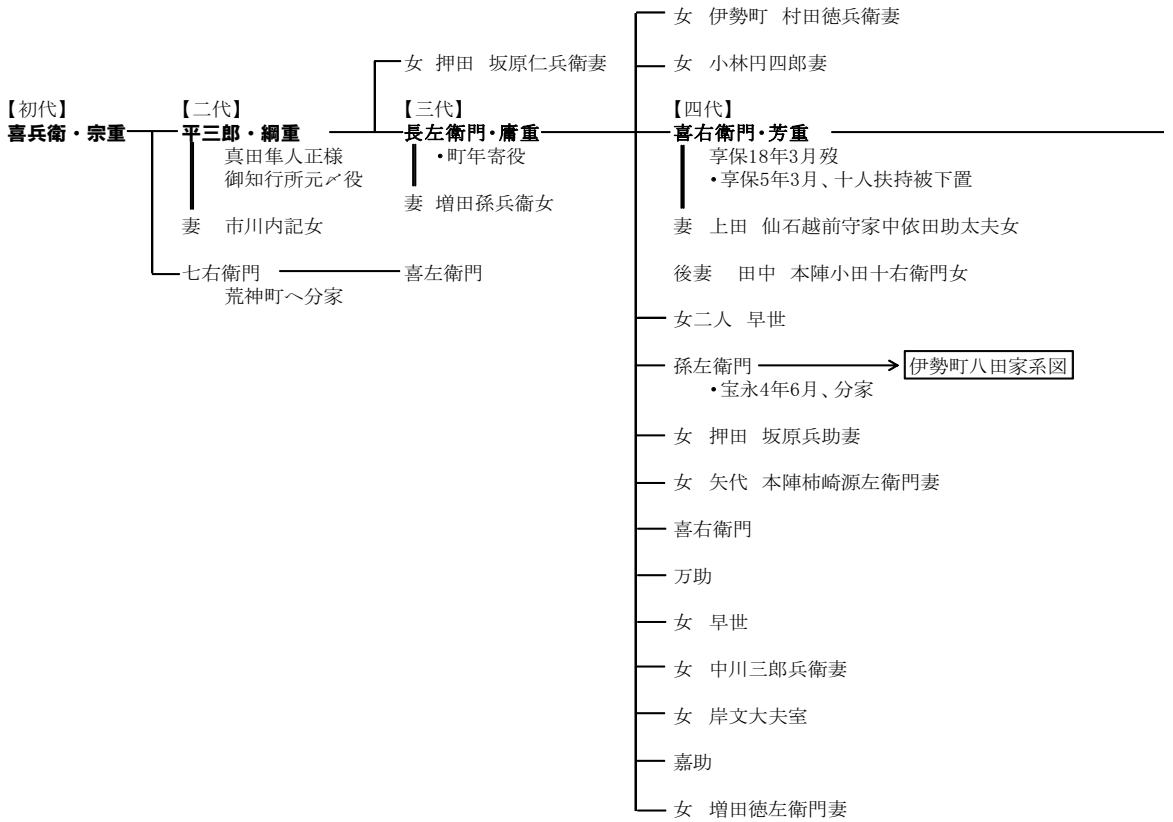
慎蔵

和子 昭和16年9月2日生
奈良 西川源内長女

陽子 昭和19年11月28日生
和子 昭和22年2月2日生

◎『史料館所蔵史料目録』第41集154頁～157頁に基づいて、加筆の上、作成した。
◎点線は養子・養女・養弟を示す。二重線は夫婦を示す。
◎既刊『史料目録』06・97集所収文書によりさらに補訂した。

木町八田家系図



養女 伊勢町八田孫左衛門女、岡野甚十郎室(享保14年)

【五代】

長左衛門・昭重

享保19年2月歿

- ・享保9年7月、被召出七人扶持被下置、刀御免御物成御用勤被仰付
- ・享保11年12月、給人格被仰付
- ・享保12年10月、御郡奉行支配ニ被仰付
- ・享保13年8月、種貸役被仰付
- ・享保18年3月、家督相続、十五人扶持被下置

妻 伊勢町 八田孫左衛門女

惣三郎

- 後ニ競ト改ム
- ・十人扶持被召出御番入
- 後信安公御近習被仰付
- 名競ト被下置御加恩百石被下置馬場屋敷被下置

室 岡野甚十郎女

女 樋口一角室

女 高田幾田室

競

室 木町 八田嘉右衛門女

【八代】

嘉右衛門・嘉重

伊勢町 八田嘉助四男

女

女 八田競室

女 大瀬登養女

【九代】

長左衛門・實親

【十代】

喜兵衛

◎『史料館所蔵史料目録』第41集152頁～153頁に基づいて、加筆の上、作成した。
◎点線は養子・養女・養弟を示す。二重線は夫婦を示す。

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

1. 内方

1.1. 系図・親類書

(八田嘉右衛門、分家同喜兵衛、同辰三郎・吉村嘉四郎家書上)	2月27日	横切継紙/(え4434-1~13は紙縫一括)・1通	え4434-11
-------------------------------	-------	---------------------------	----------

1.2. 相続・家督

(八田慎蔵家督の御札に明4ツ時鬘斗目麻上下着用にて御殿へ罷り出て名代勤めに付) * (端裏書)「嘉永壬子年二月」 山崎友吉殿→望月主水	嘉永5年2月8日	横切継紙/(え4379-1~26は紙縫一括)/(え4379-16-1~16は紙縫一括)・1通	え4379-16-1
(家督後御札につき明日4ツ時染帷子麻上下着用にて登城のこと) * (端裏書)「嘉永七甲寅年閏七月」 鎌原伊野右衛門→八田慎蔵殿	嘉永7閏7月12日	横切継紙・1通	え4379-16-11
(今年退去致し候に來春にては損易有事ほか退身覚書)		半/(え4439-1~40は紙縫一括)・1冊	え4439-20
(書状、先々退身と決定致すに付)		豎紙・1通(2枚)	え4439-21

1.3. 家訓・規定

1.3.1. 条目・遺言

①覚(入るを量り出るを計る儀身上取り計らい第一、申し置きたき事山々あれど筆略のこと)、②(鉄之助取り計らいのこと、辰三郎住居手狭のことなど御指図くださるべき旨) * (端裏書)「遺書下案認問ニ合不申候ハ、本書心得可被下紙面 不用ニ相成候紙面」 ①(八田)嘉右衛門→辰三郎殿、②(八田)嘉右衛門→競様・喜兵衛殿・辰三郎殿	①文政4巳年7月 ②文政7申年正月	横切継紙/(え4380-1~20は紙縫一括)/(下げ札あり)・1通	え4380-1
(家訓、親族は勿論他人にて慈悲を加え徳行第一に心懸の旨ほか) 八田朝義誌之	戌年正月	横切継紙・1通	え4400-7
泰全院尊靈御遺言条々(公用金差配の事・当用金出入り明細帳面に記す事など) 知義慎書	文化6己巳年12月	横切継紙/(え4419-1~12は紙縫一括)/(剥離あり)・1通	え4419-6
(壹 前段借財利分等何らの訳合いにて助成致すこと)		小切紙/(え4450-1~22は括り紐一括)/(え4450-17-1~7は括り紐一括)/(下げ札あり)・1通	え4450-17-1
(弐 前段厄介致す衣服等年限にて御扶持方、この方用弁の心得方のこと)		小切紙/(下げ札あり)・1通	え4450-17-2

1.内方/3家訓・規定/1.条目・遺言

(四 一己の存念にて金子借り入れ引当など差し出しは決して相成らざる旨)		小切紙・1通	え4450-17-3
(前段本金25両無利足にて3ヶ年限済み切のところ期月に至り一向否や無き旨)		小切紙・1通	え4450-17-4
(三 前段入用の義この方より出金いたす訳合いに当たらずに付)		小切紙/(下げ札あり)・1通	え4450-17-5
(亡母格別の苦心をもって養育致すこと、且亦不容易難渋の義弁えざるは人道相済み難き旨)		小切紙・1通	え4450-17-6
(是迄徳左衛門方より助成のこと委曲申し聞くべきこと)		小切紙/(付札あり)・1通	え4450-17-7

1.4. 家族・奉公人

1.4.1 本家勝手向立て直し

口上(今般公用にて金千両才覚し無尽企て上納の段、木町家名相統の心得に付) (八田)嘉右衛門→木町御母上様・競様	文化6己巳年11月	横切継紙/(え4379-1~26は紙縫一括)・1通	え4379-23
---	-----------	---------------------------	----------

1.4.2 婚姻

(書状、娘松木東忤源太郎へ縁組に付) 八田嘉助知則(花押)→望(望月)主水様参人々御中	(嘉永4年以前)11月23日	横切紙/(え4384-1~51は紙縫一括)・1通	え4384-29
---	----------------	--------------------------	----------

1.4.3. 鉄之助嫡子

(包紙) * (包紙表書)「辰十二月十二日次男鉄之助義嫡子仕度候付御内分且来春御内分御願茂申立度候矢野倉惣之進殿相頼鹿野外守殿口上ニ而御承知」/(包紙裏書)「御用番江茂御口上ニ而被申上候趣手紙」		包紙/(え4374-1~35は紙縫一括)/(え4374-17-1~4は包紙一括)・1点	え4374-17-1
口上覚(次男鉄之助15歳となり嫡子願い、御家老中迄よろしく執り成し願う旨) 八田嘉右衛門→金井左源太殿・鹿野外守殿・岡島莊藏殿	月日	縦紙・1通	え4374-17-2
(書状、昨日御聞置の儀当番外守殿御承知、来春中御願の御内聞ともに相済む旨) 惣之進→(八田)嘉右衛門様差置	12月13日	横切継紙・1通	え4374-17-3
口上覚(忤辰三郎御宛行下され別家いたしよろしく執り成し願う) 八田嘉右衛門→金井左源太様・鹿野外守様・岡島莊藏様		横切継紙・1通	え4374-17-4

1.4.4 鉄治郎不行跡

(書状、佐久間様並びに慎蔵懇意の衆より鉄次郎殿不身持の様子慎蔵方へ申越すにより心配いたすに付)* (下書)		横切継紙/(え4451-1~25は紙縫一括)・1通	え4451-7
(書状、拝借致した金不行届にて返上延引により昨年の騒動となり心痛に付) 敬一郎→鉄次郎様	6月26日	横切継紙・1通	え4451-23
(書状、鉄次郎事当人不都合・不行跡様子あるに付)		横切継紙・1通	え4451-24

1.4.5. 鉄治郎金井家養子入り

(書状、源左衛門より私へ別紙の通り申し届有るも委曲は拝君の上申し上げるべきに付) 満之助→慎蔵様	12月8日	横切継紙/(え4451-25-1~6は紙縫一括)・1通	え4451-25-2
(坂本宿上本陣佐藤家・下本陣金井家統柄相続書上)		折紙・1通	え4451-25-3
(書状、坂本宿下本陣金井家に鉄治郎養子縁組の件に付) * (下書)		横切継紙・1通	え4451-25-4
(書状、過月中より賤弟罷り出で居り御厄介御世話に成るに付) * (端裏書)「臘月二日坂本宿へ遣し候下案」八田慎蔵→金井三郎左衛門様	12月2日	横切継紙・1通	え4451-25-5
覚(八田氏次男を金井三郎左衛門養子に貰いたき所、内証にて当人引越の上で縁談相成る様取り計らうに付) 源左衛門→栄八	11月2日	横切継紙・1通	え4451-25-6
(書状、拙者義当正月結納も未だ上聞に達申さざる故、今年のところは別にて居候旨願上げほかに付) 鉄治郎百拜		縦紙/(え4452-1~17は紙縫一括)・1通<2枚>	え4452-12

1.4.6. 辰三郎引き取り

(この度別居につき暮らし方積立一覧に付) * (端裏書)「辰三郎方引取付請書」(八田)嘉右衛門→辰三郎殿	文政9丙戌年2月	横切継紙/(え4373-1~32は紙縫一括)/(え4373-29~32は紙縫一括)・1通	え4373-30
--	----------	--	----------

1.4.7. 八田喜兵衛一件

乍恐奉遺願候口上覚(喜兵衛勝手向不練合のため居屋敷抱地面を御上に差出し年々家賃御下げ願ひ) * (端裏書)「下案」		横切継紙/(え4388-1~20は紙縫一括)・1通	え4388-3
---	--	---------------------------	---------

1.4.8. 役代

心得書 傳兵衛		横半半・1冊	え4418
①覚(向屋敷役代太兵衛ほか役代人名の書上)、②覚(いせ町下屋敷役代伝兵衛など役代人名の書上) * (写) ①本町嘉右衛門(印)、②八田鉄二郎(印)	①②子9月	折紙/(え4438-1~30は紙縫一括)・1通	え4438-15

1.4.9. 奉公人勤向

乍恐以書付奉申上候(和七本店支配取持不始末により私へ難渋懸かり越後信州両国御構御救い願に付) 長左衛門→御上様御取次中	天保8酉年8月	折紙/(え4374-1~35は紙縫一括)・1通	え4374-8
覚(西2月から戊1月まで出勤日数書付) 元吉→いせ丁八田様御内	西12月	横切継紙/(え4389-1~50は紙縫一括)・1通	え4389-13

1.内方/4.家族・奉公人/9.奉公人動向

(書状、年始預銭の儀元日取り込みにて小納戸帳面書き落としたし不念の段申出るに付) 恒吉・富作→喜兵衛様	8月13日	横切継紙・1通	え 4395-6
(富吉勤方不出精につき御暇下され、当人申すに任せ過分の金子貸し渡し不調法至極詫び状) 佐助・正助→市兵衛様	嘉永5子年7月	横切継紙/(え 4403-1～16は紙縫一括)・1通	え 4403-4
庄助勤方之儀御尋付奉申上候(庄助につき店方大差支、私も当惑につき御本宅へ願ひ上げの旨) →角店佐助	辰2月	横切継紙/(え 4416-1～24は紙縫一括)・1通	え 4416-15
以書取奉願候(近年老衰多病のため傳兵衛名目ならびに船方と七名目市兵衛へ仰せ付けられ御暇頂戴願ひ) * (包紙上書)「上」和七(印)、(奥書)源吾(印)・清十(印)・栄八(印)	6月16日	横切継紙/(え 4422-1～16は紙縫一括)・1通	え 4422-8
(孫兵衛より下女登り一条御内頼につき源吾とも申談取り計らいの旨) * (包紙上書)「申上 市兵衛」市兵衛	6月	横切継紙・1通	え 4422-10
乍恐以書取奉願候(不快にて勤向引き籠もり、全快にても店方勤めも出来申さず旨) * (包紙上書)「上嘆願書 清十」清十→上	11月24日	横切継紙・1通	え 4422-11
口上覚(私儀内証の大難御願を以て取り続き御奉公相勤め筆紙に尽くし難き仕合わせに付) * (包紙上書)「嘉右衛門様御内覧可被成下候 庄助」庄助→嘉右衛門様	11月	横切紙/(え 4454-1～22は括り紐一括)/(4454-1-1～3は括り紐一括)・1通	え 4454-1-3
(書状、先刻救難御救い下され忝く存じに付) 庄助→嘉右衛門様	4月7日	横切紙・1通	え 4454-2
(書状、岡神明田地1巻御見せ下され御預かり置く旨) 庄助→嘉右衛門様	正月13日	横切継紙・1通	え 4454-3
(書状、旧臘の御差引相極めにて御目に懸ける旨) 庄助→嘉右衛門様	正月17日	横切継紙・1通	え 4454-4
(書状、100両引当の小嶋田40両証文御引き戻したきに付) 庄助→嘉右衛門様	2月22日	横切継紙・1通	え 4454-6
覚(差引5両正金にて返上) 庄助→嘉右衛門様	晦日	横切継紙/(剥離あり)・1通	え 4454-7
(書状、岡神明一件何れ不届きなる取計いにて年限中地所御引き上げは相成らずに付) 庄助→嘉右衛門様	正月15日	横切継紙・1通	え 4454-11

1.4.10. 奉公人給金

(書状、当暮御繰上借り上げ何分にも御勘弁を願う旨) 本之進→伊勢町様歎願用	2月21日	横切継紙/(え 4387-1～33は紙縫一括)・1通	え 4387-21
(書状、未年人給料2匁5分7日まで納める分借用願、且塩半呖料借用願の旨) 本之進→いせ町様口上願用	3月6日	横切継紙・1通	え 4387-25
(4ヶ年の給金並後年の給金につき当人の願ひ則承知の旨)		横切紙/(え 4391-1～20は巻込一括)・1通	え 4391-9

1.4.11. 書状その他

(清十去年中より婦人に拘わる儀心底改めの様子もなく、委細勘弁いたし申し聞かすべく旨)	正月	横切継紙/(え4374-1~35は紙縫一括)・1通	え4374-28
(御実名改正「喜茲」(よししげ)姓名判断、花押御判象鑑定) 戸田主水章劉識(印)	宝暦6丙子歳今月吉日	横切継紙/(え4379-1~26は紙縫一括)・1通	え4379-2
(日数4日瀧、同4日於松ほか5名ほか雑記)		横切継紙・1通	え4388-11
(書状、今日勘定は過納のよし相わかりかねるので御返し申上げる旨) ちい→(八田)嘉右衛門様	起さらき5日	横切継紙/(え4391-1~20は巻込一括)・1通	え4391-4
(書状、引越願いにつき源吾をもって大旦那さまへ御内願の趣御聞き入れも御座なき旨)		横切継紙・1通	え4391-6
(書状、御当地御小作勘定帳先日善九郎方へ遣わずに付) ちい→(八田)嘉右衛門様	むつき27日	横切継紙・1通	え4391-7
(100疋おたみ・佐助内、2朱まき・やい書付)		横切継紙/(え4435-1~15は紙縫一括)・1通	え4435-6
乍恐以書付申上候(八田慎蔵身上取り続き兼ね鏡屋町抱屋敷へ引越し取復手段願う旨) 八田慎蔵役代伊勢町傳兵衛→御町年寄衆中・検断伴栄作殿	閏7月	横切紙・1通	え4435-7
乍恐以書付申上候(八田慎蔵身上取り続き兼ね鏡屋町抱屋敷へ引越に付、上申書下書) 八田慎蔵役代伊勢町傳兵衛、(奥書)五人組傳右衛門・源之助、名主栄左衛門・長町人惣八郎→御町年寄衆中・検断伴栄作殿	嘉永7寅年閏7月	縦紙/(え4450-1~22は括り紐一括)・1通	え4450-10
(書状、佐藤甚左衛門参上に付) 鉄次郎→御母上様		横切継紙/(虫損甚大)・1通	え4450-14
(八田知道分高5石分金1両ほか分金1両2分余書上)	癸酉8月	切紙/(え4451-1~25は紙縫一括)・1通	え4451-20

1.5. 親類

1.5.1. 八田本之進跡目申立入用書類

(八田本之進跡目申立入用書類綴)		綴/(え4234-1~17は一綴)・1綴	え4234
(袋) * (袋上書)「下屋敷跡目申立之儀付入用書付類 文久三癸亥歳十一月」	文久3	袋・1点	え4234-1
(本之進方跡目に付親類へ歎願書を差し出すについての相談箇所八田喜兵衛ほか15名列記)	文久3癸亥11月	横半半・1冊	え4234-2
(中条水井等は如何に、仰せ付けの節の同道人のこと、仰せ付けの節この方の親類は如何になど書留)	(文久3)	折紙・1通	え4234-3
(書状、この程御願いの通り仰せを蒙り目出度き御儀に存じ、且つ又御手厚い御品頂戴し何とも有難き仕合わせに付) 右兵衛→(八田)慎蔵様	(文久3)12月6日	横切紙・1通	え4234-4
(子供兩人痘瘡代金3分、かれこれ入用金2分、炭代差し支え薪代金1分2朱など借入金の内訳) 本之進	(文久3)	横切紙・1通	え4234-5

1.内方/5.親類/1.八田本之進跡目申立入用書類

(書状、上田一条幸便あり、別紙の儀申し参り延日となり御差し支えの旨) 徳右衛門→忠治様内用	(文久3)10月2日	横切継紙・1通	え4234-6
(書状、養子の儀度々尊書を下され御返書も差しあげず失敬恐れ入り、先方へは悪しからずお執り成し御断り下され、ご縁のなき事と思し召し下され御承知の旨) 伊藤林左衛門→長谷川徳右衛門様 尊下	(文久3)9月晦日	横切継紙・1通	え4234-7
(書状、八田本之進親類どもの願いの通り跡式その上御勝手御用役一代給人格仰せ付けられ有難き仕合わせに付)	(文久3)12月4日	横切紙・1通	え4234-8
(書状、水井氏御通行の砌、本之進跡式の義いよいよ御取り定めとなり願書差し出しの段万事御配慮下され有難きに付) 六左衛門→(八田)慎蔵様 貴下	(文久3)11月23日	横切継紙・1通	え4234-9
(書状、八田本之進親類どもの願いの通り跡式その上御勝手御用役一代給人格仰せ付けられ有難き仕合わせに付) *(え4234-8と同一)	(文久3)12月4日	横切紙・1通	え4234-10
(書状、仰せ付けも相済み御同前大悦仕り、御内談の通り拵え差しあげる旨) 忠治→伊勢町様	(文久3)12月15日	横切継紙・1通	え4234-11
御内談(200疋長谷川公、100疋つつ磯田公・成沢公・斉藤公・草間公、100疋春日殿・堤殿など書留)	(文久3)	横切紙・1通	え4234-12
(書状、八田本之進親類どもの願いの通り跡式その上御勝手御用役一代給人格仰せ付けられ有難き仕合わせに付) *(え4234-8、え4234-10と同一)	(文久3)12月4日	横切紙・1通	え4234-13

1.5.2. 書状

(書状、惣助不埒につき右兩人この度の断りにては承知なりがたくに付) 八田孫左衛門・八田嘉三郎→惣兵衛様・羽四郎様、(奥書)嘉三郎→惣兵衛様	6月20日	横切継紙/(え4380-1~20は紙縫一括)・1通	え4380-16
(書状、一同貴宅へ参上松本君御連座御内談願う旨) 柄沢孝左衛門→八(八田)嘉助様	8月21日	横切紙/(え4384-1~51は紙縫一括)・1通	え4384-32
(書状、夕刻隣家の法事に付) 束→(八田)嘉助様	9月26日	横切紙・1通	え4384-37
(書状、松木氏へ一応御評議の上に付) 寺町→伊勢町様	26日	横切紙・1通	え4384-39
(書状、愚妻疾病につき快方にて安心仕る旨) 嘉十郎→伊勢町様御受上	7月21日	横切継紙・1通	え4384-42
(包紙) *(包紙上書)「木町伯母様が安永八亥十月十四日被□御渡候書附万々歳之後持寄成□ニ而披見候様ニ被仰付置候十月十四日[]木町」		包紙/(え4439-1~40は紙縫一括)/(え4439-29-1~4は包紙一括)・1点	え4439-29-1
(中包紙) おばかく→八田孫さえもんとの	亥ノ9月吉日	包紙・1点	え4439-29-2
(書状、おはや後々御病氣等の節は安永8年10月14日御渡しの書付持参致しおかめ・宗右衛門殿立会にて披見仰置かれるに付) (八田)孫左衛門認置	亥ノ10月14日	横切継紙・1通	え4439-29-3
(書状、無尽預け金30両余りに相成りおかめへ譲り置くにて間違い無く御渡し下されべきほか無尽・家相続に付) いんきよかくより→孫さえもんとの・おかめとの	安永8年亥9月吉日	横切継紙・1通	え4439-29-4

1.5.3. その他

親類名面	辰正月	横切継紙/(え4385-1~18は紙縫一括)/(虫損)・1通	え4385-1
覚(当年分メ金10両御助情にて受取) (八田)競→(八田)嘉右衛門様	文政元寅年12月	横切継紙/(え4390-1~24は紙縫一括)・1通	え4390-15
御内話申上候趣(私家元往古の儀分かり兼ね前々平三郎と申者あり、木町八田家系略記) * (包紙上書)「戌四月廿三日長左衛門(木町八田カ)死去之節供駕籠相立候付御尋御座候付御答一卷書面入」 八田孫左衛門	11月	横切継紙/(え4429-1~4は紙縫一括)/(え4429-2-1~7は包紙一括)/(下げ札あり)・1通	え4429-2-1

1.6. 藩への上納金・才覚金

(包紙) * (封筒上書)「覚」		包紙/(え4373-1~32は紙縫一括)/(え4373-1~28は紙縫一括)/(え4373-17-1~3は包紙一括)・1点	え4373-17-1
覚(金20両御才覚下され慥かに受け取り、粉子払い次第月1割5分の利分加え元利返済の旨) 祿津甚平(印「克直」)→山岸文太夫殿	享保19年寅1月26日	縦紙・1通	え4373-17-2
(書状、内々御才覚下され今晚夕飯後より暮明までのうち善左衛門遣わし御渡しくださる旨) 祿津甚平→山岸文太夫様	27日	横切継紙・1通	え4373-17-3
覚(真初6俵慥かに受け取り) 中川三郎兵衛(印)→八田嘉助様	酉12月16日	小切紙・1通	え4373-21
覚(御用につき市村ほか9ヶ村分の覆初一両日中八田孫左衛門方へ届ける旨) 杉(杉田)九左衛門(印)・金(金井)惣左右衛門(印「金井」)→右村々肝煎・組頭	子3月	横切継紙/(え4374-1~35は紙縫一括)・1通	え4374-2
覚(才覚金金300両請取、年中1割5分当已5月中元利返済) 鈴木富治(印)・半田亀作(印)・倉田三之丞・竹内多吉、(奥書)佐(藤)為之進・岡(野)弥右衛門(印)→伊勢町慎七	明治2巳年3月	縦紙/(え4379-1~26は紙縫一括)・1通	え4379-6
(八田慎蔵御殿向御普請につき御用途のうちへ献金に付) * (端裏書)「嘉永七甲寅年 御殿御普請方御用途之内へ壱両献金御書付」	11月26日	横切継紙/(え4379-1~26は紙縫一括)/(え4379-16-1~16は紙縫一括)・1通	え4379-16-10
(去5月中御殿向焼失の節出精相働き太儀のこと) * (端裏書)「嘉永七甲寅年五月」/(端裏貼紙)「御勝手御用役	5月28日	横切継紙・1通	え4379-16-14
(伊勢町傳兵衛臨時御用達金出精につき御酒2升3合下賜) * (端裏書)「明治元辰年臨時御用達金差出候二付」	(明治元辰年)10月晦日	横切継紙/(え4416-1~24は紙縫一括)・1通	え4416-12
乍恐以書付奉歎願候(御殿様御上京御入用借入金につき今まで上納分御取切にいたしこの度の儀御勘弁の段)		縦紙・1通	え4416-16

1.内方/6.藩への上納金・才覚金

(書状、御内用金御繰廻し御礼金のうち50両宛来る午 年より寅年迄9ヶ年の間御渡す旨) 大嶋武左衛門・菊 池孝助→八田嘉右衛門様	12月20日	横切継紙/(え 4432-1~31は 紙繕一括)・1通	え4432-14
覚(金593両余未10月残りほか西差引勘定書)		折紙・1通	え4432-15
(書状、昨日御借入金本証文差し上げ御引替の旨) 大嶋武左衛門・斎藤善九郎→御用八田嘉右衛門様	3月22日	横切紙・1通	え4432-16

1.7. 藩関係

1.7.1. 御目見

(嫡孫孫太郎袖留仕り御目見願いの通り名代1人熨斗 目麻上下着用にて明日4時登城のこと) * (端裏貼 紙)「孫太郎初而之 御目見申上度旨奉願候所被仰付候御書 付」 恩田頼母→八田嘉右衛門殿	9月14日	横切継紙/(え 4379-1~26は 紙繕一括)/(え 4379-16-1~16は 紙繕一括)・1通	え4379-16- 9
---	-------	--	----------------

1.7.2. 勤務

(御用にて親類のうち1人同道明日4時登城のこと) 河原舎人→八田慎蔵殿	正月15日	横切継紙・1通	え4379-16- 15
戊年中勤懈怠覚(下書雜記) 八田嘉助	亥正月	横切継紙/(え 4381-1~11は 紙繕一括)・1通	え4381-6
(包紙) * (包紙上書)「文政十一子年七月矢野倉惣之進殿 を以出勤御内閣相伺候処、御聞済被成下候段矢野倉氏より 手紙并願書草案入」	文政11	包紙/(え4404- 1~6は紙繕一 括)・1点	え4404-1-1
(去12月中より持病にて阿殿通逸町医・佐々木友三薬 服用に付)	(文政11)	横切紙・1通	え4404-1-2
口上覚(去戊12月中より病にて何々誰薬服用によって 快方に向かい出勤仕り度御家老中へ御執り成しの 旨) 八田嘉右衛門→金井左源太殿・岡嶋莊蔵殿・興津権 右衛門殿	(文政11)月日	縦紙・1通	え4404-1-3
(内閣相済みにつき御願書29日昼までに御役所へ遣わ されること) 矢野倉惣之進→八田嘉右衛門様	(文政11)7月26日	横切継紙・1通	え4404-1-4
(八田孫左衛門、18日8ツ時御家督御入部御祝儀として 御酒下さるにつき書面の刻限麻上下着用にて登城 のこと)	11月16日	横切紙/(え 4427-1~37は 紙繕一括)・1通	え4427-36

1.7.3. 藩士との交際

(書状、追啓御留守居方外付勤めるに付) 本三番組吉田 武右衛門→八田嘉助様御取次中様	7月6日	横切紙/(え 4384-1~51は 紙繕一括)・1通	え4384-36
(書状、当春中江府へ転役につき何よりの品御恵投下 され、殊に名産の品にて御厚礼申し上げる旨) * (包紙上書)「八田嘉右衛門様 赤松四郎左衛門」 赤松四 郎左衛門→八田嘉右衛門様貴答	11月16日	横切継紙/(え 4421-1~11は 紙繕一括)・1通	え4421-4
覚(金2両2分余、去卯年分御病気金受け取り) 菊池孝 助(印)→八田嘉右衛門殿	天保15辰年12月	小切紙/(え 4427-1~37は 紙繕一括)・1通	え4427-11

(書状、御役料玄米1人御扶持下され来夏迄滞府の旨) * (包紙上書)「八田嘉右衛門様・八田辰三郎様」 柿崎喜作 →八田嘉右衛門様・八田喜兵衛様・八田辰三郎様人々御中	5月朔日	横切継紙/(え4444-1~25は紙縫一括)・1通	え4444-7
(包紙) * (包紙上書)「八田嘉右衛門様 吉松四郎左衛門」		包紙/(え4444-8-1~3は包紙一括)・1点	え4444-8-1
(書状、江府在番相勤め帰宅、彼の地より持参の給まめ 呈上御笑納のこと) 吉松四郎左衛門→八田嘉右衛門様	5月15日	横切継紙・1通	え4444-8-2
(書状、当春中江府において転役日出度き儀に付) (八田)嘉右衛門→四郎左衛門様	8月3日	横切継紙・1通	え4444-8-3

1.7.4. その他

(「八百両出金之事」、「粉子引請之義」、寺院祠堂物借付 金質地引き移りの訳柄に付、答え書)		横切継紙/(え4374-1~35は紙縫一括)・1通	え4374-32
覚(御小袖・白銀・20人扶持・御上下などお尋ねにつき 申上書付) 八田嘉右衛門	12月	横切継紙/(え4376-1~22は紙縫一括)/(下げ札あり)/(虫損)・1通	え4376-12
(殿様去酉年冬中より御頭痛御痰喘にて長々御引き籠 もりにつき御隠居願いの御含みの旨) * (端裏貼 紙)「八田慎藏殿 菅沼九兵衛 先刻之書取差遣申候以上 閏 二月九日」 菅沼九兵衛→八田慎藏殿	閏2月9日	横切継紙/(え4379-1~26は紙縫一括)/(え4379-16-1~16は紙縫一括)・1通	え4379-16-12
(当夏中感応院様御葬式御一件ほかにつき御盃一坏 内々くださる旨) * (端裏書)「嘉永五壬子年十一月」 三沢刑部丞→八田慎藏殿	嘉永5年11月23日	横切紙・1通	え4379-16-13
(書上につき印形・美濃紙持参にて会計方まで至急罷 り出る旨) 水野清右衛門→伊勢町佐助	2月27日	横切紙/(え4387-1~33は紙縫一括)・1通	え4387-27
(書状、御太刀1腰・御馬1疋進ぜられ御喜色の旨私共へ 御太刀馬代并御薫物拝受のこと) 戸田備後守氏倚 (墨消)(花押)・中條河内守信義(墨消)(花押)・小田主計頭 信由(墨消)(花押)		折紙/(え4395-1~31は紙縫一括)・1通	え4395-1
(八田知道高5石分現米1石1斗余代金残金81銭5毛)		小切紙/(え4389-1~50は紙縫一括)/(え4389-37-1~2は紙縫一括)・1通	え4389-37-1
(八田知道金支給59円余うち残金5円27銭)		横切紙・1通	え4389-37-2
三奉行へ三ヶ年之間老中申合候書付(左近将監御仲間 仰合の趣、平日出仕は白小袖着の儀など) * (端裏 貼紙)「一札□□(虫損)」	亥2月	横切継紙/(え4417-1~29は紙縫一括)/(剥離あり)/(虫損)・1通	え4417-5
(御名代・御家老からお目見え以下までの座順図)		38.0×28.0/(え4426-1~35は紙縫一括)・1鋪	え4426-30

1.内方/7.藩関係/4.その他

(書状、御領分へ餌刺罷越候はその所において江戸御役人中へも申立など餌刺の件に付) * (包紙上書)「餌刺之儀ニ付御留主居石川吉右衛門殿より申来候紙面」石川吉右衛門	6月8日	横切継紙/(え4438-1~30は紙縫一括)・1通	え4438-25
(先君幸専公御卒去にて相続の件、御養父様は御由縁これなき方へ内々御譲の旨御含置かれたきに付書上)		横切継紙・1通	え4438-27
(御扶持方4ヶ月分玄米15石6斗2升9合・代金10両1分5匁2分に付) * (包紙に金銭書上紙背利用)/(包紙表書)「御手元府紙」→八田嘉右衛門殿		堅切紙/(え4439-1~40は紙縫一括)・1通	え4439-1
(書状、大塚氏より御用帳来るも上封なく尊大様御帳来たらば御届申上げるに付) (八田)嘉助→与三郎様書帖入	6月26日	横切継紙・1通	え4439-16
(書状、御役料銀下し置かれ候段目出度きに付) 大塚為三郎→富田与三郎様人々御中	6月11日	横切継紙・1通	え4439-17
(松代藩の御手伝い書上) * (包紙上書)「式 真常院様御代御手伝後追々御手伝被遊御整ひ御年代承札置申度事」信瀬屋弥左衛門・袴屋市兵衛	享保11年丙午3月	横切紙/(え4440-1~7は紙縫一括)・1通	え4440-1
(包紙) * (包紙上書)「京都及江戸着寺院其外人数書六月之事ニ候得共為御法印置申度事」		包紙/(4440-2-1~4は包紙一括)・1点	え4440-2-1
(包紙) * (包紙上書)「昨日致恩借候京都人数書道念殿御自筆ニ付申請置候、則写ニ而致返遣候、御隠居へ宜敷御礼頼入候 安原殿 競」		包紙・1点	え4440-2-2
江戸人別覚(町数ノ千六百七拾八丁他に付)		横切継紙・1通	え4440-2-3
明和五子九月京都宗門御改人数写(京都町数二千七百七拾式丁ほかに付)		横切継紙・1通	え4440-2-4
覚(式百石分薪48駄年中ほか書上に付) * (包紙上書)「四 御知行御物成頂戴方式百石高立御当家御越合五拾石以上以下被下方差別之義も相分候様承札申度事御扶方玄米彼は渡方等同断」		横切継紙・1通	え4440-3
(海野宿より本馬1疋分2メ6文ほか人足数・人足駄賃錢書上) * (包紙上書)「六 御当地より江戸着迄道程附人馬駄賃駕籠長持山駕籠乗駕籠持人員数駄賃払承札置申度事」	(寛政3年亥2月改)	折紙・1通	え4440-4
(猿楽配当米代金14両2分11文・22石、江戸屋敷坪数書上) * (包紙上書)「七 江戸御屋敷當時之所承札申度候事」/(不用之儀に付貼紙あり)		横切継紙・1通	え4440-5
はかま着之事 * (包紙上書)「十 男女髪置袴着之事信細之訳柄ニも候処荒増之諸次第書下置申度事		横切紙/(貼紙あり)・1通	え4440-6
刀櫃入日記 * (包紙上書)「十一 刀初注文書入用之文字被下置度事」		横切継紙・1通	え4440-7
(家老名書上)		切紙/(え4441-1~39は紙縫一括)/(包紙あり)・1通	え4441-19
覚(御用紙代金2分2朱余この者へ御渡し下されたきに付) 御用紙方→八田嘉助様	12月25日	横切継紙・1通	え4442-3

1.8. 土地経営

1.8.1. 借家

覚(家屋敷代金、丈蔵はじめ3人分の書上)		横切継紙・1通	え4425-4
①為取替申一札之事(借宅の家屋敷買い取り貴殿方の建家地尻にかかり貸し置くに付)、②為取替申一札之事(借宅の家屋敷買い取り貴殿方の建家地尻にかかり貸し置くに付) ①丈蔵・受合清吉→次郎七、②かり主次郎七・請合清吉→丈蔵		横切継紙・1通	え4425-9
覚(丈蔵表口7間5尺5寸裏行10間代金18両、次郎七代金5両3分、清吉代金11両1分)		横切継紙・1通	え4425-12
家賃調(巳年分金2両皆済午正月28日傳兵衛殿より、ほか亥年まで6年分)		横切継紙/(え4435-1~15は紙縫一括)・1通	え4435-4
借家請状之事(又左衛門表口3間の家、家賃金1両3分2朱にて借り申すに付) * (端裏書)「東木村借屋又左衛門」 木町かり主又左衛門(印)・外田町受人平右衛門(印)・田町受人五右衛門(印)→八田鉄次郎殿・五人組□・名主清十郎殿、(裏書)田中村浄福寺[印]	宝暦6年10月	堅紙/(え4449-1~22は括り紐一括)・1通	え4449-7

1.8.2. 持地・抱屋敷絵図

(袋) * (袋上書)「文久三癸亥年三月 絵図面入」	文久3癸亥年3月	袋/(え4234-1~17は一綴)・1点	え4234-16
(屋敷割絵図)	文久3亥年2月	25.5×34.0・1鋪	え4234-17
(字御前越絵図、借地希望地所明記)		32.0×25.0/(え4388-1~20は紙縫一括)・1鋪	え4388-14
(扇田惣ノ955坪1歩絵図)		33.0×25.0・1鋪	え4389-8
(田畑地絵図)		31.0×24.3・1鋪	え4389-10

1.8.3. 買取・質取

名左衛門家屋敷質地ニ預リ候始末書		横切継紙/(え4214-1~27は一綴)・1通	え4214-25
口上書を以附書一札之事(田畑譲渡に際し新田畑2ヶ所御水帳と引き合わず今年末まで御上納のこと) 八田嘉右衛門役代傳兵衛印→信濃村御役元伴右衛門殿	天保4巳年2月7日	堅紙/(え4393-1~22は紙縫一括)・1通	え4393-19
覚(両御奉行金井様・片岡様青銅50匹宛ほかノ3貫400文入用、当町磯右衛門屋敷買入にて御礼に付)	辰6月6日	横切継紙/(え4453-1~13は紙縫一括)・1通	え4453-11

1.8.4. 売渡

(屋敷地売却一条につき別紙借財調べなど差し上げるに付) (岡野)元賢→彦二郎様	6月23日	堅紙/(え4416-1～24は紙縫一括)/(13行赤色罫紙)・1通	え4416-17
記(貯積112円ほか計367円、屋敷地売却400円、差引33円利払い分)		横切紙/(24行青代罫紙)・1通	え4416-18-1
(岡野377円ほか計577円、六三8葉240円など差引残金317円勘定)		横切紙/(虫損甚大)・1通	え4416-18-2
(売主藤右衛門・売主喜左衛門など、地所売渡の書上)		切紙/(え4438-1～30は紙縫一括)・1通	え4438-23
(書状、例の一件、別紙の趣につき堀内へ罷り越し申し談じのところ、取入金その他に売地証文にての口入に相決まりに付) * (端裏書)「御請時拝」	12月5日	横切紙/(え4441-1～39は紙縫一括)/(え4441-5-2は4441-5-1に挟込)・1通	え4441-5-1
(1口・メ50両の口数・金銭書上)		横切紙・1通	え4441-5-2

1.8.5. 家賃・小作年貢取立

(書状、大塚村久右衛門地代金上納残りの分勝手向極難渋にて未だに片付かずに付) 伊勢町申上→九郎右衛門・与三左衛門	12月5日	横切継紙・1通	え4412
(包紙) * (包紙上書)「進上 青銅 三十疋 大入用 以上」		包紙/(え4416-1～24は紙縫一括)・1点	え4416-6-1
覚(小作入高糊191俵・手作高糊166俵メ金32両御年貢已年上納込・金10両1分已年抱屋敷家賃請取込)	5月	横切紙・1通	え4416-6-2
覚(見せ有金350両ほか9件メ926両、この払い10件1577両2分書付)		折紙・1通	え4416-6-3
支配符(メ4匁9分8厘当亥御上納皆済に付) 東福寺村御蔵本源助(印)→いせ町傳兵衛殿	嘉永4年12月	横切紙/(え4435-1～15は紙縫一括)・1通	え4435-2
(作徳米勘定帳) 佐久郡三塚村瀬下七左衛門		横長半/(虫損甚大)/(開披不能)・1冊	え4446

1.8.6. 年貢諸役上納

(天保14年上納配府綴)		綴/(え4243-1～28は一綴)・1綴	え4243
(袋) * (袋表書)「天保十四年卯十二月 村々上納配府入」		袋・1点	え4243-1
卯年御年貢目録(卯御年貢・御小役ならびに役元年中品々夫銀皆済) 町方名主平治(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保14卯年	横切継紙・1通	え4243-2
卯年御年貢目録(当卯御年貢諸小役夫銀皆済) 東条村北組名主忠右衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保14卯年12月	横切継紙・1通	え4243-3

覚(去卯御小役受取) 牧内村古役佐左衛門(印)→伊勢町 傳兵衛殿	天保15辰年3月	横切紙・1通	え4243-4
当卯御年貢目録(当卯御年貢諸小役夫銀受取) 東条村 南組名主磯衛門(印)→いせ町傳兵衛殿	天保14卯年12月	横切継紙/(破 断)・1通	え4243-5
卯御年貢配府(当卯御年貢諸御小役上納分) 東福寺村 名主八郎兵衛(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保14卯年12月	横切継紙・1通	え4243-6
卯納受取配紙(山御年貢粉代受取) 牧内村名主佐左衛 門(印)→傳兵衛殿	天保14卯年12月	横切紙・1通	え4243-7
覚(西木町役銭来る18日まで上納のこと) 役元→傳兵 衛殿	卯年12月	横切紙・1通	え4243-8
(当卯御年貢金来る16日9ツ時まで持参のこと) 荒町 村役元→伊勢町傳兵衛殿	卯12月	切紙・1通	え4243-9
覚(当卯御年貢皆済) 清野村名主民平(印)→八田嘉衛門 様役代傳兵衛殿	天保14卯年12月	横切継紙・1通	え4243-10
卯御年貢(当卯御年貢萬御小役夫銀皆済) 東寺尾村名 主惣助(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保14卯年12月	横切継紙・1通	え4243-11
覚(来る16日中町名右衛門宅まで持参のこと) 東寺尾 村出作惣代→伊勢町傳兵衛殿	卯12月	切紙・1通	え4243-12
当卯御年貢皆済之事 平林村名主友左衛門(印)→伊勢町 菊屋傳兵衛殿	天保14卯年12月	横切継紙・1通	え4243-13
覚(当卯小作米年貢) 渡澤嘉兵衛・北嶋喜介→伊勢町傳兵 衛殿	天保14卯年12月	横切紙・1通	え4243-14
卯御年貢目録(当卯御年貢萬御小役夫銀皆済) 田中村 名主中三郎(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保14卯年12月	横切継紙・1通	え4243-15
卯御年貢目録(卯御年貢御小役役元年中品々夫銀皆 済) 荒町村名主三郎治(印)→伊勢町傳兵衛殿	天保14年12月	横切継紙・1通	え4243-16
(当卯上納金来る20日21日のうち北野屋周兵衛殿方へ 持参のこと) 東条村北組役本→伊勢町傳兵衛殿	卯12月	小切紙・1通	え4243-17
河原新田御年貢(銀13匁・国役49文受取) 依田甚兵衛 (印)→伊勢町傳兵衛	天保14卯年12月	小切紙・1通	え4243-18
明屋敷御年貢(銀10匁余受取) 依田甚兵衛(印)→伊勢町 傳兵衛	天保14卯年12月	小切紙・1通	え4243-19
明屋敷御年貢(銀2匁余受取) 依田甚兵衛(印)→八田嘉 右衛門殿役代傳兵衛	天保14卯年12月	小切紙・1通	え4243-20
明屋敷御年貢(金1分受取) 依田甚兵衛(印)→伊勢町傳 兵衛	天保14卯年12月	小切紙・1通	え4243-21
明屋敷御年具(金1兩3分余受取) 依田甚兵衛(印)→八田 彦兵衛役代惣兵衛	天保14卯年12月	小切紙・1通	え4243-22
覚(509文受取) 河原新田世話人→傳兵衛様	卯11月	小切紙・1通	え4243-23
(銀280匁余来る12日13日のうち紙屋丁富や要助方へ 持参のこと) 東福寺村→伊勢町傳兵衛殿		小切紙・1通	え4243-24
(金1兩3分当卯御上納来る20日21日のうち伊勢町小野 屋周兵衛方へ持参のこと) 東条村南組役元→伊勢町 傳兵衛殿		小切紙・1通	え4243-25
通船揚場遣賃(金3分受取) 堀内太一郎・青柳忠太(印)→ 伊勢町傳兵衛	天保13寅年7月	小切紙・1通	え4243-26

1.内方/8.土地経営/6.年貢諸役上納

覚(通船冥加金5兩余・川田福嶋御飯米買銀金2兩余去卯年分受取) 池田良右衛門(印)→船元和七	天保15辰年正月12日	横切紙・1通	え4243-27
覚(銀100匁余当卯御年貢品々御小役皆済) 大林寺様御役本直衛門(印)→八田傳兵衛殿	天保14卯年12月	横切紙・1通	え4243-28
①(寅納粉14俵受取)、②(寅納粉5俵受取) ①佐野村曾兵衛(印)→□□町三郎右衛門殿、②佐野村曾兵衛(印)→徳左衛門殿	①②享保7年寅12月25日	小切紙/(え4373-1~32は紙縫一括)/(え4373-1~28は紙縫一括)・1通	え4373-7
(断簡、木町居住町人の所持地「軒前」書付)		小切紙/(え4374-1~35は紙縫一括)・1通	え4374-30
(18日皆済の趣、明19日朝相違なく上納の旨)	7月18日	横切紙/(え4386-1~30は紙縫一括)・1通	え4386-29
皆済目録(金井長兵衛様分銀11匁1分当丑勘定目録) 椒 生萱村御蔵本谷右衛門(印)→八田嘉右衛門様御内	文化2年丑ノ12月	横切継紙/(え4389-1~50は紙縫一括)・1通	え4389-24
覚(家分前裁地貸年貢・西家地など当子年貢代金3分余受取) 伊勢町傳兵衛(印)→同町多吉殿	天保11子年12月9日	横切紙/(え4403-1~16は紙縫一括)・1通	え4403-15
卯御年貢目録(当卯御年貢御小役并役元品々夫銀金15兩2匁6分4厘皆済) 荒神町村名主郡兵衛(印)→いせ町傳兵衛殿	慶応3卯年12月	横切継紙/(え4416-1~24は紙縫一括)・1通	え4416-7
卯御年貢皆済目録(当卯御年貢萬御小役夫銀受取) 田中村名主久兵衛(印)→伊勢町伝兵衛殿	慶応3卯年12月	横切継紙・1通	え4416-9
卯御年貢目録(当卯御年貢御小役并役元年中品々夫銀勘定) 町方名主清兵衛→伊勢町傳兵衛殿	慶応3卯年12月	横切継紙・1通	え4416-13
(包紙) *(包紙上書)「覚 小林藤太差引書入」		包紙/(え4437-1~24は紙縫一括)/(4437-15-1~4は包紙一括)・1点	え4437-15-1
覚(子年御年貢上納御小役共金2兩銀3匁9分4厘ほか差引金7兩2分・残り金4兩2分14匁9分6厘に付) 菊屋傳兵衛→小林藤太様	辰3月	横切継紙・1通	え4437-15-2
覚(子年より卯年まで年貢159匁3分3厘・粉30俵受取に付)		横切紙・1通	え4437-15-3
小林様分差引覚(元金年々年貢出し分金13兩3分2貫459文67匁9分3厘ほか差引に付) 本印→加印様	正月	横切継紙・1通	え4437-15-4

1.8.7. 下屋敷

(包紙) *(包紙上書)「外田町下屋敷出火ニ付遠慮伺下書口上覚 申正月八日 八田孫左衛門」		包紙/(え4429-1~4は紙縫一括)/(え4429-2-1~7は包紙一括)/(え4429-2-2-1~3は包紙一括)・1点	え4429-2-2-1
---	--	--	-------------

口上覚(外田町所持の屋敷のうち長屋出火不調法につき憤むべきや伺い) 八田孫左衛門	正月8日	横切継紙・1通	え 4429-2-2
乍恐御訴申上候御事(昨夜9ツ時過ぎ物置出火、類焼人馬怪我などなしに付) 八田孫左衛門下屋敷仮住法免院→職御奉行所	寛政12年申正月8日	縦紙・1通	え 4429-2-3

1.8.8. 矢代村

覚(金2両1分戌年御合金利分ほか受け取り) 伊勢町傳兵衛(印)→矢代村三役人中	戌12月	横切紙/(え 4432-1~31は紙縫一括)/(え 4432-21-1~10は紙縫一括)・1通	え 4432-21-1
覚(金2両1分受け取り) 中村金七(印)→矢代村三役人中	享和3亥年12月	横切紙・1通	え 4432-21-2
覚(金2両1分受け取り) 中村金七(印)→矢代村三役人衆中	文化元子年12月27日	横切紙・1通	え 4432-21-3
覚(金2両1分受け取り) 中村金七(印)→矢代村三役人中	文化2丑年12月27日	横切紙・1通	え 4432-21-4
覚(金2両1分受け取り) 中村金七(印)→矢代村三役人衆中	文化3寅年12月	横切紙・1通	え 4432-21-5
覚(金2両1分受け取り) 八田嘉右衛門内嶺村吉兵衛(印)→矢代村名主彦三郎殿	文化6巳年12月27日	横切紙・1通	え 4432-21-6
覚(金2両1歩、午年利分滞受け取り) 八田嘉右衛門内嶺村吉兵衛(印)→矢代村名主衆中	文化8未年正月3日	横切紙・1通	え 4432-21-7
覚(金2両1分、未年利分受け取り) 八田嘉右衛門内嶺村吉兵衛(印)→矢代村名主衆中	文化9申年正月17日	横切紙・1通	え 4432-21-8
覚(金1両1分、申年貢金のうち利足受け取り) 八田嘉右衛門内嶺村吉兵衛(印)→矢代村名主安左衛門殿	申3月28日	横切紙・1通	え 4432-21-9
覚(金1両、申年利足金受け取り) 八田嘉右衛門内嶺村吉兵衛(印)→矢代村名主安左衛門殿	酉4月24日	横切紙・1通	え 4432-21-10

1.8.9 根津村

柵津村御用之節入用覚(柵津村泊宿銭茶代3朱ほか入用差引書) 良右衛門	天保8年酉5月	折紙/(え 4376-1~22は紙縫一括)・1通	え 4376-4
------------------------------------	---------	--------------------------	----------

1.8.10. 東条村

覚(東条村西山20度・歩行7度、虫哥御安平9度・かち7度ほか)		横切継紙/(え 4427-1~37は紙縫一括)・1通	え 4427-35
(包紙) * (包紙上書)「東条村北組萬山高附 並所附名主 仁左衛門殿よりふみ 享和元年丙十二月 金二両一分 発当懸戻 内一分会料遣」		包紙/(え 4452-1~17は紙縫一括)/(え 4452-7-2~4は包紙一括)・1点	え 4452-7-1
(皆神山東平の高12斗5升7合5勺並びに代金18両の書上) 売主河野金弥	正徳3年巳7月29日	切紙・1通	え 4452-7-2

東条南組山高覚(草山御年貢1表2斗7升5合など書上)		切紙・1通	え4452-7-3
草山高(嘉平太分前山東6升5合ほか4件の村持草山高書上) 仁左衛門→民弥様	12月	横切紙・1通	え4452-7-4

1.8.11. 西条村

(西条村之分高2石1斗4升4合・本口粉4俵3斗4升8合ほか書付)		半/(え4441-1～39は紙縫一括)・1通	え4441-1
----------------------------------	--	------------------------	---------

1.8.12. 中条村

覚(残金13兩余有所中条村5兩余ほか4ヶ村来る正月申詮議のこと) 関田莊助→八田嘉右衛門様	酉12月晦日	横切継紙/(え4454-1～22は括り紐一括)・1通	え4454-14
---	--------	----------------------------	----------

1.8.13. 荒町

覚(大麦3俵戌御年貢慥かに受け取りに付) 荒町肝煎仁兵衛(印)→八田孫左衛門殿	享保15年戌8月18日	小切紙/(え4373-1～32は紙縫一括)/(え4373-1～28は紙縫一括)・1通	え4373-16
---	-------------	--	----------

1.8.14. 練光寺

(去寅年の光徳院役代傳兵衛役高に付下田4反2畝21歩・高4石6斗9升7合) * (端裏書)「西九月十二日良右衛門罷越写来ル 練光寺江納高ニ付高違此度御代官所書わき」		堅紙・1通	え4452-9
--	--	-------	---------

1.8.15. その他

覚(堤入料差引5町引き請け書付)	申極月	横切継紙/(え4386-1～30は紙縫一括)・1通	え4386-7
(書状、吉田村より白米2石5斗持参につき金9兩1分余相払い、追って金子御廻し願う旨) (岡野)陽之助→(八田)嘉助様内用	11月27日	横切継紙/(え4420-1～46は紙縫一括)・1通	え4420-40
(書状、白米2石5斗八田様まで相贈り残金9兩1分この者に御貫度願う旨) 吉田村重吉→岡野様御内樋村勇助様	11月27日	横切紙・1通	え4420-43-1
覚(白米2石5斗金9兩1分余受取) 吉田村重三郎代十之助→岡野陽之助様御内樋村勇助様	申11月27日	横切紙・1通	え4420-43-2
(書状、押田表地所請け戻しの儀御手紙の趣承知ご尤至極に存じの旨) * (包紙上書)「八田孫左衛門様要用坂爪九郎兵衛」/(包紙裏書)「早々御届披成可被下候奉頼候」	正月23日	横切継紙/(え4428-1～5は紙縫一括)・1通	え4428-3
(佐久郡長者原の草野新田仕立方に付) * (端裏書)「鑄物師屋村宮坂善左衛門方より承置書記置申候」		横切継紙/(え4430-1～6は紙縫一括)/(下げ札あり)・1通	え4430-3

覚(高7斗7合・代金9両ほか2件、徳左衛門畑上納メ12石2斗6合6勺・代金24両3分書上)		折紙/(え4452-1~17は紙縫一括)・1通	え4452-15
(書状、仰付の福岡新田済口写及びオットセイの書の写差上にて御落手下されたきに付) 啓十郎→嘉右衛門様尊下	8月12日	横切継紙・1通	え4452-16
覚(木立分米4斗7升4合・代金8両ほか2件書上) 徳之十→又右衛門様	辰9月	横切紙・1通	え4452-17
(新田久ノ本下田10歩・取1升5合ほか五日町新田田地書上) * (端裏書)「五日町田方」		横切継紙/(え4453-1~13は紙縫一括)・1通	え4453-2

1.9. 小作年貢滞り出入一件

1.9.1. 中野質地一件

(松代町喜左衛門・伊兵衛より中野村彦兵衛・彦之丞への質地滞り出入り済口に付)		横切継紙/(え4444-1~25は紙縫一括)/(え4444-18-1~2は巻込一括)・1通	え4444-18-1
--	--	---	------------

1.9.2. その他

(①書状、願書差し出し今日まで沙汰無く又々催促に付、②「乍恐奉願口上之覚」(静岡村・蓮村質地并作徳滞一件御吟味願)) ①長左衛門・平兵衛→傳兵衛様当用無異、②松代伊勢町願人傳兵衛煩に付代平兵衛・差添人長左衛門→御役人中様	①6月16日認置、②6月15日	横切継紙/(え4431-1~17は紙縫一括)・1通	え4431-5
--	-----------------	---------------------------	---------

1.10. 材木方

(中嶋三右衛門様の下働きにて妻科村才薪木御伐出しの元帳并当座付込帳の差出しに付)		横切継紙・1通	え4410
覚(もち粉・桑苗千本・杉苗6千本・人足掛など金8両3分3朱受取) 喜左衛門	西3月18日	横切継紙/(え4419-1~12は紙縫一括)/(え4419-1~10は巻込一括)・1通	え4419-1-1
覚(上苗・中苗・下苗メ5980本代29貫609文書付) 喜左衛門	3月16日	横切継紙・1通	え4419-1-2
覚(粕1匁ほか駄賃メ1両300文この者に御渡し願う) 八丁正九郎(印)→八田様御内喜左衛門殿	西3月7日	横切継紙・1通	え4419-1-3
(種初代48匁外メ金2両2分この者にお渡し願う) 八丁正九郎→八田様御内喜左衛門様仕切代入	3月5日	横切継紙・1通	え4419-1-4
口演(杉苗御入用につき本数何様急ぎ御返書を願う) 八丁(㊦)より→八田様御内喜左衛門様当用	3月7日	横切継紙・1通	え4419-1-5
口上(杉苗上・下都合1300本受取の旨、跡注文は根干しにては悪しくなり急ぎ植え付けのこと) 八丁(㊦)→松代菊屋喜左衛門様用書	3月10日	横切継紙・1通	え4419-1-6
覚(杉苗下200本・中150本・上150本など送り状)		横切継紙・1通	え4419-1-7

1.内方/10.材木方

覚(杉苗上300本・中450本・下400本送り状) 八丁(㊥) →幾久屋喜左衛門様	3月12日	横切継紙・1通	え4419-1-8
覚(大上苗1040本今日送り、明後日上・中・下苗取り合 わせ送る) 八丁(㊥)→幾久屋喜左衛門様	3月13日	横切継紙・1通	え4419-1-9
覚(杉苗上1840本ほか中・下苗メ5230本代金4両3分の うち今日下苗1740本送り、代金は馬主へお渡し願 う) * (端裏書)「差送り書也喜左衛門殿買入内代相渡 候差引書」 八丁(㊥)→八田様御内喜左衛門様	3月15日	横切継紙・1通	え4419-1-10
覚(大豆代金8両余から杉苗代金7両余差引支払いのこ と) 八丁(㊥)→八田様御内喜左衛門様	3月27日	横切継紙・1通	え4419-7
覚(長7尺扣木5本代332匁ほかメ732匁勘定書) 当町散司→喜左衛門様	西4月	横切継紙・1通	え4419-8
覚(散次殿扣木代732文ほか杉苗植え付けに付書上) 喜左衛門	4月24日	横切継紙・1通	え4419-9
覚(真木99駄四束代金3両1分余御下げ金願い) 喜左衛門	3月28日	横切継紙・1通	え4419-10
覚(大豆代金など差し引き金1両3分2朱御下げ金願い) 喜左衛門	4月14日	横切継紙・1通	え4419-11
(大豆代金8両余ほか金12両御下げ金願い) * (端裏 書)「西四月廿四日喜佐衛門江渡金差引書」 喜左衛門		横切継紙・1通	え4419-12
(鬼無里村薪才木伐出につき善光寺後町村深美甚十郎 ・高田御領分関川宿大石清右衛門出府中入用引訳訴 訟一件) * (端裏書)「薪才木書取」		横切継紙/(え 4421-1~11は 紙繕一括)・1通	え4421-9
乍恐以書付済口奉願上候(去巳年伊勢町市兵衛より同 町中川太左衛門へ材木代金売掛滞り済口一札) →御奉行所	年号月日	横切継紙/(え 4435-1~15は 紙繕一括)/(え 4435-5-1~2は 巻込一括)・1通	え4435-5-1

1.11. 通船方

(書状、尊宅に推参種々馳走の礼、川端通船の儀町方役 所より倉ヶ野積問屋に付) * (包紙上書)「信州松代 八田嘉右衛門様貴下 小泉市左衛門」/[印「自上州高崎」] 小泉市左衛門→八田嘉右衛門様貴下	文月22日	横切継紙・1通	え4404-5
(書状、津田氏参向の供にて推参の礼、川筋通船必要の 事に付) * (包紙上書)「信州松代八田嘉右衛門様貴下」/ (包紙裏書)「柴田彦太郎」 柴田彦太郎→八田嘉右衛門様 貴下	7月22日	横切継紙・1通	え4404-6

1.12. 金融

1.12.1. 借入金・預り金

(書状、金子利分貰いたきに付) (出浦)右近→(八田)辰 三郎様	12月29日	横切紙/(え 4211-1~21は 一綴)・1通	え4211-15
(書状、先刻差上の趣に付) (出浦)右近→(八田)辰三郎 様内用	12月29日	横切継紙・1通	え4211-16

(書状、預り置きの子の金4兩使いたきに付) (出浦)右近	28日	横切紙・1通	え4211-17
覚(元金の内金4兩受取証) 出浦右近(印)→八田辰三郎様	天保3辰年12月29日	横切紙・1通	え4211-18
覚(2兩1分2朱と銀1匁5分受取勘解由方に差遣わしに付) (出浦)右近(印)→(八田)辰三郎様	天保3辰年12月	横切紙・1通	え4211-19
覚(利分金4兩受取書) (出浦)右近(印)→(八田)辰三郎様	天保3辰年12月	横切紙・1通	え4211-20
(書状、金3兩1分1口24文ほど受け取り、後刻右の金子 去年中の切手共遣わすに付) 弥兵衛→嘉介様	27日	横切継紙/(え4373-1~32は紙縫一括)/(え4373-1~28は紙縫一括)・1通	え4373-19
(書状、去年中の16兩2分の切手のほかに3兩2分×20兩 預りの切手遣わされる旨) * (包紙上書)「午年利金 清須町」 弥兵衛→嘉介様	27日	横切継紙・1通	え4373-20
覚(文金67兩御預証文江戸より差し遣わすにつき) * (包紙上書)「覚」 祿津数馬(印)→小林喜清次殿	巳5月19日	横切紙/(え4373-23-1~2は一括)・1通	え4373-23-1
(書状、数馬方には厚志の段相達し当座覚書仰せ越され るに付、宛所小諸の仁の名失念に付) 才治郎→源 左衛門様	5月19日	横切継紙・1通	え4373-23-2
(右の金子旦那方抛ん所なく入用につき八田孫左衛門 無心借用いたし来る霜月上旬元利返済の旨) * (裏書)「表書之通返済之儀相違有之間敷候以上 祿津甚 平」 杉田九左衛門・山岸文大夫・金井藤助、(奥書)青木五 郎兵衛		縦紙/(え4374-1~35は紙縫一括)・1通	え4374-13
(高田表より下の方穿鑿金子才覚については御上御名 題御借入金証文等の文言写し)	10月	横切継紙・1通	え4374-27
御内々奉伺候口上之覚(今年御上御借入金御不都合に つき金5千兩御借入に付ほか) * (端裏書)「下案 八 田嘉右衛門」 八田嘉右衛門→綿貫五郎兵衛様	10月16日	横切継紙/(え4375-1~17は紙縫一括)/(え4375-13-1~5は括り紐一括)・1通	え4375-13-4
預申金子手形之事(金62兩2分借用、明丑年より金8兩 永125文宛申年まで8ヶ年にて返済) * (端裏書)「子 年」 預主八田競、請人八田鉄次郎・義兵衛	宝暦6年子5月	縦紙/(え4379-1~26は紙縫一括)・1通	え4379-15
証(金300円借用、来17年1月中元利返済に付) 八田知 道(印墨消)・八田彦次郎(印墨消)→上高井郡井上村坂本龜 之助殿	明治16年12月15日	縦紙・1通	え4379-25
借入金證書(金300円借用、明治16年1月より同23年1月 まで1ヶ月金3円75銭宛毎月4日限り返済に付) 埴科郡松代町借主八田知道(消印)・受人八田彦次郎(消印) →講員惣代玉井繁之助殿・堀内莊作殿・高久清作殿	明治15年12月7日	縦紙/(赤色罫紙13行)・1通	え4379-26
覚(金84兩借用証文墨消) 八田嘉助→池田・半田・入・春日		横切紙/(え4381-1~11は紙縫一括)・1通	え4381-3
覚(金21兩借用証文墨消) 八田嘉助→岡嶋御代中様	嘉永4亥年正月	横切継紙・1通	え4381-4
覚(金350兩借用証文断簡)		小切紙/(え4382-1~19は紙縫一括)・1通	え4382-4

1.内方/12.金融/1.借入金・預り金

(書状、私拝借金上納方忠蔵殿・平三郎殿へ御問合せを願う旨)		横切継紙/(え4384-1~51は紙縫一括)・1通	え4384-17
借用申金子之事(金300両借用証文控、利足1割、来西霜月上旬勘定、私居屋敷表口17間余が抵当) 松城預り主八田孫左衛門→勢州原尾村佐藤惣兵衛殿・勢州椿世村増田喜右衛門殿・勢州住山村若林庄兵衛殿	元文5庚申年極月	堅紙/(え4385-1~18は紙縫一括)・1通	え4385-3
建物書入質証文(金846円50銭、酒造蔵1棟店付き、土蔵1棟同断など書き入れにて借用) 第13大区4小区松代寺町2番地八田宗益郎、請入豊田傳兵衛→第14大区7小区更級郡石川村南澤源之助殿	明治9年4月	堅紙/(え4385-18-1~2は紙縫一括)/(赤色罫紙13行)/(版心)「北第十三大区四小区」・1通	え4385-18-1
建物書入質年賦証書(金200円、寺町2番地のうち屋敷315坪ほか質入れにて借用) 第13大区4小区埴科郡松代寺町2番地八田宗益郎、豊田傳兵衛→第14大区7小区更級郡石川村南澤源之助殿	明治9年4月	堅紙/(赤色罫紙13行)/(版心)「北第十三大区四小区」・1通	え4385-18-2
覚(金26両余受取高から丑利足金返上分など差引金14両御渡し願ひ) 善兵衛	丑12月26日	横切継紙/(え4386-1~30は紙縫一括)・1通	え4386-10
(書状、水井公利足受取、別紙請取切手差上げるに付)→(八田)慎蔵様御請	11日	横切紙/(え4387-1~33は紙縫一括)/(え4387-10-1~2は巻込一括)・1通	え4387-10-1
覚(水井収之助殿御取替金午未利足金5両2分2朱受取書)堀内壮治(印)→八田慎蔵殿	明治5申年2月11日	横切紙・1通	え4387-10-2
覚(去々酉3月中御預け金70両のうち伊勢町分金40両・元利受け取りに付) 坂原兵左衛門(印)→八田孫左衛門殿	安永8年亥4月	横切紙/(え4390-1~24は紙縫一括)・1通	え4390-4
覚(金50両松代八田嘉右衛門様御送り金預かり証文) 巳之作→飯山大和屋三四郎様	亥正月22日	横切継紙/(え4390-20-1~4は紙縫一括)・1通	え4390-20-3
覚(金20両、御頼みにつき預かり貸出金に取計い置く旨) 八田嘉右衛門役代松代町(墨消)菊屋傳兵衛(墨消)→善光寺町おてる殿	天保10亥年12月	横切継紙・1通	え4411
借財調(貯積数口ノ元金515円勘定)	(明治)17年12月	半/(え4416-1~24は紙縫一括)・1冊	え4416-19
(銀行600円ほか返済金20年賦勘定書)		横切継紙・1通	え4416-24
覚(金7両2分、当酉御利分受け取り) 堀内太一郎(印)→八田嘉助殿	12月	横切紙/(え4427-1~37は紙縫一括)・1通	え4427-5
(①書状、金御送り下され落手の旨、②覚(金36両ほか利足金落手の旨)) 金児丈助(印)→八田嘉助殿	弘化3年12月	横切継紙・1通	え4427-7
覚(金5両2分余、当申利分頂戴に付) 片桐庫之助(印)→八田嘉助様御取次中様	嘉永元申年12月	横切紙・1通	え4427-12
覚(金53両余、1月2月中御引替元利受け取り) 水井忠蔵(印)→八田嘉助殿	8月4日	横切紙・1通	え4427-23

覚(金6両、当靱負殿御預け金利分当丑年分受け取り江戸表へ差し出しの旨) 中嶋三右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	文政12丑年12月	横切紙・1通	え4427-26
覚(金36両、当申600両のうちの利ほか2件利足受け取り) 金児丈助(印)→八田嘉助殿	嘉永元年申12月	横切継紙・1通	え4427-30
覚(寅12月より卯4月迄元利304両余、御取替金のうち御返金受け取り) 水井忠蔵(印)→八田嘉助殿	天保14卯年5月4日	横切紙・1通	え4427-31
借用年譜證文之事(金25両借用證文案文) いせ町傳兵衛・栄八・立入人兩人		縦紙/(え4435-1~15は紙縫一括)/(虫損甚大)・1通	え4435-12
覚(金10両借用に付) 八田本之進→栄八殿	天保11子年11月28日	横切継紙/(え4437-1~24は紙縫一括)・1通	え4437-17
覚(預かり金10両請取に付) 八田嘉右衛門→大嶋磯右衛門殿	天保13年寅12月	横切紙/(え4441-1~39は紙縫一括)・1通	え4441-33
覚(当申年利分金33両請取に付) 大嶋武左衛門(印)→八田嘉右衛門殿	文政7申年12月	横切継紙/(え4451-1~25は紙縫一括)・1通	え4451-6

1.12.2. 貸付金

(包紙) * (包紙上書)「友野殿手紙入 五月廿四日」	卯5月21日	包紙/(え4373-1~32は紙縫一括)/(え4373-1~28は紙縫一括)・1点	え4373-1
(包紙) * (包紙上書)「八田嘉助様 友野八三郎」		包紙/(え4373-1~4は包紙一括)/(え4373-2-1~4は包紙一括)・1点	え4373-2-1
(書状、内々御頼みの義今日伺い仕るべき哉に付) 友野八三郎→八田嘉助様	5月17日	横切紙・1通	え4373-2-2
(書状、今日恩借り5両残り、またまた5両御口合恩借り下され忝くに付) 八三郎→(八田)嘉助様	5月24日	横切継紙・1通	え4373-2-3
(書状、筆紙御礼申し立ちがたくこの度の御事忝き次第に存じる旨) 友野八三郎→八田嘉助様	5月23日	横切継紙・1通	え4373-2-4
(書状、今般八三郎出府につき金子無心御心入れの段忝く次第に付) * (包紙上書)「八田嘉介様 樋口弥兵衛」 弥兵衛→嘉介様	5月22日	横切継紙・1通	え4373-3
(書状、御相談下され金子10両元利とも当暮粉にてなるとも金子にてなるとも有り丈返金仕る旨) * (包紙上書)「嘉助様 八三郎」 八三郎→(八田)嘉助様	5月19日	折紙・1通	え4373-4
(書状、御目見え近日のうちに仰せ付けられる御内意あり仕度など一切埒明かず金1両御恩借り願う旨) 増田鉄五郎→八田孫左衛門様	11月8日	横切継紙/(え4373-5-1~2は紙縫一括)・1通	え4373-5-1
覚(文金1両御借り申す、当暮御切米下され次第御返金仕る旨) 増田鉄五郎(印)→八田孫左衛門様	元文3年午11月8日	縦紙・1通	え4373-5-2

1.内方/12.金融/2.貸付金

(書状、先日松之介母御無心の通り御家継の御祝儀献上につき文金2両2分御借り願う旨) 樋口弥兵衛→八田孫左衛門様	3月6日	横切継紙・1通	え4373-8
覚(金2両慥かに受け取り、9月・10月のうち返済の旨) 矢部源衛門(印)→八田孫左衛門殿	酉7月2日	小切紙・1通	え4373-9
(包紙)		包紙/(え4373-11-1~5は包紙一括)・1点	え4373-11-1
覚(卯1月御扶持米のうち玄米6斗寅暮餅米代として御勝手次第御受取の旨) 中村周庵(印)→八田嘉助殿	卯ノ10月14日	横切紙・1通	え4373-11-2
(書状、御頼み置き利金8両忝き次第受け取りに付) 樋(口)弥兵衛→八(田)嘉介様	12月3日	横切継紙・1通	え4373-11-3
借入金之覚(文金13両2分借用仕り、春中急度田地書入証文仕る旨) 中川金三郎(印)→八田嘉助様	元文4年12月29日	横切継紙・1通	え4373-11-4
(おりつ持参金古金20両慥かに受け取り、万一不縁には右金子返進の旨) 大瀬又右衛門(印)→岡野甚十郎殿	元文元年丙辰11月23日	縦紙・1通	え4373-11-5
(包紙) * (包紙上書)「嘉助様 八三郎」		包紙/(え4373-12-1~3は包紙一括)・1点	え4373-12-1
(書状、紙面の趣海山々々筆紙御礼申しがたく忝き次第に存じに付) 八三郎→(八田)嘉助様	12月28日	折紙・1通	え4373-12-2
(書状、参るを以て御礼申し達すべきところ引き込み故その儀に能わず略儀ながら右御礼の旨) 友野八三郎→八田嘉助様	12月28日	横切継紙・1通	え4373-12-3
(包紙) * (包紙上書)「八田孫左衛門殿 赤沢七郎右衛門」		包紙/(え4373-14-1~3は包紙一括)・1点	え4373-14-1
覚(文金20両急入用につき時借り、来る正月中返済の旨) 赤(沢)七郎右衛門(印)→八田孫左衛門殿	元文3年12月16日	横切紙・1通	え4373-14-2
(書状、頼み入れの一物たつてを以て御持参過分に存じの旨) 七郎右衛門→孫左衛門殿	12月16日	横切紙・1通	え4373-14-3
覚(御例米2俵御恩借り慥かに受け取り、近日御扶持次第急度返上の旨) 松本九郎左衛門(印)→八田孫左衛門様	申5月2日	横切紙・1通	え4373-15
(封紙) * (封紙上書)「丑六月十七日金三拾両切手入 柳田久助殿」		封紙/(え4373-18-1~3は包紙一括)・1点	え4373-18-1
覚(金子30両慥かに受け取りに付) 柳町久助(印)→八田嘉助殿	丑6月17日	横切紙・1通	え4373-18-2
(書状、手形は残金下された節に遣わすにつき) 柳町久助→八田嘉助様	6月17日	横切継紙・1通	え4373-18-3
①(書状、左の通り頼み入り一存にて来月中出来の義に付)、②覚(金3両急借り仕り来たる5月中急度返進の旨) ①入弥左衛門→八田孫左衛門様、②入弥左衛門(印「克營」)→八田孫左衛門殿	①辰4月2日、②4月2日	横切継紙・1通	え4373-22
(書状、御無心の一物御才覚古金4両時借り受け取りに付) * (包紙上書)「八田嘉助様 矢嶋文次郎」 矢嶋文次郎(印)→八田嘉助様	辰ノ12月14日	横切継紙・1通	え4373-25

乍憚申上候(こんや町六兵衛殿口入れにて八田様より 材木代1両借用証文) 代村由右衛門→小林喜清次様	8月27日	横切紙・1通	え4373-26
口上覚(御勘定所不足引当として金50両借用の旨) *(端裏貼紙)「吉村嘉右衛門拝借証文致請印色々ニ付頼候 一札 寛政五丑十二月廿日」 廣田筑後代吉村(八田)嘉右 衛門(印)・同嘉吉(印)→八田孫左衛門殿	寛政4年丑(マ)12月	堅紙/(え 4374-1~35は 紙縫一括)・1通	え4374-19
覚(抛ん所なき要用につき金5両、1両1ヶ月5分2厘にて当 月下旬まで借用) 長岡助右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	天保2卯年7月	堅紙・1通	え4374-31
(書状、与兵衛在命中拝用いたし金30両余御差引に付) *(端裏書)「寅正月八日来状 金子入」 主計→(八田) 嘉右衛門様	正月8日	横切継紙/(え 4379-1~26は 紙縫一括)/(青 色罫線)・1通	え4379-3
證(金100円借用、本年12月25日限り利息年1割2分) 岡野元賢(印)→八田知道殿	明治12年3月14日	堅紙・1通	え4379-7
預り申金子之事(金70両借用、去戌8月満水にて家財屋 敷流失につき店相続出来兼ね、年1割3分1年に金9両 銀6匁宛10ヶ年にて返済) *(包紙上書)「金七拾兩 若林庄兵衛・佐藤宗兵衛 右かし年賦金證文」/(包紙裏書)「 丙子九月改」 預り主若林庄兵衛(印)・佐藤宗兵衛(印)→ 八田喜右衛門様・八田加助様	寛保4年子2月	堅紙・1通	え4379-10
借用申一札之事(金3両借用、返済は来8月中利足は世 間並にて勘定) *(包紙上書)「證文 戸隠山宝蔵院」 戸隠山宝蔵院(印)→松城八田嘉助様	宝暦4戌年10月9日	堅紙・1通	え4379-13
(包紙) *(包紙上書)「丑四月 龍行寺様へかし金証文入」		包紙/(え4380-1 ~20は紙縫一 括)・1点	え4380-9
(金50両拝借証文断簡)	12月29日	横切継紙/(え 4382-1~19は 紙縫一括)・1通	え4382-15
(書状、迎も年内御返金出来兼ねる旨)		横切継紙/(え 4383-1~49は 紙縫一括)/(虫 損)・1通	え4383-7
利足払		横切紙・1通	え4383-29
覚(辰利金6両受取) 小野喜太右衛門(印)→宇佐美清十郎 殿	辰12月26日	横切紙/(え 4385-1~18は 紙縫一括)・1通	え4385-10
覚(分金40両借用証文) *(包紙上書)「覚 青木五郎兵衛 様 金かし證文」 青木五郎兵衛(印)→八田孫左衛門殿	元文2年巳12月日	堅紙/(虫損甚 大)・1通	え4385-17
(書状、茶杓引当にて金3両御恩借りを願う) *(包紙 上書)「嘉右衛門様内用 縫殿助」 縫殿助→(八田)嘉右衛 門様	12月29日	折紙/(え4386-1 ~30は紙縫一 括)・1通	え4386-3
(金12両2分13年賦、酉年より返済に付)		横切継紙・1通	え4386-6
(瀬戸川村金20兩利証文ほか古証文書付) *(端裏書) 「[]外瀬戸川証人参り次第入可申候」	未4月15日	横切紙/(虫損 甚大)・1通	え4386-8
(書状、司馬殿御用示村方借りに付) 柴丁→いせ町様御 用事	7月2日	横切継紙・1通	え4386-16
(書状、約束の金子この者へ御渡し願う) 甚右衛門→ (八田)嘉右衛門様	9月5日	横切継紙/(え 4386-18-1~2 は紙縫一括)・1 通	え4386-18-1

1.内方/12.金融/2.貸付金

覚(金1両2分借用、脇差身差置く、当午12月中返上に付) * (端裏貼紙)「午9月貸付 金壹両貳分 関口甚五右衛門様」 関口甚五右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	寛政10年午9月	横切継紙・1通	え4386-18-2
(書状、御無心の段御承知について茶杓来暮迄御預けに付) * (端裏書)「明朝御返事取ニ参申候」 縫殿助→(八田)嘉右衛門様内用	12月29日	横切継紙・1通	え4386-26
(書状、先達てよりの金2両のうち1両御借りありがたく、別切手差上げるにつき御落手の旨) 本之進→伊勢町様切手添歎願申上	正月15日	横切継紙/(え4387-1~33は紙縫一括)/(え4387-12-1~2は巻込一括)・1通	え4387-12-1
覚(金1両受取書) 八田本之進(印)	申正月15日	横切紙・1通	え4387-12-2
(書状、年賦御割合午未両年分御下げ金、御藩札歩増にて御下げ金願う旨) 善三郎・甚右衛門→(八田)慎蔵様申上	2月25日	横切継紙・1通	え4387-22
(100両うち67両余元利返済残り32両余勘定書)		小切紙/(え4389-1~50は紙縫一括)・1通	え4389-1
覚(金15両御口入れに椒付大小1通慥かに預かりに付) 八田嘉助→澤守禮殿	天保4巳年10月	横切紙・1通	え4389-31
(書状、御返済の儀は日限あり何時にても御返納のこと) 升之助→数馬様	朔日当賀	横切継紙・1通	え4389-47
(書状、兼ねて頼みの金子明日持参下される様願う旨)		横切紙・1通	え4389-48
御預り申金子之事(金9両受け取り、来る9月中急度返済のこと) 西馬屋村弥五兵衛(印)→さくや清六殿	寛保2年戌7月24日	横切紙/(え4390-1~24は紙縫一括)・1通	え4390-5
覚(金2両利足2割にて来る寅の種前金に借用にて元利とも種納のこと) 柴村借り主喜右衛門(印)→菊屋太七殿	宝暦7年丑12月	横切紙・1通	え4390-6
時借申書付之事(金35両時借、当無尽御差引の節急度返上のこと) * (端裏書)「文化十一戌年十一月 金三拾五両 工藤佐一兵衛殿印書」 上丸子村工藤左一兵衛(印)→松代いせ町傳兵衛殿	文化11年戌11月26日	横切紙/(虫損)・1通	え4390-7
覚(金8両拝借、返金は当12月20日元利返上、引当として30日玉鉄砲身筒4挺などメ6挺のこと) * (端裏貼紙)「文化十三子年六月金八両 片井喜太郎」 片井喜太郎(印)→八田嘉右衛門様	文化13年子年6月	横切紙・1通	え4390-13
覚(金3両御時借につき来月5日限り返上のこと) * (端裏貼紙)「申七月廿一日金三両 大嶋太右衛門殿江取替印証 瀬原田村添書頼手紙有」 大嶋太右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	申7月	横切紙・1通	え4390-16
覚(金3両2分2朱借用書) * (端裏書)「金三両貳分式朱樋口民衛様」 樋口民衛(印)→八田嘉右衛門殿	寛政12申年5月朔日	横切紙・1通	え4390-18
覚(金40両万延元年12月御利足堀内氏・駒村氏御代判をもって受取) 忠治	西3月	横切継紙/(え4390-23-1~3は紙縫一括)・1通	え4390-23-1
覚(金5両受取堀内市三郎・金6両受取駒村佐十郎書付)		横切紙・1通	え4390-23-2

覚(品々御差引御取替金59両うち4両12月中御差引にて受取ほか勘定書) 忠治	西3月	横切継紙・1通	え4390-23-3
(書状、割合扣帳并内借等相調べ御熟談願う旨) 田中→伊勢町様	菊月11日	横切継紙/(え4393-1~22は紙縫一括)・1通	え4393-16
(書状、70両の御手形は昨日御同姓へ差上げたに付) (八田)嘉助→芳三郎様 別紙入	7月9日	横切継紙/(虫損)・1通	え4395-21
(包紙) * (包紙上書)「八田嘉輔様侍右 唐澤孝左衛門」		包紙/(え4400-11-1~4は包紙一括)・1点	え4400-11-1
(書状、山極氏への貸金返済につき未陽に至り私儀及ばずながら立ち入り返金の旨) 唐澤孝左衛門→八田嘉輔様侍右	11月25日	横切継紙/(虫損)・1通	え4400-11-2
(書状、山極氏金談の儀委曲承知の旨)		横切継紙/(虫損)・1通	え4400-11-3
(断簡)		横切紙/(虫損)・1通	え4400-11-4
(書状、八田方には咄も成りがたく、盆前に御返金下され様の旨) * (端裏書)「清算金渡辺武左衛門へ当候返書下案 戊六月三日」	6月3日	横切継紙/(え4403-1~16は紙縫一括)・1通	え4403-1
覚(金1両、臨時差し縣りにつき御借用願い受け取り一両日中に御返上の旨) 東条村清兵衛(印墨消)→(笠井)和七様	子年7月10日	横切紙・1通	え4403-10
覚(金1分3朱銀2匁5厘借用、来丑正月15日返済の旨) 十人町富吉→傳兵衛様	子12月3日	横切紙・1通	え4403-13
覚(金5両、御持合金のうち正金受け取り、利分の儀外より御借入同様相違無く御勘定の旨) 原半之丞・八田本之進(印)→嘉吉殿	安政4年巳12月	横切紙・1通	え4403-14
覚(借入金267両余のうち御損毛高残り金99両余に付無利足長年賦などにて返済の旨) 窪田小右衛門(印)・長谷川源四郎(印)→八田嘉右衛門殿	文化14丑年[]月	横切継紙/(虫損甚大)・1通	え4405
借用仕年賦金證文之事(下書、当丑年より12月10日限りにて返上、引当は重左衛門屋敷に付) 荒神町御借主幸藏・同重左衛門・同組合たれ・同——・新御安口請人彦弥・—— → ——様御内	文化14丑年10月日	横切継紙/(え4416-1~24は紙縫一括)・1通	え4416-4
覚(小森村23両分ほか3ヶ村ノ89両2分竹山町御口入にて当暮取立返済の旨) * (包紙上書)「四ヶ村江口入金有所付関田御氏御印書一通 申八月」 関田庄助(印)→八田嘉右衛門殿	寛政12申年3月	堅紙・1通	え4416-5
借入金證文(金565円、利息年7匁、抵当松代町1108番地宅地遺家2棟、明治22年12月25日限り) 埴科郡松代町借主岡野元賢・証人親類師岡重脩・同同鈴木重庸→埴科郡松代町八田知道殿	明治18年1月8日	堅紙/(22行赤色罫紙)・1通	え4416-20
借入金證書(金270円、利息年1割2歩、抵当第六十三銀行株券9葉、12月25日限り) 埴科郡松代町借主岡野元賢(印)・証人親類師岡重脩→上高井郡小布施町高津甲七殿	明治17年2月17日	堅紙/(26行赤色罫紙)・1通	え4416-21
借入金證書(金270円、利息年1割2歩、抵当第六十三銀行株券9葉、12月25日限り) 埴科郡松代町借主岡野元賢印・証人親類師岡重脩印→上高井郡小布施町高津甲七殿	明治17年2月17日	堅紙/(22行赤色罫紙)・1通	え4416-22

1.内方/12.金融/2.貸付金

借用金證文(金565円、利息年7匁、抵当松代町1108番地宅地遺家2棟、明治22年12月25日限り) 埴科郡松代町借主岡野元賢・証人親類師岡重脩・同同鈴木重庸→埴科郡松代町八田知道殿	明治18年1月8日	堅紙/(え4416-23-1~2は綴一括)/(22行赤色罫紙)・1通	え4416-23-1
別番絵図面(埴科郡松代町1108番地建物) 埴科郡松代町817番地建物売主岡野元賢→埴科郡松代町八田知道(朱書・墨棒線消)殿	明治18年1月8日	横切紙・1通	え4416-23-2
(荒神町喜惣治ほか14町村17名元利返済・取立・年賦など書付)		横切継紙/(え4420-1~46は紙縫一括)・1通	え4420-35
(金105両信濃屋皆納済)		小切紙・1通	え4420-36
(3通ノ338両十八屋皆納済)		小切紙・1通	え4420-37
御答申上(この節元利返済の由、拝借の繰り合わせには御座無く旨) 清十	11月27日	横切紙/(え4422-1~16は紙縫一括)・1通	え4422-3
覚(金500両質物取入元金高に定め置く旨)		横切継紙・1通	え4422-4
覚(七三郎金8両ほか13名ノ金11両2分御借居の分勘定書) * (端裏書)「東条村」		横切継紙/(え4424-1~14は紙縫一括)・1通	え4424-1
(書状、本金42両、利金6両2分に付) [](虫損)→八田嘉右衛門様	12月27(日)	折紙/(虫損甚大)・1通	え4424-2
覚(七三郎金8両ほか13名ノ金49両借用返上勘定書)		横切継紙・1通	え4424-3
覚(半右衛門金2両2分ほか元利金57両御借り継ぎ勘定) * (端裏書)「卯暮差引書」 東条村仁左衛門	卯12月	横切継紙/(下げ札あり)/(虫損)・1通	え4424-4
(仁左衛門金10両ほか4名計18両貸出勘定)	12月28日	横切紙・1通	え4424-8
東条分(与左衛門・又右衛門金5両2分ほか24名勘定書) * (端裏書)「東条」		横切継紙・1通	え4424-9
覚(金10両御返上御切手預かりに付) * (包紙上書)「東条仁左衛門殿拾両切手預り」 仁左衛門(印)→伊七殿	卯12月28日	横切紙・1通	え4424-10
東条(重左衛門金5両ほか25名貸金勘定書) * (端裏書)「東条村調」		横切継紙/(虫損)・1通	え4424-11
覚(金1両2分東条村左五右衛門殿済金のうち請取) 菊屋傳兵衛(印「信苧松城八田」)→東条村仙助殿・差蔵殿	巳7月5日	横切継紙・1通	え4424-12
(金13両仁左衛門ほか計48両余内41両余元金済勘定書) * (端裏書)「東条調書」		横切紙/(虫損)・1通	え4424-13
覚(御返済辻23両余出精差し上げる旨) 東条村仁左衛門→八田孫左衛門様	午12月	横切継紙/(虫損)・1通	え4424-14
覚(金40両本證文1通ほか書付・添證文ノ7通の目録)		横切紙/(え4425-1~17は紙縫一括)・1通	え4425-3
(金210両無利足35ケ年賦1ケ年金6両ツゝ)		横切紙/(え4426-1~35は紙縫一括)・1通	え4426-7
覚(金20両、旦那方にて御用につき借用) * (包紙上書)「證文 酒井兵左衛門殿」 鎌原兵庫内酒井兵左衛門(印「貴重」)→菊屋傳兵衛殿	戌12月10日	横切紙・1通	え4426-13

覚(借入金204両内返済方上野村人別・瀧沢音門ほかメ191両勘定書)		横切継紙・1通	え4426-14
覚(貸出金302両余の受取方金122両余ほか勘定書) *(端裏書)「卯四月五日御差引大調扣」	卯4月5日	横切継紙・1通	え4426-20
覚(元金813両1割5分利分金121両余ほか元金済証文26本御返しに付勘定書)	丑2月21日	横切継紙・1通	え4426-23
覚(金2両、今日御無心の金子のほかに借用願う) 西條村の内新御安口與五郎→万吉殿	文政7申年2月	横切紙・1通	え4426-25
(上野村・青木村源八元利金返済勘定書)		折紙・1通	え4426-26
返金覚(金5両橋詰村奥右衛門・金9両3分上野村三役人ほか4名メ金39両)		横切継紙・1通	え4426-28
覚(金20両、抛ん所なく要用に付借用、返済は来たる7月中相違無く返上) * (端裏貼紙)「文化十二亥五月十八日金貳拾両 平林公」 平林縫殿進(印)→八田嘉右衛門殿	文化12年亥5月18日	横切紙・1通	え4426-35
覚(金70両借用) 水野清右衛門(印)→八田嘉助殿	弘化3午年11月4日	横切紙/(え4427-1~37は紙縫一括)・1通	え4427-2
覚(金5両、寺の絆につき御取替金受け取り) 河内や大蔵→菊屋傳兵衛様	4月22日	横切紙・1通	え4427-9
覚(金74両3分、御内借年賦去申御割合金受け取り) 吉野十助(印)→八田嘉助殿	嘉永2酉年正月12日	横切紙・1通	え4427-14
覚(橋本茂左衛門殿取替金元利のうち金11両余受け取り) 八田喜兵衛(印)→八田嘉助殿	天保13寅年正月	横切継紙・1通	え4427-22
(包紙) * (包紙上書)「信州松城ニ而八田孫左衛門様 坂原何右衛門」		包紙/(え4428-1~5は紙縫一括)/(え4428-5-1~3は包紙一括)・1点	え4428-5-1
(書状、年始御祝儀) 坂原兵右衛門景義(花押)・坂原何右衛門常當(花押)→八田孫左衛門様	2月朔日	折紙・1通	え4428-5-2
(書状、拙者共勝手向難儀仕り金子百目無利足御借り出し下されば取り続きも成るに付御願いの旨) 坂原何右衛門・同兵右衛門→八田孫左衛門様・同喜右衛門様・坂原兵左衛門様	2月朔日	横切継紙・1通	え4428-5-3
(書状、金子60両落手致し古御印証御返却の旨) 八(田)嘉右衛門→依(田)武左右衛門様貴報		横切継紙/(え4429-1~4は紙縫一括)・1通	え4429-1
(包紙) * (包紙上書)「松代 八田嘉右衛門様要用 金子外 壱品添 渡辺武左衛門」/(包紙裏書)「自岩村田宿」		包紙/(え4429-4-1~3は包紙一括)・1点	え4429-4-1
(書状、拝借金年延御承知、書替証文利金1月延引御高免願ひ) 渡辺武左衛門→八田嘉右衛門様	11月28日	横切継紙・1通	え4429-4-2
(書状、書替証文の儀法華堂不幸にて法印忌中故調印成り兼ね延引の旨) * (端裏書)「別希 渡辺」		横切紙・1通	え4429-4-3
(書状、金子繰り合わせ至って時節六ヶ敷に付) * (端裏書)「文政三辰四月二日遺案文」 大石彦四郎様→八田嘉右衛門		横切継紙/(え4430-1~6は紙縫一括)・1通	え4430-6

1.内方/12.金融/2.貸付金

(書状、御借入金200両今日御渡し願う旨) 武左衛門→(八田)嘉右衛門様	2月19日	横切継紙/(え4432-1~31は紙縫一括)・1通	え4432-13
(拝借元金今日御上納に付) 中島→いせ町様	29日	横切紙・1通	え4432-17
覚(元利550両うち御礼金4通144両2分残り405両2分勘定書)		横切紙・1通	え4432-18
(書状、牛島村利金1両2分御時借残金共13両1分余御落掌のこと) 総左衛門→(八田)嘉右衛門様	12月22日	横切紙・1通	え4432-25
(書状、御時借金先日返上の残金11両返上につき御落手のこと) 忠右衛門→(八田)嘉右衛門様金子添	3月22日	横切継紙・1通	え4432-27
(書状、残って1両12匁今日さし、昨日御かしくだされる旨) 野弥より→孫さへもんどの	月日	横切継紙/(え4436-1~19は紙縫一括)・1通	え4436-11
(包紙) 入本治郎→八田孫左衛門様		包紙/(え4437-1~24は紙縫一括)/(4437-11-1~3は包紙一括)・1点	え4437-11-1
(書状、証文相認め御礼に付)	12月23日	切紙・1通	え4437-11-2
覚(金2分御借用申し請取に付) 入本治郎(印)→八田源左衛門殿	宝暦10辰年12月	堅紙・1通	え4437-11-3
覚(かり金20両ほか2筆、金23両2分1貫60文差引下されべきに付) 若林庄兵衛→八田庄七様・同又兵衛様	辰10月27日	横切継紙・1通	え4437-13
(封筒) * (封筒表書)「八田嘉右衛門様 堀内茂一郎 御報」/(封筒裏書)「元金百五拾兩利拾兩 元金八拾兩利金八兩 大島磯右衛門殿より受取印證 戌三月廿七日」		封筒/(え4438-1~30は紙縫一括)/(中身なし)・1点	え4438-5
(書状、江戸表への送金村方より上納のところ半金のみゆえ、来月5日まで金子5両借用仕りたきに付) 太右衛門→(八田)嘉右衛門様密用御書披	7月9日	横切継紙・1通	え4438-11
覚(貸付の元金・利金差引残金8両2分2朱と6匁9分の計算書上)		横切継紙・1通	え4438-14
覚(当午御役金、1両277文受取に付) 東寺尾村親類文右衛門(印)→長岡助右衛門様御役代音松殿	文政5年午2月	切紙・1通	え4438-21
高田より之質物流口(黒柄糸大小1通など刀剣7品預かりにつき)		切紙・1通	え4438-28
(書状、拝借金残金6両は向こう6年にて済切ゆえ、亡父の内借金10両は年賦上納になるとも何卒御勘弁下されたきに付) * (封筒表書)「文政十一子十一月内蔵進殿拾両内借返済方之義ニ付而之紙面 三右衛門様 高信」 信→三右衛門様内用	11月9日	横切継紙/(え4438-30-1~6は袋一括)/(え4438-30-3~6は包紙一括)・1通	え4438-30-3
(書状、御内話の証文見出候ゆえ指上、かつ真田山証文の件も御勘考成されたきに付) いせ町→堅葉様 不及貴答	2月26日	横切継紙・1通	え4438-30-4
覚柳氏差引(部村助左衛門・金3両3分5匁ほか差引金2両2分10匁302文に付) * (端裏書)「安永西壺柳差引」		横切継紙/(え4439-1~40は紙縫一括)・1通	え4439-3

覚(山田氏元利・金6両ほか差引き残金6両1分今日上ルに付) * (端裏書)「西十二月坂本御氏」 坂本彦左衛門	西12月23日	横切継紙・1通	え4439-4
覚(生萱村・元利金3両他差引き残り19両2匁5分今日上納に付) * (端裏書)「坂本御氏戊十二月」 坂本彦左衛門	戊12月28日	横切継紙・1通	え4439-5
覚(山田孫右衛門・金1両ほか差引残金29両1分上ルに付) * (端裏書)「西十二月廿七日惣差引坂本」 坂本彦左衛門	西12月	横切継紙・1通	え4439-6
覚(喜郎次分・金1両3匁ほか差引残金5両3分10匁4分3厘今日上納に付) * (端裏書)「坂本御氏亥暮差引書」 坂本彦左衛門	子正月	横切継紙・1通	え4439-7
①覚(荒神町惣右衛門・1両の利銀2匁ほか差引残金4両5匁不足上納に付)、②覚(上ケ不足・金4両5匁ほか差引残金3両請取に付) * (端裏書)「坂本御氏子ノ暮差引書」	①丑12月、②丑5月	横切継紙・1通	え4439-8
(書状、栗佐村借財手入れ穿鑿の所貸付金あり、手代へお調べの書抜き御見せ下されたきに付) 竹田幾五郎→八田嘉右衛門様	閏8月17日	横切継紙・1通	え4439-12
覚(元金100両・利1両2歩5朱ほかメ金139両5分借入に付) 忠右衛門→(八田)嘉助様	寅12月7日	横切継紙/(え4441-1~39は紙縫一括)・1通	え4441-2
(書状、拝借金御通金に付) 利平→(八田)嘉助様家中衆	27日	横切紙・1通	え4441-13
(書状、旧臘相御返金なく御伺いたきためお越し下されに付) * (下書カ)		横切継紙・1通	え4441-18
(書状、礼分の70両の内より元利上納・調書廻し下されたきに付) 嘉兵衛→(八田)嘉助様	正月12日	横切紙・1通	え4441-31
覚(金3両受け取る所、来月上旬御返上仕るに付) 松本嘉十郎(印)→八田喜兵衛殿	天保5年2月	横切紙/(え4442-1~26は紙縫一括)・1通	え4442-7
(藤屋祐三郎藤野屋へ参り1両3朱払うも見苦しき由をもって金子相返し金子駒田屋引き受ける旨ほか書付)	10月13日	横切継紙・1通	え4442-19
(書状、当節金8両御恩借仕りたき旨他神戸願いの趣御勘弁くだされたきに付) 守之丞→嘉助様	7月9日	横切継紙・1通	え4442-20
口上(辰年中御内借金7両余の所、当年無尽御懸不足の所御差引仕り7両余の御印書返上仕るに付) 慶助→嘉助様	12月26日	横切継紙・1通	え4442-21
(書状、御内借金御返済すべき所、当夏中母死去等により入用多く、申し訳なくも金100疋上納仕るに付)	12月29日	横切紙・1通	え4442-22
覚(御時借金10両ほか金銭差引勘定) * (端裏書)「伊勢町様御差引書」/(挟込差紙)「式拾九匁七分」		横切継紙/(え4442-23に挟込)・1通	え4442-24
(書状、金子1両2分来11月下旬まで拝借願う旨) * (包紙上書)「鍔之助様 御内覧奉願候 忠兵衛」	11月29日	横切継紙/(え4444-1~25は紙縫一括)/(虫損甚大)・1通	え4444-10
(証文御持参金子受取のこと) (八田)嘉助→儀三郎証文入	6月6日	横切継紙・1通	え4444-12
(残り30両は無利足15年譜のこと)		横切紙/(え4444-18-1~2は巻込一括)・1通	え4444-18-2

1.内方/12.金融/2.貸付金

一札之事(青江正真刀1腰ほか質入れにて金3両借用、 来申3月中元利返済に付) * (包紙上書)「青江刀質手 形 未八月」/(中包紙上書)「松本忠左衛門かし金 手形式枚 入」 矢 五郎右衛門(印)→松本正作殿	享保12年末8月13日	折紙/(え4445- 1~14は紙縫一 括)・1通	え4445-14
借入金請取一札之事(武州藍屋仕入れ金に差支え金 200両借用に付) 上丸子村藍屋傳兵衛(印)→八田辰三 郎殿	文政元寅年11月6日	横切紙/(え 4449-1~22は括 り紐一括)・1通	え4449-8
覚(御無心銭金2両借用に付) * (包紙上書)「文政五年 右之者より金式両銭代借印證平林縫殿進殿」 平林縫殿進 殿→八田嘉右衛門殿	文政5午年11月14日	横切紙/(包紙 共)・1通	え4449-10
(祖父嘉右衛門并嘉助借金返上につき抱屋敷差し上げ 返上手段仕り度旨)		横切紙/(え 4450-1~22は 括り紐一括)・1 通	え4450-11
覚(金4両抛ん所なき義に付御恩借、来春中相違無く御 返済の旨) * (端裏書)「済切証文」 関田守之丞(印)→ 八田嘉右衛門殿	文政7申年12月	堅紙・1通	え4450-21
覚(借金41両御返済仕り兼、練光寺を以て田畑を引当 として当巳年暮金35両御恩借に付) * (包紙上書) 「練光寺より頼之筋有之候付 覚 到来紙面」 練光寺(花 押)→八田嘉右衛門様	12月13日	折紙/(え4451-1 ~25は紙縫一 括)・1通	え4451-3
覚(久保寺村及び外鹿谷村の利下手紙相頼みの旨御承 知成し下されたきに付)		切紙/(え4452-1 ~17は紙縫一 括)/(え4452- 8-1~8は巻込一 括)・1通	え4452-8-3
(書状、時貸しの50両のうち20両遣わし申さざるゆえ、 来月20日迄に麦払にても返進申さるべきに付) 与兵衛→孫左衛門殿	16日	折紙・1通	え4452-14
(上小嶋田村辰元利済切金22両證文ほかメ2通御下げ 下されたきに付)		横切紙/(え 4453-1~13は 紙縫一括)・1通	え4453-12
覚(金5両当正月中願い置き金子受取) * (包紙上書)「 文化十三年十二月金五両 覚 関田利左衛門殿江貸」/(包紙 上書朱書)「右者辰三郎方ニ預置候品有之候付済候」 関田 利左衛門(印)→八田嘉右衛門殿	12月	横切紙/(え 4454-1~22は 括り紐一括)/(え4454-1-1~ 3は括り紐一括) ・1通	え4454-1-1
覚(金2両竹山町へ御助成当酉年分受取) 関田庄助(印) →八田嘉右衛門殿	享和元酉年12月27日	横切紙・1通	え4454-1-2
(嘉藤治・茂左衛門滞り分12両余内々にて返済のこと)		横切紙・1通	え4454-8
覚(御平川村治左衛門金50両12年賦返済に付) * (端裏書)「御平川村質地差引」 庄助→嘉右衛門様		横切紙・1通	え4454-9
覚(金46両沢勇氣殿返済分ほかメ51両3分御預かりに 付) 関田庄助(印)→浄福寺御役僧中	享和3亥年12月	横切紙・1通	え4454-10
覚(金65両御取替金のうち受取) 八田嘉右衛門(印)→ 浄福寺様	享和2戌年12月	横切紙・1通	え4454-12
覚(金5両浄福寺御返済金のうち受取、本手形御引替の こと) 八田嘉右衛門(印)→関田庄助殿	享和2戌年11月	横切紙・1通	え4454-13

覚(源八殿御助成分2両ほか、48両余残金1両3分正金にて御渡しのこと)		横切紙・1通	え4454-15
覚(金3分余御返し下さる分御差引勘定書) 庄助→嘉右衛門様	子正月	横切継紙・1通	え4454-16
(書状、御人別にて相認め御覧に入れる旨) 庄助→嘉右衛門様	15日	横切紙・1通	え4454-17
覚(訴訟文13通差し上げ、古証文7通御返し下され、御差引御極め下さる旨) 庄助→嘉右衛門様	丑正月	横切継紙・1通	え4454-18
(小網新田村平左衛門残金20両15年賦願いのこと)		横切継紙/(剥離あり)・1通	え4454-19
覚(梅翁寺金12両ほか御差引仕り子年分通帳にて御借り下さる旨) 庄助→嘉右衛門様	寅正月16日	横切継紙・1通	え4454-20
覚(金58両通付のうち残金18両2分正金にて御渡しのこと) 庄助	12月25日	横切継紙・1通	え4454-21
(書状、金子借用お頼み及び請取書の名面榮左衛門の旨申上に付) * (端裏書)「嘉右衛門司馬」 司馬→(八田)嘉右衛門	11月13日	横切継紙/(え4215-1~53は一綴)・1通	え4215-20

1.12.3. 他家拝借片付け

一札(金2両也、本証文17両のうちへ預かりに付) *(包紙上書)「納印 卯七月廿日借人飛脚相封かし證拠 小妻次郎右衛門本紙入」 京都花山院殿御内此度御使小妻次郎右衛門(印)→佐藤伊兵衛殿・菊屋兵助殿	明和8卯年7月20日夜	縦紙/(え4374-1~35は紙縫一括)・1通	え4374-20
覚(金70両余材木代など合計214両余の取替金の残金147両余来る正月まで返済につき証文) * (包紙上書)「宗右衛門伊兵衛取戻し候本証文」 御拝借主佐藤伊兵衛(印墨消)・同断増田宗右衛門(印墨消)→花山院様御家本庄豊前守様・一色治部様・御口入鈴木安兵衛殿	明和8辛卯年2月	縦紙・1通	え4374-23
覚(去午3月御地頭様御年貢金差し詰まり金300両御無心、残り200両皆済申すべくに付) 高遠弥勒村祖助(印)、(奥書)北原多蔵(印)・矢部通俊(印)→信州八幡村神宮寺領御役僧宗眼寺様・御口入八田喜右衛門殿・代吉野屋宇右衛門殿	安永4乙未年6月6日	横切継紙/(え4379-1~26は紙縫一括)/(虫損)・1通	え4379-5
口上覚(杭全平左衛門綿問屋商売停止により藩からの拝借金返済を八田が弁納するため引当として杭全家屋敷の引渡し願) 八田嘉右衛門	3月	横切継紙/(え4385-1~18は紙縫一括)・1通	え4385-7
一札之事(信州更級郡八幡村八幡宮御社御修復金御貸附出入り済口証文) 中橋正木町家主差酒店ぬり屋傳六同居松田嘉兵衛印・牛込加藤祐右衛門印・中橋正木町家主差酒店ぬり屋傳六印、(奥書)牛込築土明神前遠州屋平助印・赤坂新町2丁目伊勢屋甚兵衛印→早川嘉十郎殿・早川正兵衛殿	天明6午年閏10月	縦継紙/(え4434-1~13は紙縫一括)・1通	え4434-1
(書状、網懸村役人揃わず今日の済口は成る間敷明2日取結びの旨) 守之丞→(八田)嘉右衛門様	閏11月朔日	横切継紙・1通	え4434-3
(書状、網懸村小宮山次兵衛方への貸金返済滞り相談に済に付) 八田嘉右衛門→小林三左衛門様・町田権兵衛様	11月	横切継紙・1通	え4434-7
口上覚(書状、坂原家内証難渋罷成候ゆえ嘉右衛門殿より相続方相談に及ばれたきに付) * (包紙上書)金高過分取替不用となり書状書上の旨あり/(中包紙上書)「押田一儀付入用紙面猥開見致間布事 享和三亥六月五日」(八田)嘉右衛門→左仲様	亥5月28日	横切継紙/(え4438-1~30は紙縫一括)・1通	え4438-16

1.12.4. 無尽

佐久間先生義会(無尽掛金など書上)		横長半・1冊	え4216
(書状、①重右衛門殿をもって仰せ越され候趣早速御返事申上げ候ところいまだ御左右もなく、②青木氏無尽金取入に付)		横切継紙・1通	え4272
覚(御取集金18両3分余受取) 八田嘉右衛門(印)→平林縫殿進殿	文化元子年12月28日	横切継紙/(え4374-1~35は紙縫一括)/(え4374-5-1~7は包一括)・1通	え4374-5-1
覚(御取集金48両受取) 八田嘉右衛門(印)→平林縫殿進殿	文化元子年12月14日	横切継紙・1通	え4374-5-2
覚(御口入御取集金50両受取) 八田嘉右衛門(印)→平林縫殿進殿	文化元子年12月20日	横切継紙・1通	え4374-5-3
覚(御取立御取集の分金77両受取) 八田嘉右衛門(印)→平林縫殿進殿	文化元子年12月	横切継紙・1通	え4374-5-4
覚(御取集金16両受取) 八田嘉右衛門(印)→平林縫殿進殿	文化元子年12月29日	横切継紙・1通	え4374-5-5
覚(御取集金15両受取) 八田嘉右衛門(印)→平林縫殿進殿	文化元子年12月30日	横切継紙・1通	え4374-5-6
覚(御取集金10両受取) 八田嘉右衛門(印)→平林縫殿進殿	文化2乙丑年正月14日	横切継紙・1通	え4374-5-7
覚(金284両京都伊勢屋ほか大坂信濃屋・松代町方・仁熊村など無尽金返金引当につき小作入れ上げ粉にて年々支払いの旨)		折紙/(え4375-1~17は紙縫一括)・1通	え4375-17
安永九子年十一月栄蔵発起三両無尽壺人壺分宛(無尽掛金書付)	安永9子年11月	折紙(帳簿の一葉)/(え4376-1~22は紙縫一括)/(綴じ穴あり)・1通	え4376-5
口上覚(益々借金相登り誠に難渋仕り、無尽発起仕り度口数多く御持ち願う旨) 長谷川源四郎→八田嘉右衛門様	9月6日	横切継紙/(え4379-1~26は紙縫一括)・1通	え4379-9
(真田志摩殿無尽内々真田内蔵殿御加入表向き平出喜右衛門殿名目にて平出氏も格別の御悪にもなる由に付)	寅・卯4月	横切継紙・1通	え4379-18
(書状、来る18日無尽会出席案内に付) 右馬治→(八田)嘉助様	12月8日	小切紙/(え4382-1~19は紙縫一括)・1通	え4382-1
(書状、来る19日無尽会会合案内) 覚兵衛→(八田)嘉助様	12月9日	横切継紙・1通	え4382-2
(書状、無尽寄合案内)	12月29日	小切紙・1通	え4382-7
(書状、頼母敷講来る22日8ツ時寄合にて御光賀に付) 大林寺→八田嘉助様	12月15日	横切紙/(虫損)・1通	え4382-18
(書状、津田転無尽来る22日寄合案内) 甚之介→(八田)嘉助様	12月18日	横切紙/(え4383-1~49は紙縫一括)・1通	え4383-3
覚(御無尽御寄金50両預かり証文) * (墨消) 八田嘉助(印欠損)→山越右馬允殿	嘉永3戌年12月	堅紙/(虫損)・1通	え4383-4
覚(金1両6匁御無尽当会懸け戻し帳太右衛門出来兼ね28日迄延金願う旨) 八田嘉助→藤田外記様	戌12月	横切紙・1通	え4383-13

覚(金28両御無尽当会懸け戻し調達金出来兼ね28日まで御延金願う旨) 八田嘉助→堀田覚兵衛殿	戌12月	小切紙・1通	え4383-28
覚(御無尽当戌掛金調達出来兼ね借用願う旨) * (墨消) 八田慎蔵→藤田外記殿	嘉永3戌年12月	横切紙/(虫損)・1通	え4383-34
覚(御無尽当戌懸け金調達出来兼ね旨) * (断簡)		横切紙/(虫損)・1通	え4383-35
覚(御無尽当戌懸け金出来兼ね借用願う旨) 八田嘉助→小山田重太夫殿	嘉永3戌年12月	横切紙/(虫損)・1通	え4383-36
覚(御無尽当戌懸け金出来兼ね借用願う旨) 八田嘉助→竹花富之進殿	嘉永3戌年12月	横切紙/(虫損)・1通	え4383-37
覚(御無尽当戌懸け金出来兼ね借用願う旨) 八田嘉助→津田轉殿	嘉永3戌年12月	横切紙/(虫損)・1通	え4383-38
覚(金10両御無尽当会懸け戻し金調達出来兼ね28日まで御延金願う旨) * (墨消) 八田嘉助→大嶋富作殿	戌12月	横切紙/(虫損)・1通	え4383-39
覚(御無尽金当戌懸け金来会まで借用願う旨) * (墨消) 八田嘉助	戌	横切紙・1通	え4383-40
覚(御無尽当戌懸け金出来兼ね借用願う旨) 八田嘉助→小山田重太夫殿	嘉永3戌年12月	横切紙・1通	え4383-41
覚(御無尽当戌懸け金出来兼ね借用願う旨) * (墨消) 八田慎蔵→藤田外記様	嘉永3戌年12月	横切紙/(虫損)・1通	え4383-42
覚(御無尽当戌懸け金出来兼ね借用願う旨) 八田嘉助→竹花富之進殿	嘉永3戌年12月	横切紙・1通	え4383-43
覚(御無尽当戌懸け金出来兼ね借用願う旨) * (墨消) 八田嘉助→藤田	嘉永3戌年12月	横切紙・1通	え4383-44
覚(御無尽当戌懸け金出来兼ね借用願う旨) * (下書)/(墨消)		横切紙・1通	え4383-45
(無尽関係書状) * (断簡)		横切紙・1通	え4383-47
覚(紙屋町儀兵衛無尽当丑3会目寄金残金書付) 長谷川善兵衛	丑12月	横切継紙/(え4386-1~30は紙繕一括)・1通	え4386-12
(戸隠道正房無尽懸戻金・取替金について返済片付かず不承知に付)		縦紙/(え4388-1~20は紙繕一括)/(虫損)・1通	え4388-13
無尽金御受取切手事(当酉年御懸戻金金1両2分受け取り、無尽当年切相済みのこと) * (端裏貼紙)「金壹両貳分 堀田七郎様」堀田七郎(印)→八田孫左衛門殿	寛政元年酉12月	横切紙/(え4390-1~24は紙繕一括)/(え4390-2-1~5は巻込一括)・1通	え4390-2-1
覚(中村小治郎懸金金2両2朱来る25日相違無く出金致すこと) 八田慶助(印)→八田嘉助殿	亥12月19日	横切紙/(え4390-2-2~5は紙繕一括)・1通	え4390-2-2
覚(発起無尽長井村出席致さず日延無心につき罷り越し次第金4両1分御渡しの旨) 八田慶助(印)→八田嘉助殿	天保10亥年12月19日	横切紙・1通	え4390-2-3
覚(発起無尽小森村懸金調達出来兼ね日延無心につき金4両1分来る25日相違無く受け取り出金のこと) 八田慶助(印)→八田嘉助殿	天保10亥年12月19日	横切紙・1通	え4390-2-4
覚(無尽蘭金残金12両3分正金寄せ方書付)	亥12月19日	横切継紙・1通	え4390-2-5

(片岡俊蔵20両無尽のうち9両3分掛不足あり、俊蔵死去のため無尽中絶となり弁金につき評議のこと)		横切継紙・1通	え 4390-8
覚(当暮凌ぎ兼金3両借用、来る亥11月中に急度御返上のこと) * (端裏貼紙)「戌十二月 金三両」 片岡俊蔵(印「片岡」)・加判森木唱(印)→八田嘉右衛門殿	戌12月	横切紙・1通	え 4390-9
覚(文化8年2月から片岡俊蔵への貸金および中嶋氏からの返済書付)	巳9月	横切継紙・1通	え 4390-10
覚(金1両3分2朱御発起無尽懸金不調立のため来る25日迄御時借のこと) * (端裏貼紙)「文化十三子年無尽一巻 片岡俊蔵殿」 木町巳之作(印)→片岡俊蔵様	文化13子年12月	横切紙・1通	え 4390-11
覚(金1両御時借、当7月中急度返上のこと) * (端裏貼紙)「金壹両 片岡俊蔵殿江」 片岡俊蔵(印「片岡」)→八田嘉右衛門殿	文化8末年2月	横切継紙・1通	え 4390-12
覚(金47両2分当辰無尽掛受取) 藤田傳左衛門(印)・早田治右衛門(印)→八田嘉右衛門様	文化5辰11月12日	横切紙/(虫損)・1通	え 4390-19
(無尽4会から12会まで発当懸戻し金50両および懸出し金勘定書)		横切継紙/(え 4391-1~20は巻込一括)・1通	え 4391-5
(書状、懸金の儀は私方より差引いたし、発当45両になり割合違いは小沢氏へ話し相済む旨) きそ→(八田)嘉右衛門様	11月19日	横切継紙/(え 4393-1~22は紙縫一括)・1通	え 4393-14
藤左衛門内借返済方調覚(金100両上門様引廻り借用外金172両拙僧借用書付) 浄福寺知門・青沼喜兵衛・金子与右衛門・田島式左衛門	9月	横切継紙・1通	え 4393-15
(無尽懸継金140両につき無尽割合帳明細書が無ければ分かり兼ねる旨)		小切紙・1通	え 4393-17
口上覚(唐沢藤左衛門金子内借りの上無尽企て度旨願うに付) * (包紙上書)「覚」 浄福寺知門→八田嘉右衛門様貴下	9月	横切継紙・1通	え 4393-18
覚(元金懸金94両他メ金250両、この受取方メ250両差引書付)	戌2月9日	横切継紙/(え 4395-1~31は紙縫一括)・1通	え 4395-3
(書状、昨夜御廻利金取落とし下され慥かに落手仕りに付) 友作→(八田)嘉助様御答	正月4日	横切継紙・1通	え 4395-16
覚(私発起無尽8番会掛金45両受取) * (包紙上書)「文政六癸未年十一月廿四日 無尽金受取書 金四拾五両 山極へ渡候印証入」 山極八郎右衛門(印)→松代町傳兵衛殿	文政6年末11月22日	横切継紙/(え 4400-1~25は紙縫一括)/(え 4400-10-1~2は紙縫一括)/(虫損)・1通	え 4400-10-1
(書状、私無尽金使いをもって無心申上げ、この者にお渡しを願う旨) * (包紙上書)「八田嘉右衛門様要用 山極八郎右衛門」 山極八郎右衛門→八田嘉右衛門様	11月22日	横切継紙・1通	え 4400-10-2
(書状、無尽金15両も今もって揃わず是非当冬最一会仕り度願う旨) * (包紙上書)「八田様御内 笠井和七様 要用重要」/(包紙裏書)「封 九月二日 [朱印(立峰)]」 山極源右衛門→笠井和七様	9月2日	横切継紙・1通	え 4400-12
(書状、明15日伺公の約説のところ近親のうち不幸あり伺ない旨) * (包紙上書)「和合院様御役衆中様 手塚村山極八郎右衛門」/(包紙裏書)「金五両 屏風一双相添」 山極烈→皆神山尊酬左右	5月14日暁前	横切継紙・1通	え 4400-13

覚(山極氏無尽入金24両ほかノ92両、山極氏へ貸付50両ほかノ80両書付)		横切継紙/(虫損)・1通	え 4400-15
(書状、山極氏金談一条につき今4、5日の御猶予御日延を願う旨) * (包紙上書)「八田嘉右衛門様当内用御直披 善光寺中澤与惣右衛門」 中澤与惣右衛門→八田嘉右衛門様貴下	12月16日	横切継紙・1通	え 4400-16
(書状、与三右衛門をもって日延願いを早春迄願う旨) * (封筒上書)「八田嘉右衛門様左右 山極亦兵衛」 山極亦兵衛→八田嘉右衛門様	12月21日	横切継紙・1通	え 4400-17
①(書状、屏風を送るにつき川支などにて延引となり、お預かりを願う旨)、②覚(皆神山尊師御締書1通ほか受取を願う) ①山極八郎右衛門→浦野忠七様、②手塚村八郎右衛門→忠七様	①5月14日、②酉5月15日	横切継紙・1通	え 4400-18
覚(書状、八郎右衛門分5番轉金など勘定書付) * (端裏貼紙)「山極八郎右衛門方無尽指引書右之入用紙面辰十二月和七より受取置候」 山極八郎右衛門(印)→笠井和七様	辰12月4日	折紙・1通	え 4400-19
(書状、手塚村山極八郎右衛門発当500両無尽につきこの節出金の儀堅く断るに付) * (端裏書)「山極不相成候付此分懸合不申候」	12月19日	横切継紙・1通	え 4400-20
(書状、昨15日送る積もりが雨天のため延引、屏風も天気が定まる迄延引を願う旨) (手塚山極)八郎右衛門→(八田嘉右衛門様内浦野)忠七様	5月16日未明	横切継紙・1通	え 4400-21
(甲田清右衛門丑9番取入金175両無尽勘定書) * (端裏書)「文政八酉四月上田御領五か村差引扣」		横切継紙/(下げ札あり)・1通	え 4400-22
覚(金8両銀13匁3分4厘無尽御掛金御預かりに付) 竹村熊三郎	12月22日	横切紙/(え 4403-1~16は紙縫一括)・1通	え 4403-8
覚(金20両、御村方社号無尽寄せ金受け取り、来丑年より終会まで懸け戻すに付) 伊セ町傳兵衛(印墨消)→田中村御蓮(マ)衆中様	文政11子年3月	横切紙・1通	え 4403-9
(書状、御発起無尽御延ばしの由、八田方へ内話にも大いに迷惑の旨) * (端裏書)「岩村田御用達三人江之返書扣 戌六月三日」 皆神山和合院→法花堂様・並木甚右衛門様・渡辺武左衛門様御酬	6月3日	横切継紙・1通	え 4403-16
(右証文引当無尽文化13年取入れになり4ヶ年6両宛の利分にて懸け戻し済みのこと)		横切紙・1通	え 4408
(包紙) * (包紙上書)「文政六癸未高田倉石氏発起頼母鋪 此表松木氏両発起共罷出候而懸合調書関田氏ニ相頼候紙面」		包紙/(え 4423-1~2は紙縫一括)/(え 4423-1-1~5は包紙一括)・1点	え 4423-1-1
(発当取入11会目迄此方御預かりなど越後方・飯山方無尽取り金に付)		横切継紙・1通	え 4423-1-2
壱口三拾兩懸発当元金懸脇拾壱口ノ(無尽取り金勘定規定)		横切継紙・1通	え 4423-1-3
無尽壱割利勘定差引覚		横切継紙/(え 4423-1-4-1~2は巻込一括)・1通	え 4423-1-4-1
(無尽金差引244兩余り勘定書)		横切継紙・1通	え 4423-1-4-2

無尽取組手段之事 越後頼母講企ニ付左之通手段書差遣	未12月	横切継紙・1通	え 4423-1-5
(書状、九郎右衛門をもって頼み入れの相続講の義御聞き済み下され至極忝きに付) * (包紙上書)「松代八田嘉右衛門様人々御中 高田倉石市右衛門」 倉石市右衛門恒知(花押)→八田嘉右衛門様人々御中	12月16日	折紙・1通	え 4423-2
(包紙) * (包紙上書)「安永六酉十月 成澤勘左衛門様金子受取書式通入 追而本證文引替可申候事」		包紙/(え 4425-1~17は紙縫一括)/(え 4425-1-1~3は包紙一括)・1点	え 4425-1-1
覚(金50両、当酉3月寄親方より八田喜右衛門拝借證文預かりに付) 成沢勘左衛門息祐助(印)→八田喜右衛門跡見世伴頭嘉兵衛殿	酉10月晦日	横切継紙・1通	え 4425-1-2
覚(金13両余、鎌原長門様御発起無尽喜右衛門取番のところ無尽差し向き、頼親方より借入金引き取りに付) 成沢勘左衛門息祐助(印)→八田喜右衛門跡見世伴頭嘉兵衛殿	安永6酉年10月	横切継紙・1通	え 4425-1-3
覚(赤沢内蔵之進様御発起無尽年賦證文ほかメ7通御下げ願ひ) (八田)孫左衛門	11月	横切継紙・1通	え 4425-5
覚(15両、御発起懸戻繰廻金受け取り、来る申11月御会合の節1割5分利分にて元利差し出しの旨) 伊勢町傳兵衛→御連衆中御発起多右衛門殿	寛政11未年12月	横切継紙/(え 4426-1~35は紙縫一括)・1通	え 4426-9
覚(金50両、倉田当助殿発起無尽当鬨金御頼みにつき受け取り) * (端裏書)「天保十一子年十二月十五日取戻消印」/(包紙上書)「金子受取切手 八田嘉右衛門様御内久保栄八殿 済切印書入」 八田嘉右衛門内久保栄八(印墨消)→紙屋町名主市郎左右衛門殿・長町人甚左衛門殿	文化12亥年12月24日	横切継紙・1通	え 4426-11
覚(金22両2分、御取集金のうち受け取り) 八田嘉右衛門(印墨消)→平林縫殿進殿	文化7午年正月7日	横切紙/(え 4426-15-1~4は紙縫一括)・1通	え 4426-15-1
覚(金27両2分、御取集金のうち受け取り) 八田嘉右衛門(印墨消)→平林縫殿進殿	文化6巳年12月3日	横切紙・1通	え 4426-15-2
覚(金59両余、御取集金のうち受け取り) 八田嘉右衛門(印墨消)→平林縫殿進殿	文化6巳年3月25日	横切継紙・1通	え 4426-15-3
覚(金17両、御取集金のうち受け取り) * (え 4374-5と関連) 八田嘉右衛門(印墨消)→平林縫殿進殿	文化6巳年12月28日	横切紙・1通	え 4426-15-4
覚(金61両1歩、御取集金のうち受け取り) 八田嘉右衛門(印墨消)→平林縫殿進殿	文化11戌年12月29日	横切継紙・1通	え 4426-16
覚(金30両3分余、御発起御鬨金預かり) 伊勢町傳兵衛(印)→御連衆中木町多右衛門殿	寛政12申年12月	横切継紙・1通	え 4426-18
覚(金25両、御取集金のうち受け取り) 八田嘉右衛門(印墨消)→平林縫殿進殿	文化4卯年12月22日	横切紙/(え 4426-19-1~5は紙縫一括)・1通	え 4426-19-1
覚(金15両、御取集金のうち受け取り) 八田嘉右衛門(印墨消)→平林縫殿進殿	文化4卯12月26日	横切紙・1通	え 4426-19-2
覚(金13両、金32両余正金、金32両余無尽御下げ分、16両余御借出証文などにて御取集金のうち受け取り) 八田嘉右衛門(印墨消)→平林縫殿進殿	文化4卯年12月28日	横切紙・1通	え 4426-19-3
覚(金22両、御取集金のうち受け取り) 八田嘉右衛門(印墨消)→平林縫殿進殿	文化5辰年正月12日	横切継紙・1通	え 4426-19-4

覚(37両、御取集金のうち受け取り) 八田嘉右衛門(印墨消)→平林縫殿進殿	文化5辰年4月8日	横切紙・1通	え4426-19-5
(平林縫殿進様御内2口メ41両余無利足30年賦返済ならば金11両余正金にてこの度差し上げるに付勘定書)		横切継紙・1通	え4426-22
(金60両、利金御取集めの分受け取り)	申12月22日	横切継紙/(え4426-24-1~2は紙縫一括)・1通	え4426-24-1
覚(利足御取集の分金23両2分余受け取り) (八田)嘉右衛門→縫殿進様	申12月27日	横切継紙・1通	え4426-24-2
覚(金13両、御取集めのうち受け取り) * (墨消あり) 八田嘉右衛門(印)→平林縫殿進殿	享和3亥年12月12日	横切紙/(え4426-27-1~6は紙縫一括)・1通	え4426-27-1
覚(金29両3歩、御取集金のうち受け取り) * (墨消あり) 八田嘉右衛門(印)→平林縫殿進殿	享和3亥年12月6日	横切紙・1通	え4426-27-2
覚(金25両御取集金のうち受け取り) * (墨消あり) 八田嘉右衛門(印)→平林縫殿進殿	享和3亥年12月	横切紙・1通	え4426-27-3
覚(金25両、御取集金のうち受け取り) * (墨消あり) 八田嘉右衛門(印)→平林縫殿進殿	亥年12月28日	横切紙・1通	え4426-27-4
覚(金26両、御取集金のうち受け取り) * (墨消あり) 八田嘉右衛門(印)→平林縫殿進殿	享和3亥年12月	横切紙・1通	え4426-27-5
覚(金55両、御取集金のうち受け取り) * (墨消あり) 八田嘉右衛門(印)→平林縫殿進殿	文化元子年4月18日	横切紙・1通	え4426-27-6
(御発起無尽当会取番来る酉より辰年まで懸戻し金年賦貸出し証文御渡しに付) * (前欠) 徳嵩甚蔵(印)→八田嘉右衛門殿	申12月	堅紙・1通	え4426-33
覚(敬治郎様御無尽金不足、受取金差引金2朱余返上)		横切紙/(え4427-1~37は紙縫一括)・1通	え4427-6
覚(金2両2分、覚兵衛様御発起無尽御掛金受け取り) 西條七野右衛門→八田嘉助様御取次中	申12月	横切紙・1通	え4427-13
覚(金2両2分、津田轉無尽御掛金受け取り) 南沢甚之介	12月29日	小切紙・1通	え4427-16
覚(金2両2分、当暮利足金御前借落手に付) 年番夫→(八田)嘉助様	西6月4日	横切紙・1通	え4427-18
(10会目御懸戻金1両銀6匁、5会目御懸戻金2両1分余この者に御渡し願ひ) 藤田内大前良治→八田様御内	12月25日	横切継紙・1通	え4427-19
覚(金2両2分、当申無尽御掛金受け取り) 竹内新八郎(印)→八田嘉助殿	嘉永元年申2月29日	横切継紙・1通	え4427-28
覚(金10両、竹村熊三郎様御無尽掛金受け取り) 藤岡伊織内夫吉兵衛→八田様御内御役人中様	申極月24日	横切継紙・1通	え4427-32
(無尽金47両余うち懸け戻し金29両余残り18両余勘定)		横切継紙/(え4435-1~15は紙縫一括)/(え4435-8-1~2は巻込一括)・1通	え4435-8-1
鏡屋町伊兵衛無尽金請取調(金12両2分余受取)	亥12月10日会合	横切継紙・1通	え4435-13
覚(金58両余度々借用・金2両去年御取替無尽掛金勘定書)		横切継紙/(え4436-1~19は紙縫一括)・1通	え4436-4

丑年御取替此方より(出浦梅干人殿無尽割合子年分)		横切継紙/(え4436-1-1~4は包紙一括)・1通	え4436-9-1
(金15両うち御蔵へ上納・重太夫殿分手元へ返済の分など書付)		横切継紙・1通	え4436-9-2
覚(弥八殿無尽関係勘定書)		横切継紙・1通	え4436-10
(文政8年無尽金関係一括)		綴/(え4438-1~30は紙縫一括)/ (え4438-2-1~6は一綴)・1綴	え4438-2
覚(発起無尽当西6回目の懸戻金並びに入ちなき懸金 ノ2両1分と5匁請取に付) 長谷川源四郎(印)→八田嘉 右衛門殿	文政8年酉12月	切紙・1通	え4438-2-1
覚(当西利金15両請取に付) 東江五郎左衛門(印)→八田 辰三郎様	文政8年酉12月29日	切紙・1通	え4438-2-2
覚(当会発西懸金の金1分来会まで借用に付) 安藤割 庵(印)→八田辰三郎殿	酉12月26日	切紙・1通	え4438-2-3
覚(発起無尽関係金差引1両2分2朱と4匁8分7厘の書上)	12月27日	切紙・1通	え4438-2-4
覚(去る未年までの御預金子利子分9両1分2朱請取に 付) 水野七郎兵衛→八田嘉右衛門殿	文政7年申正月	横切紙・1通	え4438-2-5
覚(羽生田佐野右衛門分の無尽金3両3分と9匁並びに2 分と6匁、年延御承知下され忝きに付) 藤田典膳内坂 口勘之丞(印)→堀内茂一郎殿	文政8年酉12月	堅紙・1通	え4438-2-6
(書状、御無尽の件内証間違あり懸金調達仕りかね申し 訳無きに付) 上村常五郎→大嶋武左衛門殿	12月27日	横切継紙・1通	え4438-13
(書状、後無尽差引帳面並びに祖助願書拝見、祖助今明 両年取番願には余り勝手がましきに付)	10月14日	横切継紙・1通	え4438-22
(書状、別紙御無尽懸戻の分57両のつもりにて御調の所 57両2分の旨差遣に付) 輔・九兵衛→(八田)嘉右衛門様	6月晦日	横切紙・1通	え4438-26
(「発記取入」金330両、「式番取入」300両ほか金銭書上)		横長半/(え4439-1~40は紙縫一括)・1冊	え4439-9
(書状、終会の分は貴君へ御引受切にて御遣わし下され 御内々に承知仕り御内談仕りたきに付) 与一右衛門 →(八田)嘉右衛門様	11月24日	横切継紙・1通	え4439-13
覚(酉年元金40両ほか金銭書上)		横切紙・1通	え4439-22
(発番・恩田木工内山川仁兵衛ほか人名書上) * (包 紙上書)恩田空様御勝手方御頼母數金100両にて加入の旨		横切紙・1通	え4439-37
(天保4巳年2月2日初会・金3両ほか書上)		横切継紙/(え4441-1~39は紙縫一括)・1通	え4441-3
(書状、奥澤殿無尽、去々年申し上げの通り承知下され たきに付) 与一右衛門→(八田)嘉助様	正月19日	横切継紙/(貼紙あり)・1通	え4441-7
(書状、懸金来兼ねるため達中依頼に付) 上羽彦五郎→ 八田孫左衛門	2月16日	横切継紙・1通	え4441-24

(書状、発記無尽18日会合仕りたきため御名代願いに付) 山本嘉十郎→八田嘉助様	12月13日	横切継紙/(虫損)・1通	え4441-34
(書状、懸金10両ほか早速参るため取り計らい下されたきに付) 茂兵衛→(八田)嘉助様	12月27日	横切紙/(虫損)・1通	え4441-35
(書状、召金御元利返上に付)	12月27日	横切継紙・1通	え4441-36
覚(取入金および元利金書上)		横半半・1点	え4441-37
向方五口持差引(取入および差引金銭書上)		横半半・1点	え4441-38
(書状、無尽集会遠路中島津氏・笠井和七殿來臨御礼、朱膳椀20人前御笑留のこと) 高田茂左衛門・吉松四郎左衛門→八田嘉右衛門様参人々御中	11月晦日	折紙/(え4444-1～25は紙縫一括)・1通	え4444-17
(書状、鬲取金2500両4番御手取など荒々取極め、来2月会合致したき旨) * (包紙上書)「八田嘉右衛門様 近藤九郎兵衛・安西好兵衛」 近藤九郎兵衛弘長(花押)・安西好兵衛意隣(花押)→八田嘉右衛門様	閏11月29日	横切継紙・1通	え4444-19
(関田慶左衛門寅1月初会金2分ほか書付)		横長半/(え4450-1～22は括り紐一括)/(剥離あり)・1点	え4450-20
覚(去午年の籤当たり金3両3分御預りに付) 御預主菊屋伝兵衛・受人同和七・右同断同勝介→竹知甚左衛門殿	天保9年戌12月	横切継紙/(え4452-1～17は紙縫一括)・1通	え4452-2

1.12.5. 広田筑後・岩出六右衛門無尽一条

(包紙) * (包紙上書)「中村御百性證文 岩出六右衛門請取證文」/(包紙裏書)「岩出六右衛門證文三通 但百両證文一通・五拾両證文一通・式拾両證文一通」		包紙/(え4375-1～17は紙縫一括)/(え4375-15-1～5は包紙一括)・1点	え4375-15-1
覚(金15両御内借、返上は当卯12月中旬月1割5分御礼金添え) * (包紙上書)「覚 三人借り金・御師殿借り金・山越様最初」 八田喜右衛門・八田孫左衛門(印)・宇佐美清重郎(印)→山越六郎右衛門様	明和4辛卯年7月	縦紙・1通	え4375-15-2
借用申證文之事(金百両、1割5分12月中旬まで、廣田筑後御知行所御田地書き入れ) * (包紙上書)「上」 中村借り主蔵本郡右衛門(印)・請人名主喜左衛門(印)・同断組頭傳右衛門(印)・同断長百姓彦之丞(印)・同断頭立重次郎(印)・同断同伊左衛門(印)・同断同彦右衛門(印)→山越六郎右衛門様御内御口合小山幸藏殿	明和5年子ノ4月	縦紙・1通	え4375-15-3
覚(廣田筑後暮請金入用につき中村知行所御口入にて別紙証文にて借入の旨) * (包紙上書)「上 岩出六右衛門」 廣田筑後内岩出六右衛門(印)→山越六郎右衛門様御内小山幸藏殿	子ノ4月	縦紙・1通	え4375-15-4
御借用證文之事(金50両、利足2割来る辰極月返上にて借用) * (端裏書)「八田孫左衛門殿」 八田孫左衛門(印)・宇佐美清重郎(印)・八田喜右衛門(印)→佐藤軍治様	明和8年卯12月	縦紙・1通	え4375-15-5
廣田筑後殿奉加家作につき岩出六右衛門へ八田孫左衛門口入金明和五子年より之差引帳面相究去卯年之秋改金高覚(ほか4項目、卯の春より巳の春まで取調帳面)	辰7月8日	横長半/(え4392-1～3は紙縫一括)・1冊	え4392-2

1.内方/12.金融/5.広田筑後・岩出六右衛門無尽一条

(書状、鈴木安兵衛殿方御借用延引におよび紀州御領より御添翰を以て出訴いたす旨) * (端裏書)「八十八 亥八月十六日出也 表向ハ十五日ニ送候分也 宗右衛門・伊右衛門文通」 佐藤伊兵衛印・坂田惣右衛門印→岩出六右衛門様	8月	横切継紙/(虫損)・1通	え 4395-15
(書状、鈴木安兵衛殿右一件伊兵衛・宗右衛門相手取り金子元利につき出訴の旨) 八田孫左衛門以親(花押)→岩出六右衛門様	8月	横切継紙/(虫損)・1通	え 4395-17
(包紙) * (包紙裏書)「行中野」 岩出六右衛門→松代八田孫左衛門様用書		包紙/(え4449-1~22は括り紐一括)/(え4449-1-1~3は包紙一括)・1点	え 4449-1-1
(包紙) * (包紙裏書)「行中野」 岩出六右衛門→松代いせ町八田孫左衛門様		包紙/(え4449-1-2-1~3は包紙一括)・1点	え 4449-1-2-1
(去る19日夜打続く雨天大変に付様相書上)		折紙/(綴じ穴あり)・1通	え 4449-1-2-2
(書状、12日夜惣右衛門殿罷り越し対談申入れ内済の通り相違無く相済ましたきところ、彦五郎・善右衛門双方本加金受取未だ病にて延引に付) 岩出六右衛門→八田孫左右衛門様	6月24日	折紙・1通	え 4449-1-2-3
(書状、孫左衛門様御相続相極まるも全く私趣意に御座無きに付) * (包紙上書)「八田孫左衛門様岩出六右衛門」 上野福言・岩出六右衛門→八田孫左衛門様・同喜右衛門様・宇佐美清十郎様	7月4日	横切継紙・1通	え 4449-1-3
(書状、この方一件今更永引き迷惑至極、吉村嘉右衛門当地へ罷り越し塩蔵より御不足の初代金先借りに付ほか) 上野福言・岩出六右衛門→八田孫左右衛門様・宇佐美清十郎様・八田嘉右衛門様・増田惣右衛門様	7月朔日	横切継紙・1通	え 4449-2
(廣田筑後殿信州松代近年勤め申すところ御辻宮願わせ信州参りたき趣に付伊勢参宮書付)		横長美・1冊	え 4449-3
覚(当寅5回目懸金辻2両1分3朱内訳に付)		切紙・1通	え 4449-4
(書状、卯八殿廣田遣わされ金子渡し掛け合わすところ孫左衛門より御紙面の内彦五郎御逢合わせの上御受取成し下さるに付ほか) 上野福言・岩出六右衛門→八田孫左衛門様・同喜右衛門様・宇佐美清十郎様・伴伝右衛門様・増田惣右衛門様	9月朔日	横切継紙・1通	え 4449-5
(書状、この方出入勘定両町内受け合い申付けられその節廣田方へ日延べ相頼まれ候に付) 岩出六右衛門→八田孫左衛門様・増田惣右衛門様・佐藤伊之介様	正月14日	横切継紙・1通	え 4449-9
(書状、廣田小林伝左衛門へ申付け書入百姓より手形取置きに付)		折紙・2葉で1綴	え 4449-11
(書状、相分からぬ出入始まる節彦五郎より委細申上げるに付) * (包紙上書)「八田孫左衛門様岩出六右衛門」→八田孫左衛門様・八田喜右衛門様・宇佐美清十郎様・伴伝右衛門様・増田惣右衛門様	9月6日	横切継紙・1通	え 4449-12
(包紙) 岩出六右衛門		包紙/(え4449-13-1~3は包紙一括)・1点	え 4449-13-1

(書状、替別一件・鈴木一件・吉村一件いろいろ御訳あり私身置き所も無きため何分28日八田氏方・増田様・宇佐美様へ宜しく申上げたきに付ほか) 岩出六右衛門→佐藤伊之介様	正月12日	横長半・1冊	え4449-13-2
(鈴木安兵衛江戸表内済返り当所御役所へ差出し、安兵衛方の公事相渉るに付)		折紙・1通(2枚)	え4449-13-3
(書状、28日廣田参られ直談致すところ内済通りの訳合い御座無く迷惑仕るにて能々御思案下されたきに付) 原彦五郎→八田孫左衛門様・八田喜右衛門様・宇佐美清蔵様・伴伊右衛門様・増田惣右衛門様・佐藤伊之介様	9月3日	横切継紙・1通	え4449-14
(包紙) 岩出六右衛門→増田惣右衛門様・佐藤伊之助様		包紙/(え4449-15-1~3は包紙一括)・1点	え4449-15-1
(書状、この方一件勘定帳面差出し仰付けられ勘定差引きに付) →増田惣右衛門様・佐藤伊之助様	12月朔日	横切継紙・1通	え4449-15-2
(書状、この節見返り差止め置き江戸向小町へ送り御相談に付)		横切継紙・1通	え4449-15-3
(書状、昨年中内済の節御頼み申上げ上にて預かり帰国と相成るに付ほか) * (包紙上書)「宇佐美清十郎様岩本六右衛門」 岩出六右衛門→宇佐美清十郎様	4月6日	横切継紙・1通	え4449-16
(書状、彦五郎廣田方にて止め置き戻す様相見え申さず出入と相成候ほか無きに付) 上野福言・岩出六右衛門→佐藤伊之介様	9月朔日	折紙・1通(2枚)	え4449-17
(書状、筑後の儀先月中亀山より平助殿お越し下され増田羽四郎様諸事順帳に相済み、道作まで出来申上げるに付ほか) * (包紙上書)「八田孫左衛門様同喜右衛門様増田宗右衛門様岩出六右衛門」 岩出六右衛門→八田孫左衛門様・同喜右衛門様・増田宗右衛門様	8月16日	折紙・1通(2枚)	え4449-18
(書状、小町氏も引込み遣われ相知らせ、この度在々相廻り候ところ村々にて甚だ大悦びに付) 岩出六右衛門→宇佐美清十郎様	12月16日	折紙・1通(3枚)	え4449-19
(書状、当在中無尽の儀所々挨拶にて相行届き兼ねこの度佐藤氏申上げ御頼み申すに付) 岩出六右衛門→八田孫左衛門様	6月19日	横長半・1冊	え4449-20
(書状、当所にて吉造相成るも私一銭も引込み御座無く盗取りの金銀無きに付) 村岩五市右衛門→八田孫左衛門様・八田喜右衛門様・増田宗右衛門様・宇佐美清十郎様	10月23日	横長半・1冊	え4449-21
(書状、扨所なく増田氏・佐藤氏へ彦四郎方にて借用申し候様相頼み小布施にて高澤無尽加入、何分御察し成し下されたきに付) * (包紙上書)「八田孫左衛門様岩出六右衛門」 岩出六右衛門→八田孫左衛門様	7月11日	折紙・1通	え4449-22

1.12.6. 飯山藩・岩村田藩領

御内々申上候(飯山・岩村田質地作徳入れ上げ初代金収納に付) * (包紙上書)「文政十一年四月三日北沢源治兵衛殿江関田氏を以差出候紙面下案入、四月廿六日右同所より源次兵衛殿江指出御受取被成候段有之候、右二付興津公四月廿九日持参指出ス」	文政11子年4月3日	横長半/(え4374-1~35は紙綴一括)・1冊	え4374-1
--	------------	--------------------------	---------

御内々申上候(飯山岩村田質地取極め借付金につき御賢慮のほど願ひ上げる旨) 八田嘉右衛門		横切継紙/(え4375-1~17は紙縫一括)/(え4375-13-1~5は括り紐一括)・1通	え4375-13-3
口上覚(飯山様并岩村田様御取替金の儀は御領分村方へ菊屋傳兵衛より質地の取極めのこと) * (端裏書)「子十一月飯山岩村田へ披差出置候金子之義付八田御三人より之口上書へ之添書下案」 関田守之丞	11月13日	横切継紙/(え4445-1~14は紙縫一括)・1通	え4445-2
(書状、飯山岩村田質貸金子取立滞りにつき公訴仕り度旨)		横切継紙・1通	え4445-5
(書状、岩村田飯山質地につき近日中懸合も仕り度御内々伺いの旨) * (端裏貼紙)「此御紙面之方御承知ニ御座候、此上外御紙面披成御差出候節此訳ニ而御添差出御座候様奉存候」 八田嘉右衛門・八田喜兵衛・八田辰三郎	9月	横切継紙・1通	え4445-6
御尋ニ付御内々書取を以申上候(岩村田・飯山質地借付取立方につき存念申し上げのこと)	6月	横切継紙・1通	え4445-8
(書状、岩村田・飯山質地につき近日中懸合も仕り度御内々伺いの旨)	9月	横切継紙・1通	え4445-9
(書状、飯山より帰り参会致すところ先達て岩村田出向、上原一朗殿との申談の趣相違に付)		横切継紙・1通	え4445-10
御尋ニ付御内々書取を以申上候(岩村田飯山質地借付取立方につき存念申し上げのこと)	6月	横切継紙/(掛紙・下げ札あり)・1通	え4445-11

1.12.7. 伊勢山田御師広田筑後一件

(封筒) * (封筒上書)「□五 天明二寅三月十八日安兵衛方江御返翰御渡被成候ニ付同人江被仰渡書并安兵衛同村役人兩人請書共ニ入」/(封筒裏書)「小野喜太右衛門様御当番」		封筒/(え4397-1~3は封筒一括)・1点	え4397-1
(伊勢国多気郡仁田村願人安兵衛、松代伊勢町宗右衛門・伊兵衛相手取り口入金滞り一件内済証文) 紀州御領伊勢国多気郡仁田村願人安兵衛印、(奥書)紀州御領伊勢国多気郡仁田村役人瀬兵衛印→小野喜太右衛門様・山越六郎右衛門様御役所	天明2寅年3月18日	横長半/(付札あり)・1冊	え4397-2
(伊勢国多気郡仁田村願人安兵衛、松代伊勢町宗右衛門・伊兵衛相手取り口入金滞り一件内済証文) 紀州御領伊勢国多気郡仁田村願人安兵衛印、(奥書)紀州御領伊勢国多気郡仁田村役人瀬兵衛印→小野喜太右衛門様・山越六郎右衛門様御役所	天明2寅年3月18日	横長半・1冊	え4397-3
(仁田村安兵衛より一札取り、各々方より印書并諸書付受け取り右一件以来申し分無き旨)		横切紙/(え4426-1~35は紙縫一括)・1通<2通>	え4426-2

1.12.8. 貸借金

(宮野尾村分金3両2分利足過納分など勘定書付) 長十郎→吉兵衛様		横切紙/(え4390-1~24は紙縫一括)・1通	え4390-17
(返済・借入の口勘定書)		横長半/(え4400-1~25は紙縫一括)・1点	え4400-9

覚(25両1割2両2分ほか11件ノ92両この利9両3分2朱書付)		横切紙/(え4421-1~11は紙縫一括)/(え4421-10-1~2は巻込一括)・1通	え4421-10-1
覚(金20両1割栗田庵常右衛門より口入左惣二ほか4件書付)		横切紙・1通	え4421-10-2
覚(金200両借入、利20両ノ220両内金35両当金差引など勘定書)		横切継紙/(え4450-1~22は括り紐一括)・1通	え4450-2

1.13. 飯山領

1.13.1. 無尽

くさ々々の留(11月15日飯山着にて大和屋旅宿、飯山藩士との応対・饗応など書留)	11月14日	横半半/(え4376-1~22は紙縫一括)・1冊	え4376-1
(飯山より源兵衛罷り越し殿様御無尽企てに御引き出物として朱膳椀20人前くださる処和島より出来兼ねるの旨)	6月27日	縦紙・1通	え4376-2
(飯山町大和屋三四郎・高井屋傳右衛門よりの500両無尽発起立会のこと、ほか) * (端裏書)「文政三辰五月十七日高田ニ而拝見 学道」		横切継紙/(え4444-1~25は紙縫一括)・1通	え4444-13

1.13.2. 訴訟

乍恐以書付奉願候(下戸倉村直之進より飯山御領分静岡村・蓮村へ掛一件来る正月まで御猶予願ひ) 真田伊豆守領分水内郡後丁村深美甚十郎→大原四郎右衛門様中之条御役所	天保2卯年12月22日	横切紙/(え4422-1~16は紙縫一括)・1通	え4422-9
(書状、何らの沙汰無く柴津吉右衛門御地へ罷り越し源五右衛門申すに付) * (包紙上書)「忠七様・六右衛門様当用無異 飯山大坂屋ニ而平兵衛」 飯山大坂屋平兵衛→浦野忠七様・伊東六右衛門様	6月16日	横切継紙/(え4431-1~17は紙縫一括)・1通	え4431-3
(包紙) * (包紙上書)「松代伊勢町菊屋傳兵衛様当用無異 従飯山」/(包紙裏書)「六月十九日出金百五文貨銭相済(印) 大坂屋内長左衛門・平兵衛」		包紙・1点	え4431-4-1
(書状、別書の願出したく内評仕り御差図を願う) 長左衛門・平兵衛→菊屋傳兵衛様	6月18日夜	横切継紙・1通	え4431-4-2
(静岡村・蓮村質地年季明・作徳滞一件願書類御下げ一旦帰町願ひ)		縦紙・1通	え4431-4-3
覚(書状1通長左衛門・平兵衛よりの送り状受け取り) 菊屋傳兵衛仕切判	6月19日	横切継紙・1通	え4431-4-4
(書状、16日昼過書添、今少々控える様等閑に捨て置くにはこれ無くに付)	6月16日	横切継紙・1通	え4431-6
(書状、この方にてはこの度の願い立て以前の義は取り用成されがたくに付) * (端裏書)「六月十五日 出張長左衛門・平兵衛へ内状 傳兵衛より」		横切継紙/(虫損)・1通	え4431-7

1.内方/13.飯山領/2.訴訟

覚(約定書、去寅12月中の証文、静間村蓮村流地証文・明細帳・絵図面引渡のこと) 松代傳兵衛(印)→戸倉進之進殿	天保2卯年5月10日	横切継紙/(え4444-1~25は紙縫一括)・1通	え4444-16
口上覚(飯山領蓮・静間両村年賦金未申兩年分滞りにつき蓮村七左衛門ほか掛合に付) * (端裏朱書)「当十一月源吾飯山出向掛合之後申上」 源吾	11月29日	横切継紙/(え4450-1~22は括り紐一括)・1通	え4450-7
①乍恐以書付奉申上候(信州蓮村一件主人嘉右衛門呼出中来る21日迄御日延願い写)、②差上申一札之事(嘉右衛門呼出につき御請書写) ①肩書略傳右衛門・喜三郎・平吉・兵次郎・平兵衛・喜四郎・駒次郎代三右衛門代兼当番助之丞→寺社御奉行所様、②伊勢町嘉右衛門代平兵衛印→寺社御奉行所様	①②已5月7日	堅紙・1通	え4450-15
乍恐以書付奉願上候(信州水内郡蓮村一件来る13日迄再御日延願う旨) 一件一同連印	天保4年巳4月4日	堅紙・1通	え4450-16

1.13.3. 貸付金

(書状、先年拝借の手形900俵返却につき戸作殿へ掛合いを願う旨) * (封筒上書)「松城御城下菊屋傳兵衛様 飯山城下野田屋庄兵衛」 野田屋庄兵衛→菊屋傳兵衛様	9月28日	横切継紙/(え4385-1~18は紙縫一括)・1通	え4385-2
覚(金16両3分去戌年借金元利受取) 八田嘉右衛門内久保栄次郎(印)→飯山御城下三四郎殿・同所栄助殿	文化12亥6月25日	横切紙/(え4390-1~24は紙縫一括)/(え4390-20-1~4は紙縫一括)・1通	え4390-20-1
覚(金150両御取替金のうち返済受取) 八田嘉右衛門内久保栄治郎代判和七(印)→大和屋三四郎殿	文化11戌年9月	横切紙・1通	え4390-20-2
(取替書面の義八田嘉右衛門存ぜず、飯山御役人中御印形御取り用いる様御願う旨)		堅紙/(え4450-1~22は括り紐一括)・1通	え4450-1

1.13.4. 質地

(書状、飯山領蓮・静間村質地出入り一件など吟味につき報告の旨) * (包紙上書)「三月十三日着 若旦那様 当用無異 平兵衛」/(包紙裏書)「三月十三日着」 平兵衛→若旦那様	3月7日昼時認	横切継紙/(え4400-1~25は紙縫一括)・1通	え4400-3
--	---------	---------------------------	---------

1.14. 岩村田領

1.14.1. 貸付金

(包紙)		包紙/(え4393-1~22は紙縫一括)/(え4393-22-1~6は紙縫一括)/(虫損)・1点	え4393-22-1
(書状、金子一件御取替金5月中までの御約束のところ御違約に付) * (端裏書)「三月三日岩村田倉持寛左衛門殿へ遣ス下案」 八田嘉右衛門→倉持寛左衛門様	3月3日	横切継紙/(虫損)・1通	え4393-22-2
(書状、御下案の趣至極穏やかにて右紙面は私認にてか御紙上にては分かり兼ねる旨) * (端裏書)「御答」	3月2日	横切継紙/(虫損)・1通	え4393-22-3

(書状、御取替金5月中の約定にてさもなくば万端御違約に付)	月日	横切継紙/(虫損)・1通	え4393-22-4
(書状、この度は公辺にも御届られ登城その他勤めの職人は減じ、家来は半知とし万端儉約の旨) *(包紙上書)「八田嘉右衛門様 倉持寛左衛門」 倉持寛左衛門→八田嘉右衛門様貴下	2月23日	横切継紙/(虫損)・1通	え4393-22-5
(則受取書認める旨)		小切紙/(虫損)・1通	え4393-22-6
(書状、岩村田借用金につき物入り重なりこの節3000両御取替金にて迷惑の旨) *(端裏書)「不用之事ニ候得共岩村田一条荒々認入御覧候、御一読置可被成下候」		横切継紙/(え4400-1~25は紙縫一括)・1通	え4400-4
(包紙) *(包紙上書)「和合院様」/(包紙裏書)「九月十二日発」		包紙/(え4404-7-1~4は包紙一括)・1点	え4404-7-1
(書状、豊後守当地へ着の旨) 井上祐右衛門・伊藤重蔵→和合院様玉机下	9月	横切継紙・1通	え4404-7-2
(包紙) *(包紙上書)「和合院様 前田宗右衛門」		包紙/(え4404-7-3-1~3は巻込一括)・1点	え4404-7-3-1
(書状、太守様去月25日御在着につき御菓子2ツ拝領いたしよろしく御取り繕いを願う旨) ——→前田宗右衛門様	月日	横切紙・1通	え4404-7-3-2
(書状、豊後守在着のところ軽少ながら土産の菓子1箱進ずべく年寄より申し聞かされる旨) 前田宗右衛門→和合院様	9月12日	横切継紙・1通	え4404-7-3-3
(書状、兼ねて利足の儀は格別の心添えにて兩人の者より承知いたすに付) 犬井条左衛門→和合院様参人々御中	9月12日	横切継紙・1通	え4404-7-4
(包紙) *(包紙上書)「松代御家中八田嘉右衛門様 手塚村山極八郎右衛門」/(包紙裏書)「金貳拾両也添」		包紙/(え4431-1~17は紙縫一括)・1点	え4431-2-1
(書状、三処要用につき御許図下さる旨) 山極磐具→八田嘉右衛門様侍史	5月21日	横切継紙・1通	え4431-2-2
口上(①当年は蚕相応に出来買入金20~30両7月迄拝借願ひ上州よりも買入人参りに付、②その後岩村田御一条如何に御座候哉御案事に付) 八郎右衛門→(八田)嘉右衛門様	21日	横切継紙・1通	え4431-2-3
(書状、右箱御封じ願ひ) 八郎右衛門→(八田)嘉右衛門様	21日	横切紙・1通	え4431-2-4
(書状、岩村田借用金返済行届かねる件、近日中岩村田御役人申し遣わすも別人にて應對懸合仕る旨御勘弁下されたきに付)		折紙/(え4438-1~30は紙縫一括)/(え4438-30-1~6は袋一括)/(え4438-30-3~6は包紙一括)・1通	え4438-30-5
(書状、岩村田貸付金の方別人にて應對懸合仕り度旨) 八田嘉右衛門・八田喜兵衛・八田辰三郎	10月	横切継紙/(え4445-1~14は紙縫一括)・1通	え4445-3

1.内方/14.岩村田領/1.貸付金

(書状、証文替の儀今もって飯沼丸子罷り出でず利分も見込み程には無き旨) * (包紙上書)「文政五年七月三日飯沼上丸子村証文替及遅延候付群神山より岩村田御役人犬井氏迄飛脚金三郎遣候下案并ニ三田焼小皿十枚遣候為路用壹分五百文為持遣候」/(包紙貼紙)「不及之紙面」 松代和合院→犬井丈左衛門様貴下	7月2日	横切継紙・1通	え 4445-12
---	------	---------	-----------

1.14.2. 訴訟

(書状、岩村田御一件の立入人塚原村源助一人、岩村田御役人中へ委細申遣わし内済難儀にて申し上げたきに付) * (包紙上書)「松代八田嘉右衛門様御取次中之条村与惣左衛門」 与惣左衛門→八田嘉右衛門様御取次中	2月15日	横切継紙/(え 4437-1~24は紙縫一括)・1通	え 4437-20
(書状、岩村田御出向相成らず大御所様御忌中にて再日延、双方今10日小子宅御出向御内談下されたきに付) * (包紙上書)「松代八田様御内沖八様・栄八様、中之条村柳沢与惣左衛門」 与惣左衛門→八田様御内(花井)沖八様・同(丸澤)栄八様	2月7日	横切継紙・1通	え 4437-21

1.14.3. その他

(書状、池田源助殿御懸合一条同役半兵衛他出にて帰町の上この方より御報じの旨) 笠井和七→神津定蔵様・若林武太夫様・出沢喜右衛門様	6月23日	横切継紙/(え 4432-1~31は紙縫一括)/(掛札あり)・1通	え 4432-2
(包紙) 中之条村柳沢与惣左衛門→松代八田様御内(花井)沖八様・(丸澤)栄八様急用		包紙/(え 4437-1~24は紙縫一括)/(4437-18-1~3は封筒一括)・1点	え 4437-18-1
(書状、又兵衛殿田中宿に泊まりて内談、何れも相続の上仕るべく申遣わし呉候様申され早速御出下されたきに付) 与惣左衛門→八田様御内(花井)沖八・同(丸澤)栄八様	2月12日	横切紙・1通	え 4437-18-2
(書状、沖八・栄八御飛札罷り越すも兩人他行、明後14日出立手配仰せ置き飛札相遣わすに付) 傳兵衛→与惣左衛門様	2月12日	横切継紙・1通	え 4437-18-3
覚(金3両請取に付) 八田本之進→(丸澤)栄八殿	11月28日	横切紙・1通	え 4437-19
(包紙) * (包紙貼紙)「巳正月廿日後岩村田指遣候別段相替候義比方へ御出之節萬々及下案□□候飛脚到来返書も無之何茂来月御相談可申旨挨拶存」 岩村田家中後閑又兵衛・齋藤五左衛門→松代御家中八田嘉右衛門様		包紙/(え 4437-22-1~3は包紙一括)・1点	え 4437-22-1
(書状、年始挨拶ほか五左衛門同役申付けられ候間以来御熟意成し下されたきに付) 齊藤五左衛門秀(花押)・後閑又兵衛信潮(花押)→八田嘉右衛門様	正月18日	折紙・1通	え 4437-22-2
(書状、小十郎来月其御地へ罷り出で候間その節相談したきに付) 後閑又兵衛→八田嘉右衛門様	正月18日	横切継紙・1通	え 4437-22-3
(書状、年始挨拶) * (包紙上書)「和合院様田中小十郎」田中小十郎房煖(花押)→和合院殿	正月20日	折紙・1通	え 4437-23
(書状、来月中旬迄に後閑又兵衛同道仕り御相談下さるべくに付) * (包紙上書)「和合院様田中小十郎」田中小十郎→学道大人玉机下		横切継紙・1通	え 4437-24

覚(坂本茶屋・16文ほかメ5両2朱3匁7分5厘4貫152文中嶋様・和合院様御出張入用に付)	12月6日	横切継紙/(え4439-1~40は紙縫一括)/(え4439-23-1~2は巻込一括)・1通	え4439-23-1
(書状、在坂により繰廻し宜しからざるも、中之条御役所御用談ありて晦日頃にならなければ御面談難しきに付) * (包紙上書)「松代八田嘉右衛門様用事 内藤式部少輔内後閑落右衛門 中之条より発」 後閑落右衛門→八田嘉右衛門様	12月28日	横切継紙/(え4451-1~25は紙縫一括)・1通	え4451-1
(書状、今般御勝手御掛仰せを蒙るにより、以来御用向御懸け合い下さるべきに付) 八田嘉右衛門→後閑又兵衛様貴報	10月15日	横切継紙・1通	え4451-16

1.15. 赤倉温泉

御内々以書取奉申上候(越州赤倉表一件、兎角温泉追々衰微になり、御領主様へ歎願仕りたき旨) 和七	寅2月	横切継紙/(え4373-1~32は紙縫一括)/(え4373-29~32は紙縫一括)・1通	え4373-31
(書状、結構な木偶拝領ありがたく、赤倉普請には規定の上ならでは手始めできぬ旨) 賢蔵→神都街様御取次	4月3日	横切継紙/(え4379-1~26は紙縫一括)/(虫損)・1通	え4379-19
覚(赤倉長屋普請不足金など金8両拝借願ひ、返済として赤倉湯治人1人5文の積金および長屋家賃引当) 栄八	巳6月	横切継紙/(え4385-1~18は紙縫一括)・1通	え4385-9
(書状、入湯人も増し木銭泊も増え大慶のことに付) * (包紙上書)「松代二而八田嘉右衛門様 上田志摩」 上田志摩尚登(花押)→八田嘉右衛門様	8月20日	横切継紙/(え4435-1~15は紙縫一括)・1通	え4435-15

1.16. 出張

(上州辺および江府への道中入用並びに売上入用関係一括)		綴/(え4210-1~11は一綴)・1綴	え4210
(袋) * (袋上書)「御内用ニ付上州辺江罷越夫より江府江罷出候付道中入用請払并調物売上諸色入用書類入」 中島金三郎	文政7年甲申5月18日	袋・1点	え4210-1
覚(極上もの代金3分請取に付) よろづや藤兵衛[印]		横切紙・1通	え4210-2
覚(御納戸細など代金1分2朱受取に付) 相模屋平五郎(印)	6月朔日	横切紙・1通	え4210-3
覚(茶はん代金7朱他メ金2分銭受取に付) さかミヤ源八(印「神田仲町相模屋」)	6月10日	横切紙・1点	え4210-4
(国分刻代金2朱請取に付) (印「神田業平橋多葉粉店内田屋六右衛門」)	6月15日	札・1通	え4210-5
(16匁他メ金1両112文金銭書上) (印「江戸駿河町北側本店越後屋八郎右衛門」)→唐澤惣蔵		横切継紙・1通	え4210-6
覚(真綿2袋10匁他メ41匁5分請取に付) いせ甚十郎(印「江戸人形町伊勢屋長十郎」)→いせや市郎兵衛様	6月6日	横切継紙・1通	え4210-7

1.内方/16.出張

(御作梨27匁他メ29匁2分請取りに付) 万屋利兵衛(印「大門通旅籠町仏具類万屋利兵衛」)→中島金三郎		横切継紙・1通	え4210-8
①覚(御新場やく29匁9分2厘より差引メ24匁4分2厘)、 ②覚(御新場やく12匁6分2厘メ金13匁70文) ①② 日埜屋忠蔵(印「池之端仲町通日埜屋忠蔵」)→上		横切継紙・1通	え4210-9
覚(根付1つ金14匁メ金1分2朱ト163文請取に付) 芳屋 新助(印「人形町芳屋」)→上		横切紙・1通	え4210-10
覚(御納戸縮めん60匁他メ100匁3分) ほていや文四郎 (印「□□□□町壹丁目 ほていや□右衛門 無掛□諸 色下直差上申候」)→中嶋金三郎	5月2日	横切継紙・1通	え4210-11
道中先触 松代宿より 真田信濃守内八田嘉助		横切継紙/(え4374-1～35は紙縫一括)/(虫損甚大)・1通	え4374-9
覚(真田信濃守内八田嘉助宰領1人本馬1疋先触) *(包紙表書)「道中先触 江州大津宿より信州松代宿迄 真 田信濃守内八田嘉助」 真田信濃守内八田嘉助(印)→江州 大津宿より信州松代宿迄右宿々問屋役人中	11月24日	横切継紙・1通	え4374-10
口上覚(道中往來の節御名内書御会符御免の御尋ねに 付) 八田孫左衛門	6月	横切継紙・1通	え4374-24
(書状、御光来を願う旨) *(断簡) (八田)嘉助		横切紙/(え4382-1～19は紙縫一括)/(虫損)・1通	え4382-17
覚(八田嘉助家来本馬1疋) *(断簡)		横切紙/(え4426-1～35は紙縫一括)・1通	え4426-4
覚(本馬1疋・軽尻馬1疋)		横切紙/(え4426-5-1～2は巻込一括)/(虫損)・1通	え4426-5-1
覚(本馬1疋・尻軽馬1疋)		横切紙/(虫損)・1通	え4426-5-2
(書状、当地御出立御道中益々機嫌良くななどに付) *(包紙上書)「松代八田嘉右衛門様尊下」 人形町松田屋 十兵衛→八田嘉右衛門様尊下	6月17日	横切継紙/(え4441-1～39は紙縫一括)・1通	え4441-20
口上覚(御出府の趣、喜福寺において承知などに付) 哲堂	6月4日	横切紙/(4441-21-1と2は関連するため枝番)・1通	え4441-21-1
(書状、紀伊様御取次役四ツ谷大番町関口源之丞様方へ 罷り越しの品などに付) 哲堂→八田嘉右衛門様	4日	切紙・1通	え4441-21-2
覚(江戸本門丸山長泉寺まで一封持参下され慥かに落 手に付) 長国寺内孝順僧→八田嘉右衛門様御使中様	6月22日	横切紙・1通	え4441-22
(書状、芝三田の方へ此度用事があり罷り越しに付)	7日	切紙・1通	え4441-23
(帯封) *(帯封上書)「さくむら桜井むさしや」		帯封/(4441-25-2～3は帯封一括)・1点	え4441-25-1
(金銭書上覚綴)		綴/(4441-25-2-1～3は一綴)・1綴	え4441-25-2
覚(210文・さかみや大2人ほか金銭書上) なかたや→御 口人様	6月2日	横切継紙・1通	え4441-25-2-1

覚(さよ吉ほか5名分金2両と120文受取に付) 尾花や(印)→いなほや御客様	5月晦日	横切継紙・1通	え4441-25-2-2
おほへ(210文・さかみや大2人ほか金銭書上) なかつたや→御口人様	5月29日	横切紙・1通	え4441-25-2-3
(金銭請取覚綴)		綴/(4441-25-3-1 ~5は一綴)・1綴	え4441-25-3
覚(品々代金2分請取に付) むさしや(印)		堅切紙・1通	え4441-25-3-1
覚(御料理代金1両1分2朱ほかノ金1両1歩2朱720文請取に付) 熱海店(印)→金三郎様	6月7日	横切継紙・1通	え4441-25-3-2
おほへ(屋般船700文ほかノ1ノ800文請取に付) *(端裏書)「三十疋奉代」 ふくよしや丈兵衛(印)	申5月晦日	横切紙・1通	え4441-25-3-3
覚(馬土間代38文ほかノ金1両と631文請取に付) 菊村屋伊之助(印)→すきやかし御連中様	5月25日	横切継紙・1通	え4441-25-3-4
覚(棧敷代25文ほかノ金1両10文請取に付) 菊村屋伊之助(印)→のり物丁様	5月26日	横切継紙・1通	え4441-25-3-5

1.17. 金銭・穀物請払

1.17.1. 金銭請取

(天保11~12年諸方金銀受取切手類綴)		綴/(え4214-1 ~27は一綴)・1綴	え4214
(袋) * (袋上書)「丑年諸方金銀受取切手類入」		袋・1点	え4214-1
覚(郡役初5俵代金1両1分1朱銀5匁3分3厘差上書) 平左衛門→三平様	12月26日	横切紙・1通	え4214-2
覚(当7月11日差上候50両御利分金3両他ノ金8両3分受取書) 堀内与一右衛門(印)→八田嘉助殿	天保11子年12月	横切継紙・1通	え4214-3
(去暮御預置候元利金ノ69両1分銀10匁6厘など金銭書付)		横切紙・1通	え4214-5
(金20両3分3朱銀3匁4分3厘他ノ100両金銭書付)		横切紙・1通	え4214-6
覚(御預置申候金15両受取書) 松木束(印)→八田嘉助様	天保11(年)庚子12月晦日	横切紙・1通	え4214-7
①覚(徳右衛門より御借財御払金の分金3両銀7匁2分9厘預かりに付)、②覚(要五郎より御借財御払金の分金45両3分銀11匁2分1厘預かりに付) ①安左衛門(印)→八田嘉助様、②師岡源兵衛御内安左衛門(印)→八田嘉助様	①②子3月7日	横切紙・1通	え4214-8
覚(割増御預ケ金当子利分金5両2分請取書) 伴栄治(印)・北村茂兵衛(印)→八田嘉助様	天保11子年12月	横切紙・1通	え4214-9
覚(半金御借継元金50両などの金銭内訳書上) 尼巖山(あまかざりやま)より→伊勢町様	臘月26日	横切紙・1通	え4214-10
覚(亥12月中御取替金元利金22両他ノ金45両銀10匁請取書) 増田孫兵衛[印「信州増田松代」]→八田嘉助様	子12月29日	横切継紙・1通	え4214-11
(「子四月御貸下ケ金三拾貳両貳分御礼金壹両三分拾貳匁」書付)		切紙・1通	え4214-12
覚(割増御預ケ金当丑利分金5両2分請取書) 伴栄治(印)・北村茂兵衛(印)→八田嘉右衛門様	天保12丑年12月	横切紙・1通	え4214-13

1.内方/17.金銭・穀物請払/1.金銭請取

覚(銀22匁請取書) かたや平兵衛[印「信州善光寺大門町 僊掌堂蔦屋平兵衛」]→八田様御役人中様	丑極月21日	横切継紙・1通	え4214-14
覚(茂右衛門方へ遣す元金25兩の利金2兩2分他ノ金5兩 2分請取書) 片桐重之助(印)→八田嘉助殿	天保12丑年12月25日	横切紙・1通	え4214-15
覚(春日儀左衛門様無尽御懸金水井忠藏様行分金16兩 銀5匁2分2厘受取書) 増田孫兵衛[印「信州増田松代」] →幾久屋傳兵衛殿	丑12月24日	横切紙・1通	え4214-16
覚(堀田覚兵衛無尽当丑懸金1兩銀14匁5分5厘請取書) 徳駕恒吉(印)→八田嘉助殿	天保12丑年12月	横切紙・1通	え4214-17
覚(往来小遣1分500文他ノ差引1兩返上の書付)	正月7日	横切紙・1通	え4214-18
覚(中沢村栄十郎殿無尽綿内分掛金11兩請取書) 増田 孫兵衛[印「信州増田松代」]→幾久屋傳兵衛殿	丑12月24日	横切紙・1通	え4214-19
覚(金子70兩のうち35兩慥かに受け取りに付) 宮下源 五兵衛(印)→八田孫左衛門殿	巳ノ霜月22日	横切紙/(え4373 -1~32は紙一 括)/(え4373-1 ~28は紙縫一 括)・1通	え4373-28
覚(金10兩受取) * (端裏書)「指引済切」 長谷川善兵衛 (印)	丑11月20日	横切紙/(え4386 -1~30は紙縫一 括)・1通	え4386-19
覚(金2兩2歩余御取替金申年分受取) 八田嘉右衛門→ 斎藤善藏殿	文政9戌年2月10日	横切継紙・1通	え4386-28
(金5兩3分3朱受取) 大村屋文五郎→上		小切紙/(え4387 -1~33は紙縫一 括)・1通	え4387-19
覚(金2分銀12匁3分7厘山崎久右衛門殿へ送り金受取) 八田嘉助→木町孫兵衛殿	天保7申年5月	横切紙/(え4420 -1~46は紙縫一 括)・1通	え4420-13
(金100兩太吉ほか2名より上納受取書付)		横切紙・1通	え4420-26
覚(金3兩請取に付) 御倉町喜多村又右衛門(印)→磯田様	12月9日	切紙/(え4441-1 ~39は紙縫一 括)/(虫損)・1通	え4441-9
覚(金2朱・御手紙1通御預りに付) 河岸通□内小沢通□ →御使中	12月27日	横切紙・1通	え4441-11
(金20兩余御渡しに付) 庄助→(八田)嘉右衛門様	酉12月	横切紙・1通	え4444-15
覚(金86兩請取書、柴津村幾之助より指し上げる旨) 大和屋三四郎(印)・高井屋傳右衛門(印)→八田嘉右衛門様 御内和七殿		横切継紙/(え 4450-1~22は括 り紐一括)・1通	え4450-19

1.17.2. 金銭差引

(壹1274兩余、貳1163兩余ほか計16475兩余書付)		横切紙/(え4375 -1~17は紙縫一 括)・1通	え4375-7
(6月19日より12月晦日迄日数247日代15兩)		横切紙/(え4387 -1~33は紙縫一 括)・1通	え4387-16
(勘定書)		折紙/(え4390-1 ~24は紙縫一 括)・1通	え4390-3

覚(戌元金450両・亥6月15日金150両などノ金664両余勘定書)		横切継紙/(え4390-20-1~4は紙繕一括)・1通	え4390-20-4
(辰暮取替金15両1分余ほか巳・午・未年暮取替金ノ53両3分書付)		小切紙・1通	え4401
覚(源吾より取替金3両ほか差引金11両余勘定書)		横切継紙・1通	え4403-12
(是迄商い月々売り高3両として利潤2割にて年に7両余の徳、店賃・白米など金13両の定金書付)		横切継紙・1通	え4409
覚(寅年より卯12月迄取上金・御拝借金差引659両余不足書付)		折紙/(え4422-1~16は紙繕一括)・1通	え4422-7
(残金5件ノ22両余、内金7両飯米代・金2両江都送り金ほかノ21両余勘定書)		横切継紙/(え4427-1~37は紙繕一括)・1通	え4427-21
覚(伊勢町様分当年御取入れ分金7両3分余勘定書)		堅紙/(え4432-1~31は紙繕一括)・1通	え4432-6
覚(市村5両2分・玉川3両2分余ほかノ15両1分うち7両3分今日御勘定) * (包紙上書)「登様午暮御差引書午十二月廿四日」		横切紙・1通	え4432-19
(金5両青木より取ほか3件ノ8両1分)	12月29日	小切紙/(え4436-1~19は紙繕一括)・1通	え4436-2
覚(巳春金1726両余この払金1844両余差引金117両余勘定書)		横切紙・1通	え4436-3
覚(実綿2貫目・5貫目ノ金1分銀13匁7分5厘勘定書)		横切継紙・1通	え4436-12
(280匁などノ2両と920匁金銭書上)		切紙/(4438-1~30は紙繕一括)・1通	え4438-10
(2入7ヶ年の間彦助代金遣込み・金193両ほか金銭書上)		横切継紙/(え4439-1~40は紙繕一括)・1通	え4439-10
(金92両3朱16文ほか金銭書上)		折紙・1通	え4439-11
(大和屋送り人へ酒代200文ほかノ2両2朱13匁7分1貫350文に付金銭書上)		横切紙/(え4439-23-1~2は巻込一括)・1通	え4439-23-2
覚(14品・代金4両2分2朱ほか諸品・金銭書上)		横切継紙/(下げ札あり)・1通	え4439-24
(正月3日・金14両・勝手江渡金などに付)		横切継紙/(え4441-1~39は紙繕一括)・1通	え4441-16
覚(金45両3分2朱25文書上)	寅12月27日	切紙・1通	え4441-27
古袖代残金調(金25両余落手成し下されたきに付)	去月22日	横切紙/(え4442-1~26は紙繕一括)・1通	え4442-1
覚(金312両余差引勘定書上)		横切継紙・1通	え4442-18
(180両の残り野瀬田6両2分2朱余・中町覚右衛門ほか)		横切紙/(え4444-1~25は紙繕一括)・1通	え4444-6

覚(金228両)		横切継紙/(虫損甚大開封不能)・1通	え4444-11
----------	--	--------------------	----------

1.17.3. 穀物・諸品請払

覚(ちりめん・御きせる代他ノ銀7匁4分受取書) 日のや三右衛門・代五人(印)→上	7月6日	横切紙/(え4214-1~27は一綴)・1通	え4214-20
覚(2足代銀5匁他ノ金3朱120文受取書) 丸屋久兵衛[印「小綱台照降町丸屋」]→上	7月6日	横切紙・1通	え4214-21
覚(2寸本細筆2本代銀22匁5分受取書) 金や[印「□茅場丁□屋金屋新八」]→上	7月6日	横切紙・1通	え4214-22
覚(的矢代銀10匁受取書) 京橋弓町鳩三郎右衛門(印)→栄八様	7月6日	横切紙・1通	え4214-23
覚(天地金3匁受取書) [印「西ノ久保四ッ辻扇間屋駿河屋新兵衛」]→御仕段中様	7月6日	切紙・1通	え4214-24
毛綱覚(ノ長779間85貫余りの書付)		横切継紙・1通	え4214-26
(袋) * (袋上書)「諸品買入売上書類」		袋/(え4215-1~53は一綴)・1点	え4215-1
(御注文の備後表尾之道印代金詮議に付申上書) 久右衛門→(八田)嘉助様	7月26日	横切継紙・1通	え4215-2
(書状、納物御願い諸々お送り成しくださいませ鹿肴1折呈上の旨申上に付)		横切継紙・1通	え4215-3
(書状、花御愛子様へ差上に付) 久右衛門→(八田)嘉助様	7月19日	横切継紙・1通	え4215-4
柄前注文書(大小柄前1通紀伊国屋勘右衛門へ御注文願)	6月5日	横切紙・1通	え4215-5
納物(備後表尾之道印20枚納願)	7月6日	横切紙・1通	え4215-6
覚(六尺口暖簾のバシヤウ布使用及び代金1両上ゲ願)	7月3日	横切継紙・1通	え4215-7
覚(浅黄惣模様帷子地1反・楽屋鏡台など御納願)	7月6日	横切継紙・1通	え4215-8
覚(振袖品薄のため浅黄惣模様帷子地1反など2反筒袖にて差上の旨申上に付) 久右衛門→(八田)嘉助様	7月28日	横切継紙・1通	え4215-10
覚(鏡台1本など代金45匁他ノ77匁金銭書上) いせや善四郎→上	申7月5日	横切紙・1通	え4215-11
覚(金物1本代金12匁8分他ノ79匁1分金銭書上) *(端裏書)「式通御見合而已ニ奉入御覧候」 いせや善四郎→山崎久右衛門様	申7月	横切継紙・1通	え4215-12
(書状、晒御模様京染3両前後御掛りの旨御窺申上に付) *(端裏書)「山崎久右衛門尊下大風屋」 大風屋甚四郎→山崎久右衛門尊下	7月21日	横切紙・1通	え4215-13
(飛脚駄賃1貫241文他ノ3貫440文領収書) 飛脚屋春蔵(印)→山崎久右衛門様	申7月26日	横切継紙・1通	え4215-14
覚(はやた14枚代銀16匁8分ノ銀80匁8分領収書) [印「日本橋通壱丁目 かけ値なし 叶 近江屋彦右衛門」]→山崎久右衛門様	7月21日	横切継紙・1通	え4215-15

覚(御針箱1本代金1分1朱他ノ3分2朱領収書) いせや 善四郎(印「伊勢善 銀舎町六丁目」)→山崎様	申7月	横切紙・1通	え 4215-16
覚(隠木判2つ代金250文領収書) 芝切通シ上御掃除屋 鋪御印判師二葉長七(印)→上	2月16日	横切紙・1通	え 4215-17
覚(60両2分1匁7分の御引越之分39両1分4匁9分など内 訳書付)		横切継紙・1通	え 4215-18
覚(煙草盆代銀13匁領収書) 善光寺和泉屋源五右衛門→ 浦野忠七様	戌10月5日	横切紙・1通	え 4215-19
覚(養朴筆代金2両領収書) 夏和建治(印)→八田様御内 御取次中	戌10月	横切継紙・1通	え 4215-21
覚(きせる1本代金1分銀7匁5分領収書) 藤田屋久兵衛 (印)→上	5月9日	横切継紙・1通	え 4215-22
覚(表具代銀30匁5分3厘他ノ41匁3厘金銭書上)		横切紙・1通	え 4215-23
覚(御懸物表具手間3人半7匁8分7厘他ノ28匁9分1厘金 銭書上) 表具師金治→申上	3月	横切継紙・1通	え 4215-24
覚(赤銅縁1つ代金2分領収書) いせ町忠左衛門→玉井勝 之助様		横切紙・1通	え 4215-25
覚(清心類掛物1幅代金2分2朱領収書) 菊屋伊左衛門 [印「信州加松代菊屋伊勢町」]→八田嘉右衛門様御取次中様	丑10月	横切紙・1通	え 4215-26
覚(南原赤絵中皿5人前代金3分他ノ1両1分2朱領収書) 小升屋忠左衛門[印「信州松代町小升屋」]→八田嘉右衛門様 御取次中様	申3月	横切紙・1通	え 4215-27
覚(蒔絵硯箱1箱代金3分2朱領収書) たかだ藤村屋権之 介(印「伊勢町柏屋」)→八田旦那様	巳6月9日	横切紙・1通	え 4215-28
覚(大十八端代金3両2分329文勘定改差引79文御返し 金銭書上) ほてゐや平三郎[印「現金かけねなし上州高 崎田町諸色下直ニ差上申候恵ほてゐや善右衛門」]→八田 嘉右衛門様	5月6日	横切紙・1通	え 4215-29
覚(本国織女中向御紙入1つ代銀25匁他ノ45匁5分領収 書) 越川や忠二郎[印「現金無掛直日本橋通三丁目越川屋 忠二郎忠御鼻紙袋御多葉粉入處」]→上		横切継紙・1通	え 4215-30
覚(黒縹子中広をり物代金135文他ノ2両1分金銭書上) [印「江戸駿河町北側現銀かけねなし越後屋本屋」]	10月17日	横切継紙・1通	え 4215-31
覚(赤銅縁頭1具代金1両3分領収書) 紺屋町政吉[印「信 州松代紺屋町戸田」]→菊屋勝之助様	10月28日	横切継紙・1通	え 4215-32
覚(ねぎ・干いかなど諸色支払代金領収書) ミなとや 吉右衛門(印「松代木町」)→源蔵様	12月25日	横切継紙・1通	え 4215-33
覚(醤油6斗2升1合代金4貫655文他ノ1両2分2朱407文 領収書) 中町平兵衛→御茶之間御用	申3月	横切継紙・1通	え 4215-34
覚(刀鉄鏢御売上代金2分1朱領収書) 小升屋忠左衛門 [印「信州松代町小升屋」]→八田嘉助様御取次中様	申3月	横切紙・1通	え 4215-35
覚(脇差1本代金1両2分領収書) 早葉重兵衛(印)→八田 様御取次中様	辰6月26日	横切継紙・1通	え 4215-36
覚(きせる1本他ノ代銀31匁4分領収書) 藤田屋久兵衛 (印「藤田屋久兵衛」)→上	5月9日	横切紙・1通	え 4215-37
覚(短冊30枚代金9匁など金銭書上)		横切紙・1通	え 4215-38

1.内方/17.金銭・穀物請払/3.穀物・諸品請払

覚(金あみ2枚代金3匁2分他ノ1分銀2分5厘善光寺買物諸払代金書上)	寅6月14日	横切紙・1通	え 4215-39
覚(千沙23匁7分他ノ代銀29匁2分領収書) 鼠屋磯五郎→松代喜左衛門様	酉7月5日	横切紙・1通	え 4215-40
覚(杣定七分作料賄代4匁7分領収書) 大工莊二(印)・同忠兵衛→浦野忠七様	寅7月	横切紙・1通	え 4215-41
覚(仙台平袴代銀141匁他ノ金3両3分1朱27文領収書) 反屋平右衛門代常七(印)→金兒様御取次衆中様	4月15日	横切継紙・1通	え 4215-42
覚(赤銅縁頭1具代金3分領収書) いせ町忠左衛門→勝之助様	卯極月	横切紙・1通	え 4215-44
覚(上下地4具染代銀48匁他ノ代金1両2分2朱61文金銭書上)	6月25日	横切紙・1通	え 4215-45
覚(富久助代銀15匁5分領収書) いせや徳右衛門[印]→上	4月7日	横切紙・1通	え 4215-46
覚(大平目5枚代銀6貫958文他ノ8貫132文領収書) しま屋重吉[印「信州吉田嶋屋」]→松代菊屋内喜左衛門様	3月15日	横切継紙・1通	え 4215-47
覚(飯山新屋喜四郎へ御手元金1分他ノ金6両2分2朱379文取替金銭書上) 酒蔵	申3月	横切継紙・1通	え 4215-48
覚(未10月7日～正月30日迄抱人并職人1194人賄代9兩3分2朱4匁5分他ノ差引4兩2分2朱645文上納金銭書上) 酒蔵	3月6日	横切継紙・1通	え 4215-49
覚(地黒晒惣御模様1反代金169匁他ノ代金4両3朱領収書) 満前や新七(印)→山崎久右衛門様	甲9月2日	横切継紙・1通	え 4215-50
覚(本甲まがい御前さい1本代銀45匁他ノ金3両4匁2分5厘領収書) 伊せ屋清八(印)→坂本様御取次	申9月	横切継紙・1通	え 4215-51
(書状、お送りの地黒惣模様帷子地1反など2反のお値段・仕上がり具合の旨申上に付) 久右衛門→(八田)嘉助様	重陽	横切継紙・1通	え 4215-52
覚(地黒惣模様帷子地1反代銀169匁他ノ金11両3分銀11匁7分2厘金銭書上)	9月9日	横切継紙・1通	え 4215-53
(辰極月書出入綴)		綴/(え 4235-1～32は一綴)・1綴	え 4235
(袋) * (袋上書)「辰極月書出入」		袋・1点	え 4235-1
覚(饅頭・煎餅など菓子代金5貫484文書付) 蔦屋新蔵→八田嘉右衛門様御内御役人衆中様	辰極月	横切継紙・1通	え 4235-2
覚(十納1丁代金9匁書付) かし町万吉→八田嘉助様御内	辰12月	横切紙・1通	え 4235-3
覚(鉄瓶鉄打ち、卵焼き直しなど代金書付) 鋳屋小五郎→八田嘉右衛門様御内御役人衆中様	辰極月	横切継紙・1通	え 4235-4
覚(硯板・手本板・徳利筒など代金書付) 戸隠屋藤右衛門→八田嘉右衛門様御内御役人衆中様	辰12月	横切継紙・1通	え 4235-5
覚(みかき桶・小手桶・手桶など代金1貫795文書付) 酒井屋平五郎→八田嘉助様御内	辰極月	横切継紙・1通	え 4235-6
覚(口紅の中皿50枚代金6匁5分書付) 茶屋相之助→八田嘉右衛門様御内御役人衆中様	辰12月	横切紙・1通	え 4235-7
覚(くすへ緒・皮緒代金書付) 鍵屋伴之助→八田嘉助様御内	辰12月	横切継紙・1通	え 4235-8

覚(かづら・熊手直しなど代金10匁56文) 三溪藤吉→ 菊屋傳兵衛様	辰12月	横切継紙・1通	え 4235-9
覚(男草履・女草履・草鞋など代金1貫941文書付) 大沢 や喜兵衛→八田御茶間御役人衆中様	辰12月	横切継紙・1通	え 4235-10
覚(表替10枚かき床繕い糸手間代など8匁2分5厘書付) かち町義左衛門→八田嘉助様御内	辰極月	横切紙・1通	え 4235-11
覚(せんべへ・もち・塩味饅頭など代金2貫640文書付) つた屋嘉吉→八田嘉助様御内	辰極月	横切継紙・1通	え 4235-12
覚(弓張9匁9分・桐油3匁代金書付) 美濃屋と兵衛→ 八田嘉助様御内長崎源吾様	辰極月	横切継紙・1通	え 4235-13
覚(餅米1斗6升代12匁ほか米4筆ノ金2分錢1貫286文書 付) 中澤屋直八→いせ町八田様御内御役人衆中様	辰12月	横切継紙・1通	え 4235-14
覚(薬代ほか錢348文書付) 中沢屋直八→八田様御内栄 八様	辰12月	横切紙・1通	え 4235-15
覚(品代2筆ノ524文書付) *(後筆)「払済」 寺町與之助 →いせ町八田様御役人衆中様	辰極月30日	横切紙・1通	え 4235-16
覚(差引勘定銀35匁2厘錢255文書付) *(後筆)「右江 八田様御内江」 鍵屋伴之助→師岡源兵衛様御内	辰12月	横切継紙・1通	え 4235-17
覚(秋植把ん・小町へた代金書付) 藤屋安兵衛→八田嘉 助様御内	辰極月	横切紙・1通	え 4235-18
覚(炭1俵代金4匁書付) 菊屋市兵衛→十人町上屋□□	辰12月	横切継紙・1通	え 4235-19
覚(上酢3合45文ほか3筆ノ485文書付) *(後筆)「払 塩屋伊平→菊屋傳兵衛様	辰12月	横切継紙・1通	え 4235-20
覚(きづ(生酢カ)代金24文書付) かき屋伴之助→八田様 御内(笠井)和七様	辰12月	横切紙・1通	え 4235-21
覚(31人半手間賃金3分銀2匁2分5厘書付) *(後筆) 「払済」 御古や利平		横切継紙・1通	え 4235-22
覚(品代2筆424文書付) *(後筆)「払済」 田町平作→ 八田様御内御役人中様	辰極月	横切継紙・1通	え 4235-23
覚(白万田1足ほか3筆ノ銀1匁5分5厘錢632文書付) 山河屋徳兵衛→八田嘉助様	辰12月	横切継紙・1通	え 4235-24
覚(胡粉・白砂糖・玉飯金丹など品代ノ15匁5厘書付) 一文字屋清八郎→八田様御内御役人中様	辰12月	横切継紙・1通	え 4235-25
覚(満ちう100文代金書付) 大坂屋才助→八田嘉右衛門様 御内	辰12月	横切紙・1通	え 4235-26
覚(品代金4貫848文書付) 丸大安兵衛→八田様御茶之間	辰12月	横切継紙・1通	え 4235-27
覚(大2鍋えかけ85文書付) *(後筆)「払済」 鍋屋平 右衛門→八田嘉右衛門様御内御役人中様	辰極月	横切紙・1通	え 4235-28
覚(枇杷葉湯ほか品代金ノ1貫500文書付) 大丸や惣兵衛 →八田嘉右衛門様御内	辰12月	横切紙・1通	え 4235-29
覚(傘・下駄など品代金書付) *(後筆)「払済」 松屋藤 兵衛→八田様御内御役人中様	辰12月	横切継紙・1通	え 4235-30
覚(品代金ノ7匁書付) 山屋松五郎→八田嘉右衛門様御内	辰12月	横切紙・1通	え 4235-31
覚(水風呂釜直しほか5筆ノ2朱322文書付) や過んや 直吉→八田嘉右衛門様御内	辰極月	横切継紙・1通	え 4235-32

1.内方/17.金銭・穀物請払/3.穀物・諸品請払

(こほう・かづの子など書付)		横切継紙/(え4382-1~19は紙縫一括)・1通	え4382-14
おほへ(帶留め・羽織紐代金受取) ひし屋伊兵衛(印)→菊屋御店様	12月14日	横切紙/(え4388-1~20は紙縫一括)・1通	え4388-10
(八田慎蔵初代金7円余酉6月渡し、残り21円余勘定) *(端裏書)「癸酉十月九日小野□政殿より御□し被下置」	(近代)	小切紙/(え4389-1~50は紙縫一括)・1通	え4389-12
覚(かつら5本代銀21匁受取) 太十郎→内藤様	10月22日	横切紙/(え4391-1~20は巻込一括)/(え4391-1-1~6は巻込一括)・1通	え4391-1-1
記(元金5両うち上田から坂木まで人力車3匁など諸支払い残金2両25文勘定書)		横切紙/(同一内容2通)・1通	え4391-1-2
記(19日下戸倉菓子茶代6銭2厘5毛ほか7件支払勘定書)		横切紙・1通	え4391-1-3
覚(上々ふくさ7本代金1両1朱受取) 鶴や知右衛門→内藤様	10月21日	横切紙・1通	え4391-1-4
記(酒肴御せん代7貫125文受取) 伊勢屋與介→上	10月19日	横切紙/(青色罫紙8行)・1通	え4391-1-5
(矢代茶漬代12銭5毛など書付)		横切紙・1通	え4391-1-6
(与右衛門・九郎助、亥年・子年・丑年・去寅年請取初書付)		折紙・1通	え4413
(押田腰物調代金金3両余ほか出金書付)		横切継紙/(え4419-1~12は紙縫一括)/(剥離あり)・1通	え4419-4
(金1両2分こし木代ほか付札に認るに付)	戌7月21日	小切紙/(え4432-1~31は紙縫一括)・1通	え4432-20

1.17.4. 金銭払方

覚(加印ならびに本印御店のため差引残り銀のうちへ金20両受取) *(包紙上書)「大坂信の屋弥右衛門殿同勘兵衛殿先年より安永八亥正月迄指引残銀不残皆済則手代弥兵衛より銀[]重而大入用の則[]印にも写置候尤加印本印両店文相済候以上」 信濃屋弥左衛門・同勘兵衛代弥兵衛(印)→八田孫左衛門殿・同喜右衛門殿	安永8年亥年正月	縦紙/(え4385-1~18は紙縫一括)/(剥離あり)・1通	え4385-11
(八田知道、高5石分戌1月4分の3仮渡し金3円25銭)	(近代)24日	小切紙/(え4389-1~50は紙縫一括)・1通	え4389-14
(八田知道、戌1月4分の3渡し金45円25銭)	(近代)24日	小切紙・1通	え4389-15
(八田知道、癸酉12月4分の1仮渡し金15両)		小切紙・1通	え4389-21

残り上納(金254両余12月晦日為替証文にて上納)		横切継紙/(え4403-1~16は紙縫一括)・1通	え4403-11
(別紙の通り御下げ金願う旨)		横切継紙/(え4420-1~46は紙縫一括)・1通	え4420-10-1
(金500両、差引120両追々相渡す旨)		横切継紙・1通	え4420-10-2
覚(金1両2朱炭代、金1分2朱万吉人足料ほか5件ノ金6両1分勘定書)	申年4月12日改	横切継紙/(え4426-1~35は紙縫一括)・1通	え4426-21
口上(金1両大津要全様送り金受け取り) 荒神町市兵衛→菊屋六右衛門様	午12月8日	横切紙/(え4436-1~19は紙縫一括)・1通	え4436-5
覚(残金22両御渡し願う旨) 喜助→嘉右衛門様	未12月	横切継紙/(え4454-1~22は括り紐一括)/(剥離あり)・1通	え4454-5

1.17.5. 普請

覚(杣36工手1両1分2朱他ノ金1両2分224文入料書上) 源左衛門→(笠井)和七様	11月23日	横切紙/(え4214-1~27は一綴)・1通	え4214-27
覚(御冠木御門作料賄代金3両2分2朱銀3匁領収書) 大工莊二(印)・同忠兵衛→浦野忠七様	寅7月6日	横切紙/(え4215-1~53は一綴)・1通	え4215-43
(大工手間賃・左官手間賃ノ13両、材木690匁ノ24両余表塀積書) * (端裏書)「表塀積書」→寺町様		横切継紙/(え4389-1~50は紙縫一括)/(え4389-30-1~2は紙縫一括)・1通	え4389-30-1
(柱・天井枠・塀扣木など見積書) 角店→現金屋様	8月2日	横切継紙/(朱書あり)・1通	え4389-30-2
口上覚(寺尾町和吉・荒神町傳兵衛兩人作料金9両3分2朱余受け取り)	午7月	横切紙/(え4432-1~31は紙縫一括)/(え4432-5-1~3は包紙一括)・1通	え4432-5-3

1.17.6. 株券・公債

(書状、御用公債証書募集について館行名にては応じ兼ねるにより貴所様の御借用名に致したきにより調印願うに付) 館行→八田様	9月8日	横切継紙/(え4451-1~25は紙縫一括)・1通	え4451-5
--	------	---------------------------	---------

1.17.7. その他

(書状、御勘定帳御印形預けに付) 潤蔵→(八田)慎蔵様	7月19日	横切紙/(え4393-1~22は紙縫一括)・1通	え4393-11
-----------------------------	-------	--------------------------	----------

1.内方/17.金銭・穀物請払/7.その他

指[](金150両御礼金) *(開披不能)		縦紙/(え4416-1 ～24は紙繕一 括)/(虫損甚大) ・1通	え4416-11
------------------------	--	--	----------

1.18. 賄

1.18.1. 賄穀物請払

覚(飯米35俵ほかノ42俵代金10両2分、当暮請取の分2両 3分薪木代ほかノ5両3分請取度分)	12月24日	折紙/(え4450-1 ～22は括り紐一 括)・1通	え4450-6
--	--------	----------------------------------	---------

1.18.2. 入用

御住居替差懸り取計向之儀者人数取調賄方之儀ニ奉存 候間左ニ奉申上候(惣支配重役3人・呉服店4人・質店4 人など)	10月	横切継紙/(え 4416-1～24は 紙繕一括)・1通	え4416-3
--	-----	-----------------------------------	---------

1.18.3. 諸品通帳

文久二年戌六月十九日 萬御通(下駄・味噌・白米など) 酒屋市右衛門 松代豊田新蔵様	文久2年戌6月19日	横半半/(え4234 -1～17は袋一 括)・1冊	え4234-15
飯米通帳 竹山町市川友左衛門→伊勢町浦野忠七殿	天保3壬辰年正月	横半/(え4442-1 ～26は紙繕一 括)・1冊	え4442-23

1.18.4. 諸品請払

覚(金10両受取) 野村忠蔵(印)→荒神町幸左衛門殿	文化2年丑年6月9日	横切紙/(え4386 -1～30は紙繕一 括)・1通	え4386-5
記(1反代107匁ほか書付)		横切継紙/(え 4387-1～33は 紙繕一括)・1通	え4387-7
(22日夕90人・23日朝52人総頭100人前書付)		小切紙/(え4389 -1～50は紙繕一 括)/(え4389-26 -1～2は巻込一 括)・1通	え4389-26- 1
(100人前料理食材昆にゃく20枚・椎茸中250など15種 品名数量書付)		小切紙・1通	え4389-26- 2
覚(酒など諸品代金4両3分余書上) 柏屋助左衛門→ 八田喜兵衛様御内	未12月	横切継紙/(え 4442-1～26は 紙繕一括)/(封 筒共)・1通	え4442-14
覚(こん布5枚124文ほか13品ノ2貫129文請取) 濱や吉 左衛門(印)→いせ町源蔵様	12月26日	横切継紙/(え 4450-1～22は括 り紐一括)・1通	え4450-5
覚(極上大魚金2朱余代金受取) 能登屋孫兵衛(印)→上	11月27日	横切継紙・1通	え4450-8

覚(諸品金銭金1分155文請取書) 万吉(印)→御使殿	4月8日	横切紙/(え4451-1~25は紙縫一括)・1通	え4451-10
覚(ひえ代等690文諸品金銭書上)		横切紙・1通	え4451-11
覚(3月2日白米2俵など諸種金銭書上)		切紙・1通	え4451-12
覚(羊羹など諸品金銭54匁余書上) 白木屋吉兵衛→八田様御内	11月25日	横切紙・1通	え4451-14
覚(土びん等7匁1貫244文諸品勘定書上) 太助	2月17日	横切継紙/(継目剥離)・1通	え4451-21
万おはい(福嶋にて茶代48文など金銭出入り書留)	(文久3年)	横半半/(え4234-1~17は袋一括)・1冊	え4234-14
覚(数右衛門白米2石3斗4升ほか3名ノ4石3升貸出し)		横切継紙/(え4426-1~35は紙縫一括)・1通	え4426-31
覚(御鰯1把金2分) 鶴一郎(印)→千喜良様	11月	堅紙・1通	え4426-32
覚(金1両2朱御押手代受け取り) 鶴一郎(印)→赤沢様	10月3日	堅紙・1通	え4426-34
覚(金1分所々へ歳暮・金2分女給金ほか9件支払い勘定書)		横切紙/(え4436-1~19は紙縫一括)・1通	え4436-6
覚(小文筆1本1匁ほかノ1匁5分受け取り) 五雲堂徳兵衛(印)→岡野様	12月17日	横切継紙/(え4436-7-1~3は巻込一括)・1通	え4436-7-1
覚(洪標20枚208文受け取り) 大菅屋陽助(印)→岡野様	12月16日	横切紙・1通	え4436-7-2
覚(黄唐紙5枚305文受け取り) 金屋佐助(印「日本橋南通四丁目須原屋佐助」)→岡野様	12月16日	横切紙・1通	え4436-7-3
覚(大平め1貫400文ほか8筆ノ14貫520文・金高2両520文請取に付) 高田惣吉→菊屋角左衛門様	巳11月23日	横切継紙・1通	え4437-14

1.18.5. 献立

皿盛(料理覚)		小切紙/(え4384-1~51は紙縫一括)/(虫損)・1通	え4384-1
「七月[]拾人」(献立断簡)		横切継紙・1通	え4384-41
(献立)		折紙/(え4389-1~50は紙縫一括)・1通	え4389-29
(献立)		横切継紙/(え4390-1~24は紙縫一括)/(虫損)・1通	え4390-21

1.19. 勝手向

(去年中家事改革の沙汰あり、1ヶ年は何程は当用方へ何程は非常の方へ積み入れ、残りを給分賄方諸人用相償いに付)	9月	横切継紙/(え4375-1~17は紙縫一括)/(え4375-13-1~5は括り紐一括)・1通	え4375-13-1
口上覚(格別の儉約仕り、裏の手狭の住居にて万端手狭の取り計らいにて赤面の至り心痛罷り在る旨) *(端裏朱書)「は三」 八田嘉右衛門	9月	横切継紙/(え4389-1~50は紙縫一括)・1通	え4389-43
家事改革ニ付取調暮方入料積書立帳 寅八月	寅8月	横長半/(え4393-1~22は紙縫一括)/(虫損)・1冊	え4393-20
(書状、御勝手向御取縮り御心配なされ、御表向き御取り下げの内意驚き入りに付) 藤田温山→八田書鳩様玉床下	正月10日	横切継紙・1通	え4395-12
(八田慎蔵、拝借金は残らず御払切とし、親類共へ節儉守り勝手向復する様心懸ることに付) *(端裏書)「八田慎蔵親類」		横切継紙・1通	え4400-23
(今度儉約規定相立て度心得方申し渡しに付) *(封筒上書)「天保十三年寅九月家事取調ニ付書取」	9月	横切継紙/(え4422-1~16は紙縫一括)・1通	え4422-2
(包紙) *(包紙上書)「八田嘉右衛門様 菊池孝助」		包紙/(え4422-5-1~4は包紙一括)・1点	え4422-5-1
(書状、過日御内命の御書面大いに手間取り、則認め差し上げ御落掌の旨) 孝助→(八田)嘉右衛門様	6月29日	横切継紙・1通	え4422-5-2
(書状、勝手向不如意につき改革始末方一統批判宜しからず、嘉助・勝之助取計い柄種々批判に付) →	6月	横切継紙・1通	え4422-5-3
口上覚(家事改革始末方忤嘉助・召仕勝之助へ精々申し含めに付) (八田)嘉右衛門→惣之進様・孝助様	4月	横切継紙・1通	え4422-5-4
覚(身上向につき手元預かり金にては相続成りがたく取り続きの趣相建てたく旨) *(表紙貼紙)「密秘之書類」 知義	天保12丑12月	横長半・1冊	え4422-12
(莫金の損失他へ損金懸けず地所など払い暮らし方手詰めにいたし、表を止め裏角屋宅へ引き移り手狭不自由の暮らし方致す旨)		横長半・1冊	え4422-13
此度表之方引移候心得書取(追年勝手向不繰廻につき居宅表かたより手狭の住居へ引き移りたき旨)	12月	横切継紙・1通	え4422-16
(12月晦日金50両才覚・正月20日金15両堂ほか3件書付)		小切紙/(え4435-1~15は紙縫一括)/(虫損)・1通	え4435-14

1.20. 儀礼

1.20.1. 元服・成人

(書状、お梅殿御袖留の御祝い目出度御儀寿奉る旨)	11月10日	横切継紙・1通	え4395-28
--------------------------	--------	---------	----------

1.20.2. 贈答・進物

(順吉様御結縁御祝納に御袴地1具進上に付) 寿	月日	堅紙/(え4386-1 ～30は紙縫一 括)/(虫損甚大)・ 1通	え4386-30
(書状、目録のうち金200疋ならびに御肴1折御恵贈あり がたく拝受に付) * (封筒上書)「八田慎蔵様尊下 金山 道斎」 道斎拝→(八田)慎蔵様尊下	2月8日	横切継紙/(え 4387-1～33は 紙縫一括)・1通	え4387-3
(書状、馬場丁の義竹山丁様とも相談のうえ1俵丈差上 げ、柳様御初節句にて100疋差上げる旨) 市治→(八 田)慎蔵様	3月朔日	横切継紙・1通	え4387-24
(書状、歳暮御祝儀として御目録の通り金500疋貴意を 得るに付) 助右衛門→(八田)嘉右衛門様	12月29日	横切継紙/(え 4395-1～31は 紙縫一括)・1通	え4395-25
(書状、去暮れ寒中見舞いの金100疋御礼旁々年鋪御祝 儀申し上げる旨) * (包紙上書)「松代ニ而八田嘉右衛 門様貴下 新田町裁松院より」 新田町裁松院→八田嘉右衛 門様貴下	正月6日	折紙/(え4421-1 ～11は紙縫一 括)・1通	え4421-2
(書状、茄子・ささげ進呈につき御咲賞下され度に付) * (包紙上書)「信州松代伊勢町八田嘉右衛門様参人々 御中要用 哲聖平安」 哲聖僧→八田大君 雅案江	4月21日	横切継紙・1通	え4421-5
(書状、寒中御見舞交肴1折贈られ老長も宜しく申付の こと) * (包紙上書)「八田嘉右衛門様 高田茂左衛門・ 浅山仁兵衛」 浅山仁兵衛正朋(花押)・高田茂左衛門良容 (花押)→八田嘉右衛門	12月13日	折紙/(え4444-1 ～25は紙縫一 括)・1通	え4444-1
送り物おほへ(干鯛・味噌漬・くわし・きくらげ、ほか15品 舟にて差し送るに付) * (封筒上書)「送物覚」	6月15日	横切継紙/(え 4447-1～8は括 り紐一括)・1通	え4447-6
送物目録・覚(硯箱・種瓢ほか) * (封筒上書)「送物覚」		横切継紙・1通	え4447-7
覚(年始御礼銭青銅10疋受取に付) 佐藤左金吾(印)→ 八田嘉右衛門殿	天保15辰年正月	切紙/(え4452- 1～17は紙縫一 括)/(え4452-8-1 ～8は巻込一括)/ (綴痕あり)・1通	え4452-8-1
覚(御昇進御祝儀青銅5疋請取に付) 徳寫恒吉(印)→ 八田嘉助殿	天保12丑年12月	切紙/(綴痕あ り)・1通	え4452-8-4
覚(御昇進御祝儀青銅10疋請取に付) 徳寫恒吉(印)→ 八田嘉右衛門殿	天保12丑年12月	切紙/(綴痕あ り)・1通	え4452-8-5
覚(当辰年年始御礼銭青銅5疋受取に付) 佐藤左金吾 (印)→八田嘉助殿	天保15辰年正月	切紙/(綴痕あ り)・1通	え4452-8-6
覚(当寅年年始御礼銭青銅5疋請取に付) 徳寫恒吉(印) →八田嘉助殿	天保13寅年正月	切紙/(綴痕あ り)・1通	え4452-8-7

覚(当寅年年始御礼銭青銅10疋受取に付) 大嶋富作(印) →八田嘉右衛門殿	天保13寅年正月	切紙/(綴痕あり)・1通	え4452-8-8
--	----------	--------------	-----------

1.20.3. 婚姻・離縁

(一昨日は御日柄もよく御婚姻滞り無く済みよし御事)		横切継紙/(え4379-1~26は紙縫一括)/(虫損)・1通	え4379-4
(包紙) * (包紙上書)「先年婚姻之節祝儀向申合且亦祝物相送候紙面為心得残置候」		包紙/(え4439-1~40は紙縫一括)/(え4439-38-1~3は包紙一括)・1点	え4439-38-1
覚(塩鯛1折ほか諸品書上雛形) * (雛形)/(塩鯛など拵置く事ほか書付共)		折紙・1通	え4439-38-2
覚(御隠居様へ何・何品ほか雛形) * (雛形)		折紙・1通	え4439-38-3

1.20.4. 葬儀・法事

(獻光院終焉御布施関係一括)	(天保14年)	綴/(え4221-1~42は一綴)・1綴	え4221
(袋) * (袋上書)「天保十四卯年三月朔 獻光院寶珠貞璨大姉終焉 書類入」	天保14卯年	袋・1点	え4221-1
覚(八田慶助より御香奠1000疋他金銭書上)	(天保14年)	横切継紙・1通	え4221-2
覚(御斎米5升他品物書上) 浄福寺納所→八田嘉右衛門様御内長崎源吾様	(天保14年)5月12日	横切継紙・1通	え4221-3
覚(御布施金100疋他百ヶ日御法事御施物受取書) 浄福寺納所→八田嘉右衛門様御内長崎源吾様	(天保14年)5月12日	横切継紙・1通	え4221-4
(獻光院) * (墨消し)	(天保14年)卯月26日	横切継紙・1通	え4221-5
(書状、獻光院遺物の歳末の品御用に余り有るに付) * (下書)	(天保14年)	横切継紙・1通	え4221-6
覚(八田慶助より5匹他御香奠書上) 八田嘉右衛門内長崎源吾→浄福寺様御納所	(天保14年)5月12日	横切継紙・1通	え4221-7
覚(方丈へ御布施金100匹他金銭受取書) 浄福寺納所→八田嘉右衛門様御内長崎源吾様	(天保14年)5月12日	横切継紙・1通	え4221-8
覚(輿4台他品物書上) 袋屋惣兵衛	(天保14年)	横切継紙・1通	え4221-9
(三光院より野御布施10疋他金銭書上) 家昌寺・圓福寺・長泉寺・典慶寺・昌禪寺	(天保14年)	横切継紙・1通	え4221-10
(寺町様段々御礼他大旦那様など人名書上)	(天保14年)	横切継紙・1通	え4221-11
初七日法会献立	(天保14年)	横切継紙・1通	え4221-12
(馬肥町山屋専助・いせ屋治助他人名書上) * (朱書)	(天保14年)	横切継紙・1通	え4221-13
覚(御備納餅3飾他受取書) 浄福寺内菊頂→八田嘉右衛門様御内長崎源吾殿	(天保14年)卯5月11日	横切継紙・1通	え4221-14
(5月11日夕より12日朝まで御法事に付150人前献立)	(天保14年)	横切継紙・1通	え4221-15

(大坂や才助1本他数量書上)	(天保14年)	横切継紙・1通	え 4221-16
(山口や七太郎1本他数量書上)	(天保14年)	切紙・1通	え 4221-17
忌掛(八田嘉右衛門20日他日数書上)	(天保14年)	横切継紙・1通	え 4221-18
覚(上6人の代700文他メ2貫332文請取書) 義作(印)→上	(天保14年)4月3日	折紙・1通	え 4221-19
忌掛(八田嘉右衛門20日他日数書上)	(天保14年)	横切継紙・1通	え 4221-20
天保14卯年四月六日夕より七日献立 献光院様初七日 并五七日御法会ニ付調帳	(天保14年)	横長半・1冊	え 4221-21
覚(御斎米5升他法事御備物受納書) 浄福寺納所→八田 嘉右衛門様御内長崎源吾様	(天保14年)	横切継紙・1通	え 4221-22
覚(野御布施金200疋他受取書) 浄福寺納所→八田嘉右 衛門様御内長崎源吾様	(天保14年)4月7日	横切継紙・1通	え 4221-23
覚(師岡殿次郎様御曾祖母より御香奠10疋受取書) 浄福寺納所→八田嘉右衛門様御内長崎源吾様	(天保14年)4月7日	横切継紙・1通	え 4221-24
覚(御布施20疋他受取書) 西念寺鑑用并三高院御爛拜→ 八田嘉右衛門様御内長崎源吾様	(天保14年)4月12日	横切継紙・1通	え 4221-25
覚(御布施20疋他受取書) 浄福寺納所→八田嘉右衛門様 御法儀衆中	(天保14年)4月12日	横切紙・1通	え 4221-26
覚(野御布施20疋他受納書) 高源寺納処→八田嘉右衛門 様御使中	(天保14年)4月12日	横切継紙・1通	え 4221-27
覚(野御布施20疋他受納書) 開善寺役僧(印)→八田嘉右 衛門様御使中	(天保14年)4月12日	横切継紙・1通	え 4221-28
覚(野御布施20疋他受納書) 恵明寺納所→八田嘉右衛門 様御使中	(天保14年)4月12日	横切紙・1通	え 4221-29
覚(野御布施20疋他受納書) 證蓮寺役僧→八田嘉右衛門 様御使中	(天保14年)4月12日	横切紙・1通	え 4221-30
覚(野御布施20疋他受納書) 本誓寺納所[印]	(天保14年)4月12日	横切紙・1通	え 4221-31
覚(野御布施20疋他受納書) 大英寺納処→八田嘉右衛門 様御使中	(天保14年)4月12日	横切紙・1通	え 4221-32
覚(野御布施20疋他受納書) 大林寺納所→八田嘉右衛門 様御使中	(天保14年)	横切継紙・1通	え 4221-33
覚(野御布施20疋他受納書) 練光寺→八田嘉右衛門様御 使中	(天保14年)	横切紙・1通	え 4221-34
覚(野御布施20疋他受納書) 願行寺納処	(天保14年)(4月)12日	横切紙・1通	え 4221-35
覚(野御布施20疋他受取書) 長国寺納所→八田嘉右衛門 様内御使中	(天保14年)	横切継紙・1通	え 4221-36
(金200疋等を方丈様へ他金銭書付)	(天保14年)	横切継紙・1通	え 4221-37
覚(白衣・輿台等代金100疋受取書) 浄福寺納所→八田 嘉右衛門様御内長崎源吾様	(天保14年)	横切継紙・1通	え 4221-38
覚(金100疋等を方丈様へ他金銭書付) 浄福寺納所→八 田嘉右衛門様御内長崎源吾様	(天保14年)4月7日	横切継紙・1通	え 4221-39
口上覚(時と方角の考えに相違無きに付) 練光寺→八 田嘉右衛門様	(天保14年)4月1日	横切紙・1通	え 4221-40
(書状、お贈りの品いづれもよきに付) (赤沢)直兵衛→ 御もの殿	(天保14年)	横切継紙・1通	え 4221-41

(書状、御おば様お悔やみ庵品差上げに付) 赤沢直兵衛	(天保14年)5月28日	横切継紙・1通	え4221-42
(書状、御おば様お悔やみに付) 村上内→はつ田御めの屋	(天保14年)5月28日	折紙・1通	え4221-43
(私母方叔父八田嘉助死去に付服忌日数通知下書)		横切紙/(え4384-1~51は紙縫一括)・1通	え4384-8
私叔父八田嘉助死去仕候ニ付忌服日数 * (断簡)		横切継紙・1通	え4384-19
口上(玄曠院初七日法事1月28日夕から29日朝迄執り行いのため焼香を願う旨) はつ田(八田)慎蔵→上村御新造様	11月26日	横切継紙・1通	え4384-21
口上(玄曠院初七日法事1月28日夕から29日朝迄執り行いのため焼香を願う旨) はつ田(八田)慎蔵→三さわ御新造様	11月26日	横切継紙・1通	え4384-22
口上(玄曠院初七日法事1月28日夕から29日朝迄執り行いのため焼香を願う旨) はつ田(八田)慎蔵→むら田御奥様	11月26日	横切継紙・1通	え4384-23
(父嘉助死去の通知下書)		横切継紙・1通	え4384-24
(私母方叔父八田嘉助忌服日数御届) 師岡敬次郎→鎌(原)伊野右衛門様	11月24日	横切紙・1通	え4384-25
口上(玄曠院初七日法事案内)		横切継紙(後欠)・1通	え4384-26
(玄曠院初七日法事案内)		横切継紙(後欠)・1通	え4384-27
(母方伯父[八田嘉助](虫損)忌服日数御届) 大瀬義八郎→藤田典膳様	11月24日	横切紙・1通	え4384-31
(書状、病氣にて御法会焼香できず不作法に付) *(端裏書)「六月五日到来ニ付返書遣ス」坂原啓十郎→八田嘉右衛門様・八田嘉助様	6月4日	横切継紙/(え4386-1~30は紙縫一括)・1通	え4386-22
(書状、御尊父様御養生叶わず御遠去の旨御悔やみ申上げるに付) *(包紙上書)「於松代 八田御賢息様 炭屋孫七」炭屋孫七亮(花押)→八(田)御賢息様	2月5日	折紙/(え4395-31-1~4は紙縫一括)・1通	え4395-31-1
(包紙) *(包紙上書)「御香奠 炭屋孫七」		包紙・1点	え4395-31-2
(貼紙、「三月十六日高井三九郎より届く大坂書状」)		小切紙・1通	え4395-31-3
(貼紙、「時節一周相届き候書状松本氏へ遣し宣申候」)		小切紙・1通	え4395-31-4
服忌令 *(包紙上書)「服忌令」		堅紙/(え4400-1~25は紙縫一括)・1通	え4400-25
(書状、御母君御死去の由驚き入り御愁傷の段遠察に付) *(包紙上書)「信州松代御家中八田嘉右衛門様要用 従東都」/(包紙裏書)「中林上楨町岑右膳地面固谷規平」和哥月素桐・固谷規平→八田嘉右衛門様	8月18日	横切継紙/(え4421-1~11は紙縫一括)・1通	え4421-7
口上覚(八田長左衛門死去に際し葬式時駕籠用い前々の振り合いに御聞き済み願ひ) 杭全平左衛門・八田嘉右衛門・北村甚兵衛・伴三郎右衛門	5月	横切継紙/(え4429-1~4は紙縫一括)/(え4429-2-1~7は包紙一括)・1通	え4429-2-4

覚(長左衛門死去に際し同人妻・私娘野立駕籠御聞き済みに付)	6月3日	横切継紙・1通	え4429-2-5
(書状、駕籠の儀御聞き済みに付)		横切紙・1通	え4429-2-6
(書状、要右衛門死去の御御愈篤御音修条くに付) *(包紙上書)「松代八田嘉右衛門様貴下 下戸倉坂井直太郎」 坂井直太郎→八田嘉右衛門様		折紙/(え4431-1 ~17は紙縫一 括)・1通	え4431-1

1.20.5. 先祖供養

(来子正月50回忌慧光院様ほか戒名年季書付)		折紙/(え4381-1 ~11は紙縫一 括)・1通	え4381-9
------------------------	--	---------------------------------	---------

1.20.6. 年中行事

(年頭御祝詞) 唐澤孝左衛門照(花押)→八田嘉右衛門様参人々御中	正月20日	折紙/(え4386-1 ~30は紙縫一 括)・1通	え4386-13
(書状、年頭の御祝詞) *(包紙上書)「信州松代 八田嘉右衛門様拝上 桑名御定宿銭屋又左衛門」/(包紙裏書)「時雨蛤 壱曲添」 桑名御定宿銭屋又左衛門→八田嘉右衛門様拝上	正月2日	折紙/(え4387-1 ~33は紙縫一 括)/(え4387-13- 1~2は包紙一括) ・1通	え4387-13- 1
(書状、御年玉御厚礼申し上げ、此品甚だ僥末の至り御笑納の旨)		横切紙・1通	え4387-13- 2
(書状、年始の御祝詞) *(包紙上書)「八田慎蔵様 松村新兵衛・同秀次郎」 松村新兵衛方福(花押)・同秀次郎→八田慎蔵様参人々御中	正月2日	折紙/(え4388-1 ~20は紙縫一 括)・1通	え4388-1
(御祝儀献立)		横切継紙・1通	え4388-7
(包紙) *(包紙上書)「八田嘉右衛門様 堀内楯一郎 申年始之返状」/(包紙裏書)「堀内楯一郎様 八田嘉右衛門」		包紙/(え4414-1 ~3は包紙一括)・ 1点	え4414-1
(書状、別紙拝誦としの内も今明かときわまり) 梅兆→書鳩大君玉床下	第月念九	横切紙・1通	え4414-2
(書状、歳末御祝儀として御肴一折御恵贈有り難く御祝納の旨) 堀内楯一郎→八田嘉右衛門様参人々御中	12月29日	折紙・1通	え4414-3
口上覚(久蔵虫送りの儀伊左衛門方までの金子工面出来兼ね私方へ虫送りに付) *(封筒上書)「口上覚 久蔵・嘉兵衛・仁右衛門・彦五郎」 いせ屋彦四郎(印)→甚兵衛殿	2月24日	横切継紙/(え4425-1~17は 紙縫一括)・1通	え4425-13
(書状、年始の御祝詞貴意を得べく旨) *(包紙上書)「八田嘉右衛門様年始状 高田茂左衛門・杉原勝太夫」 杉原勝太夫教包(花押)・浅山仁兵衛正朋(花押)・高田茂左衛門良容(花押)→八田嘉右衛門様	正月20日	折紙/(え4445-1 ~14は紙縫一 括)・1通	え4445-1

1.20.7. 書状

(書状、書中御見舞いとして杏干2袋御恵贈下され両家とも宜しく御礼の旨、ほか) 鉄治郎→御兄上様		横切継紙/(え4433-1~10は 紙縫一括)・1通	え4433-3
---	--	-------------------------------	---------

1.内方/20.儀礼/7.書状

(書状、近々お祝いに付) □□拝→貴兄	正月12日	横切紙/(え4441-1~39は紙縫一括)/(虫損)・1通	え4441-15
---------------------	-------	-------------------------------	----------

1.21. 旅

覚(小諸宿休海野宿泊など入用書付)	7月24日	折紙/(え4376-1~22は紙縫一括)・1通	え4376-9
(八代宿より倉賀野宿迄、錢3貫364文外才領)		横切継紙/(え4389-1~50は紙縫一括)・1通	え4389-7
記(10月27日矢代橋錢160文から11月1日までシャクマク村まで道中錢書付)		横長半/(え4392-1~3は紙縫一括)/(え4392-1-1~5は巻込一括)・1冊	え4392-1-1
覚(生ふくらけ代5本35匁5分受取) 吉田屋半右衛門→上	10月30日	横切紙・1通	え4392-1-2
記(旅籠代52匁5分ほか、60匁受取) つたや五郎左衛門→叁代御客様	10月29日	横切紙・1通	え4392-1-3
記(天緒1足3匁3分ほか、11匁5厘受取) 戸隠屋五郎右衛門→叁代御客様	10月29日	横切紙・1通	え4392-1-4
記(煮魚代1分2朱ほか代金受取) 寿松→上	30日	横切紙・1通	え4392-1-5
條々(旅宿心得書)	申3月	折紙/(え4431-1~17は紙縫一括)・1通	え4431-15

1.22. 寺社

1.22.1. 浄福寺

(毛綱書類綴)		綴/(え4227-1~9は一綴)・1綴	え4227
(袋) * (袋)「毛綱書類入」		袋・1点	え4227-1
(書状、毛綱御贈り下され預り置き、江戸表勸化は当年山王祭礼につき20日頃より始める心得に付) 鮫はし中笠豊前介→信州松代御城下菊屋傳兵衛様	5月19日	横切継紙・1通	え4227-2
(書状、毛綱お贈り下され八幡宮普請中殊の外取り込みにて贈り金延引となりこの段出府の上申し上げる旨) 大宮神主中笠豊前介春豊(花押)・前常德院→浄福寺様	5月ねだん19日	横切継紙・1通	え4227-3
(書状、毛綱8筋お贈り下され拙僧立ち合いの請け取り、大般若経も24、5日にも始める旨) 悟山九拜書→浄福寺大方丈様	申ノ4月20日	横切継紙・1通	え4227-4
(書状、書帖到来留守のところお届け下され、帰寺仕り拝見の旨) 浄福寺→八田嘉助様		横切継紙・1通	え4227-5
(書状、去る暮れ浄福寺方丈様当方へ御入りの節毛縄奉納に付) 悟山拝→菊屋傳兵衛様	申7月4日	横切継紙・1通	え4227-6

覚(毛綱8筋、目方25貫目長779間目録) * (裏書)「表書之通り樋受取申候以上 申四月廿二日 武州八幡一ノ宮中郷八幡宮神主中糞豊前介名代社役人殿村山城(印) 菊屋傳兵衛様」 菊屋傳兵衛(印)「信州松代菊傳」	申4月	横切継紙・1通	え4227-7
(書状、和田氏金子入用の由10両受け取りのこと) 浄福寺→八田孫左衛門様	3月27日	横切紙/(え4436-1~19は紙縫一括)・1通	え4436-8
(包紙) * (包紙上書)「信州松代田中村浄福寺様行御取次 衆中 福泉寺 江戸四ツ谷在代々木村賃銭相済」		包紙/(え4442-1~26は紙縫一括)/(え4442-26-1~3は包紙一括)・1点	え4442-26-1
請取(毛綱2筋樽入にてたしかに請取に付) 武州上清久村前常徳院代四ツ谷代々木村福泉寺[印]→信州松代菊屋傳兵衛殿		横切紙・1通	え4442-26-2
(書状、御出府の御御話にあった毛綱2筋請取によりその旨菊屋傳兵衛殿へ御申上げくださるべきに付) 悟山九拜→呈上浄福老古拂近侍下	12月28日	横切継紙・1通	え4442-26-3

1.22.2. 菩提寺浄福寺一件

(書状、東木町佐七心得違いの儀拙寺へ一向相組みの旨) 浄福寺→八田嘉右衛門様書通添	3月19日	横切継紙/(え4427-1~37は紙縫一括)・1通	え4427-34
(書状、明日の始末御内意下され千万厚く承知下され、拙僧代初めての事故不案内ばかりにて御添心願う旨) 浄福寺→八田嘉右衛門様	11月23日	横切継紙/(え4434-1~13は紙縫一括)・1通	え4434-6

1.22.3. 松代大林寺

御假申一札之事(和田九市右衛門様・中村與惣左衛門様へ質入地所御役代与総左衛門、質地入上げ初代金差滞り御吟味にて両寺僧へ仮申上げに付) 大塚村東組与総右衛門(印)・親類惣代佐忠太(印)・組合惣代孫左衛門(印)・名主重右衛門(印)・組頭寛右衛門(印)・長百姓与左衛門(印)→大林寺様御役僧様・證蓮寺様、(奥書)大林寺役寺[印]・證蓮寺(印)→和田九市右衛門殿・中村與惣左衛門殿	天保元年12月	縦継紙/(え4449-1~22は括り紐一括)・1通	え4449-6
--	---------	---------------------------	---------

1.22.4. 江戸

贈り一札之事(書状添筵包4箇送り状) 松代菊屋傳兵衛(印)「信州松代菊傳」→江戸四ツ谷鉄砲坂下中郷八幡御出張御役所二而前常徳院様行、(奥書)信州松代在浄福寺	申4月15日出	縦紙/(え4227-1~9は一綴)/(下げ札あり)・1通	え4227-8
預り申一札之事(武州八幡一ノ宮建立のため毛綱奉納につき諸色高直のため品々下直になり値段相談の掛け合いに付) 江戸鍛冶橋御門外預り人金魚屋喜八(印)・同四ツ谷忍町万吉(印)→信州松代菊屋傳兵衛殿	天保7申年7月	縦紙・1通	え4227-9

1.22.5. その他

(書状、善光寺山極より極々誤り入れに付) 松嘉→伊勢町様机下	8月8日	横切紙/(え4384-1~51は紙縫一括)/(虫損)・1通	え4384-3
別紙御内々申上候(上人11月10日遷化し弟未だ得度済まずに付)		横切継紙/(え4386-1~30は紙縫一括)・1通	え4386-14
(幣帛木片) * (木片上書)「一口入金五両」/(木片裏書)「受代金」		木片/(え4391-1~20は巻込一括)・1点	え4391-10
善光寺ニ有之候記録之内書抜		半/(え4392-1~3は紙縫一括)/(虫損甚大)・1冊	え4392-3
(書状、善光寺より図面参り、喜六を呼び御入料を懸ける旨) 松本嘉十郎→八(八田)嘉助様 善光寺状箱添	3月27日	横切継紙/(え4395-1~31は紙縫一括)/(え4395-20-1~2は紙縫一括)/(虫損)/(付札あり)・1通	え4395-20-1
(書状、八田嘉助・松本嘉十郎へ打合せの当院内造営の御取り持ちに主人方満悦の旨) * (端裏書)「下案竹[](屋喜六)様 山極源右衛門・吉村隼人」 吉村隼人・柄沢孝左衛門・山極源右衛門→竹屋喜六様	3月25日	横切継紙/(虫損)・1通	え4395-20-2
(書状、名代豊次郎をもって金50両御落掌下され、18日頃出立の旨) * (包紙上書)「松代和合院様要用 岩村田法華堂・渡辺大蔵」 渡辺大蔵・法華堂→和合院様几下	12月25日	横切継紙/(え4403-1~16は紙縫一括)・1通	え4403-3
(書状、八田公拝借の儀先日御渡しの残金50両この度差し上げるに付) * (包紙上書)「松代和合院様玉下 岩村田渡辺武左衛門」 渡辺武左衛門→和合院様	12月18日	横切継紙/(え4404-1~7は紙縫一括)・1通	え4404-3
(書状、御蕎麦差越有り難く、長国寺勝手取調にて罷り越す旨) 儀右衛門→(八田)嘉助様御受申上	12月3日	横切継紙/(え4420-1~46は紙縫一括)・1通	え4420-28
覚(御懸銭30疋、間嶺次五左衛門・北村茂兵衛・増田孫兵衛・八田嘉右衛門・北村源左衛門・相沢巳之作×1貫800文、来年中御遷宮につき旅家太神宮御普請入用差し出し)	文政10亥12月16日	横切継紙/(え4426-1~35は紙縫一括)・1通	え4426-17
(書状、皆神山前和合院小児ばかりにて行立兼、御心付下さる様偏に願う旨) * (包紙上書)「信州松代八田孫左衛門様呈玉床下 上州吾妻群郷原村より」/(包紙裏上書)「潜龍院」/(包紙貼紙)「年行司」 若下山潜龍院幸清(花押)→松代八田孫左衛門様呈玉床下	10月15日	横切継紙/(え4428-1~5は紙縫一括)・1通	え4428-2
(法身 中 大日如来 清 右愚意のみ)		堅紙/(え4431-1~17は紙縫一括)・1通	え4431-13
(虚堂再来天下老和尚一休宗純末期書)		横切紙/(え4431-14-1~2は巻込一括)・1通	え4431-14-1
(大力量人・國師三喚・鐘聲七條)		横切紙・1通	え4431-14-2

覚(金3両品々御神金奉受) 宮沢兵吾→八田嘉助様	午7月日	横切継紙/(え4432-1~31は紙縫一括)/(え4432-5-1~3は包紙一括)・1通	え4432-5-2
(書状、御帳出来につき御本院侍者中までよろしく御頼みの旨) 八田嘉右衛門→宗眼寺様	8月12日	横切継紙・1通	え4432-29
(信濃国更級郡八幡村八幡宮龕前金欄幃1雙) 松城藩 八田嘉右衛門知義薫沐百拜	文政5年孟春穀旦	堅紙・1通	え4432-30
(書状、拙僧今般月の入り多く金子3両石羽庄兵衛へ御渡し下されたきに付) 勝山(花押)→八田幸八殿	6月15日	横切継紙/(え4437-1~24は紙縫一括)・1通	え4437-3
(包紙) * (包紙上書)「文政六壬未七月廿一日 考書」		包紙/(え4438-1~30は紙縫一括)/(え4438-1-1~3は包紙一括)・1点	え4438-1-1
(御志願成就の考書)	未7月吉辰旦	折紙・1通	え4438-1-2
(書状、考書差上にて御落手下されたきに付) 齋宮→(八田)嘉右衛門様一封添	7月21日	横切継紙・1通	え4438-1-3
覚(小遣人足1000人など、諏訪宮御普請中入用人足ノ7500人の書上)		折紙・1通	え4438-24
(書状、仰せの金子御渡し下されたく願上、長国寺手違筋の件は明日にも罷出申すに付) 学海→中島様内用	10日	折紙/(え4438-30-1~6は袋一括)/(え4438-30-3~6は包紙一括)・1通	え4438-30-6
口上覚(喜福寺へ入らせられ、旅舎までも来る儀成し下されるよう御照命ほかに付) * (包紙上書)「八田嘉右衛門様 哲堂」 哲堂→八田嘉右衛門様	6月7日	横切継紙/(え4441-1~39は紙縫一括)・1通	え4441-6
覚(青銅20疋納め下されに付) 練光寺納所→八田嘉右衛門様御使中	12月27日	堅切紙・1通	え4441-10
覚(真福寺上京奉加により金2分御取替御無心の所受取に付) 荒神堂世話人(印)→小川屋三平殿	亥7月	切紙/(え4451-1~25は紙縫一括)・1通	え4451-22
(書状、2月3日御常例の護摩修行仕候ゆえ、此段貴意を得たきに付)	正月29日	横切紙/(え4452-1~17は紙縫一括)・1通	え4452-13

1.23. 家財

1.23.1. 武器

包紙 * (包紙上書)「池村氏様 小キ刀請取り」/(包紙裏書)「元文元年辰五月廿日口入金之覚」	元文元年	包紙/(え4373-1~32は紙縫一括)/(え4373-1~28は紙縫一括)/(え4373-13-1~3は包紙一括)・1点	え4373-13-1
---	------	---	------------

1.内方/23.家財/1.武器

覚(三原無銘小キ刀下総ともに代金2分受け取り、売り渡しのこと) 安西小八(印)→与右衛門殿	元文元年5月20日	横切紙・1通	え4373-13-2
(書状、金子2分慥かに受け取り切手調い遣わす旨)	元文元年20日	横切継紙・1通	え4373-13-3
覚(国次銘尺1尺9寸脇差1腰ほかに鰐1枚売り渡し代金慥かに請取) * (包紙上書)「九右衛門脇指之請取」 山布施村九右衛門(印)→八田嘉助殿	享保21年辰ノ2月15日	豎紙・1通	え4373-24
(書状、秘蔵の大小は御手元に差し上げ置くべきところ余儀なく拝借仕るに付) * (端裏書)「御内々申上候」/(勘返状)	1月11日	横切継紙/(え4420-1~46は紙縫一括)・1通	え4420-6
(猟師鉄砲1挺など鉄砲ノ5挺書上)		切紙/(え4438-1~30は紙縫一括)・1通	え4438-7
(銘備州長スリ上刀身など刀剣書上)		折紙・1通	え4438-29

1.23.2. 衣類・諸道具・書画ほか

(大横物1幅仕立代76匁ほか代金書付) ひのや傳兵衛→八田傳兵衛殿	3月8日	横切継紙/(え4375-1~17は紙縫一括)/(え4375-12-1~4は一綴)・1通	え4375-12-1
おほへ(700文京より太賃38文善光寺より) わた仁[印]→菊傳(菊屋傳兵衛)様		横切継紙・1通	え4375-12-2
信州善光寺綿屋仁左衛門様 次同松代菊屋傳兵衛様行日野屋傳兵衛	閏5月8日出	封紙カ・1点	え4375-12-3
送り之覚(大横物掛物1幅入、信州松代菊屋傳兵衛行)京都間之町御地下ル日野や傳兵衛(印「日野屋傳兵衛」)→信州善光寺綿屋仁左衛門殿	閏5月8日出	豎紙・1通	え4375-12-4
(包紙) * (包紙上書)「外宮千枝杉茶杓銘神風 正三位二祢宜渡會朝榮」		包紙/(え4389-1~50は紙縫一括)・1点	え4389-16
楽焼ノ時代(初代高麗左衛門から7代吉左衛門まで系譜略記)		横切紙・1通	え4389-17
(書状、先達て不快のところ御珍茶箱御恵投につき礼状、盆後大病にての旨) 温山→書鳩君様玉床下	霜月3日	横切継紙・1通	え4389-19
(きぬたかた竹刀掛・竹燈台の図、甲府自庵一紫庵寫月様へ出立の節譲る)		横切紙・1通	え4389-23
(松井店表店土蔵付1棟・土蔵・釜屋・室家など、5尺桶・室蓋・船など備品什器書付)	辰2月	横切継紙・1通	え4389-33
(書状、掛物并地紙画賛御鑑定のうえ春迄御預かりを願う旨) * (包紙上書)「八田嘉右衛門様 山極源右衛門」/(封 掛物二幅箱入・地紙忝枚相添) 源右衛門→(八田)嘉右衛門様	9月2日	横切継紙/(え4400-1~25は紙縫一括)・1通	え4400-14
(書状、拙寺先住天龍長老閏8月5日遷神いたし、明人石岳の篆書・龍形唐図1挺遺贈に付) * (包紙上書)「信州松代御家中八田嘉右衛門様几下当用書 喜福寺」/(包紙裏書)(朱印)「江戸本郷」 江戸本郷喜福寺→八田嘉右衛門様几下	10月28日	横切継紙/(え4404-1~7は包紙一括)・1通	え4404-4

(書状、御道具御大切ながら恩借り願う旨) 久慈→(八田)嘉助様	11月9日	横切継紙/(え4420-1~46は紙縫一括)・1通	え4420-9
覚(台弓1張、御借り御返しにつき金2両2分御返し下され受け取りのこと) * (包紙上書)「覚 文政七壬申閏八月弓台借置候付鈴木右近殿より金貳貳式歩受取置候処今度金子遣右弓台受取先達而指遣置候印書見兼ニ付誤印書受取申候」 鈴木右近(印)→長谷川善兵衛殿	申閏8月	横切継紙/(え4432-1~31は紙縫一括)・1通	え4432-23
覚(御石塔1本代金2両ほかメ金2両1分2朱受取) 石工安兵衛(印)→八田様御役人中様	子正月4日	横切継紙/(え4435-1~15は紙縫一括)・1通	え4435-1
覚(盃箱入数100銀70匁・駄賃銀7匁メ金1両1分余受取) 才領組中村初左衛門(印)→菊屋市兵衛様	12月28日	横切継紙・1通	え4435-3
(花瓶絵図面関係一括)		包紙/(え4438-1~30は紙縫一括)/(え4438-6-1~4は包紙一括)・1点	え4438-6
(包紙) * (包紙上書)「絵図面入」		包紙・1点	え4438-6-1
(書状、花瓶絵図面看訂家の中著しき者へ見せし件に付) 哲色→八田嘉右衛門様参人々御中		横切継紙・1通	え4438-6-2
(花瓶絵図面)		38.2×28.0・1鋪	え4438-6-3
(花瓶絵図面) * (花瓶解説並びに看訂家評価の書入あり)		32.0×29.0・1鋪	え4438-6-4
(書状、豊後守去る16日在着、持参有合の品兼子簞笥並びに相馬焼茶碗1つ御受納下されたきに付) * (包紙上書)「松代八田嘉右衛門様岩村田前田宗右衛門喜多村五橘」 喜多村五橘胤成(花押)・前田宗右衛門守常(花押)→八田嘉右衛門様	11月23日	折紙/(え4439-1~40は紙縫一括)・1通	え4439-40
(書状、見事な御器にて拝賞仕り、御厚志忝きに付) 拝覆→大助	11月24日	横切紙/(え4442-1~26は紙縫一括)/(虫損)・1通	え4442-10
(書状、海外玉壺書体へ問合せのところ価も高直故延引の旨)	6月12日	横切継紙/(え4447-1~8は括り紐一括)/(え4447-5-1~3は封紙一括)・1通	え4447-5-2
覚(梓枿1房絵絹張手間代共・7分厘に付) 袋町金治→浦野忠七様	辰7月	横切紙/(え4453-1~13は紙縫一括)・1通	え4453-7

1.24. 蔵書・読書

(八田鉄次郎読書出精一段につき孝経一部くださる旨) * (包紙上書)「天保十二年辛丑年正月十七日八田鉄治郎於御殿孝経一卷拝領 御書付御懸り恩田木工殿」	正月17日	横切継紙/(え4379-1~26は紙縫一括)/(え4379-16-1~16は紙縫一括)・1通	え4379-16-3
(八田孫太郎儒書素読のため来月朔日4時登城のこと) 竹村金吾→八田嘉助殿	11月6日	横切継紙・1通	え4379-16-4

1.内方/24.蔵書・読書

(八田孫太郎御中陰中につき来月朔日の儒書素読は延引のこと) 竹村金吾→八田嘉助殿	11月28日	横切継紙・1通	え4379-16-5
(八田孫太郎旧冬延引の儒書素読は来月10日4時登城のこと) * (包紙上書)「弘化二巳年正月廿三日到来」岡嶋莊蔵→八田嘉助殿	正月23日	横切継紙・1通	え4379-16-6
(八田鉄次郎読書出精につき金思録一部くださる旨) * (端裏書)「弘化二巳年正月十六日」	正月16日	横切継紙・1通	え4379-16-7
(八田孫太郎読書出精一段につき金思録一部くださる旨) * (端裏書)「天保十五辰年二月二日拝領物仕候御書附於御用部屋恩田頼母殿御渡 八田孫太郎」	2月2日	横切継紙・1通	え4379-16-8
(書状、両3日快晴となり時候相応の暑さで豊作の由、民間備荒録山中の者共の用にも相立つ旨) * (端裏書)「六月六日到来堀与一右衛門」 与一右衛門→(八田)嘉右衛門様	5月晦日	横切継紙/(え4386-1~30は紙縫一括)・1通	え4386-15

1.25. 見聞・風説書

(書状、此春大風雨のため品川沖の本船破船など近年無き荒れ方の旨申上に付) 久右衛門→(八田)嘉助様	7月26日	横切継紙/(え4215-1~53は一綴)・1通	え4215-9
(包紙) * (包紙上書)「伊勢町八田旦那様 君ヶ嶽助三郎相撲勝負附早見」/(包紙裏書)「十二月十七日 從江戸」		包紙/(え4383-1~49は紙縫一括)・1点	え4383-5
(書状、諸士以上は米味噌渡し自分製に致させ、近日持ち場増しにて、近頃夷船入津の節などに付)	9月重陽朝於布屋新田認	横切継紙/(え4389-1~50は紙縫一括)・1通	え4389-22
江戸武家町人并町数之覚(一人一日に5合の積にて江戸中一日の入用高御勘定方書き出しの写し)		折紙・1通	え4406
大坂御用金被仰渡候(1番5万両宛鴻池善衛門・鴻池松之助ほか献金者70名書付)	宝暦11歳11月16日	横切継紙・1通	え4407
(浅間山噴火による吾妻川流域村々被災絵図、知行所・支配所付け)		横切継紙/15.5×109・1鋪	え4415
小諸動乱書譜(牧野八郎左衛門ほか4名斬首書付)		横切継紙/(え4416-1~24は紙縫一括)・1通	え4416-14
(御出棺御指図 平川北門より竹橋御門迄植村出羽守・増山対馬守など)		横長半/(え4429-1~4は紙縫一括)・1冊	え4429-3
覚(加州石川郡宮之腰銭屋五兵衛御家中切腹に付人名書上) 富永治左衛門	霜月	横切継紙/(え4439-1~40は紙縫一括)・1通	え4439-19
(仙石騒動関係家臣預けの旨など書上)		横切継紙/(え4442-1~26は紙縫一括)・1通	え4442-4

1.26. 諸芸

1.26.1. 武芸・文芸

「望岳賦」 * (断簡)		小切紙/(え4383-1~49は紙縫一括)・1通	え4383-26
--------------	--	--------------------------	----------

(己卯暮秋の比ほひ華頂親王御寄輿なりしをかしこみ奉りて辨教・尊帖)		横切継紙/(え4444-1~25は紙縫一括)・1通	え4444-14
(和歌詠草)		横切紙・1通	え4444-23
(俳句、和歌詠草)		横切継紙・1通	え4444-24

1.26.2. 茶の湯

(茶会席草案)		横切継紙/(え4384-1~51は紙縫一括)・1通	え4384-11
(筒絵図ほか仕様書共) * (包紙上書)「嘉右衛門様 六十郎」		25.0×20.3/(え4389-1~50は紙縫一括)/(付札あり)・1鋪	え4389-41
(包紙) * (包紙上書)「置水屋図并寸法書」		包紙・1点	え4389-42-1
(置水屋図)		29.5×38.0・1鋪	え4389-42-2
置水屋寸法(長さ2尺3寸、幅1尺1寸6分など)		横切継紙・1通	え4389-42-3
12月何日八田嘉右衛門品(茶会什器品書)	正月5日	横切継紙/(え4390-1~24は紙縫一括)/(虫損甚大)・1通	え4390-22
(書状、先達て御厄介の御茶代金1分然るべく御取り計らいの旨) 右膳内清太夫→鉄之助様御役人中様金子添	12月25日	横切継紙/(え4395-1~31は紙縫一括)・1通	え4395-22
(書状、挽茶代金100匹差上げるに付) 恩田右膳内井堀勇右衛門→八田鉄之助様御取次中様金子百匹添	12月24日	横切継紙・1通	え4395-24
(書状、御約束の唐銅水指の蓋未だ手に入らずに付) * (包紙上書)「八田嘉右衛門様 廣田筑後」 越中洗心(花押)→八田書鳩様・同山長舎様	11月中7日	横切継紙・1通	え4395-30
(包紙) * (包紙上書)「八田嘉助様 佐竹周蔵」		包紙/(え4427-1~37は紙縫一括)/(え4427-8-1~3は包紙一括)・1点	え4427-8-1
(書状、本石町3丁目に出張りの宇治河村宗順手代へ3両2分茶代渡す旨ほか金50両のうち37両片桐重之助殿へ御返し願う旨) 周蔵→(八田)嘉助様	2月25日	横切継紙・1通	え4427-8-2
覚(金37両受け取り) 佐竹周蔵(印)→八田嘉助殿	申2月	横切紙・1通	え4427-8-3
(金3両受け取り) 安達熊→佐竹周蔵様	11月17日	横切紙・1通	え4427-33
(12月18日・12月27日茶会道具料理書上)		横切継紙/(え4442-1~26は紙縫一括)・1通	え4442-25

1.26.3. 柔術

覚(起倒流柔術、本體・夢中・力避など14手)		横切継紙/(え4430-1～6は紙縫一括)・1通	え4430-2
------------------------	--	--------------------------	---------

1.26.4. 手習

(手習い断簡)		小切紙/(え4381-1～11は紙縫一括)・1通	え4381-8
(手習い断簡)		小切紙・1通	え4381-10
(手習い断簡)		横切紙/(え4382-1～19は紙縫一括)・1通	え4382-9
(手習い断簡)		横切紙・1通	え4382-10
(手習い断簡)		横切紙・1通	え4382-11
(手習い断簡)		横切継紙・1通	え4382-12
(手習い断簡)		横切継紙・1通	え4382-13
(手習い断簡)		横切継紙/(え4383-1～49は紙縫一括)・1通	え4383-1
(手習い断簡)		横切継紙・1通	え4383-14
(手習い断簡)		小切紙・1通	え4383-18
(手習い断簡)		小切紙・1通	え4383-32

1.26.5. 占い

(書状、古易外篇6冊御持ち下され御好意の段千万忝く次第に付) 新兵衛→(八田)嘉助様御風呂敷返上	11月8日	横切継紙/(え4386-1～30は紙縫一括)・1通	え4386-21
庚午三月施印(易経曰積善之家必有余慶積不善之家必有余殃) 匡直舎		横切継紙/(え4444-1～25は紙縫一括)・1通	え4444-25

1.26.6. その他

(書状、東都八丁堀田島益山絵道達者なる者御地へ参る旨) 田中求達→八田嘉右衛門様	8月9日	横切継紙/(え4384-1～51は紙縫一括)・1通	え4384-7
(書状、来る10日会合並びに11日御寄合偏に願上に付) *(包紙上書)「八田嘉右衛門様 坂原兵左衛門」	極月5日	横切継紙/(え4438-1～30は紙縫一括)/(え4438-3-1～2は紙縫一括)・1通	え4438-3-1

(書状、兵左衛門家名取にて御出席の義に付) * (包紙上書)「坂原兵左衛門殿方仰付之義付親類寄合之節此方名代延引案帖」 坂爪唯右衛門・中沢与三右衛門・山田文六→八田嘉右衛門様	正月28日	横切継紙・1通	え4438-3-2
(書状、お花小道具などについて指示書) 為之助→(八田)嘉助様内用		横切継紙/(え4442-1~26は紙綴一括)・1通	え4442-12

1.27. 信心

日課念仏畧誓戒		横切紙/(え4425-1~17は紙綴一括)・1通	え4425-16
生飯之縁起		縦紙/(え4431-1~17は紙綴一括)・1通	え4431-12

1.28. 書状類

1.28.1. 嘉永6年12月中到来書状綴

(嘉永6年12月中到来書状綴)		綴/(え4237-1~37は一綴)・1綴	え4237
(袋) * (袋上書)「嘉永六癸丑年十二月中到来要用書状入八田知道」		袋・1点	え4237-1
(書状、安三郎よりの別条は面白くも無き旨) 松山丁→伊勢町様	17日	横切紙・1通	え4237-2
(大草様・金正老茶の種類と数量書付)		横切紙・1通	え4237-3
(書状、明朝6つ半時学校へ罷り出で年頭の御礼申し上げるに付如何の御振り合い成る哉何う旨) 北村与右衛門→八田慎蔵様	12月晦日	横切継紙・1通	え4237-4
(書状、昨子金寄差し出すに付御落手成される旨) 七郎右衛門	27日	横切紙・1通	え4237-5
(書状、当夏多分の賄い炊き出しの取り計らいに付御目録金200疋下さる旨) メ木次郎右衛門→八田慎蔵様	12月23日	横切紙・1通	え4237-6
(書状、昨日懸け戻しのうち金10両御廻し下され有り難く落手に付) 山越右馬允→八田慎蔵様	12月晦日	横切紙・1通	え4237-7
(書状、源太郎江戸より帰りの節送り候内足り申さずお陰様にて間に合い有り難き旨) おき→(八田)慎蔵様		折紙・1通	え4237-8
(書状、今晚発起会合の井上学的御掛け金を来春まで取り延ばしに付連中に対し規定崩しの儀21日を25日までとの趣にて一筆仰せを蒙りたく旨) 玄道→(八田)慎蔵様	12日	横切継紙・1通	え4237-9
(書状、赤池善三郎発起無尽について御懸け戻し金1両2分私ども詰め所へ御出金下され度に付) 中村與三左衛門・町田甚右衛門→八田慎蔵様	12月12日	横切紙・1通	え4237-10
(書状、反物代料大延引となり残金2分2朱銭400文河原御店へ願ひ度旨) 玄論→(八田)慎蔵様	3月	横切継紙・1通	え4237-11

1.内方/28.書状類/1.嘉永6年12月中到来書状綴

(書状、河村公御懸け戻しにつき取番より度々催促があり此の者へお渡し下され度に付) 善藏→(八田)慎藏様	師走29日	横切紙・1通	え4237-12
(書状、別紙の金子并町内趣意金御下げ下され度旨) 寺町→いせ町様	30日	横切継紙・1通	え4237-13
(書状、明日は唯藏名代御願いの由年始御礼銭青銅5正御取替金の旨) 長庵→(八田)慎藏様	12月27日	横切継紙・1通	え4237-14
(書状、寒中御窺い申し上げべく愚札捧げるに付) 片桐乙治→八田慎藏様御取次中様	12月11日	横切紙・1通	え4237-15
(書状、上納方厚き御配慮に付) * (勘返状) (八田)慎藏→(水井)忠藏様	30日	横切紙・1通	え4237-16
(書状、拙宅での無尽御懸金の儀如何の様子につき御伺い度旨) 柴水→(八田)慎藏様 内用被仰上可被下候	12月30日	横切継紙・1通	え4237-17
(書状、無尽御掛け戻し金今以て御遣わし下されず、此の者に遣わし下され度旨) 山越右馬允→八田慎藏様	12月29日	横切紙・1通	え4237-18
(書状、鉄次郎様一件段々御心配の程何とも申し上げ様も無くお察し申し上げます旨) 敬次郎→(八田)慎藏様	12月16日	横切継紙・1通	え4237-19
(書状、遠慎君御着の御皆々様御風邪の由、早速御伺いのところ大いに延引の段幾重にも御海容願う旨)	12月18日	横切紙・1通	え4237-20
(書状、御叔母様始め皆々様御安泰遊ばされ、此の段寒中御見舞申し上げます度旨) 安三郎→(八田)慎藏様 玉案下	季冬18日	横切継紙・1通	え4237-21
(書状、実に以て風邪のうえ腰痛にて参り難く御届け下さる様に付) 奥右衛門→(八田)慎藏様	12月27日	横切継紙・1通	え4237-22
(年頭御礼銭5正に御座候、半減24銅に罷り成り候)		小切紙・1通	え4237-23
舌代(義三郎切手差し上げ何分宜しく願う旨)	24日	小切紙・1通	え4237-24
(宛名書) 束→(八田)慎藏様 内用		小切紙・1通	え4237-25
(書状、山越無尽今夕会合につき、今日昨年御取替のうちへ金10両御廻し下され慥かに落手の旨) 春日栄作→八田慎藏様 申上	12月15日	横切紙・1通	え4237-26
(書状、今年御上納高御取り調べ御書き取りを以て早速勘定所へ差し出しに付) 水井忠藏→八田慎藏様・八田喜兵衛様 差懸り	12月29日	横切継紙・1通	え4237-27
(書状、別紙の通り大手前様より申し来たり候間何分宜しき様願うに付) 渡浪→(八田)慎藏様 内用	12月25日	横切継紙・1通	え4237-28
(書状、粗珍茶葉に付) (八田)競→(八田)慎藏様	19日	横切紙・1通	え4237-29
口上(名墨頂戴仕り有り難く、この品引き来たり呈上仕り御笑納下されたならば大慶に付) 七郎右衛門	20日	横切紙・1通	え4237-30
(書状、年内は度々御勞煩願ひ千々有り難き旨) 邊眠→義井君	晦日	横切継紙・1通	え4237-31
(書状、金子何分御もらへ申し上げます度旨) しけより→い勢町殿		横切紙・1通	え4237-32
(書状、歳末の御祝儀として御目録金1300疋御肴代金200疋に付) 空樹→(八田)慎藏様	12月晦日	横切紙・1通	え4237-33
(歳暮の御祝儀)		小切紙・1通	え4237-34

(書状、先代の御厚情に成る無尽当修会まで滞りなく 済み有り難く存じに付) 友馬→(八田)慎蔵様	11月28日	横切紙・1通	え4237-35
(書状、罷り出で度ところ風邪にて急腹痛の御届けを 願う旨) 奥右衛門→(八田)慎蔵様	12月24日	横切継紙・1通	え4237-36
(書状、御利分御渡し下され、自分柄差し支えに付早速 御廻し下される旨) 太一郎→(八田)慎蔵様	12月27日	横切継紙・1通	え4237-37

1.28.2. 嘉永7年正月より到来書簡

(嘉永7年よりの書状類一括)		綴/(え4229-1～ 42は一綴)・1綴	え4229
(袋) * (袋上書)「嘉永七甲寅年正月より到来要用書簡入 八田知道」		袋・1点	え4229-1
(書状、金子拝借年限伺いに付) * (勘返状) (八田)慎 蔵→芳三郎様		横切紙・1通	え4229-2
嘉永六丑年十二月三日今町湊先磯辺ニ寄木の図面		13.8×39.0・1鋪	え4229-3
(書状、その節拝見仕る宝帖何分拝借仕度願上げるに 付) 七郎右衛門→(八田)慎蔵様	12日	横切紙・1通	え4229-4
(書状、市兵衛へ店任せるに付) 陽助→(八田)慎蔵様	2月2日	横切継紙・1通	え4229-5
(書状、平ゆせん1つ等御借り申し上げたきに付) たみ 山丁→いせ町様		横切紙/(虫損)・ 1通	え4229-6
(書状、御役所の内稲荷条にて御備御借差上げるに付) 旬蔵→(八田)慎蔵様	2月朔日	横切継紙・1通	え4229-7
(書状、大坂甘草調帳3帳並びに利足受取書宮下公御出 立までに御返却成し下されるべきに付) 忠蔵→(八 田)慎蔵様	2月5日	横切継紙・1通	え4229-8
(書状、一昨日金兵衛小布施へ罷り越す所、帰り次第御 役所へ罷り出る様仰せ渡されるに付) 水井忠蔵→八 田慎蔵様	2月2日	横切継紙・1通	え4229-9
(書状、恐れ入るも御来駕を願うに付) 立又→(八田)慎 蔵様	虚空蔵縁日	横切紙・1通	え4229-10
(先月御願い上げる分2分など書上)		横切紙・1通	え4229-11
(書状、先だって願ひ置いた御裁着拝借願いたきに付) 元再行→義井君	27日	横切継紙・1通	え4229-12
(書状、先年岩村田様へ多分の御取替金あるも御返済 滞るに付) 忠蔵→(八田)慎蔵様	2月12日	横切継紙・1通	え4229-13
(書状、例年御預所郡中年頭御礼のため御台所より別 紙の品々拝借する所、昨年御焼失のため今年は御手 元より拝借仕りたきに付) 周蔵→(八田)慎蔵様	正月5日	横切継紙・1通	え4229-14
(書状、借財御返済方法相談に付)		横切紙・1通	え4229-15
口上(勤書取調べ差上げるに付) 義三郎→(八田)慎蔵様	7種	切紙・1通	え4229-16
(書状、此の表異船渡来により大混雑仕り、10日には初 応接仰せ付けられ異人見物仕るに付) 惣三郎→(八 田)慎蔵様	2月15日	横切継紙・1通	え4229-17

1.内方/28.書状類/2.嘉永7年正月より到来書簡

(書状、年賀の挨拶) 岡野安三郎→八田慎蔵様参人々御中	正月2日	横切継紙・1通	え4229-18
(書状、この度の御用の事昨年申し上げた人と内談に及ぶも異国船一条により種々不都合のため用立出来兼ねるに付) 啓十郎→(八田)慎蔵様	2月10日	折紙・1通	え4229-19
(書状、松嘉御借人の事について、金銭の事も任せ筆記等も出来る人はあまり居らざるも広右衛門等は随分大丈夫なる様に付) * (勘返状) (八田)慎蔵→松山町様	2月15日	横切継紙・1通	え4229-20
(書状、其の所年賦等の事に付) 松木嘉助→八(八田)慎蔵様	2月2日	横切継紙・1通	え4229-21
(書状、見事なる鮮鱗御恵投下され、忝きに付) 信龍再拝→拝復	3月20日	横切継紙・1通	え4229-22
(書状、到来の品々あるにより御内々御出光待ち上げ奉るに付) 寺町→いせ町様	9日	横切紙・1通	え4229-23
(書状、赤倉の方の事は別段高田様へ金子御用立無き様に付) * (勘返状) (八田)慎蔵→(水井)忠蔵様	2月25日	横切継紙・1通	え4229-24
(書状、年賀の挨拶) 高田屋源兵衛→八田様	寅去辰	横切紙・1通	え4229-25
(書状、源兵衛よりの着上もの御届申すに付) 元吾→義井君先下	9日	横切継紙・1通	え4229-26
(書状、市兵衛への印書たしかに落手仕るに付) 東→貴酬	即刻	横切紙・1通	え4229-27
(書状、山越右馬允殿無尽昨年終会の所、未だ御手元より御掛金不足に付) 春日栄作→八田慎蔵様要用	2月8日	横切継紙・1通	え4229-28
(書状、蓬月院一周忌のため来る16日より17日朝まで法事執行するに付) 勇五郎→(八田)慎蔵様	正月13日	横切紙・1通	え4229-29
(書状、年賀の挨拶) 通用御門番片桐久治→八田慎蔵様御取次中様	正月2日	横切紙・1通	え4229-30
(書状、大坂一条について松本氏御役所へ出張これより取調状この者に御遣わしに成し下されたきに付) 忠蔵→(八田)慎蔵様	2月	横切継紙・1通	え4229-31
(書状、払方向に差し支えるため願ひ上げた利分御差金成し下されるべきに付) 旬蔵→(八田)慎蔵様御申上	3月9日	横切継紙・1通	え4229-32
(書状、御用済まされたなら只今尊来待ち奉るに付) 逢紙→義井君	10日	横切継紙・1通	え4229-33
(書状、関田別紙御廻し蔵本あらば上げる様仰せ蒙るも蔵本覚無きに付) 陽助→拝酬		横切継紙・1通	え4229-34
(書状、高田様へ引き替えるべきも先年有るやに付) 忠蔵→(八田)慎蔵様才投		横切継紙・1通	え4229-35
(書状、水滸伝画本など差上げるにより御高覧下されるべきに付) 立又→奉報		横切紙・1通	え4229-36
(書状、御尊来待ち奉るに付) 芳二郎→奉報		横切継紙・1通	え4229-37
(書状、野中喜左衛門・関田慶左衛門と兩人の中を尋ね参る様仰せ付けられるに付) 庄助→(八田)慎蔵様貴報	2月朔日	横切継紙・1通	え4229-38
(弘化3年正月2日角本払のよし金2両2分など金銭書上) *(端裏書)「柴町差引」		横切継紙・1通	え4229-39

(書状、82両余の印書2通たしかに落手する所、今日は書面も別段差上げ申さずに付) 善治→(八田)嘉助様御答	2月3日	横切継紙・1通	え4229-40
萬奉願上候(私所蔵竹の筆立桜尾老人へ預け置く所、おしつ出立の節まで桜尾より御受殿宅へ御廻し成し下されるべきに付)		横切紙・1通	え4229-41
(書状、年賀の挨拶並びに小生、長滞府仰せ付けられ、おしつ出立仕るため何分宜しく願ひ上げるに付) 竹村熊三郎→八田慎蔵様参人々御中	正月7日	横切継紙・1通	え4229-42

1.28.3. 嘉永7年3月よりの到来書簡

(嘉永7年3月到来書簡)		綴/(え4220-1~73 は一綴)・1綴	え4220
(袋) * (袋上書)「嘉永七甲寅年三月より勤来要用書簡入」		袋・1点	え4220-1
(書状、昨日仰蒙候書類落手の旨申上に付) 竹山丁拝→伊勢町様	7月8日	横切紙・1通	え4220-2
(書状、忌明不出勤の旨申上に付) * (端裏書)「慎蔵様義三郎」 義三郎→(八田)慎蔵様	3日	横切紙・1通	え4220-3
(書状、御内談のため御出下されたき旨申上に付) 表柴丁より→木町市兵衛様	3月18日	横切継紙・1通	え4220-4
(書状、松山丁悴史記16巻目拝借有無への御返事お答申上に付) * (端裏書)「慎蔵様内用答兵次」 兵次→(八田)慎蔵様内用答	6月22日	横切紙・1通	え4220-5
(書状、おあや死去の情報御請けの旨申上に付) * (端裏書)「貴答義三郎」 義三郎	即刻	横切継紙・1通	え4220-6
(書状、山越右馬允殿御無尽御懸戻金半分御繰廻願に付) * (端裏書)「八田慎蔵様春日栄作」 春日栄作→八田慎蔵様	7月3日	横切継紙・1通	え4220-7
(書状、御話の御掛戻金慎蔵へ願に付) * (端裏書)「慎蔵様右馬允」 右馬允→(八田)慎蔵様	3月21日	横切継紙・1通	え4220-8
(産物御会所掛御請内々伺書) * (勘返状) (八田)慎蔵→(八田)義三郎様		横切継紙・1通	え4220-9
(書状、忠治病中のため亭主助相願いたく御頼みに付) * (端裏書)「慎蔵様(松木)束」 (松木)束→(八田)慎蔵様	4月6日	横切継紙・1通	え4220-10
(書状、法事入料の内操上御取替別段申上方御座なき旨御答申上に付) * (端裏書)「慎蔵様忠治」 忠治→(八田)慎蔵様	13日	横切継紙・1通	え4220-11
(書状、白菊洒外へ遣わしたく徳利拝借願に付) * (端裏書)「慎蔵様陽之助」 (岡野)陽之助→(八田)慎蔵様	6日	横切継紙・1通	え4220-12
(書状、御廻し金5円落手の旨申上に付) * (端裏書)「慎蔵様周蔵」 周蔵→(八田)慎蔵様	5月6日	横切紙・1通	え4220-13
(「ションズイ」などの図)		横切紙・1通	え4220-14
(書状、御礼の有無御内ニ相伺候に付) * (端裏書)「忠治様慎蔵」/勘返状 (八田)慎蔵→忠治様	7月朔日	横切継紙・1通	え4220-15

1.内方/28.書状類/3.嘉永7年3月よりの到来書簡

(荷桐油拝借の伺書) * (端裏書)「慎蔵様陽之助」 (岡野)陽之助→(八田)慎蔵様	9日	横切紙・1通	え4220-16
(書状、諸御礼として御一句罷出御願いに付) * (端裏書)「御受義三郎」 義三郎	3月10日	横切紙・1通	え4220-17
(御帰城近々御目見の用意伺の文通別紙案文御加筆願)	6月10日	横切継紙・1通	え4220-18
(香燭200疋宜しきや御伺いの件書付) * (端裏書)「才藤芳三郎」 芳三郎→才藤	19日	横切紙・1通	え4220-19
(別紙共一兩日の内草間公へ御差出成しくださる様お願いの書付) * (端裏書)「いせ町様寺町」 寺町→いせ町	4月21日	横切紙・1通	え4220-20
(書状、仙丹の絹差し上げの旨など申し上げに付) * (端裏書)「慎蔵様熊三郎」 (竹村)熊三郎→(八田)慎蔵様	閏7月8日	横切紙・1通	え4220-21
(書状、御咄の御懸戻金御渡下さる様願奉候旨申し上げに付) * (端裏書)「慎蔵様右馬允」 右馬允→(八田)慎蔵様	4月24日	横切紙・1通	え4220-22
(書状、御内借200両亥年御上納の受取切手の写御廻し願などに付) * (端裏書)「八田慎蔵様水井忠蔵」 水井忠蔵→八田慎蔵様	6月7日	横切継紙・1通	え4220-23
(書状、拝借の掛物御返上仰せへ御譲り願上の御答申し上げに付) 啓十郎→(八田)慎蔵様	5月18日	横切継紙・1通	え4220-24
(書状、御廻し利分落手の別紙印書差上奉る旨申し上げに付) * (端裏書)「慎蔵様太一郎」 太一郎→(八田)慎蔵様	4月朔日	横切紙・1通	え4220-25
(書状、下屋敷一件御催促お尋ね成し下さる様願上奉る旨申上に付) * (端裏書)「松山町様御内々申上慎蔵」/(勘返状)/(端後筆)「書入拝酬」 (八田)慎蔵→松山町様御内々申上		横切継紙・1通	え4220-26
(書状、結構の御品御恵授御礼の旨申上に付) * (端裏書)「慎蔵様熊三郎」 熊三郎→(八田)慎蔵様	4日	横切紙・1通	え4220-27
(書状、寺町公御尋へ別紙書抜の通り御伺書の差図仕る旨申上に付) * (端裏書)「慎蔵様忠蔵」 忠蔵→(八田)慎蔵様		横切紙・1通	え4220-28
(書立入用及び100疋お渡し差し上げ宜しく願上奉る旨の書付) 義三郎→(八田)慎蔵様	6月16日	横切紙・1通	え4220-29
(書状、殿様御帰城当年御祭礼賑々敷など暑中お伺いの旨申し上げに付) 安三郎→(八田)慎蔵様玉案下	6月28日	横切継紙・1通	え4220-30
(近日帰府仕りたく御内々伺書) * (端裏書)「慎蔵様熊三郎」 熊三郎→(八田)慎蔵様		横切紙・1通	え4220-31
覚(丑年分御利足金7両2分領収書) 堀内太一郎(印)→八田慎蔵殿	嘉永7寅年4月	横切継紙・1通	え4220-32
(書状、献上の上堂種夕方尊来御渡成し下さるよう願上奉る旨申上に付) 梅庵より→義井大君玉几下	7月18日	横切紙・1通	え4220-33
(書状、御殿普請のため万力拝借伺いの旨申し上げに付) * (端裏書)「八田慎蔵様小野権兵衛原田紘」 小野権兵衛・原田紘→八田慎蔵様	4月9日	横切紙・1通	え4220-34
(三人の方へ別紙両通の趣御廻談致したき旨書付) * (端裏書)「慎蔵様義三郎様喜兵衛」 喜兵衛→(八田)慎蔵様・義三郎様	20日	横切紙・1通	え4220-35

(書状、袴代料300疋余り差上の件宜しからざる節御遠慮無し仰蒙りたき旨申し上げに付) * (端裏書)「慎蔵様陽之助」(岡野)陽之助→(八田)慎蔵様	20日	横切紙・1通	え4220-36
(御掛戻金10両領収書) 山越右馬允→八田慎蔵殿	5月8日	横切紙・1通	え4220-37
(書状、御掛戻金10両御廻し下され落手の旨申上に付)	5月8日	横切紙・1通	え4220-38
(書状、差懸かり金子2分2朱御時拝借願いに付)	弥生13日	横切継紙・1通	え4220-39
(書状、落手の1両3分より御継合冥加上納の旨申し上げに付) * (端裏書)「慎蔵様□□□忠蔵」忠蔵→(八田)慎蔵様□□□	7月1日	横切継紙・1通	え4220-40
(書状、金屏風1双拝借願いに付) * (端裏書)「慎蔵様上新左衛門」新左衛門→(八田)慎蔵様上	7月8日	横切継紙・1通	え4220-41
(書状、御内談書面取調書入の旨の仰せへ御答えに付) * (端裏書)「慎蔵様忠蔵」忠蔵→(八田)慎蔵様	6月11日	横切紙・1通	え4220-42
(書状、関山先生大病の次第御憐借の金子返出来兼ね勘弁の旨申上に付) * (端裏封上書)「慎蔵様重□」重□→(八田)慎蔵様		横切継紙・1通	え4220-43
(御殿御名代御勤の件申上書) * (端裏書)「八田慎蔵様水井忠蔵」水井忠蔵→八田慎蔵様	閏月朔日	横切継紙・1通	え4220-44
(書状、病氣故香燭代理願いに付) 与右衛門→(八田)慎蔵様	5月16日	横切継紙・1通	え4220-45
(鏡公一件佐久間よりお話し依頼の手紙一覧の件書付) * (端裏書)「慎蔵様陽之助」(岡野)陽之助→(八田)慎蔵様	14日	横切継紙・1通	え4220-46
(書状、明朝出立二而荷桐油1ツ拝借願いに付) * (端裏書)「慎蔵様重太夫」重太夫→(八田)慎蔵様	閏7月8日	横切継紙・1通	え4220-47
(書状、名物考御覧成されたき由に付) 松日舎拝→義井堂様奉報	7月12日	横切継紙・1通	え4220-48
(書状、浄福寺鑑寺檀家中本日日出立皆々様御出席願いに付) * (端裏書)「慎蔵様寺町」寺町→(八田)慎蔵様	22日	横切継紙・1通	え4220-49
(浄福寺後刻御誘引の御様子伺書) * (端裏書)「慎蔵様留次郎」留次郎→(八田)慎蔵様		横切継紙・1通	え4220-50
(書状、増治出府の御様子本人呼出しお尋ねの有無貴答申し上げに付) 寺町	30日	横切継紙・1通	え4220-51
(書状、先年拝借の養気集一同見出し返上奉る旨など申し上げに付) * (端裏書)「いせ町様寺町」寺町→いせ町様	3月12日	横切継紙・1通	え4220-52
(書状、大坂など上方大地震の振り合委細の書状御廻し願いに付) * (端裏書)「八田慎蔵様水井忠蔵」水井忠蔵→八田慎蔵様		横切継紙・1通	え4220-53
(書状、拝礼の御香奠献上分御拵願いに付) * (端裏書)「慎蔵様与右衛門」与右衛門→(八田)慎蔵様	7月5日	横切継紙・1通	え4220-54
(跡式・御勝手御用役の仰せ付け書付の件申上書) * (端裏書)「慎蔵様義三郎」義三郎→(八田)慎蔵様	11日	横切継紙・1通	え4220-55
(跡式・御勝手御用役の仰せ付け月日に付申上書) * (端裏書)「慎蔵様義三郎」義三郎→(八田)慎蔵様	11日	横切継紙・1通	え4220-56

1.内方/28.書状類/3.嘉永7年3月よりの到来書簡

(浄福寺初7日行事参加内々伺書) * (端裏書)「寺町様御用慎蔵/勘返状 (八田)慎蔵→寺町様御用	24日	横切継紙・1通	え 4220-57
(御約束の鈴録此者へ御渡願い) * (端裏書)「慎蔵様綿貫」 綿貫→(八田)慎蔵様	6月16日	横切継紙・1通	え 4220-58
(書状、着府の上結構の土産頂き御礼など申し上げに付) * (端裏書)「慎蔵様陽之助」 (岡野)陽之助→(八田)慎蔵様		横切継紙・1通	え 4220-59
(別紙拍藤歎願共町方へ御差出願い) * (端裏書)「慎蔵様喜兵衛」 喜兵衛→(八田)慎蔵様		横切紙・1通	え 4220-60
(書状、浄福寺現住密秀尚和死去及び密葬のお知らせに付) * (端裏書)「八田慎蔵様浄福寺鑑司」 浄福寺鑑司→八田慎蔵様	7月19日	横切継紙・1通	え 4220-61
(書状、浄福寺現住密秀尚和死去のお知らせに付) * (端裏書)「八田慎蔵様浄福寺鑑寺」 浄福寺鑑寺→八田慎蔵様	7月19日	横切紙・1通	え 4220-62
(玉すたれ1枚拝借願いの旨など申上書) 竹山丁拝→伊勢町様	6月6日	横切継紙・1通	え 4220-63
(書状、先日仰せ下しの鉄砲御礼申し上げに付) * (端裏書)「慎蔵様作太夫拝」 作太夫拝→(八田)慎蔵様	末六	横切紙・1通	え 4220-64
(書状、両3日の内出立相伺置たく一寸御光来願いに付) * (端裏書)「慎蔵様尚内用熊三郎」 熊三郎→(八田)慎蔵様尚内用	首夏22日	横切紙・1通	え 4220-65
(書状、委しき事申し兼ねお目に掛かり申し上げとの御返事に付) しけより→伊勢町殿内用		横切紙・1通	え 4220-66
(御行取の際即刻尊来の書付) 道成→義井君	27日	横切紙・1通	え 4220-67
(笥尾張介方と山師者面会相談の件申上書) 八田辰三郎・八田嘉助・松本嘉十郎		横切継紙・1通	え 4220-68
(書状、350金御内借揃合相分け御手許御取調御流成し下さるよう申し上げに付) * (端裏書)「慎蔵様拝復忠蔵」 忠蔵→(八田)慎蔵様拝復		横切紙・1通	え 4220-69
(跡式・御勝手御用役の仰せ付けの件申上書) * (端裏書)「申上義三郎」 義三郎	11日	横切紙・1通	え 4220-70
(書状、傳兵衛印書返上次第、落手の元利6両1分余御遣わしの旨申上に付) * (端裏書)「慎蔵様拝復忠蔵」 忠蔵→(八田)慎蔵様拝復	7月22日	横切継紙・1通	え 4220-71
(昨年御届の病症如何や伺書) * (端裏封上書)「義三郎様要用慎蔵/勘返状」 (八田)慎蔵→(八田)義三郎様要用	4日	横切紙・1通	え 4220-72
(書状、亡父御先代様へ御用立の金子10年季明ヶ元金返済ご挨拶の旨申上に付) * (端裏書)「慎蔵様大二郎」 大二郎→(八田)慎蔵様	3月24日	横切継紙・1通	え 4220-73
(書状、鶏卵10の札10枚にて数百り中印へ遣わされたきに付) 柴丁→伊勢町様内用	12月26日	横切継紙・1通	え 4220-74
(書状、この品脇より御貴いにて大木氏の名かり小納戸出立にて差し上げに付) 亀作→(八田)慎蔵様	3月19日	横切継紙・1通	え 4220-75
(書状、拝借の鉄砲納めるや作太夫へも申し送りに付) 亀作→(八田)慎蔵様申上	2月25日	横切継紙・1通	え 4220-76
(「孝経」など書物拝借願いに付) 本之進	3日	切紙・1通	え 4220-77

口上(お勤めの儀町奉行会所懸かりにて両所へ御請に罷り出に付) 莪三郎→(八田)慎蔵様	21日	切紙・1通	え4220-78
(通知、別紙出来にて御廻し申し上げ落手下されたきに付) 彦兵衛→(八田)慎蔵様	27日	切紙・1通	え4220-79
(書状、先日2日に御はしけ相仕廻に付) 鉄之助→おいは殿・おきい殿・おちかとの	10月5日	横切継紙/(受取部分破損)・1通	え4220-80
(書状、バレン借用の条バレンあり合わせずいかかに付) * (端裏書)「御請申上候」	28日	堅切紙・1通	え4220-81

1.28.4. 嘉永7年4月よりの到来書簡

(安政4年2月中到来書状綴)		綴/(え4238-1～16は一綴)・1綴	え4238
(袋) * (袋上書)「安政四丁巳年二月中より到来要用書簡澹暮」		袋・1点	え4238-1
申上(私も罷り出でたく存じ候得共、何分病氣全快にならず早速罷り越すにはならず旨) * (端裏書)「申上」 重兵衛		横切継紙・1通	え4238-2
(書状、高田考左衛門立入人にて金25両のうち5両手付を受け取り、残金は来月に渡す趣に付) 鉄治郎→御兄上様	2月28日	横切継紙・1通	え4238-3
(書状、平出氏出立の後親父安中より帰宅のため親父甚だ残念がるに付、雛の儀相変わらず御差異の品有り難くに付など) 鉄治郎 拜具	3月朔日 夜9つ半時認	横切継紙・1通	え4238-4
(書状、御宅より参り大きに宜しき御内裏雛・五人囃子一驚に存じ有り難きに付)		横切紙・1通	え4238-5
(書状、認め物を致しているところ丁度の筆がなく逢山という筆を御持ちならば拝借願う旨) (岡野)陽之助→(八田)慎蔵様	5日	横切紙・1通	え4238-6
(書状、この表へ下し荷物代銀は大坂表出帆の日より8分程の利銀を付けその上年賦滞金にて如何様勘弁致すに付)		横切継紙・1通	え4238-7
(書状、御誂えの雛麴町玉井希太郎方にて2分2朱か3分位にて手に入れる次第故何分致し方の無いこと御勘弁を願う旨) 半兵衛→重之助様	2月24日	横切継紙・1通	え4238-8
覚(神鳥1領金1両2分受取書) 玉井(印「麴町五丁目玉井」)→上	2月16日	横切紙・1通	え4238-9
(書状、京楽寺または伊勢町栄八・戸佐久などの滞りは規定書面にて役場で返済の旨) (八田)嘉右衛門→(八田)慎蔵様	16日	横切継紙・1通	え4238-10
(書状、毎度申し上げ兼ねども急腹痛御届け願う旨) 唯蔵→(八田)慎蔵様	3月2日	横切継紙・1通	え4238-11
(書状、昨日も一寸御願ひした武家七法とかいう書を1、2冊拝借を願うに付) 喜兵衛→(八田)慎蔵様	10日	横切紙・1通	え4238-12
(書状、字形が出来兼ねるので竹山丁からお借りしている降帖を拝借したい旨) 陽 再拜→澹菴君 机下	3月5日	横切継紙・1通	え4238-13

1.内方/28.書状類/4.嘉永7年4月よりの到来書簡

(書状、御内借金御上納方御勘弁御差し出しあり金吾殿へ仰せ渡しに付) 永井忠藏・春日儀左衛門→八田慎藏様	2月8日	横切継紙・1通	え4238-14
(書状、いずれ明日願ひ度に付それまで御猶予を願う旨) * (端裏書)「御答」 馬場丁	5日	横切継紙・1通	え4238-15
(書状、別紙の通り柴丁当番より申し来たりに付) 竹山丁→伊勢町様	弥生朔日	横切紙・1通	え4238-16

1.28.5. 安政2年10月よりの来状

(安政2年10月よりの書状一括)		綴/(え4228-1~48は一綴)・1綴	え4228
(袋) * (袋表書)「安政二乙卯十月中より之来状入 義井堂」		袋・1点	え4228-1
口上覚(鍔治郎儀用事により江戸表に差置く所、用事片付き罷り帰るに付) 八田慎藏→高田幾太様	8月17日	横切紙・1通	え4228-2
(書状、御内許の一条柴町の義極密に御内談有るべきやに付) 喜兵衛→(八田)慎藏様	11月6日	横切継紙・1通	え4228-3
(書状、悴盛太郎末女病気のため死去するにより御届の義然るべき様願ひ上げ奉るに付) 伊藤一学→八田慎藏様	10月24日	横切継紙・1通	え4228-4
(書状、御上御不快中御用立の品々今日御返却するに付) 内藏進→(八田)慎藏様	12月25日	横切継紙・1通	え4228-5
(今夕御焼香に出でるべき所、持病の痔により罷り出でかねるに付) 幾二郎→(八田)慎藏様	7日	横切継紙・1通	え4228-6
(書状、銀目直し、栄八へすぐに遣わされたきに付) * (端裏書)「慎藏様 陽之助」 陽之助→慎藏様		横切継紙・1通	え4228-7
(書状、此方の存念の所を認める所、御添削願ひ上げ奉るに付) * (勘返状) 陽之助→竹山丁様	10月22日	横切継紙・1通	え4228-8
(書状、勝手向不如意にて金子拝借成し下されるべきに付) * (勘返状) 慎藏→寺町様	3日	横切継紙・1通	え4228-9
(書状、別紙の金高取調べ金高の内にあるか伺いに付) 忠藏→(八田)慎藏様	12月5日	横切継紙・1通	え4228-10
(酉年金100両御内借金高書上)		切紙・1通	え4228-11
(書状、稲荷山村杏仁代金渡しの義、朔日御中借り相調べ寺町公・佐竹公の印など相済むに付) (松本)嘉十郎→(八田)慎藏様	8月2日	横切継紙・1通	え4228-12
(書状、大切な御道具御借用仕る所、軽少ながら鶏卵100差、鯖2差御廻すにより御収納下されたきに付) * (端裏書)「風呂敷包添」 横田嘉一郎→八田慎藏様	5月13日	横切継紙・1通	え4228-13
(書状、杏仁方代金存外金高嵩むにより、5両御時借願ひ上げ奉りたきに付) 周藏・喜兵衛→(八田)慎藏様	10月23日	横切継紙/(虫損)・1通	え4228-14
(書状、御預所村方渡し金に差し支えるにより今夕までに御渡し下される様願ひ上げるに付) 旬藏→(八田)慎藏様	10月13日	横切紙・1通	え4228-15
(書状、水野より申し来る事については陶器毫の様子如何か水井公御口入成し下されるに付) 喜兵衛→(八田)慎藏様	8日	横切紙・1通	え4228-16

(書状、去る寅年中品々冥加御益取調べ差し支えるに付) 水野清右衛門→八田喜兵衛様	11月7日	横切紙・1通	え4228-17
(書状、過刻相願う先方の吉凶如何の様子伺いたきに付) 御安口→鏡屋町様	3日	横切紙・1通	え4228-18
(書状、孫死去の節祖父の何日忌中等にすべきか伺いたきに付) *(勘返状) (八田)慎蔵→(岡野)陽之助様	10月24日	横切継紙・1通	え4228-19
(書状、亡き父が先年質取にて差上げた金子年季切れのため、当暮れまでに元利金返済成し下されるべきに付) 太一郎→(八田)慎蔵様		横切紙・1通	え4228-20
(書状、産物会所関係帳面3帳落手仕るに付) 孝右衛門→(八田)慎蔵様	10月22日	横切紙・1通	え4228-21
(書状、御勘定帳について御内談仕度、明21日磯田御役頭御用所へ御出張下されたきに付) 孝右衛門→(八田)慎蔵様	10月20日	横切紙・1通	え4228-22
(書状、別紙御町方へ御差出し下される事今年は20日迄に諸向伺い差出す様仰せ出されるに付) 喜兵衛→(八田)慎蔵様	10月20日	横切紙・1通	え4228-23
(書状、忤盛太郎末女死去するにより今一日遠慮罷りたる所、翌25日御遠慮明のため御挨拶先書上) 伊藤一学→竹羽金吾様	10月24日	横切紙・1通	え4228-24
(書状、御内話あるにより今日は何時頃御引取になるか伺いたきに付) *(勘返状) (八田)慎蔵→松山丁様	3日	横切紙・1通	え4228-25
(書状、当人衆服等の義は如何の位にて宜しきものか伺いかねるに付) (八田)慎蔵→松山町様	6日	横切紙・1通	え4228-26
(書状、御礼延引の段御免成されるべきに付) 五百人→(八田)慎蔵様	25日	切紙・1通	え4228-27
(書状、高井善右衛門御賞筋、同人産物品々拝借代金多分に滞り、去る午年歎願により25両上納切に聞き済ますも上納滞るに付) 潤蔵→(八田)慎蔵様	11月3日	横切継紙・1通	え4228-28
(書状、春日氏へも申し談ずる所、高井上納何分滞るにより御賞し申立は出来兼ねるに付)	5日	横切紙・1通	え4228-29
(書状、先般江府地震により甚大の被害報告並びに東様へ差上げ置く地方凡例・落穂集全部この度御下し願ひ奉るに付) *(端裏書)「十一月朔日相届深美氏よりの来状」 深美六左衛門→八田慎蔵様貴下	10月28日	横切継紙・1通	え4228-30
(書状、祖父嘉右衛門は嘉助拝借金返上方について何とか上納方申し上げたきも他借等も返済手段なきに付)		横切継紙・1通	え4228-31
(書状、来月大御当番は竹山町様であるのか伺い奉りたきに付) *(勘返状) (八田)慎蔵→(水井)忠蔵様	29日	横切紙・1通	え4228-32
(書状、拝借金取り片付ける様御内意書あるにより、又口達の義御尋ね仰せ下されるも、これらは役頭方より申し達するに付) *(下書)		横切継紙・1通	え4228-33
(書状、館氏より申し来たりあるにより少し出張成し下され度に付) 旬蔵→(八田)慎蔵様	10月10日	横切継紙・1通	え4228-34
(書状、産物御勘定帳の取調べ仰せ渡され、御問合せ仕りたき義出来により、磯田御役頭御用所まで御出で願ひ上げるに付) 孝右衛門→(佐竹)周蔵様・(八田)慎蔵様・喜兵衛様	10月17日	横切継紙・1通	え4228-35

1.内方/28.書状類/5.安政2年10月よりの来状

(26名の姓の書付、内18名に合点)		横切紙・1通	え4228-36
(書状、御縁談の事についての伺いに付) 儀左衛門→(八田)慎蔵様	4月11日	横切継紙・1通	え4228-37
(書状、いかにも面白そうな注文にて念のため申上置くに付) 惣三郎→(八田)慎蔵様	8月22日	横切継紙・1通	え4228-38
覚(東海道神奈川宿御本陣鈴木源太左衛門養子詮議に付)		横切紙・1通	え4228-39
(書状、玉川左衛門殿御家老職仰せ付けられるに付) 水井忠蔵→八田慎蔵様・八田喜兵衛様	12月4日	横切継紙・1通	え4228-40
(書状、早春差しだした琉球箔時絵食籠1箱御下げに相成り御書付返却いたすに付) 山寺源太夫→御内用八田慎様	2月25日	横切継紙・1通	え4228-41
(書状、おみつ着物の事拵え差上げたきに付) は、より→おこふとの		折紙・1通	え4228-42
(書状、御約束の宝録屋器御笑受に入れるに付) 宝録屋器→伊勢丁君	11月朔	横切紙・1通	え4228-43
(書状、拙者御家老職仰せ付けられるにより御知らせするに付) 玉川左門→八田慎蔵様	12月4日	横切紙・1通	え4228-44
(書状、別紙売買所差出し申すに付) 喜兵衛→(八田)慎蔵様	11月6日	横切紙・1通	え4228-45
(書状、御勘定帳早速金子上納方に拘わらず相済む分計り差出すべきか分かり兼ねるに付) 喜兵衛→(八田)慎蔵様	27日	横切紙・1通	え4228-46
(書状、産物方御勘定帳早速御取り計らう様御内談申し上げるも御沙汰無きに付) 孝右衛門→(八田)慎蔵様・喜兵衛様	10月27日	横切継紙・1通	え4228-47
(書状、御容体窺いとして市川鮭1尺献遣わし奉るに付) 斎藤太左衛門→八(八田)嘉右衛門様	9月8日	折紙・1通	え4228-48

1.28.6. 安政2年11月中よりの書簡綴

(安政2年11月中より書簡綴)		綴/(え4241-1～49は一綴)・1綴	え4241
(袋) * (袋上書)「安政二乙卯年十一月中より之書簡入義井堂」 義井堂		袋・1点	え4241-1
(書状、御尋ねの例の絹地御返し申したく何とか御取り計らい下されたきに付) 鏡屋町→内事	22日	横切紙・1通	え4241-2
(書状、先日より色々重なり大酔となったため、暫く禁酒するに付) 嘉十郎→(八田)慎蔵様	霜月27日	横切継紙・1通	え4241-3
(書状、その節願い上げた金子について御都合次第願い上げたきに付) * (勘返状)	11月28日	横切紙・1通	え4241-4
覚(金2両請取に付) 富沢勇之進→八田慎蔵様	10月16日	小切紙・1通	え4241-5
(書状、私が帰らずとも神戸様御出下されたらなら、よき鉄砲2・3丁取り寄せ磨き方夫頼み下さるべきに付) * (端裏書)「要用」 (八田)慎蔵	12月14日	切紙・1通	え4241-6

(昨日彼の方より催促申し来たるも金子工面難しく、書き入れの場所を引き渡すよりほか無きに付) *勘返状 (八田)慎蔵→松山町様	27日	横切継紙・1通	え4241-7
(書状、御風邪の様子如何に付他) * (端裏書)「申上」 (八田)慎蔵	22日	横切紙・1通	え4241-8
(書状、御内書御遣わし下された後は未だ御沙汰なきにより御内に伺い奉るに付) * (端裏書)「御内々奉伺候」	22日	切継紙・1通	え4241-9
(書状、御耳に入れたき義も有るにより来る3月頃は此表へ御帰りが伺いたきに付) * (勘返状) (八田)慎蔵→寺町様	24日	横切紙・1通	え4241-10
(書状、荒神町の竈の事に付) 喜兵衛→(八田)慎蔵様	22日	横切継紙・1通	え4241-11
御請状之事(杜氏人別保証) * (雛型) →松代伊勢町傳兵衛殿		横切紙・1通	え4241-12
(書状、尊翰下されるも御無沙汰仕るにより詫び状) 敬四郎→(八田)慎蔵様	11月14日	横切継紙・1通	え4241-13
(書状、病氣により妻死去するに付) 三井藤助→八田慎蔵様	11月27日	小切紙・1通	え4241-14
(書状、御用日記穿鑿仕り、5人扶持は大手御屏風内献上など献上品物・金銭御内々伺い奉るに付) * (勘返状) (八田)慎蔵→寺町様内用申上		横切継紙・1通	え4241-15
(書状、厚意を懸けられ千万有難きに付) * (端裏書)「敬復」 寺町	10日	横切継紙・1通	え4241-16
(書状、昨日申し談じた竈場引受の事、100両にて御手放しあらば50両は早速差出すに付) 寺町→いせ町様内用申上置	15日	横切継紙・1通	え4241-17
(書状、別段思召しなきとの事により、早速御請け罷り出でよう申し聞くに付) * (端裏書)「御答申上候」	11月10日	横切紙・1通	え4241-18
(名主方へ申し談ずべき事など書付)		横切紙・1通	え4241-19
(書状、私御役替えにより寺社奉行・郡奉行・御勝手元ノ役兼帯仰せ付けられ、御役料15石そのまま下されるに付) 山寺源太夫→八田嘉助様	11月25日	横切紙・1通	え4241-20
覚(金2分受取るに付) 富沢勇之進→八田慎蔵様	11月6日	切継紙・1通	え4241-21
覚(金15両要用により借用するに付) 八田慎蔵→水井忠治殿	安政2卯年11月	横切紙・1通	え4241-22
(書状、鉄公が何方より御借りの碁の本未だにお持ちであるなら拝借願ひ奉るに付) 松山丁→伊勢町様	12月9日	横切継紙・1通	え4241-23
(書状、200金都合御用弁仰せ付けられるも当年不融通により御許容願ひ上げるに付) 色部儀太夫→八田慎蔵様	12月9日	横切継紙・1通	え4241-24
(書状、先刻御母上様より仰せを蒙り坂本への書状差上げるにより何分宜しく頼み奉るに付) (岡野)陽之助→(八田)慎蔵様	12月2日	横切継紙・1通	え4241-25
(書状、この程申上げた一条の事、早速御挨拶下さるべきに付) 太一郎→(八田)慎蔵様	11月16日	横切紙・1通	え4241-26
(書状、例の一条の事一向に沙汰無きにより、格段の御賢慮を以て御命令下される様願ひ奉るに付)	24日	横切継紙・1通	え4241-27

1.内方/28.書状類/6.安政2年11月中より書簡綴

(書状、佐藤源左衛門殿をもって弟鉄次郎を御養子とするに付)		横切継紙・1通	え4241-28
(書状、例の御利足来春まで取延ばし仰せ下されるも、よんどころ無きにより7種までには御了見下されたきに付) * (端裏書)「奉復」 重太夫	極月14日	横切継紙・1通	え4241-29
(書状、御用あるにより明日4時登城仕るべきに付) (岡野)陽之助→(八田)慎蔵様	12月3日	横切継紙・1通	え4241-30
(書状、水井公御出下され先年御用達金子有るにより右の調書差出す様仰せに付) 喜兵衛→(八田)慎蔵様	28日	横切継紙・1通	え4241-31
(書状、先日中より申上げおいた金子一条の事、何卒御挨拶下されるべきに付) 太一郎→(八田)慎蔵様	11月25日	横切紙・1通	え4241-32
札「来ル十九日 徳田五百人」		札・1点	え4241-33
(書状、御勝手御用掛望月主水殿、寺社奉行など兼任山寺源太夫殿、仰せ付けにより御通達致すべくに付) 水井忠蔵殿・春日儀左衛門→八田慎蔵様・八田喜兵衛様	11月25日	横切継紙・1通	え4241-34
(書状、下屋敷の方は名主方へ届に及び申すべくに付) * (勘返状) (八田)慎蔵→寺町様		横切継紙・1通	え4241-35
(書状、昨日御内話申上げ、美濃源方にては名主の方へ内々に届に及ぶに付) * (勘返状) (八田)慎蔵→寺町様	12日	横切継紙・1通	え4241-36
(書状、貴命に任せ書類共差上げ奉るに付) * (勘返状) (八田)慎蔵→(水井)忠蔵様	11月晦日	横切紙・1通	え4241-37
(書状、先年金15両無尽発起仕る所、先年の御恩借金11両余返上したきに付) 軍治		横切継紙・1通	え4241-38
(書状、今夕夕飯差上げたきに付) 郡司→安三郎様	26日	横切継紙/(え4241-38とえ4241-40の間に挟込)・1通	え4241-39
(書状、水井公御内談差出される様存じ奉るに付) 喜兵衛→(八田)慎蔵様	7日	横切継紙・1通	え4241-40
(書状、水井公より御家々方積年の御扶持方頂戴等の節、御献金など御尋ねあるに付) 喜兵衛→(八田)慎蔵様	12月朔日	横切継紙・1通	え4241-41
(書状、御惣容様御容躰伺いたきに付) 小林唯蔵→八田慎蔵様	12月3日	横切継紙・1通	え4241-42
(書状、別紙の通り宜しき様願ひ上げ奉るに付) 渡浪→(八田)慎蔵様	12月10日	横切紙・1通	え4241-43
(書状、いせ町様当年は御元金御下げ金願ひ上げ奉るに付) 与右衛門・吉三郎・(八田)嘉右衛門→片羽様	12月9日	横切継紙・1通	え4241-44
(書状、松七の浪人訴一条のこと私も油断なく責め付け置くにつき) 清西九拜→伊勢町様	11月9日	横切継紙・1通	え4241-45
(書状、先年来差出し置いた御茶粉頂戴したきに付) 河村宮順→八田嘉助様	卯11月23日	横切継紙・1通	え4241-46
覚(5ヶ年分3分2朱づつこれまで差出し置いた書付御引き合いに成し下されたきに付)		横切紙・1通	え4241-47
(書状、下屋敷御一条の事、それぞれ片付、当人は何れか借宅仕り引退する方が宜しき義に付) 六左衛門→(八田)慎蔵様	極月5日	横切継紙・1通	え4241-48

(書状、委曲は別紙申上げるに付) 鉄次郎→御兄上様		横切継紙・1通	え4241-49
---------------------------	--	---------	----------

1.28.7. 安政2年12月よりの来簡

(安政2年12月中よりの来簡綴)		綴/(え4225-1～55は一綴)・1綴	え4225
(袋) * (袋上書)「安政二乙卯年十二月中より之来簡入 義井堂」		袋・1点	え4225-1
(書状、抱屋敷書替案書差上候得共今以て御証文引替なく実に以て当惑仕り急速御引替御勘定金御返渡し願うに付) 色部儀太夫→八田慎蔵様	12月24日	横切継紙・1通	え4225-2
(書状、寒邪のため此の6、7日病床にあり、何よりの品頂戴有難きに付) 玄文→(八田)慎蔵様	29日	横切継紙・1通	え4225-3
(書状、江府より到来物あり当28日御茶部屋までの旨)→八田慎蔵様	12月25日	小切紙・1通	え4225-4
(丑正月16日金5両から寅2月金5両まで5件金額書付)		横切紙・1通	え4225-5
(書状、御納金御手元まで上納仕るに付) * (勘返状) 八田慎蔵→水井忠蔵様	12月29日	横切継紙・1通	え4225-6
覚(御歳暮金100疋受納) 浄福寺納所→八田慎蔵様御使中	12月28日	横切継紙・1通	え4225-7
(書状、当人も分かり候様申し諭させるに付) * (端裏書)「副啓」	28日	横切継紙・1通	え4225-8
(書状、唯蔵殿名面にて去る暮れ拝借の分ただ今残り持参に付) 片桐市之助→八田慎蔵様	12月29日	横切紙・1通	え4225-9
(書状、先頃中は御馳走に罷り成り再度酩酊の仕合に存じに付) 猪之瀬→(八田)慎蔵様	臘月9日	横切継紙・1通	え4225-10
(書状、何よりの御品拝受千万辱存じの旨)	12月19日	横切継紙・1通	え4225-11
(書状、昨朝松七罷出一昨日私参りすぐ催促いたすに付) * (端裏書)「慎蔵様嘉助」(八田)嘉助→(八田)慎蔵様	11月19日	横切継紙・1通	え4225-12
(書状、歳末の品差し上げたので失礼至極ながら御家来を御茶部屋口まで遣わされる旨) 敬次郎	12月17日	横切紙・1通	え4225-13
(書状、家典の儀今夕和尚に申し談に付) 草如	26日	横切継紙・1通	え4225-14
(書状、御礼金の儀差し向きにては相成りがたくに付) 栄作→(八田)慎蔵様	12月29日	横切継紙・1通	え4225-15
(書状、父常左衛門長々病気のところ旧臘死去仕るに付) 坂本鹿助→八田慎蔵様	正月8日	横切継紙・1通	え4225-16
(書状、父常左衛門病気のところ養生叶わず死去の知らせに付) 坂本鹿助→八田慎蔵様	12月26日	横切紙・1通	え4225-17
(書状、今晚は遅刻に成り参上は御高免を願う旨) 三勝→鏡屋町様	6日	横切紙・1通	え4225-18
(書状、寶簪林光七々日法事を来たる13日朝から14日夕まで私宅において執行の旨) 義八郎→(八田)慎蔵様	12月	横切紙・1通	え4225-19
(書状、発起無尽の御掛け戻し金を御下げくださる様願うに付) 善三郎→(八田)慎蔵様	12月21日	横切紙・1通	え4225-20

1.内方/28.書状類/7.安政2年12月よりの来簡

(書状、今朝矢野氏へ願い上げたところ何卒御繰り合わせの旨) 覚兵衛→(八田)慎蔵様	12月29日	横切継紙・1通	え 4225-21
(書状、①屋敷大破に候得共外々に引き合い候得者宜しくに付、②鉄様御養子一条まず御見合いの旨) 哲三郎→(八田)慎蔵様	12月7日	横切継紙・1通	え 4225-22
両封乍御手数奉希候		小切紙・1通	え 4225-23
舌代(書状、長々拝借仕り早速返上仕るべきところ大延引となり誠に恐れ入る旨)	24日	小切紙・1通	え 4225-24
(書状、例の八田氏の義何分早速願い度に付) 玄道→革治様 内用	27日	横切紙・1通	え 4225-25
(書状、朝鮮人參無尽日和の詮議仕るに付) 三勝→(八田)慎蔵様 用事	12月18日	横切紙・1通	え 4225-26
(書状、御祝儀として目録の通り金2両御肴代金呈上され忝き仕合わせに付) 三勝→(八田)慎蔵様	12月29日	横切紙・1通	え 4225-27
(書状、発起無尽御掛け戻し金御下げくださる様願うに付) 善三郎→(八田)慎蔵様	12月29日	横切紙・1通	え 4225-28
(書状、病気の御届けが無いのであれば別紙一同御届けの中に願う旨) 喜兵衛→(八田)慎蔵様	大晦日	横切紙・1通	え 4225-29
(書状、御拝借の品々即返上成し下さるべきに付)	26日	小切紙・1通	え 4225-30
警者(金1000両の借財の辻を金2000両借入、内1000両を前条借財の返済に充て、残り1000両を8分で廻し元利2000両となったら元金を返済)		小切紙・1通	え 4225-31
(書状、先年御店にて細六尺桶拵えの由、憚りながら御料何ほど位にての旨) * (勘返状) (八田)慎蔵→(八田)義三郎	4日	横切継紙・1通	え 4225-32
(「耆の御しうき使を以申上候」) をやまた重太夫内		小切紙・1通	え 4225-33
(小さき1本頂戴仕りたくに付) 御存より→ い勢町様		横切紙・1通	え 4225-34
(書状、印箱1ツ拝借願い度に付) ミね→鏡屋町様	29日	横切紙・1通	え 4225-35
(書状、美肴御厚意有難くに付) * (敬復) 喜兵衛	29日	横切紙・1通	え 4225-36
(亥年33俵 3石1斗6升6合ほか計21俵8升6合勘定書)		横切紙・1通	え 4225-37
(書状、寒中見舞い申し上げ度旨) 炭屋彦五郎→菊屋傳兵衛様・塩屋太三郎様・藤屋戸佐久様	12月朔日	折紙・1通	え 4225-38
(書状、竹山丁御両所様へ嘆願奉る仕合わせに付)		横切紙・1通	え 4225-39
(書状、転無尽先夜御名代へ委細申し上げ、北村氏は一昨夜一切沙汰無くに付) 甚之介→(八田)慎蔵様 金子入	12月24日	横切継紙・1通	え 4225-40
(書状、無尽に御懸け戻し2包み慥かに落手に付) 七郎右衛門→(八田)慎蔵様	12月29日	横切紙・1通	え 4225-41
(書状、先達て御尊来の砌失礼の段、御祖母様御不快につき御大切に御座成され、八田氏より金子入用の義御用達兼ねるに付) 源七→源八	極月17日	横切継紙・1通	え 4225-42
口上(八田御氏甚だ気の毒に存じ金子持ち合い御座無くに付)		小切紙・1通	え 4225-43
(書状、一寸御来駕御願い上げ度に付) * (勘返状) (八田)慎蔵→源八	正月4日	横切継紙・1通	え 4225-44

(書状、伊勢町様元利御下げ金成し下されるよう願う旨) 與三左衛門→渡浪様 申上	12月23日	横切継紙・1通	え4225-45
(書状、浄福寺より家典持たせた所帙に相成り、金2兩3分にて宜しく御座候哉伺い奉る旨) 草如→(八田)慎蔵様	28日	横切継紙・1通	え4225-46
(書状、産物会所御番人仰せ渡され候義御座候に付明28日罷り出で候共然るべき旨) 寺町→いせ町様	27日	横切継紙・1通	え4225-47
(書状、産物会所御番人へ仰せ渡される義御座候間明28日昼時罷り出る旨) 権右衛門→(八田)慎蔵様	12月27日	横切継紙・1通	え4225-48
(書状、年始の御祝詞申し上げ卑札捧げ奉る旨) 民右衛門→八田慎蔵様御内御役人中様	正月7日	横切継紙・1通	え4225-49
(書状、今朝松本氏より別紙の趣申し遣わしに付) 寺町→(八田)慎蔵様	8月26日	横切紙・1通	え4225-50
(書状、此の節金子入用の趣、竹山町御両所よりも委細仰せ下されるに付) 源七→(八田)慎蔵様	12月17日	横切継紙・1通	え4225-51
(書状、以ての外御一統御立腹にて困り申すに付) 水井忠蔵→八田慎蔵様	12月29日	横切継紙・1通	え4225-52
(書状、昨夜申し上げ候に不束ものにてもに付) *(勘返状)/(朱書あり) (八田)慎蔵→恪次郎様	正月7日	横切継紙・1通	え4225-53
(別紙会所冥加金1兩慥かに落手の旨)	29日	小切紙・1通	え4225-54
(書状、嘉例御祈祷御祓い大麻ならびに御祝儀として土産進上に付) 廣田筑後正陽(花押)→八田慎蔵様人々御中	9月吉日	折紙・1通	え4225-55

1.28.8. 安政3年6月よりの来簡

(安政3年6月よりの書状一括)		綴/(え4233-1～38は一綴)・1綴	え4233
(袋) * (袋上書)「安政三丙辰年六月中より之要用来簡入義井堂」		袋・1点	え4233-1
(書状、当宿に礼家の真似を致し婚礼等に取り廻す信濃屋新兵衛なる老人今月7日霍乱にて病死するに付) 金井鉄治郎→八田御兄上様	6月20日	横切継紙・1通	え4233-2
(書状、昨日庫之助悴罷り出で、傳兵衛方へ上納の義申し含み遣わずに付) *(端裏書)「奉復」 寺庵	13日	横切継紙・1通	え4233-3
(書状、祖母も一昨日松井田まで参り昨日帰着するに付) *(後欠)		横切継紙・1通	え4233-4
(書状、角店の内草鞋はぬぐまじき事、鳥古様思し召し宜しき様願ひ上げるに付) 金井鉄治郎→八田慎蔵様	4月4日	横切継紙・1通	え4233-5
(書状、仰せ下されること至極尤もの所、昨日全快にて兄出懸ける故、諸方相頼見所、弘底にて当惑仕るに付)		横切継紙・1通	え4233-6
(書状、先般申し上げ置いた酒造御貸渡の事、如何程であれば御貸渡に成し下されるか伺いたきに付) 忠蔵→(八田)慎蔵様	7月8日	横切継紙・1通	え4233-7
(書状、明日登城すべき所、急な腹痛により一兩日見合わせる旨願ひ上げ奉るに付) (八田)慎蔵→唯蔵様	7月2日	横切継紙・1通	え4233-8
(八田慎蔵・北村与右衛門・山崎治左衛門急腹痛の旨書付)		小切紙・1通	え4233-9

(書状、当7日御切米代金1兩2分2朱銭316文受取に付)		横切紙・1通	え4233-10
(書状、明日登城すべき所、急な腹痛によりお届け成し下される様願ひ上げ奉るに付) 奥右衛門→(八田)慎蔵様	7月6日	横切紙・1通	え4233-11
(書状、申し上げる事なきにより何分宜しき様成し下される様仕度に付) 甚十郎→(八田)慎蔵様	20日	横切継紙・1通	え4233-12
(書状、杏仁産物の事、村々不正実の次第あるにより取り締まりの趣、御賢慮御添判成し下される様願ひ上げ奉るに付) * (端裏書)「急回状」/(下書) 嘉十郎→(水井)忠蔵様・(春日)儀左衛門様・(佐竹)周蔵様・(高野)覚之進様・(八田)慎蔵様・喜兵衛様・義三郎様	6月14日	横切継紙・1通	え4233-13
(書状、暑中見舞い) 七左衛門	26日	横切紙・1通	え4233-14
(書状、昨日御沙汰の趣については御内書成し下され、大坂引合の事に付)	30日	横切継紙・1通	え4233-15
(書状、山中筋の仲買、杏干仁などの事について御触示如何すべきやに付) * (端裏書)「貴答」 喜兵衛	6月22日	横切継紙・1通	え4233-16
(書状、杏干仁の不正実の売買について、山中筋は御鑑札頂戴の者もないため、御領分一統へ御触示すべきに付) * (勘返状)/(朱書あり) 八田慎蔵→松本嘉十郎様	6月23日	横切紙・1通	え4233-17
(杏仁の義、善光寺方へ隠売を禁じ、会所へ申し立てれば相当の相場で買い取る旨廻状) 産物方会所(印)→後町村(印)・越村(印)・妻科村(印)・小柴見村(印)・久保寺村(印)・中御所村(印)・小市村(印)・小松原村(印)・右村三役人	6月11日	横切継紙・1通	え4233-18
(書状、例の御勘定帳については御打合せ等の後、御印形の上で御下げ成し下されるべき儀に付) 権右衛門→(八田)慎蔵様	6月20日	横切継紙・1通	え4233-19
(書状、石川村藤右衛門など不届な杏干仁買出したすにより御呼出成し下さるべきに付) 松本嘉十郎→八田慎蔵様	6月21日	横切継紙・1通	え4233-20
(書状、先日御申越の礼式盛もの等心得ある者について、大木伊右衛門・小宮山又七の内、少なくとも1人は来月中旬後には罷り出ることができに付) * (端裏書)「六月晦日坂本へ遣し候下案」		横切継紙・1通	え4233-21
(書状、竹村御奉行へ御内々申上げる所、此方にて承知するところではなく、尊君の御手にて良之助に御願申す等も勝手次第に付) * (端裏書)「奉復」 寺菴	5日	横切継紙・1通	え4233-22
(書状、御勘定帳について何分御印形の程宜しく願ひ上げるに付) * (勘返状) (八田)慎蔵→(水井)忠蔵様	7月朔日	横切継紙・1通	え4233-23
(書状、佐竹殿参られ、例の御勘定帳について役頭より厳しく催促の趣により今日中に上納如何の事に付) 喜兵衛→(八田)慎蔵様	4月11日	横切継紙・1通	え4233-24
(書状、良之助は土佐五郎方に罷り在るにより御尋ね然るべきに付) 量之助→喜兵衛様	6日	横切紙・1通	え4233-25
(書状、片桐氏の手紙の委細については別紙にて御承知下されるべきに付) 喜兵衛→(八田)慎蔵様	6日	横切紙・1通	え4233-26
(書状、御勘定帳七帳御印形に付) 嘉十郎→(八田)慎蔵様	12日	横切継紙・1通	え4233-27

(書状、佐竹公より庫之助へ仰せ含まれ、傳兵衛へ上納申し懸ける筈に付) * (端裏書)「貴答」 喜兵衛	12日	横切継紙・1通	え4233-28
(書状、傳兵衛竈焼立仕るにより、庫之助へ冥加銀取立の義願い申す所、会所御手離に相成る事に付) * (勘返状) (八田)慎蔵→寺町様		横切継紙・1通	え4233-29
(書状、明日の七夕に登城仕る所、急に腹痛のため登城し難きに付) 唯蔵→(八田)慎蔵様	7月6日	横切継紙・1通	え4233-30
(書状、陶器竈の義、御会所御手離の御様子に付) 片桐庫之助→鏡屋町様御取次中様	7月12日	横切継紙・1通	え4233-31
(書状、お近の事御内話に付) 鉄治郎→母上さま極内用		横切継紙・1通	え4233-32
(書状、越州様御泊まり前休足致し初陣故心配致すのみに付他、鉄治郎消息文) 鉄治郎→御母上様・御兄上様・御姉上様	3月24日	横切継紙・1通	え4233-33
(書状、先日の三郎左衛門頼みの婚縁礼法指南の人について何卒参りもらいたきに付)		横切継紙・1通	え4233-34
(書状、竹内娘の義仰せの通りと存ずるも栄八が頼りに申す出るにより、よんどころなく願い上げるに付) * (端裏書)「六月廿五日 相届候」		横切継紙・1通	え4233-35
(書状、私の病気は大概全快するも愚妻壮健なるも非常の症状あるにより医者にみせる等、鉄治郎消息文) 鉄治郎→御母上様		横切継紙・1通	え4233-36
(書状、別紙の通り大半前より申し来たるにより何卒御差廻し下さる様願いたきに付)	7月12日	横切紙・1通	え4233-37
(書状、伊勢町様より今以て御下げ金なく、職人等へ払方差し支えており、御下げ金成し下されるようお願い上げるに付) 甚右衛門→片羽町様申上	7月12日	横切継紙・1通	え4233-38

1.28.9. 安政3年7月よりの来簡

(安政3年7月中よりの来簡綴)		綴/(え4226-1～30は一綴)・1綴	え4226
(袋) * (袋上書)「安政三丙辰年七月中より之来簡入 義井堂」		袋・1点	え4226-1
(書状、私不快の御尋のところ格別の義は無くとも兎角出勤仕り兼ねるに付) 與右衛門→(八田)慎蔵様	8月11日	横切継紙・1通	え4226-2
(書状、その節甚だ不敬御宥恕、且御書返上甚だ延引恐れ入りに付) * (勘返状) (八田)慎蔵→(春日)儀左衛門様	8月13日	横切紙・1通	え4226-3
(書状、この方より8月中には里帰りの由、拙者も8月中には算術修行申し立てに付ほか)		横切継紙・1通	え4226-4
(書状、高崎表へ参向につき訴訟一件は相済み、里帰りの義お近大腹にて参上でき兼ね、三郎左衛門様病氣療養のため野田と申す所へ参るに付) 金井鉄治郎→御母上様・御兄上様・御姉上様	8月5日	横切継紙・1通	え4226-5
(書状、酒蔵書き入れ名主奥印の義万一質流れ地になる節は儀太夫方にて引き受け申さずは相成る間敷くに付) * (勘返状) (八田)慎蔵→寺町様	8月14日	横切継紙・1通	え4226-6
(書状、昨日の願い件何卒一刻も早く御聞き済み下さるようお願い旨) * (端裏書)「申上」 佐助	7月19日	横切継紙・1通	え4226-7

1.内方/28.書状類/9.安政3年7月よりの来簡

(書状、先達て中御借用の御銚子、即返上につき御落手の旨) 石川藤次郎→長崎源吾様	7月5日	横切継紙・1通	え4226-8
(書状、昨日新地より出向につき御機嫌伺いの義申し聞かせに付) * (端裏書)「尊報」馬場丁拝	19日	横切紙・1通	え4226-9
(書状、慥かに錢にて金1両分落手に付) 清右衛門→(八田)慎蔵様	8月9日	横切紙・1通	え4226-10
(書状、産物方御勘定御帳類拝見の上付札の分御直し下された上調べが済み次第先年の古御帳を添えて相廻しの旨) 坂本常之丞→八田慎蔵様	7月26日	横切継紙・1通	え4226-11
(書状、明日登城のところ急腹痛にて何方へも願い奉る旨) * (勘返状) 與右衛門→(八田)慎蔵様	7月29日	横切継紙・1通	え4226-12
(書状、松圓堂へ御返し下され慥かに拝受の旨) * (端裏書)「御請 高朝□□」	20日	横切紙・1通	え4226-13
(書状、小生近来主人執とに申し付けられ年々出府仕る旨) 和泉守上屋敷□□三左衛門以寛(花押)→八田嘉右衛門様	7月6日	横切継紙・1通	え4226-14
(書状、書物箱御持ち下され、巻数揃い御安意下され、唐本源八君より落手の旨ほか) 熊三郎→(八田)慎蔵様	初秋6日	横切継紙・1通	え4226-15
(書状、千字文并に書物箱御手数ながら願うに付) 熊三郎→(八田)慎蔵様	初秋6日	横切継紙・1通	え4226-16
(書状、妹義是非一番なりとて拝見いたしたき段申すに付) ミね→か、ミヤ町様	15日	横切紙・1通	え4226-17
(書状、色部酒蔵その外物見仕り度、同役も尊館へ相伺うに付明日御在館成され度旨) 忠蔵→(八田)慎蔵様御内々申上置	8月7日	横切継紙・1通	え4226-18
(書状、先達て御時借り願いの金子落手下されるべきに付) 松山丁→鏡屋丁様	13日	横切継紙・1通	え4226-19
(書状、上納の義は明朝までには相違なく仕る旨、且つ又荒神堂勸化金も役本より催促の由に付) 寺庵→(八田)慎蔵様 書面2通入	13日夜	横切継紙・1通	え4226-20
(書状、荒神町荒神堂勸化金1ヶ年3分宛差し出す様に取極めに付)		横切継紙・1通	え4226-21
(書状、別紙申し来たり、一覽承知あるべく、庄助帰宅の上ならでは相解し間敷くに付) * (端裏書)「別紙入 佐助へ」		小切紙・1通	え4226-22
(書状、昨夜片桐氏参られ今日柳沢よりも頼まれる分もあり、木綿鑑札渡し并に改め申し立ての義、先方は50両の外は差し出し兼ねる旨) 喜兵衛→(八田)慎蔵様	7月19日	横切継紙・1通	え4226-23
(書状、先月中病氣にて平臥いたし今月23日漸う出勤いたし、且つ祖母は不快にて看病いたし服薬仕り未だに宜しくないに付ほか)	先月29日認	横切継紙・1通	え4226-24
(書状、武右衛門持参書にて三郎に譚し駕籠にて荷物なども馬に乗せに付) 金井鉄治郎→八田御兄上様	7月3日	横切継紙・1通	え4226-25
(書状、拙者の願いの通り立派の御返章下され有難き仕合に付)		横切紙・1通	え4226-26
(書状、祖父母へ先達ての御礼のところ種々取り籠もり御文も差し上げずに付) 鉄治郎→御母上様		横切継紙・1通	え4226-27

(書状、高崎表出張一件首尾存念通りに付) 金井鉄治郎→御兄上様	7月13日9ツ時認	横切継紙・1通	え 4226-28
(昨晚申し候3両に付) * (端裏書)「要用 佐助へ」		小切紙・1通	え 4226-29
(書状、先日差しあげた鍔の代をこの者に御投了下され度 に付) * (端裏書)「八田仁兄 梧前 董正再拜」 董正再拜→八田仁兄 梧前	22日	小切紙・1通	え 4226-30

1.28.10. 安政3年11月中より来状

(安政3年11月中より来状綴)		綴/(え4231-1～29は一綴)・1綴	え 4231
(袋) * (袋上書)「安政三丙辰年十一月中より之要用来帖入」		袋・1点	え 4231-1
(書状、別紙水井取調御内へ下げ札にて問合せ申すに付) (岡野)陽之助→(八田)慎蔵様	11月12日	横切継紙・1通	え 4231-2
(書状、昨日も願ひ置く御安様にて御覧になったならば、 万吉方へ参り居り、上手の職人に見させたきに付) (松本)嘉十郎→八(八田)慎蔵様	11月17日	横切継紙・1通	え 4231-3
(書状、お進様当21日御出産により御女子御出生に付)		横切紙・1通	え 4231-4
(書状、例の産物方御割合御上納金年々滞るにより私共も御迷惑に付) 小野左金太・伊東栄作→八田慎蔵様・八田喜兵衛様	11月12日	横切継紙・1通	え 4231-5
(書状、先年お贈りした煙草入れの儀、その方にて御取り 替下されるに付) (八田)鉄治郎→兄上様	11月8日	横切継紙・1通	え 4231-6
(書状、お進出産の砌、産着について男なら黒、女なら 流行の色にて模様付けるに付) (八田)鉄治郎→御母上様		横切継紙・1通	え 4231-7
(書状、今日昨晚の代わりに黒蒿献じたきに付) □□ →いせ町様	25日	横切紙・1通	え 4231-8
(書状、昨日御内談申し上げる中之条与惣右衛門逗留 仕り居り御手許の様子柄相伺い次第に寄御奉行所へ御内願 仕りたきに付) 忠蔵→(八田)慎蔵様内用	11月28日	横切継紙・1通	え 4231-9
(書状、山色見立て佐久間様の方御鑑定あらば、鍛冶町 万吉方へ御遣わし成し下されたきに付) (松本)嘉十郎→ (八田)慎蔵様御内之願	11月16日	横切継紙・1通	え 4231-10
(書状、赤芝銅山へ参る越前者の鑑定人、金の事には不 案内にもあるべきかに付) * (端裏書)「書」	11月17日	横切継紙・1通	え 4231-11
(書状、陶器一件について別紙申し上げる所町内より 傳兵衛へ懸かる一条に付) * (端裏書)「陶器一件付再申上」		横切継紙・1通	え 4231-12
(書状、先達ては為替金の事について細々仰せを蒙るに付) 権兵衛→加助様	11月5日夜	横切継紙・1通	え 4231-13
(書状、算家松助の事20日頃には是非とも参りくれとの 事に付) (八田)鉄治郎→兄上様	11月朔日	横切継紙・1通	え 4231-14
(書状、昨日願うから紙帳梅庵子如何あるべきやに付) (岡野)陽之助→(八田)慎蔵様		横切継紙・1通	え 4231-15
(書状、御安様御帰りの御様子伺いたきに付) 松本嘉 十郎→八(八田)慎蔵様御内々伺	11月20日	横切継紙・1通	え 4231-16

1.内方/28.書状類/10.安政3年11月中より来状

(書状、庄左衛門より願筋あるに付) * (下案)		横切継紙・1通	え4231-17
覚(金30両の御取替金元利たしかに請取に付) 八田嘉右衛門内伝兵衛→伊勢町芳右衛門殿	天保11子年正月	横切継紙・1通	え4231-18
(書状、先日中御内命成し下されるにより太吉の事只今芳三郎より申し遣わすに付)	11月29日	横切継紙・1通	え4231-19
(拝借の分無利足他借りの分利付弁じ申さる事など一条書書上)		横切継紙・1通	え4231-20
(書状、差し困るにより何とか極密にて来正月中まで御繰り合わせ成し下される様願い上げるに付) * (端裏書)「御密披 要文書入候披来候」	12月5日	横切継紙・1通	え4231-21
(九兵衛拝借1000両この度御趣意変じ、年限明けの節返上致し方書上)		横切紙・1通	え4231-22
(書状、揚酒一件の事一昨日水井殿へ御はなし成し下されるに付) 芳三郎→(八田)慎蔵様	11月29日	横切継紙・1通	え4231-23
(書状、何卒御才覚御上納成し下されたく願ひ上げ奉るに付) 唯蔵→(八田)慎蔵様尊下	11月22日	横切継紙・1通	え4231-24
(書状、願ひ置き奉る一条についての御様子伺ひ奉るに付) 松本嘉十郎→八(八田)慎蔵様御申上	11月19日	横切継紙・1通	え4231-25
(書状、お近の事21日女子出生の所、母子共に健やかに付) 金井三郎左衛門→八田慎蔵様	11月23日	折紙・1通	え4231-26
(書状、竹田又兵衛今月下旬江戸表へ蕎麦227駄差し送るも、荷を出し申さざる等に付)		横切継紙・1通	え4231-27
(書状、重吉へ貸し遣わす金子、先だって出産の折、乳腫れにて万金丹用いるにより来年2月まで延ばし遣わすに付) * (端裏書)「御内披」		横切紙・1通	え4231-28
(書状、17日夜9つ頃女子を出産の所、母子壮健に付) 金井鉄治郎→八田慎蔵様		横切継紙・1通	え4231-29

1.28.11. 安政3年12月書簡綴

(安政3年12月書簡綴)		綴/(え4242-1～43は一綴)・1綴	え4242
(袋) * (袋上書)「安政三丙辰年十二月より到来要用書簡入」		袋・1点	え4242-1
(書状、5円差上げ御掌握下さるべく旨) * (端裏書)「拝答」 莊助→(八田)慎蔵様	10日	横切紙・1通	え4242-2
(書状、松江方御下げ金122両只今御渡ししたく御役所へ出頭の旨) 善治・覚之丞→(八田)慎蔵様	12月28日	横切紙・1通	え4242-3
(書状、今日は何卒拝受つかまつりたく御繰り合わせを願う旨) 柴町拝→い勢町様	29日	横切紙・1通	え4242-4
(書状、先刻は大切の品ありがたく、且直次代メ触面遣わす旨) 寺町→(八田)慎蔵様	27日	横切紙・1通	え4242-5
(書状、今もって御下げ金下されず、今晚払方入用につき早速御下げ金を願う旨) 赤池善三郎・町田甚右衛門→八田慎蔵様	12月28日	横切継紙・1通	え4242-6
(書状、孰れ大方は持参旧を晰し、書類熟覧勘弁頼みたくに付) * (端裏書)「拝答」 (岡野)陽之助		横切継紙・1通	え4242-7

(書状、産物会所御番人片桐庫之助・政吉・栄作、御用につき明日4ツ時音門殿御役宅へ差出しに付) 権右衛門・潤蔵→(八田)慎蔵様	12月25日	横切継紙・1通	え4242-8
(書状、発起無尽来る20日寄合につき夕刻より御名代くだされ、且当年終会のため御礼申し上げるため殿町屋敷まで寄合願う) 赤池善三郎	12月16日	横切紙・1通	え4242-9
(書状、金高10両余は間違いなく、大嶋・北村両氏へも直談致す筈に付) 甚之介→(八田)慎蔵様貴答	12月24日	横切継紙・1通	え4242-10
(書状、御厚情の転無尽につき来る20日に寄合のため夕刻より御出での案内に付) 甚之助→(八田)慎蔵様	12月18日	横切継紙・1通	え4242-11
(書状、日限をもって申し遣わし、いつれにも夫々申し上げる旨御含み置き下されるに付) 松崎十郎右衛門→八(八田)慎蔵様御受取	20日	横切紙・1通	え4242-12
(書状、嘉例御祈禱御祓い大麻并御祝儀として土産進上致す旨) 廣田筑後正陽(花押)→八田慎蔵様人々御忠	9月吉日	折紙・1通	え4242-13
(書状、転無尽一昨夜寄り合い、大嶋・北村両氏出金なく、寄金の分御割合を正金にて差上げるにつき御落掌の旨) 甚之介→(八田)慎蔵様	12月24日	横切継紙・1通	え4242-14
(書状、発起無尽の御掛戻し金を御下げくだされたく願う) 善三郎→(八田)慎蔵様申上	12月24日	横切紙・1通	え4242-15
(書状、寺内様より別紙の通り申し来たりに付) 年得(カ)→伊勢町様申上	25日	横切継紙・1通	え4242-16
(書状、御厚情の金子当月下旬との印書のところ29日夕方までに落掌願う)		横切紙・1通	え4242-17
(書状、先年より御手許へ差上げ置いた金子につき如何に成されたか、何とか埒明き候様に付) *(裏面落書)「西洋兵書二種」 太一郎→(八田)慎蔵様	12月18日	横切紙・1通	え4242-18
(書状、何れ今晚にも出かけ穿鑿いたしたく、書類認めかけ早々前文まで申上げる旨) *(端裏書)「拝答」(岡野)陽之助	18日	横切継紙・1通	え4242-19
(書状、一向上納も無く貴答の仰せに付) 水井忠蔵・春日儀左衛門→八田慎蔵様・八田喜兵衛様	12月27日	横切継紙・1通	え4242-20
(書状、大手前より別紙の通り申し来たり、何とか御差廻し仕りたくに付) 渡浪→(八田)慎蔵様内用	12月23日	横切継紙・1通	え4242-21
(書状、伊勢町様より御下げ金今もって御下げなされず、早速御下げ下さる様願う) 赤池善三郎・町田甚右衛門→片羽町様申上	12月23日	横切継紙・1通	え4242-22
(書状、この間御話しの金子、則10両差上げ御査入くださるに付) *(端裏書)「拝答 金子入箱添」(岡野)陽之助	念8日	横切継紙・1通	え4242-23
(書状、①御内借り取り計らいにつき御祖父様御請合にて郡村加田与惣右衛門始め借主より取り立ての御勘考に付、②先年御拝借につき本之進様にもご存じなく御序でに御話し否やに付) 唯蔵→(八田)慎蔵様尊下	17日	横切継紙・1通	え4242-24
(書状、象山先生相談ではこの上別段難しいこともなく、神草相雇書類揃え今晚にも話したく旨) (岡野)陽之助→(八田)慎蔵様	念4	横切継紙・1通	え4242-25

1.内方/28.書状類/11.安政3年12月書簡綴

(書状、一件書類この間御手へ差上げよろしくに付) 松山丁→伊勢町様申上	18日	横切継紙・1通	え4242-26
(書状、昨日の願い済み書この者へ御投下願う) (岡野) 陽之助→(八田)慎蔵様	30日	横切紙・1通	え4242-27
(書状、御厚情の無尽御掛戻し金御下げ下さる様願う) 善三郎→(八田)慎蔵様申上	12月29日	横切紙・1通	え4242-28
(書状、是非とも金2分2朱入用のため難しくも御都合 の程願う) 本之進→長助様内願用	23日	横切継紙・1通	え4242-29
(書状、御堅息様御婚姻首尾能く整い幾久しく目出度 き旨)		横切継紙・1通	え4242-30
(書状、娘儀綿内右門忒平太夫へ縁組の旨願の通り有 難き仕合に存じ) 宮島守人→八田慎蔵様	12月14日	横切紙・1通	え4242-31
(書状、娘儀綿内右門忒平太夫へ来たる5日引越婚姻の 通知) 宮島守人→八田慎蔵様	12月14日	横切紙・1通	え4242-32
(書状、一昨日三之丞へ御話しくだされ何とも恐れ入 り、松本氏より杏仁代何程残すかに付) 喜兵衛→(八 田)慎蔵様	19日	横切紙・1通	え4242-33
(書状、智照院初七日法事来る17日夕より執り行うに つき案内) 式左衛門→(八田)慎蔵様	12月15日	横切継紙・1通	え4242-34
(書状、昨日餅頂戴ありがたく、今夕無尽につき例の1000 疋貰いたくこの者へ御渡し願う) 柴町拝→い勢町様 内用	極月24日	横切紙・1通	え4242-35
(書状、当取調の趣にては存外の様が存じ迷惑至極に 付) 金吾→(水井)忠蔵様	29日	横切継紙・1通	え4242-36
(書状、金子15円上納のこと) 甚右衛門→(八田)慎蔵様 尊書	12月7日	横切紙・1通	え4242-37
(書状、昨夜御廻しの書面篤と熟覧いたし明晩に延引 願たき旨) (岡野)陽之助→(八田)慎蔵様	14日	横切継紙・1通	え4242-38
(書状、拝誦、委細承知、尚拝眉申上げるに付) * (端 裏書)「拝答」 (岡野)陽之助	10日	横切紙・1通	え4242-39
(書状、昨日厳しく申し付けのところ今に返事も聞か ず旨)		横切継紙・1通	え4242-40
(書状、大手前より別紙の通り申し来たり何とか御繰 り合わせ仕りたく願う) 渡浪→(八田)慎蔵様	12月13日	横切継紙・1通	え4242-41
(書状、光厳院13回忌来る13日夕より法泉寺において 執行の通知) 長右衛門→(八田)慎蔵様	12月10日	横切継紙・1通	え4242-42
(書状、柄沢彦太夫死去のため七兵衛も善光寺へ参り 漸う昨日帰りに付) 嘉衛門→伊勢町様申上	12月6日	横切紙・1通	え4242-43

1.28.12. 安政4年4月中より到来の書簡

(安政4年4月よりの書簡類一括)		綴/(え4230-1 ～12は一綴)・1 綴	え4230
(袋) * (袋上書)「安政四丁乙歳四月中より到来之書簡入 澹菴」		袋・1点	え4230-1

(書状、御紙表拝見奉るにより早速申し上げたき所、御延引に相成るに付) 奥右衛門→(八田)慎蔵様	5月4日	横切継紙/(虫損)・1通	え4230-2
(書状、木曾山金山・銀山内穿鑿仕るに付) * (端裏書)「竹山丁下より 伊勢町様御内願」 松嘉→八(八田)慎蔵様御内願		横切継紙・1通	え4230-3
(書状、これまで役代勤める忠左衛門より売渡証文持参調印致しくれるよう申し聞くに付) * (勘返状)(八田)慎蔵→(水井)忠蔵様		横切継紙・1通	え4230-4
(書状、源助一条の事佐助手達の段別紙訴訟申し立てるに付) 音門→(佐竹)周蔵様	10月10日	横切継紙・1通	え4230-5
(書状、手元難儀により300疋御時借相願ひ度に付)(岡野)陽之助→(八田)慎蔵様御事	10日	横切継紙・1通	え4230-6
(書状、津田殿御発起無尽掛戻しの事、取調べの上で願ひ上げるにより御勘弁成し下されるべきに付) 富作→(八田)慎蔵様	4月29日	横切紙・1通	え4230-7
(書状、此の度太夫様など皆々様御出坂については彦五郎方2万丈御請に付) 炭屋孫七→(八田)慎蔵様	5月12日	横切継紙・1通	え4230-8
(書状、例の証文米山氏に認めさせるにより御面倒ながら御役代傳兵衛方へ印形仕る様仰せ渡されるに付) 権左衛門→(八田)慎蔵様	11月9日	横切紙・1通	え4230-9
(書状、恣水園等へ御立ち寄りの旨天気により御延引になるに付) 長井平馬→八田慎蔵様	閏5月4日	横切継紙・1通	え4230-10
(書状、此の程取調べ差出されの30年賦の御割合拝借いたしたきに付) (岡野)陽之助→(八田)慎蔵様	念1日	横切紙・1通	え4230-11
(書状、豊糸紛失の儀について御心配下されるに付)(八田)鉄治郎→御兄上様玉座下	4月29日	横切継紙・1通	え4230-12

1.28.13. 安政4年7月よりの来状

(安政4年7月よりの書状綴)		綴/(え4232-1～25は一綴)・1綴	え4232
(袋) * (袋上書)「安政四丁巳年七月中より之来状入 義井堂」		袋・1点	え4232-1
(書状、餞別下された御品々伺書宮沢より申す来たるにより御面倒願ひ上げ奉るに付) 下田町拜→伊勢町様	9月5日	横切継紙・1通	え4232-2
(書状、御面倒ながら式亭の本御遣わし下される様願ひ上げ、見料については御取極金額御申し越されたきに付) 鉄治郎→御母上様	7月15日	横切継紙・1通	え4232-3
(書状、象山の扇差上げるにより御落手成し下されるべきに付) 鉄治郎百拜→御兄上様		横切継紙・1通	え4232-4
(書状、兼ねて仰せ越される炭彦参向にて表の方は皆御借し切に成されるに付) 鉄次郎→御兄上様		横切継紙・1通	え4232-5
(書状、当年金融の義も余儀なく八田氏何分酒造蔵普請等にて格別の義により当惑するに付) 色部義太夫→水井忠蔵様尊下御答書	7月8日	横切継紙/(下げ札あり)・1通	え4232-6
(書状、宮本公よりの内談には今日水井公より御内話あるに付) 松本嘉十郎→八田慎蔵様	10月25日	横切継紙・1通	え4232-7

1.内方/28.書状類/13.安政4年7月よりの来状

(書状、杏仁相場書について今年頃の相場余り不相当の儀に付) (八田)慎蔵・本之進→(水井)忠蔵様・(春日)儀左衛門様・(高野)覚之進様	10月7日	横切継紙・1通	え4232-8
(書状、大坂表炭彦殿御差配人御出張あるにより八田氏役代へ御宿仰せ付けるに付) 色部義太夫→水井忠蔵様尊下御答	8月25日	横切継紙・1通	え4232-9
(書状、昨日御上納は暮前に漸く相済むに付) 表柴町→伊勢町様	8月22日	横切紙・1通	え4232-10
(書状、去月中御用弁金15両御約定の通り御返渡となり、たしかに請取に付) 色部義太夫→水井忠蔵様・八田慎蔵様	8月29日	横切継紙・1通	え4232-11
(書状、御殿にて御内談ある通り水井氏へ勧める品は拝見仕らずに付) 忠蔵→(八田)慎蔵様	7月当賀	横切継紙・1通	え4232-12
(書状、代官町へ罷り出で宮慎大検見御用仰せ付けられる所、御引替成し下されたきに付) *(端裏書)「伊勢町様極密ニ申上 竹山丁より」 竹山丁より→伊勢街様極重に申上	7月25日	横切継紙・1通	え4232-13
(書状、栗落戸葡萄両品小布施ならびに善光寺等にもあるため、何とか御才覚願ひ上げたきに付) 覚之進→(八田)慎蔵様	9月5日	横切継紙・1通	え4232-14
(書状、御用意物の義、委細高野氏より願う所、御手数ながら傳兵衛へ用意仰せ渡し下される様願ひ上げるに付) 善治→(八田)慎蔵様	9月6日	横切継紙・1通	え4232-15
(書状、此の間も願った牛種痘、お安へ御問ひ合わせ申上奉るに付) 松山丁→伊勢町様	3日	横切継紙・1通	え4232-16
(書状、これより彦五郎罷り越すべき所、差支えあるにより罷り出られざるに付)		横切継紙・1通	え4232-17
(書状、御道具柄について貴様御出で御覧になられては如何なり哉に付)	8月24日	横切継紙・1通	え4232-18
(書状、栄八加部安弘物のことについて御話しあるにより参上するに付) 鉄治郎→御兄上様	8月15日	横切継紙・1通	え4232-19
(書状、鮑4つ進上申する所、調理について御尋ねあるに付)		横切紙・1通	え4232-20
(書状、御手附内蔵助とか又は友吉とかに委しく話し致し金2分位も遣すに付)	16日	横切継紙・1通	え4232-21
(書状、松井田表崇徳寺和尚参る所、真言宗食客の僧同道致し棋将碁共に御相応に出来るに付) *(端裏書)「別紙御内披御覧後火中」		横切継紙・1通	え4232-22
口上(御用意の義は風呂第一に願ひ上げ御有り合わせの品にて一盃位にて然るべきか高野氏へ申し遣わすに付) 善治→(八田)慎蔵様	8月25日	横切紙・1通	え4232-23
(書状、戸隠延引の義今朝代官町様へ伺い奉るに付) 覚之進→善治様御請	8月25日	横切継紙・1通	え4232-24
(書状、昨夜より大降りとなるも善光寺より今晚着に罷り成るや否やに付) 覚之進→善治様	8月25日	横切継紙・1通	え4232-25

1.28.14. 安政4年10月中より到来の要用書簡

(安政4年10月よりの書簡一括)		綴/(え4218-1 ～15は一綴)・1 綴	え4218
(袋) * (袋上書)「安政四丁巳歳十月中より到来之要用書簡入 義井堂」		袋・1点	え4218-1
(書状、手元払底にて3、4日の内に200疋御無心有りて時借りいたし度に付) 伊三郎→古姉さま	6日	横切継紙・1通	え4218-2
(書状、弊家御滞留中の御仁恕並びに美事の御品御贈りいただき有難きに付) 八田慎蔵→増田孝兵衛様	9月28日	横切紙・1通	え4218-3
(書状、当春中より御次家御借入により御挨拶として酒代200疋下される所、御廻し申すにより御落手下されるべきに付) 奥山忠左衛門→八田慎蔵様	10月22日	横切紙・1通	え4218-4
(書状、片桐氏の事ども御内談の上御取極め金100両唐三郎等へ御渡し下されたきに付) (松本)嘉十郎→(八田)慎蔵様	11月6日	横切継紙・1通	え4218-5
(書状、三七へ御下げ下された1分1朱余たしかに請取るに付) 半十郎→(八田)慎蔵様	5日	横切紙・1通	え4218-6
覚(諸品金銭書上) (松本)嘉十郎→(八田)慎蔵様・嘉兵衛様・本之進様		切紙・1通	え4218-7
(書状、栄八御代参仰せつられる所、出来がたきに付)		横切継紙/(継目剥離を2枚にして一綴)・1通	え4218-8
(書状、兼ねて申し上げる通り他拝借人もなく、私のしくじりにより、その内罷り出るの所、御下ヶ願い奉るに付) * (端裏書)「御請申上芸如」 芸如	10月29日	横切紙・1通	え4218-9
覚(錫手間代など受取書) 錫屋勇左衛門(印)→上	已10月21日	横切紙・1通	え4218-10
(書状、先使仰せ下された安三郎君の御通行に付) (八田)鉄治郎→御兄上様	11月11日	横切継紙・1通	え4218-11
(書状、後日御差支えも計り難き哉に付) 忠蔵→(八田)慎蔵様	10月18日	横切紙・1通	え4218-12
(書状、御茶屋屋根の代の内御差戻し下され度に付) * (端裏書)「佐助様要用 □□」芸如→佐助様	10月20日	横切紙・1通	え4218-13
(書状、斧右衛門など申し合わせ、稲荷山源之助へ金子手段上田両宅へも相談いたすに付) * (端裏書)「回状」 唐十郎→(八田)慎蔵様・喜兵衛様・本之進様		横切継紙・1通	え4218-14
(書状、早々に参上仕り、御別帳御返却仕るに付)	10月22日	切紙・1通	え4218-15

1.28.15. 安政5年正月より到来書簡

(安政5年到来要用書簡綴) * (安政5年到来書簡綴)		綴/(え4244-1～20は一綴)・1綴	え4244
(袋) * (袋上書)「安政五戊午歳正月中より到来要用書簡 義井堂澹菴」		袋・1点	え4244-1
(書状、嗜好の妙点沢山御投恵くだされ感得の旨)	25日	横切紙・1通	え4244-2

1.内方/28.書状類/15.安政5年正月より到来書簡

(書状、去巳年御札金并辰滞り共早速上納に付) 莊治 →(八田)慎蔵様	正月16日	横切継紙・1通	え4244-3
(書状、朔日右願いに出たところ終に申し上げず書中 にてその段御高免の旨)	2月18日	横切継紙・1通	え4244-4
口上覚(養父柄沢孝左衛門浪人株を悴へ相続のため扶 助金30両借用の返済に付) 柄沢七郎印・差添たれ印→ 八田慎蔵殿・口入松本嘉十郎殿	安政5午年2月	横切継紙・1通	え4244-5
(書状、①清野村持ち畑松木様にて今年限り作らせ呉 れる様に付、②彦蔵様大坂喜六方に下男の始末帰国 の路用1両貸付の返済に付) 竹山丁より→伊勢町様 極御内披	2月17日	横切継紙・1通	え4244-6
(書状、寒製甘草はただ今大坂表も甚だ宜しき様子の 旨) *(端裏書)「御内密申上」	17日	横切継紙・1通	え4244-7
(書状、弘化新增玉篇大全僅かに取入れの節は慥か18 兩位との旨) 熊之助 拝敬→競様	即刻	横切継紙・1通	え4244-8
(書状、その節願い上げの2円早速御投通下され慥かに 頂戴の旨) *(端裏書)「御請申上」 莊助	10日	横切継紙・1通	え4244-9
(書状、金15両御用弁仕り来月下旬迄に返済下され度、 且つ利子など決して御配慮下され間敷き旨) 色部 儀太夫→水井様・八田様	7月12日	横切継紙・1通	え4244-10
(書状、毎度御恵投有難く受納に付)		小切紙・1通	え4244-11
(書状、清野村に私持ち地を多分の借財のため質入れに したく返却を願う旨) 竹山丁より→威勢町様 御内々 極上	正月21日	横切継紙・1通	え4244-12
(封筒) *(封筒上書)「八田慎蔵様」		封筒・1点	え4244-13
(書状、装幅板不用ならば望む人もあるので腹蔵なく値 を申し上げる様に付) 関莊 拜手→義井堂大賢 閣下		横切継紙・1通	え4244-14
(書状、新年の祝詞) 加島田八郎胤重(花押)→八田慎蔵様 貴報	正月20日	折紙・1通	え4244-15
(書状、杏仁の義上田承認メ買いメ売りの風聞あり、北 海へ出し大坂へ遣わす義如何哉の旨)		横切紙・1通	え4244-16
(書状、飛脚便にて塩引き鮭1尺差し上げ、お近より駒 下駄を差し上げた旨など)		横切継紙・1通	え4244-17
(書状、お俊方へ結構の3種御恵贈くだされ家内一統よ ろしく御礼申し上げる旨ほか)		横切継紙・1通	え4244-18
(書状、一昨年内談の八田毛綱につきこの度いよいよ入 用の趣八田へ御達しの旨) 松本嘉十郎→炭屋孫七様	7月28日	横切継紙・1通	え4244-19
(書状、この程御手代重蔵帰坂につき小布施高井より も委細書状拙よりも細々御意を得候に付) 松本嘉 十郎→林孫七様	7月28日	横切継紙・1通	え4244-20

1.28.16. 年代不明の袋

(袋)		袋/(え4377-1 ～47は紙纏一 括)/(え4377-2 ～14は紙纏一 括)・1点	え4377-1
-----	--	--	---------

(書状、先刻の返事別紙の通り申し遣わす旨) * (端裏朱印)「八田」 松山丁→いせ町様	26日	横切継紙・1通	え4377-2
(書状、古町へ帰路立ち寄りそれら申し聞かせの旨) 新平→岡野様奉復	5月26日	横切継紙・1通	え4377-3
(書状、寺町諸片付けの義宗益へ話し長屋諸堀も弱りに付) * (封筒上書)「元賢様 新平」	5月26日	横切継紙・1通	え4377-4
(書状、寺町今日手始めに取りかかりの様子に付) * (勘返状) 新平→元賢様	5月4日	横切継紙・1通	え4377-5
(書状、野生にても親類差支えのため私ひとりにて罷り出るに付) 寺巷→伊勢町様	4月15日	横切紙・1通	え4377-6
(書状、富永より別紙あり、値段付けの旨) 松山丁→伊勢町様	17日	横切紙・1通	え4377-7
(書状、隠宅取り片付けの義直に寺町へ申し聞かせに付) * (端裏書)「奉復」 新平	4月17日	横切紙・1通	え4377-8
(書状、今日昼後罷り出る積もり、富永へも昨日より頼み申し入れに付) 寺町→伊勢町様	4月13日	横切継紙・1通	え4377-9
(書状、菅沼君へ談判手間取りこの義何か子細ありやの旨) * (勘返状) 知道→松山町様内事申上	4月14日	横切紙・1通	え4377-10
(書状、明朝願い上げのところ御繰り合わせ如何の問合せに付) * (勘返状) 知道→松山町様	13日	横切継紙・1通	え4377-11
(書状、少々遅刻恐れ入り、松山丁はお出でか伺いに付) 寺町→伊せ町様	14日	横切紙・1通	え4377-12
(書状、尊所様にお差支えあれば罷りありても苦しからず御様子伺いに付) 新平→松山丁様	16日	横切紙・1通	え4377-13
(書状、寺町一条段々こはまりの様子に付) * (封筒上書)「元賢様 新平」	4月16日	横切紙・1通	え4377-14
(書状、仰せの趣寺町へ申し入れ御書面も見せ大略は心得ありの旨) * (端裏朱書)「七 三月三日」 新平→松本先生□前	3月3日	横切継紙・1通	え4377-15
(書状、寺町も大いに不平の様子見え小生に気もとけ敷様子見せる旨) * (端裏書)「本書」/(端裏朱書)「二月廿八日 四印」/(勘返状)	2月28日	横切継紙・1通	え4377-16
(書状、両条寺町段々存念申し出で、この一件寺町より伊勢町へ懸かりに付) * (端裏書)「草案」/(端裏朱書)「卯三月十一日 十三」	3月11日	横切継紙・1通	え4377-17
(書状、御稽古済みは何時になるや、御立ち寄りを願う旨) * (端裏朱書)「七ノ上 三月三日」 新平→董正様□前	3月3日	横切紙・1通	え4377-18
(書状、過日中は寺町にて御談判の末事激切に相渉に付) * (端裏朱書)「三月三日 九」 新平→知道様御親展	3月3日	横切継紙・1通	え4377-19
(書状、今般和睦の一条伊勢町なり私共なり尊君へ内済の義願う旨申し遣わすに付) * (端裏書)「十二年二月廿八日富永氏へ遣し候控」/(端裏朱書)「五」	2月28日	横切継紙・1通	え4377-20
(書状、粗々大意は申し聞き置き、尚又御文中の条は改めて申し入れる旨) * (端裏朱書)「六 二月廿八日」 新平→元賢様・董正様奉復	2月	横切継紙・1通	え4377-21

1.内方/28.書状類/16.年代不明の袋

(書状、何分小生微力高意のところ行き届き兼まず有力家へ御托し願う旨) * (端裏朱書)「三月十日 十二」 新平→董正様拝答	3月10日	横切継紙・1通	え4377-22
(書状、寺町へ申し入れ、取扱の義は今後さらに中断に及ぶ旨) * (端裏朱書)「三月十七日 十四」 新平→元賢様・董正様拝答	3月17日	横切継紙・1通	え4377-23
(書状、これまでの談事はすべて不用と心得呉れとの旨) * (端裏書)「三月廿二日」 平三郎→知道様	3月22日	横切継紙・1通	え4377-24
(書状、竹島家へ藤助相統願い、なお両所へも申し聞きお答え申し上げ度旨) * (端裏書)「富永へ先ッ御返事草稿」/(端裏朱書)「十 三月四日」	3月4日	横切継紙・1通	え4377-25
(書状、先ず誰や別人に托し兩条仰せ入れる様願う旨) * (端裏書)「三月廿二日付ニテ廿四日到来富永氏より元賢へ之書面」/(封筒表書)「十六 元賢様拝答 新平」	3月22日	横切継紙・1通	え4377-26
(書状、富永公へ松竹両氏より書面をもってお打合せ申し置き義に付)	3月24日	横切継紙・1通	え4377-27
(書状、寺町の儀は一朝に力になりがたく場も見え小生の取扱の義は御不用になされたき旨) * (端裏書)「壱」/(端裏朱書)「二月廿五日」 新平→知道様差上置	2月25日	横切紙・1通	え4377-28
(書状、御両家御杭払いの勢いにも成り候ては何とも不容易のことに付) * (端裏朱書)「八 三月三日」 新平→松木先生申上	3月3日	横切継紙・1通	え4377-29
(書状、悪しからず御領承くされよろしく御収捨願うに付) * (端裏書)「式」/(端裏朱書)「二月廿五日」 新平拝→八田様尚又上置	2月25日	横切紙・1通	え4377-30
(書状、局外に御覧につきては小生ともに困却の極み左様これ無き旨) * (端裏貼紙)「三月十九日 十五 富永へ此間ノ挨拶草案」	3月19日	横切継紙・1通	え4377-31
(書状、前書の次第にて御勘願いたくに付) * (端裏書)「副書」/(端裏朱書)「二月廿八日 四ニ添」	2月28日	横切継紙・1通	え4377-32
(書状、富永への挨拶別紙草案然るべく御添削願う、一件書類伊勢町へ遣わしに付) 松山丁→竹山丁様	19日	横切紙・1通	え4377-33
(書状、松木にてもこの一条段々心配くだされ富永公への書面を御覧下されるに付) * (端裏書)「㊦三月廿三日」	3月23日	横切継紙/(下げ札あり)・1通	え4377-34
(書状、拙手賢にて頼み入れの仁もなく両家の間柄仲人なくては御談判でき兼ねるに付) * (端裏書)「㊦」 平三郎→知道様	3月24日	横切継紙・1通	え4377-35
(金836円50銭質入れ酒造蔵1棟土蔵1棟など書付)		横切継紙・1通	え4377-36
(書状、寺町一条何とか両家親類の場にて取扱もらいたくに付) * (端裏書)「三」/(端裏朱書)「富永へ申遣候控 二月廿六日」 元賢・董正→新平様	2月26日	横切継紙/(貼紙あり)・1通	え4377-37
(木町裏屋敷・酒株糸会所の入金などにつき各所見書付) * (端貼紙)「此書ハ中江正通氏所見ナリ二月廿四五日頃カ富永氏へ本書ハ遣シ置ク写ナリ」		縦紙/赤色罫紙(13行)・1通	え4377-38
(長屋一条につき治まり方厚く差し含み御勘願う旨) * (朱書)「十一 三月八日」	3月8日	縦紙/赤色罫紙(13行)・1通	え4377-39
(木町裏屋敷明地同様につき借家致し度願いなど所見草案)		縦紙/赤色罫紙(13行)・1通	え4377-40

(書状、松竹両氏より富永への書面穏やかに済ます趣意とは齟齬いたしに付) 平三郎→知道様	3月25日	横切継紙・1通	え4377-41
(書状、又候罷り出るべく哉仰せ下されたく旨) 平三郎→知道様	3月24日	横切紙・1通	え4377-42
(書状、富永公穏やかに済ます取結びにて両家の都合お助けと存じに付) 知道→平三郎様		横切継紙・1通	え4377-43
(書状、小生微量にてお断りにおよび、別人に親睦の場にておよべば何よりの義と存じに付) 新平→寺町様	3月24日	横切継紙・1通	え4377-44
(封筒) * (封筒上書)「伊勢町様 松山丁」/(封筒裏書)「尚引取罷出委細可申上候」		封筒/(え4377-45-1~9は封書一括)・1点	え4377-45-1
(書状、裁判権を以て此の救護の義務を尽くさしむべき条理毫もこれ無く旨) * (封筒上書)「八田知道様 奉復御親展 中江正宣」/(封筒裏書)「三月四日未明」 中江正宣→八田君奉復ヲ御秘展ヲ希	3月4日	横切継紙・1通	え4377-45-2
(書状、別書富永へお遣わし願う旨) 元賢→知道様	26日	横切紙/(え4377-45-3-1~2は一括)・1通	え4377-45-3-1
(書状、控え差上げるにつきお手元に置く旨)		小切紙・1通	え4377-45-3-2
(書状、御返復は直に遣わされたく旨) * (端裏書)「副啓」		小切紙・1通	え4377-45-4
(書状、昨夕のお返事は返し別紙尊君より仰せられるに付) 松山→伊勢町様	3月4日	横切継紙・1通	え4377-45-5
(封筒) * (封筒上書)「伊勢町様 松山丁」		封筒・1点	え4377-45-6
(書状、昨日の一条別紙に案仕るに付) 元賢→董正様	11日	横切紙・1通	え4377-45-7
(封筒) * (封筒上書)「松山町様奉復 新平」		封筒・1点	え4377-45-8
(封筒) * (封筒上書)「岡野様奉復 新平」		封筒・1点	え4377-45-9
(書状、寺町へ直参し何にても別心はなくお安心下されたく旨) 新平→董正様	4月1日	横切継紙・1通	え4377-46
(書状、富永公へ松竹両氏より書面にてお打合せにつき逐一お承知下されたく旨) 知道→平三郎様	3月4日	横切継紙・1通	え4377-47

1.28.17. その他

(書状、今朝にも御覧に入るべきところ甚だ取り込みに付)		横切紙/(え4374-1~35は紙縫一括)・1通	え4374-4
(書状、惣兵衛一件につき原尾村・椿世村両家より急度勘定相立てる様に付) * (包紙上書)「信州松代二而村田儀兵衛様 長谷部元桃」/(包紙裏書)「從勢州庄野宿」 長谷部玄桃→村田儀兵衛様・瀬河傳兵衛様・岩瀬伊兵衛様	6月8日	横切継紙/(え4380-1~20は紙縫一括)/(剥離あり)・1通	え4380-5
(書状、惣助不埒一件につき玄東家屋敷売り払い包金にて御赦免を願う旨) * (包紙上書)「信州松城八田儀兵衛様 増田羽四郎・佐藤惣兵衛」/(包紙裏書)「從勢州」 増田羽四郎・佐藤惣兵衛→八田儀兵衛様	6月8日	横切継紙/(剥離あり)・1通	え4380-6

1.内方/28.書状類/17.その他

(書状、惣助不埒の儀六左衛門殿・要助殿御断りの趣私共取次くれの旨) 左藤惣兵衛様・増田羽四郎様	6月20日	横切継紙/(剥離あり)・1通	え4380-13
(書状、惣助一件) * (端裏書)「宗助不埒ニ付原尾村椿世村江書状返書ノ下書」		横切紙/(後欠)・1通	え4380-15
覚(金500両荷物代金のうち先借受取に付) 信州松城産物方附菊屋傳兵衛・代栄八→炭屋孫七殿	嘉永2酉3月10月	縦紙/(虫損)・1通	え4380-17
(書状、七郎右衛門儀樋口旗之助殿召し連れ御用番御宅まで罷り出る旨) 敬次郎→(八田)嘉助様	12月9日	横切紙/(え4382-1~19は紙縫一括)・1通	え4382-19
(書状、片桐氏へ頼みにつき御勘考の旨)		横切継紙/(え4383-1~49は紙縫一括)・1通	え4383-8
(書状、昨晚御出で下され礼状) 渡辺承之助→八田嘉助様	2月2日	横切紙・1通	え4383-16
(書状、父保残儀死去通知) 渡辺承之助→八田嘉助様・八田慎蔵様	2月2日	小切紙・1通	え4383-24
(書状、昨晚遠方まで御出で下され礼状) 渡辺承之助→八田慎蔵様	2月2日	小切紙・1通	え4383-25
(書状、証文2通御落手の旨) * (端裏書)「証文二通入」(八田)嘉助→善治様	2月3日	横切紙/(虫損)・1通	え4383-30
(書状、片桐氏へ御勘考の旨断簡)		横切紙/(虫損)・1通	え4383-31
(書状断簡)		小切紙・1通	え4383-33
(書状、入用のため御宮金50金この者へ御渡し願う旨)(八田)嘉助→代官丁様	12月23日	横切継紙・1通	え4383-46
(書状断簡)		横切紙・1通	え4383-48
口上(時候挨拶雛形) たれ→(八田)嘉助様	13日	小切紙・1通	え4383-49
(書状、委細承知の旨) 兩人→嘉十郎様	7月18日	横切紙/(え4384-1~51は紙縫一括)/(虫損)・1通	え4384-2
(書状、昨日御願いの儀今日昼まで出来の旨) 寺町→いせ町様	4日	横切紙・1通	え4384-5
(書状、二男鋳二郎出府に付)		横切継紙(後欠)・1通	え4384-6
(書状、大急ぎ申上げ、昨日御光来なく和尚に対し赤面の訳如何に付) * (端裏書)「大急用 内々申上」	8月24日8時半	横切継紙・1通	え4384-9
(書状、今日高井三九郎・よし田村藤助参る旨) 松本嘉十郎→八(八田)嘉介様申上置	1月9日	横切継紙・1通	え4384-10
(書状、人参入れの箱につき干し上がり之急ぎ塵もある旨) * (端裏書)「[](虫損)」 嘉十郎→(八田)嘉助様	30日	横切継紙・1通	え4384-12
(書状、嘉助儀4,5日前より持病にて罷り在りに付)(八田)慎蔵→様	8月24日夜認置	横切継紙・1通	え4384-13
(書状、清水同道柳沢只今着、其の御方へ罷り出るべき哉御差図を願う旨) 柳沢・千村→松木様・八田様貴下	21日	横切継紙・1通	え4384-14

(書状、私方差支えのため柄沢氏に願ひ御座敷拝借の旨) 松本嘉十郎→八(八田)嘉助様	8月21日	横切継紙・1通	え 4384-15
(書状、拝借を願う旨) [](虫損)→[](虫損)	25日	横切紙・1通	え 4384-16
(書状、帰着の報告に付) 竹屋喜六→松本嘉十郎様御取次中様	8月12日	横切紙・1通	え 4384-18
一筆致啓上候(断簡)		横切継紙・1通	え 4384-20
(書状、出立時餞別、尊来につき礼状) 弥八郎→(八田)嘉助様・慎蔵様・鉄次郎様	6月23日	横切継紙・1通	え 4384-34
(書状、母死去につき通知) 河原舎人→八田嘉助様・八田慎蔵様	7月28日	横切紙・1通	え 4384-35
(書状、御餞別の印まで御呈上に付) (八田)嘉助→蓮光院様	菊月4日	横切継紙/(虫損甚大)・1通	え 4384-38
(書状、喜六権堂様に立ち寄るは世間風聞宜しからざるに付)	7月22日	横切継紙/(前欠)・1通	え 4384-43
(書状断簡) 松本嘉十郎→八(八田)嘉助様貴下		横切紙/(後欠)・1通	え 4384-44
(書状、吉村同道着仕り、何方にて御面会を願う旨) 窪源右衛門→松本嘉十郎様・八田嘉助様	9月23日	横切継紙・1通	え 4384-45
(書状、松屋新兵衛殿・久寿田源兵衛殿断簡) * (包紙上書)「八田嘉(助)(虫損)様御取(次)(虫損)様[](虫損)御鍵番[](虫損)」		横切紙・1通	え 4384-47
(包紙断簡) * (包紙上書)「佐久間修理様 [](八田慎蔵)」		包紙・1点	え 4384-48
(書状、桜井与平養女縁組に付断簡) 諏訪部[]→八田嘉助様・[]俊蔵様	21日	横切紙・1通	え 4384-49
(書状、勤用大切候得共兎角も不行届候由断簡)		横切紙・1通	え 4384-50
(書状、私宅にて法事執行に付断簡)		横切紙/(え 4384-51-1~8は巻込一括)/(虫損甚大)・1通	え 4384-51-1
(書状、別に状添え相届るに付断簡)	一月22日	横切紙/(虫損甚大)・1通	え 4384-51-2
(書状、「昨晚御尊意御遣被下忝奉存候」断簡) →松沢文之助様		横切紙/(虫損甚大)・1通	え 4384-51-6
(書状、未だ黑白の分も分かり兼ね十に九つは空手形にて帰る哉に付) * (包紙上書)「松城八田嘉右衛門様要用 岩村田旅宿より岡川左十郎」/(包紙裏書)「無別状」左十郎・学道→書鳩大君玉案下	極月26日	横切継紙/(え 4386-1~30は紙綴一括)・1通	え 4386-1
(書状、昨22日小松郷右衛門筑摩郡小俣村へ出張りに付) * (包紙上書)「八田嘉右衛門様 神津寛蔵好殷(花押)→八田嘉右衛門様参人々御中	10月23日	横切継紙・1通	え 4386-2
口上覚(坂原父子難洪の筋御助力いたし度旨) * (包紙上書)「添口上書 八田左仲」 八田左仲→八田嘉右衛門殿	寅2月	横切継紙・1通	え 4386-17
(書状、明29日罷り出るようにとの尊書にて何れ罷り出る旨) 友作→(八田)嘉助様御答	7月28日	横切継紙・1通	え 4386-20
(書状、御覧に入れ御笑留下されるに付) 熊三郎→(八田)嘉右衛門様	6月22日	横切継紙・1通	え 4386-25

1.内方/28.書状類/17.その他

(書状、小松公筑摩郡小俣村へ出張のため御延日の旨) →神津寛蔵様貴報	10月24日	横切継紙・1通	え4386-27
(書状、御昼済み候は、御出局を願う旨) 御存知→(八田)慎蔵様尊下	2月11日	横切紙/(え4387-1~33は紙縫一括)・1通	え4387-4
(書状、(柿崎)源左衛門死去通知) *(包紙上書)「八田 慎蔵様 柿崎源左衛門・親類」		横切紙・1通	え4387-6
(封筒未開封) *(封筒上書)「善三郎様・甚右衛門様 慎蔵」		封筒・1点	え4387-23
(はん紙屋来たり八田屋へ進められるに付) 甚 拜→おてれ様	10日	横切継紙・1通	え4387-31
(書状、段々御心添え下され候御儀須坂が先となり安心の旨) 堀内茂一郎→八田嘉右衛門様貴下	11月朔日	横切継紙/(え4388-1~20は紙縫一括)・1通	え4388-6
(書状、左源太殿より綿貫新兵衛殿へ御口入れ下され 兩人様とも定式着服受けの方挨拶ありに付ほか) 矢野倉惣之進→八田辰三郎様		横切継紙/(え4389-1~50は紙縫一括)/(虫損)・1通	え4389-9
(書状、事件御心配願ひ奉り有り難く仕合わせに存じに付) 忠一郎→増太郎様・五十司様	4月8日	横切継紙・1通	え4389-11
(書状下書)		縦紙/(虫損甚大)・1通	え4389-18
(書状、御出下される旨今日は御見合願うに付ほか) →寒松山様		横切紙・1通	え4389-20
(書状、何らの御尋ねもなく別段思し召しもあるまじく兼ね申談の通り取極めのこと) 磯田音門→八田喜兵衛様	5月16日	横切継紙/(付札あり)・1通	え4389-25
(書状、昨日は留守にて拝眉仕らず、只今帰宅尚又出かけるため申し訳なき旨) *(端裏書)「此紙百七拾枚、四拾式袋」 山極拜→八田君	18日	横切継紙・1通	え4389-27
(書状、別副申上候)		横切紙/(虫損甚大)・1通	え4389-34
(書状、昨9日八田より使い到来、書状認め差出しに付) 佐十郎→浅右衛門様	9月3日	縦紙/(え4389-35-1~2は巻込一括)・1通	え4389-35-1
(書状、先晩はお越しくだされ鄙村故殺風景の儀ご容赦下されたき旨) 左十郎→浅右衛門様	9月2日	縦紙・1通	え4389-35-2
(願の拝領金5両御口入れくだされ忝く存じに付) 小口乙右衛門→八(八田)嘉右衛門様・八(八田)孫左衛門様	3月8日	横切継紙・1通	え4389-38
(書状、此の方いせ町はじめその外総じてかわる御事もなく候由に付) かめ→おきん様		折紙・1通	え4389-39
(別紙已極月29日金子入状箱の事御詮議の程願う旨)		小切紙/(え4391-1~20は巻込一括)・1通	え4391-8
(書状、善光寺鑑札願別帳は御番人へ御下げになり、御奉行への御返事は鑑札渡し済むまで善光寺のものへ渡すに付) 喜兵衛→松本様	8月5日	横切継紙/(え4393-1~22は紙縫一括)・1通	え4393-4
(書状、この品御笑留下さる旨) 主水→(八田)嘉右衛門様	12月19日	横切継紙/(え4395-1~31は紙縫一括)・1通	え4395-9

(書状、時候御尋ね下され、また鶏卵芳慮掛けられ御深志の義忝き次第の旨) 金井左源太→八田嘉右衛門様貴下	12月28日	横切継紙・1通	え 4395-10
(書状、御引取に一寸御立ち寄りの旨) 岡の→春日君当用	3月	横切継紙/(虫損)・1通	え 4395-11
(書状、おたつ殿安産の由目出度く存じ、御初着の品御寿納に付) 小田井安川庄右衛門→御影村柏木小右衛門様参人々御中	11月28日	横切継紙/(剥離あり)・1通	え 4395-19
(書状、その節願の金子出来仕らずば年も取り兼ねる旨) 慶助→鉄之助様	12月29日	横切継紙・1通	え 4395-23
(書状、昨夕は跡より御過成下されなににても話具仕らず御寛話仕り度旨) 久馬→鉄之助様当用	晩冬9日	横切継紙・1通	え 4395-26
(書状、先頃御恵み下された丸葉如何ほど上納仕るべき哉の旨) 帰庵→山長君内用	文月8日	横切継紙・1通	え 4395-27
(書状、肉を早速拝味仕り実に得難き佳品にて小義の面々にて腹一杯拝戴の旨) (岡野)陽之助→鉄之助様	11月17日	横切継紙・1通	え 4395-29
(書状、多人数ゆえ彼是申出も容易にはでき兼ね、且又御人選御勘弁成し下される旨) * (端裏書)「極密申上」	3月29日	横切継紙・1通	え 4398
(書状、木村長門守自筆写し) 木村長門守判→猪飼野左馬介殿御陣所	4月6日	横切継紙・1通	え 4402
(書状、昨日別紙到来につき御承知の旨) 喜兵衛→(八田)嘉助様	21日	横切継紙/(え 4420-1~46は紙縫一括)・1通	え 4420-2
(3口ノ25両2分嘉助手に預かり)		横切継紙・1通	え 4420-3
(書状、過刻の亀清為替証文御落入下される旨) 辰三郎→(八田)嘉助様	16日	横切紙・1通	え 4420-8
(書状、別紙残金の分御取調下さる様願う旨) 喜兵衛→(八田)嘉助様	29日	横切紙・1通	え 4420-11
(書状、一寸御光来を願うに付) 三右衛門→(八田)嘉助様		横切継紙・1通	え 4420-14
(書状、何分御工夫願ひ上げ、今般御様子窺いに付) 藤左衛門→(八田)嘉助様内用	11月19日	横切継紙・1通	え 4420-15
(書状、為替証文御廻し下され落手に付) * (裏書)「申十二月六日六百両為替証文差出候受取書状」 重之介→(八田)嘉兵衛様・(八田)嘉助様	12月6日	横切継紙・1通	え 4420-16
(書状、証文を廻し御印形を願う) (八田)嘉助→寺町様証文添	6月21日	横切継紙・1通	え 4420-19
(書状、別紙為替証文2通に御印形願う旨) 喜兵衛→(八田)嘉助様	11日	横切継紙・1通	え 4420-29
(書状、御令臨金御落手のこと、米穀代六ヶ敷心配の旨) 友作→(八田)嘉助様御元		横切継紙・1通	え 4420-31
(書状、金子この者に御渡し願う旨) 辰三郎→(八田)嘉助様印書入	4月29日	横切継紙/(え 4420-32-1~2は巻込一括)・1通	え 4420-32-1
覚(9月22日金750両為替上納ほか4件ノ1663両書付)		横切紙・1通	え 4420-32-2

1.内方/28.書状類/17.その他

(書状、出立につき御自書100疋頂戴有り難き仕合わせに付) 嘉十郎→(八田)嘉右衛門様・喜兵衛様・辰三郎様・嘉助様御受申上	10月9日	横切継紙・1通	え4420-33
(書状、明後29日一盃献じたく7時頃より御光来願う、一泡老人へも申遣わすにつき待ち上げる旨) 梅庵 拝→書鳩様	11月27日	横切紙・1通	え4420-41
(書状、私持病宜しく無く平臥相成りに付) * (後欠)		横切継紙・1通	え4420-45
口述(横山年礼両人心取り違い、升堂心違いの段御迷惑御気の毒に存じに付) □□→八田様	5月16日	縦紙/(え4421-1~11は紙縫一括)・1通	え4421-1
(書状、来月集会のこと八田氏へお取り合わせ願いに付き) 高田茂左衛門→中嶋三右衛門様人々御中	10月24日	折紙・1通	え4421-3
御内密申上候(紀伊国屋篠綾と申遊妓表向きは上田の客、内実は綿内酒屋の身受けに付) * (包紙上書)「御直披可被成下候 甚十郎」		横切継紙・1通	え4421-6
(書状、中嶋公・庄田公御帰りの段伺い、先達て書面差し上げの一条片付く哉の段伺いに付) * (勘返状)/(包紙上書)「松代八田嘉右衛門様上 関川宿大石清右衛門」大石清右衛門→八田嘉右衛門様	4月5日	折紙・1通	え4421-8
(書状、中嶋様も御帰りの趣、何分御沙汰急度願うに付) * (勘返状)/(包紙上書)「松代八田嘉右衛門様上 関川宿大石清右衛門」大石清右衛門→八田嘉右衛門様・中嶋三右衛門様	3月22日	横切継紙・1通	え4421-11
(書状、この方御用意宜しく、御案内斯くの如く) 樋村勇助→浦野忠七様	2月13日	横切紙/(え4424-1~14は紙縫一括)/(虫損)・1通	え4424-6
(書状、忤吉之助へ南沢甚之介娘縁組願い有り難き旨) 平林藤助→八田嘉助様・八田慎蔵様	9月23日	横切紙・1通	え4424-7
(書状、不快にて工面相成りがたく御無心申上げても御工面下されざる旨) 久蔵→伊左衛門様	13日	横切継紙/(え4425-1~17は紙縫一括)・1通	え4425-8
(書状、御染筆の儀諸般滞り無く相整い当10日金井公より御渡し成される旨)		折紙・1通	え4425-11
(書状、善光寺へ参り風邪ひきにて今日は帰り兼ねるに付) 善光寺より久蔵→木町伊左衛門様用事	12月19日	横切継紙・1通	え4425-15
(書状、京都への御用仰せ付けられるに付)	月日	折紙/(え4426-1~35は紙縫一括)・1通	え4426-1
(書状、御出立後は御無音にて甚だ心配仕り、先月12日迄には御便りもあるやと承知致し候ところ一向その儀も無き旨)		横切継紙・1通	え4426-6
(秀松一件御賢慮をもって品能示談下され、この上品能片付く様御賢計願う) * (端裏書)「卯九月廿二日返書済」		横切紙・1通	え4426-8
(包紙) * (包紙上書)「御本家様ニ而八田唯吉様行貴下自大津」/(包紙裏書)「封 二月廿日 納屋甚兵衛代亦兵衛」		包紙/(え4427-1~37は紙縫一括)・1点	え4427-3
(書状、金子6両4、5日の内御下げのところ御沙汰無くこの者へ御渡し願う) 納屋甚兵衛代又兵衛→八田御内唯吉様	2月20日	横切継紙・1通	え4427-4

(書状、御染筆に御官位御姓名の儀額面などと違い宮殿正面に懸かる旨) * (勘返状)/(包紙上書)「御他家神帳ニ付文通入」 喜六→(八田)嘉右衛門様	8月28日認	横切継紙/(え4428-1~5は紙縫一括)・1通	え4428-1
(書状、御染筆御旦所様より貴所様へ御渡しの筈に付ほか) 喜六→(八田)嘉右衛門様	9月2日	横切継紙・1通	え4428-4
(書状、柴田彦太郎草津入湯のおり御宅へ御尋ねの筈に付) * (包紙上書)「松代ニ而八田嘉右衛門様 従高崎城内津田覚之助」/(包紙裏書)「四月廿九日菊屋彦太郎罷越持参之書状」 津田覚之助→八田嘉右衛門様	4月17日	横切継紙/(え4430-1~6は紙縫一括)・1通	え4430-5
(書状、今日森村まで幸便あり大和屋より申し来たりに付)	6月17日書添へ	横切紙/(え4431-1~17は紙縫一括)・1通	え4431-8
(亡父義市願いの通り跡式跡役相違無く仰せ付けられ熊井大蔵有り難き旨)		小切紙・1通	え4431-10
(書状、祐助へ毛縄の儀いづれ来月末までのうち引き取りに付) * (勘返状) 喝→(八田)嘉右衛門様	正月22日	横切継紙・1通	え4431-16
(書状、当夏御馳走の御礼、御約束の石煙燭その内然るべき分早速書状をもって御案内の旨) * (勘返状)/(包紙上書)「八田嘉右衛門様上 殿邑洗心」/(包紙裏書)「信州松代にて 自越中泊」 越中泊洗心(花押)→八田嘉右衛門様・若旦那様	9月26日認	横切継紙・1通	え4431-17
(書状、忠吉口上にて傳兵衛代平兵衛他行また御領内村々金子差引の儀にてこの方より罷り出で難き旨) * (包紙上書)「神津定蔵様・若林武太夫様・出沢喜右衛門様 笠井和七」 笠井和七→神津定蔵様・若林武太夫様・出沢喜右衛門様	6月24日	横切紙/(え4432-1~31は紙縫一括)・1通	え4432-1
(書状、一籃のうち品々御恵投下され御懇慶の御儀忝次第の旨) 養碩→(八田)嘉右衛門様	12月2日	横切継紙・1通	え4432-22
(書状、お蔭をもって半口2朱忝く存じに付) 藤馬→(八田)嘉右衛門様	12月5日	横切継紙・1通	え4432-24
(書状、実方の妹死去につき右入料差し掛かり願う旨) 長岡助右衛門→八田嘉右衛門様・八田鉄之助様	3月29日	横切紙・1通	え4432-26
(包紙) * (包紙上書)「文化十四卯五月 知義」	文化14年	包紙/(え4432-31-1~4は包紙一括)・1点	え4432-31-1
(書状、芳次郎・邦次郎などとは違い親をも手詰めにいたし自身は不埒の取計いにては心外の心得方に付、松木君への下案) (八田)嘉右衛門→東様	(文化14年)6月27日	横切継紙・1通	え4432-31-2
(書状、戸倉一件入用多く懸かり迷惑の旨、市兵衛見込み書差し出しにつき水井様御下げ札御手元へ差し上げる旨) 孫兵衛→伊勢町様申上	(文化14年)6月28日	横切継紙・1通	え4432-31-3
(書状、御別紙の通り思し召しの程委細仰せを蒙り承知の旨) * (封筒上書)「嘉右衛門様内密御請 束」	(文化14年)6月28日	横切継紙・1通	え4432-31-4
(書状、春明法眼余り面白くも無く御気には入り間敷く旨、ほか) * (包紙上書)「松代木町ニ而八田慎蔵様無賃用 坂本宿金井鉄次郎」/(包紙裏書)「五月」 鉄次郎→御兄上様	閏5月12日	横切継紙/(え4433-1~10は紙縫一括)・1通	え4433-1
(書状、中本澤山見料の儀お近よりも御礼申上る旨) * (封筒上書)「松代御母上様御内披 坂本宿鉄治郎」 鉄治郎→御母上様		横切継紙・1通	え4433-2

(書状、忠兵衛馳走有り難きに付、山本屋養子春吉弟取極めになるに付)		横切紙・1通	え4433-7
(書状、祖母も足痛みにて御礼書も不本意ながら差し上げず私より御礼申し上げるようにとの旨) *(包紙上書)「松代八田慎蔵様筵加添 坂本宿加部尚八郎」 鉄治郎→御兄上様	6月28日	横切継紙・1通	え4433-8
(書状、山本屋七之助養子春吉3月死去、春吉弟貰い請け度事に付)		横切継紙・1通	え4433-9
(書状、杏干につき願い上げたところ未だ何とも御使い無く旨) 鉄治郎→御兄上様足下	6月20日	横切継紙・1通	え4433-10
(書状、御品御恵下され御厚礼申し上げる旨) 御同様 拝→御同様	仲冬21日	横切継紙/(え4434-1~13は紙繕一括)・1通	え4434-2
(書状、戸隠への文通伺い只今来たり明朝差し出したき旨)	23日	横切継紙・1通	え4434-4
(書状、如何舗御品献じ御笑納くだされ大悦斜めならずに付) * (封筒上書)「八田嘉右衛門様 堀内楸一郎」 梅兆→恣水園公玉机下	復月21日	横切継紙・1通	え4434-5
(書状、戸隠栗田一件明日善光寺と一同に仕り度旨) *(勘返状) 中島 書入共参申上→金児様	21日	横切継紙・1通	え4434-8
(書状、栗田帯刀殿去々年真綿1両分去年ちりめん3分計遣わし、進物は別物に付)	20日	横切継紙・1通	え4434-9
(書状、寒威御凌1杯献じたくに付) * (勘返状)/(包紙上書)「御答 守之丞」(八田)嘉右衛門様→守之丞様当用	11月23日	横切継紙・1通	え4434-10
(私儀様子次第旅行願う旨) 八田嘉右衛門→石龍子様	2月27日	横切紙・1通	え4434-12
(書状、何卒帰国いたし貴下などと揃眉毛たくもこの地の交友も捨てがたき旨) * (包紙上書)「信州松代 八田嘉右衛門様参人々御中 哲堂 平安」/(包紙裏書)「江戸駒込千駄木町御宮御林内家主安五郎借寮より賃済」 哲堂→八田嘉右衛門様参人々御中	11月26日	横切継紙・1通	え4434-13
(書状、江戸御供の方へまわるべく哉と存じ能々御勘弁の旨)	3月13日	横切継紙/(え4436-1~19は紙繕一括)・1通	え4436-13
(拙子こと近日は今日の費用ばかり当べき者も無ばかり)		横切継紙・1通	え4436-19
(包紙)		包紙/(え4437-1~24は紙繕一括)/(4437-16-1~3は包紙一括)・1点	え4437-16-1
(書状、年始挨拶ほか五左衛門同役申付けられ当地へ罷り越すにて以来御熟意成し下されたきに付) 齋藤五左衛門秀(花押)・後閑又兵衛信潮(花押)→和合院様	正月18日	折紙・1通	え4437-16-2
(書状、当月初回帰落仕り3月中に田中小十郎罷り出でるに付) 後閑又兵衛→和合院様	正月20日	横切継紙・1通	え4437-16-3
(荷送の件大延引御許容されたく、荷送帳これなき分御廻に付委細書上)		折紙/(え4438-1~30は紙繕一括)/(綴痕あり)・1通	え4438-9
(書付、「樋口堀田佐久間宮沢東条其外差遣御入用無之紙面」)	巳6月	堅切紙・1通	え4438-17

(書状、今度遣候祖助方への返書、文書悪しく聞こえかね候ゆえ宜しく御書繕下されたきに付) (八田)競→源兵衛殿	10月24日	横切継紙・1通	え4438-19
(半元板願の通り仰付らるに付書上) * (下書) 八田清左衛門カ		折紙・1通	え4438-20
(書状、御都合次第5両の御入用に御座候はば御用手申すべきに付)	21日	堅紙/(え4439-1~40は紙繕一括)・1通	え4439-14
口上(高慮の事ある故御光来下されたきに付) 甫唯→書鳩様	23日	切紙・1通	え4439-15
(書状、再会の御御配慮にてこの上は音信をとおざけ何事も憚りなくなるべきに付) □選楼庵住	霜月	堅紙・1通	え4439-18
(書状、よくよく御相談成る丈早く御挨拶に相成る様致したきに付)	第6月6日	堅紙/青色罫紙(8行)/(版心)「松代藩」・1通	え4439-27
(書状、来る3月までに取調べ致したくも病にて宜しくお取計らい下されたきに付)		堅紙・1通(2枚)	え4439-28
(書状、春の和歌御顕面出来候わば願上げにつき) 井乱内より→八タ内御綾宝殿人々御なへ		堅紙・1通	え4439-34
(書状、簾袖30個御笑味下されたきに付) 山中佐藤佐次平→八田鉄次郎様	10月21日	堅紙・1通	え4439-36
(書状、社中より長々庖瀉にて罷り出でず使いを以て御祝酒遣わすに付) 紙屋町老人拝→伊勢町嘉君人々	12月5日	横切紙・1通	え4439-39
(書状、先日御渡しのところ、未だ落手も成し下さらざるため受取下されたきに付) 水野友作→八田嘉助様	正月11日	横切継紙/(え4441-1~39は紙繕一括)/(虫損)・1通	え4441-4
(書状、去年中上納金40両3分2朱のうち元金40両差出下されたきなどに付) 喜兵衛→(八田)嘉助様	12日	横切継紙/(虫損)・1通	え4441-12
(書状、扇子金具など辰三郎へお渡しに付) * (包紙上書)「申上銀錢包二ノ添肝葉」	28日	横切紙・1通	え4441-26
(書状、塩鯨1尾御召上に付) 矢野倉惣之進→八田嘉右衛門様	12月27日	横切継紙・1通	え4441-28
(書状、今夕一同御請申し上げに付) 楽水	正月12日	横切継紙・1通	え4441-32
(書状、歳末の御失礼仕るなどに付) * (包紙上書)「信州松代八嘉右衛門様從江戸参人之事六月十三日出賃相済新衆物町小出市郎兵衛」 小出市郎兵衛→八(八田)嘉右衛門様	6月13日	切継紙/(包紙あり)・1通	え4441-39
(書状、妹の義病氣により養生するも死去するに付) 三村勇之進→菊(菊屋)喜兵衛様	正月6日	切紙/(え4442-1~26は紙繕一括)・1通	え4442-2
(書状、平助・久兵衛へ1貫200文下される所、この節夫喰差し支えにより御渡し取り計らうべきに付) 旬蔵→源吾様抱中用御書披可下候	4月8日	横切継紙・1通	え4442-5
(書状、金9両2分御預りの上、御繰廻し成し下される様願うに付) 與三→喜兵衛様金子添	8月3日	横切継紙・1通	え4442-6
(書状、御快気の時分さぞ御難儀の所、皆々様に宜しく仰せあげられるに付) ちそより→おなかさま御侍史		横切継紙・1通	え4442-8

申上(先刻御内々申し上げたことなど勘弁仕るに付)	9月28日	横切紙・1通	え4442-9
(書状、書状をいだたくも三郎左衛門卒爾の事等にて等閑仕る所、今般御懇談にて御丁寧なる書面畏み奉るに付) * (封筒表書)「松代水井忠治様御請答 坂本宿佐藤源左衛門」 佐藤源左衛門→水井忠治様御請	霜月朔日	横切継紙/(封筒共)・1通	え4442-13
(書状、昨夕および今朝御細君にお世話になるに付御礼) 為之助→(八田)嘉助様		横切紙・1通	え4442-16
(書状、久兵衛へ御手衆も成し下されるも当人度々私まで相組る極難の者に付) 用蔵→(八田)嘉助様御内々申上		横切継紙・1通	え4442-17
(書状、染縮緬1疋丈尺など御附札にて仰せのこと) * (包紙上書)「御内用八田喜兵衛様・山崎久右衛門様差掛り 柿崎喜作・坂本常左衛門」 江店懸り→御在所御掛り様	4月22日	横切継紙/(え4444-1~25は紙縫一括)・1通	え4444-3
(包紙) * (包紙上書)「松代笠井和七様貴下 飯山山岸三四郎」		包紙/(え4444-20-1~3は包紙一括)・1点	え4444-20-1
(書状、御頼母敷の儀千万忝く、21日松代表参上にて御嘶願う旨) 山岸三四郎→笠井和七様	10月17日	横切継紙・1通	え4444-20-2
御直段(粃子金10両につき38俵ほか)、覚(粃3800俵うち御手形にて差し上げる哉返事を願う)		横切継紙・1通	え4444-20-3
舌代(書状、善之助へ申した通りこの御眼病にて認めもの甚だ難儀に付)		横切継紙・1通	え4444-21
(書状、頼母鋪の儀春來御出光の旨御延引下されたく願うに付) * (端裏書)「下案」 八田嘉右衛門→近藤九郎兵衛様・安西好兵衛様貴答	12月3日	横切継紙/(え4444-19と関連)・1通	え4444-22
(書状、江戸表への加筆此表へ来たりならば却って差支えに付)		小切紙/(え4445-1~14は紙縫一括)・1通	え4445-7
(書状、御菓子1折呈上、御尊面得度御案内を願う) * (包紙上書)「八田嘉右衛門様尊下 飯寫其欄」/(包紙裏書)「上田海野町より」 飯寫其欄→八田嘉右衛門様	霜月10日	折紙・1通	え4445-13
(包紙) * (包紙上書)「上式状入 いせ町より」/(包紙裏書)「六月八日」		包紙/(え4447-1~8は括り紐一括)/(え4447-1-1~3は包紙一括)・1点	え4447-1-1
送り荷物(七ツ鉢1組、蓋ちゃわん5人前ほか30点送り荷物書) * (封書上書)「送り荷物明荷壹箇・小付三ツ鍔治郎」 鍔治郎	6月8日	横切継紙・1通	え4447-1-2
(書状、御療治の事は御養生然るべきに付) * (封書上書)「御兄上様 鍔治郎」 鍔治郎拝→御兄上様		横切継紙/(え4447-1-3-1~2は巻込一括)・1通	え4447-1-3-1
(書状、大切の月なので御辛抱なされたきに付) は、→慎蔵との人々御なへ		横切継紙・1通	え4447-1-3-2
(書状、金子7両御落入のこと、干ふく1苞差し越しのこと) * (封書上書)「八田慎蔵様金子添 八田嘉助」 嘉助→慎蔵殿	7月5日	横切継紙・1通	え4447-2
(書状、先日仰せ下され品の事鉄治郎本の事かと申すに付) は、→慎蔵殿人々		横切継紙・1通	え4447-3

(書状、御師箱源兵衛より買い取り御意に叶うならば御留置きにて宜しき旨) 市兵衛→上	6月14日夜	横切継紙・1通	え4447-4
(封書) * (封書上書)「御兄上様貴下 鉄治郎拜」		封書/(え4447-5-1~3は封書一括)・1点	え4447-5-1
(書状、玉篇後便にて字彙差し越しに付)		小切紙・1通	え4447-5-3
口上(書状、昨日けい殿御かへりさき程御出下され2通の御文はしいに付) は、→しん蔵殿人々	27日	横切継紙・1通	え4447-8
(書状、先日喜太郎に善光寺のしつ葉頼みいかがの旨) 弥太郎→おこう様	20日	横切継紙/(え4450-1~22は括り紐一括)・1通	え4450-9
(嘉右衛門宛書状一括)		包紙一括/(え4451-1~25は紙縫一括)/(4451-4-1~4は包紙一括)・1点	え4451-4
(包紙) * (包紙上書)「神信拜」		包紙・1点	え4451-4-1
(書状、虫損甚大のため判読不能) →嘉右衛門様		切紙/(虫損甚大開披不可)・1通	え4451-4-2
(経文書付)		切紙/(虫損)・1通	え4451-4-3
(書状、困窮により本月にいたりては手段なくては相済がたきに付)	7月8日認	横切継紙/(虫損)・1通	え4451-4-4
(書状、板については切る人が外出中のため明早朝差し上げたきに付) 橘庵拜上→尊酬	23日	切紙・1通	え4451-13
(書状、歎願仕る金落手仕るに付) * (端裏書)「御請申上」 本之進	9月28日	横切紙・1通	え4451-19
(書状、昨日の義いずれ参上御目通り申上ぐるゆえ御取り成し下されたきに付) 義三郎→慎蔵様	3日	切紙/(え4452-1~17は紙縫一括)・1通	え4452-11
(書状、極中中俣を以て極密相願ひ御年意下され仕合わせに付) 馬場丁閑居→嘉助様極内用御直披可被下候	5月8日	横切継紙/(え4453-1~13は紙縫一括)・1通	え4453-13

1.29. 諸書類

1.29.1. 弘化年間金銭書上書類綴

(弘化年間金銭書上書類綴)		綴/(え4240-1~59は一綴)・1綴	え4240
(袋) * (袋上書)「巳年より午年迄 品金書類入 申六月 中迄 八田氏」		袋・1点	え4240-1
覚(御扶持6俵代金1両3分余請取に付) 頂戴人ふち・親類万吉(印)→八田嘉助様御内丸澤栄八様	弘化5申年2月20日	横切紙・1通	え4240-2
覚(ごとくいかけ代172文請取に付) 鍋屋伴左衛門→八田嘉右衛門様御内	申4月	横切紙・1通	え4240-3
覚(諸品金銭書上) 一文字や清十郎出店→御茶間様	11月15日	横切継紙・1通	え4240-5
覚(土16駄代538文など代金請求書) 寺町左官松外[印「松代木町山屋」]→八田様御内多七様	4月27日	横切紙・1通	え4240-6

1.内方/29.諸書類/1.弘化年間金銭書上書類綴

覚(発起無尽掛戻し金1両2分書上) 八田嘉助取次→みのや与兵衛様	弘化5申年3月15日	横切継紙・1通	え 4240-7
覚(細工代金書上) 大工圓左衛門→上		横切紙・1通	え 4240-8
覚(真木9駄などノ38駄余代金1両書上) * (裏書あり) 菊屋傳兵衛→岩寺村仁右衛門様		折紙・1通	え 4240-9
覚(諸種代金ノ744文書上) * (後欠カ)		横切紙・1通	え 4240-10
覚(炭代金1両2分余請取に付) 右分太兵衛	申4月22日	切紙・1通	え 4240-11
覚(左官並びに諸材料代銀ノ14匁5分余書上) 左官松五郎→八田嘉助様御内	午8月	横切継紙・1通	え 4240-12
覚(酒蔵普請代金など6両銀10匁書上) * (控) かし町磯吉→八田嘉助様御役人中様	午10月	横切継紙・1通	え 4240-13
覚(9月より10月まで10人半分代金2貫348文請取に付) * (押印)「菊総」 勘左衛門	未11月9日	横切紙・1通	え 4240-14
口上(来る8日殿様御入のため、明徳寺より依頼あるにより、引紙の品物拝借願いたきに付) 浄福寺→伊勢町八田様	秋8月朔	横切紙・1通	え 4240-15
覚(家具並びに屏風拝借願い上げるに付) 関屋村明徳寺→田中村浄福寺様	7月28日	横切継紙・1通	え 4240-16
覚(板付替代金などノ金3両1分余書上) かし町儀左衛門→八田嘉助様御内	未11月	折紙・1通	え 4240-17
覚(板入代金などノ金2両1分2朱余書上) かし町儀左衛門→八田嘉助様御内	未10月	横切継紙・1通	え 4240-18
口上(御枕100人前の内50人前の事に付)	朔日	切紙/(虫損)・1通	え 4240-19
覚(合羽代金書上) 坂屋友之助(印「信州松代」)→吉蔵様	申正月4日	横切紙・1通	え 4240-20
(書状、申上げておいた金子一条の事明日願い上げたきに付) 萬屋弥左衛門→菊屋太七様	12月24日	横切紙・1通	え 4240-21
(書状、御廻状御順達致す所、御箱御返し下さるべきに付) 水野友作→八田嘉右衛門様・八田嘉助様	閏5月26日	横切紙・1通	え 4240-22
口上(荒神町の伝兵衛方大工入書付拝借願い上げるに付) 善吉→多七様	5月29日	横切紙・1通	え 4240-23
覚(11月より12月の6人半分代金ノ1貫460文書上) 勘左衛門	未12月7日	横切紙・1通	え 4240-24
(書状、私霍乱により出勤仕り難きに付) 八田嘉助→竹村金吾様	7月24日	切紙・1通	え 4240-25
(書状、中節院100回忌など回忌重なるにより、来る18日法事執行するに付) 束→(八田)嘉右衛門様・(八田)嘉助様	6月13日	横切継紙・1通	え 4240-26
(書状、蔭絵重箱2組借用したきに付) 源太夫→(八田)嘉助様	8月20日	横切継紙・1通	え 4240-27
(書状、眼病により出勤仕り難きに付) 八田嘉助→竹村金吾様	7月6日	切紙・1通	え 4240-28
(去る申年の凶作以来物入り多く取り続き難き所、下々にも出精儉約専要頼み入るに付申渡状) * (端裏書)「勝手江」		横切継紙・1通	え 4240-29
(名札「恩田頼母」)		札・1点	え 4240-30

覚(当110枚請取に付) 常泉院納所→八田嘉右衛門様	閏5月17日	横切紙・1通	え4240-31
覚(にしん3把などメ金1分余請取に付) いつみや内友平→上	4月16日	切継紙・1通	え4240-32
覚(金2両請取に付) 荒神町名主小出文左衛門(印)→伊勢町傳兵衛殿	午10月22日	横切紙・1通	え4240-33
(11月12月分御扶持その他代金3分余受領書) 和左衛門(印)→御産物方御会所	12月26日	横切継紙・1通	え4240-34
覚(代金1分余書上) 会津屋喜作→八田嘉助様御内	未極月	横切継紙・1通	え4240-35
覚(蝶番など代金1両2朱余書上) かし町万吉[印]→八田嘉助様御内宮沢太七様	12月大晦日	横切継紙・1通	え4240-36
覚(米など代金3貫582文書上) 車や弥忠太→八田様御内	未極月	横切継紙・1通	え4240-37
覚(炭かき等諸品代銀2匁5分書上) 三崎藤吉→菊屋傳兵衛様	未3月	横切継紙・1通	え4240-38
覚(はみかき等代銀9匁3分余請取に付) 藤屋和兵衛(印)→八田嘉助様御内	未9月29日	横切継紙・1通	え4240-39
覚(みそ1駄代金1両余書上) こめや作左衛門→雨宮村才治郎殿	2月16日	切紙・1通	え4240-40
覚(戸帳代金書上) 丸屋長兵衛→八田嘉兵衛様御内	未極月	切紙・1通	え4240-41
覚(諸品代金書上) みすゝや養助→八田嘉右衛門様大内	未12月	横切継紙・1通	え4240-42
覚(晒代金124文書上) 晒屋平作→八田嘉右衛門様御内御役人中様	未12月	切継紙・1通	え4240-43
覚(諸品代金18匁余書上) 大丸屋久兵衛→八田嘉助様御内	未極月	横切継紙・1通	え4240-44
覚(細工代金1分余書上) かし町儀左衛門→八田嘉助様御内	未11月	切紙・1通	え4240-45
覚(名前・枚数書上) *(端表書)「午閏五月廿二日調書」		折紙・1通	え4240-46
(御膳所食器など書上)		横長半・1冊	え4240-47
(年越の節買物書上) *(端裏書)「御年越之節御買物」		折紙・1通	え4240-48
覚(諸品代金書上) 中沢健治→八田嘉右衛門様	未極月	横切紙・1通	え4240-49
覚(法帖物仕立代金メ21匁余書上) 表具師金治→御役人衆中様	未ノ12月	折紙・1通	え4240-50
覚(状袋など諸品代金メ1匁2分余書上) 萬屋富吉→八田様御内御役人中様	未12月	横切紙・1通	え4240-51
覚(豆腐など代金メ1貫349文領収書) 沼田屋友左衛門→八田嘉右衛門様御内	未極月	横切継紙・1通	え4240-52
覚(傘など諸品代金2朱余書上) 藤屋弥右衛門→八田嘉右衛門様御内	未極月	横切継紙・1通	え4240-53
覚(饅頭代金200文書上) 大坂屋才助→八田嘉助様御内	未極月	切紙・1通	え4240-54
覚(諸品代金メ262文書上) みのや八百吉→八田嘉助様御内	未12月	横切継紙・1通	え4240-55
覚(諸品代金280文書上) 升屋軍兵衛→八田嘉右衛門様御内	未極月	横切紙・1通	え4240-56

1.内方/29.諸書類/1.弘化年間金銭書上書類綴

覚(要用のため金1分572文時借の願い上げ、御聞き済ましに付) 高井善右衛門→八田嘉助様御内	巳8月9日	横切紙・1通	え 4240-57
(嫡孫慎蔵へ岡野陽之助妹縁組願い聞き届けられる旨申渡状) →八田嘉右衛門	12月11日	横切継紙・1通	え 4240-58
(書状、願い置いた御異膳御紋付きに揃える様願い上げるに付) * (端裏書)「御異霊相添」 浄福寺納所→八田嘉右衛門様御内栄八様		横切継紙・1通	え 4240-59

1.29.2. 書出品々入綴

(書出品々入綴)		綴/(え 4239-1～22は一綴)・1綴	え 4239
(袋) * (袋上書)「未七月申六月中迄書出品々入」		袋・1点	え 4239-1
覚(4月16日5寸かすかへ2丁2匁6分5厘ほか4筆計28匁7分5厘書付) 鍛冶町万吉→八田嘉介様御内御役人中様	未7月	横切継紙・1通	え 4239-2
覚(2月6日晒代300文書付) 晒屋平作→八田嘉右衛門様御内御役人中様	未7月	横切継紙・1通	え 4239-3
覚(金3分銭688文受取書) 一文字屋清八郎(印「信州松代木町一清」)→御茶之間御会所	未7月12日	横切紙・1通	え 4239-4
(新羅三郎源義光三十三代之孫生国信州川中島更科郡鹽崎村二住清水和泉守時元二男) * (端裏書)「弘化三年迄」 →御茶之間御会所		横切紙/(下げ札あり)・1通	え 4239-5
覚(金2分2朱ほかに御初穂20疋神納受取書) 納所[印] →八田様御役人衆中	8月28日	横切紙・1通	え 4239-6
覚(黒砂糖・灰墨・枇杷本湯など6筆計4匁4分800文書付) 大丸や勘兵衛→八田嘉助様御内	未7月	横切継紙・1通	え 4239-7
覚(本5当金右衛門殿より差し送りの分この者に賃銭48文お渡し下され度) 池田傳蔵・荒井伴之助→八田嘉助様御内御取次中様	8月24日	横切継紙・1通	え 4239-8
覚(刀函3つ箱2つ26匁・桐代200文書付) 戸隠屋藤右衛門→八田嘉助様御内	未7月	横切継紙・1通	え 4239-9
覚(箱ふた手間32文・ふた手間72文など計7筆252文書付) 戸隠屋藤右衛門→八田嘉助様御内	未7月	横切継紙・1通	え 4239-10
覚(楊枝・はみがき・銅筒など品書き計12品4匁5分378文書付) 藤屋和兵衛→八田嘉助様御内	未7月	横切継紙・1通	え 4239-11
覚(茶300文書付) 美濃屋与兵衛→八田嘉右衛門様御内御役人中様	未7月	横切紙・1通	え 4239-12
覚(茶碗・湯飲み茶碗・お燗徳利など6品計8匁5分204文書付) 藤屋弥右衛門→八田嘉右衛門様御内	未7月	横切継紙・1通	え 4239-13
覚(碗・吸物碗蓋など塗り直し代計8筆8匁7分12文書付) 中沢徳治→八田嘉右衛門様御内	未7月	横切継紙・1通	え 4239-14
覚(松四五割22本・松六分板・釘・手間代など51匁6分732文書付) 大工勇治→藤屋和兵衛	午7月	横切継紙・1通	え 4239-15
覚(八丁物・四丁物4筆計2貫872文書付) 丸大安兵衛→御茶之間様	未7月	横切継紙・1通	え 4239-16
覚(餅米(カ)2筆1斗5合代784文書付) 中町松井孫兵衛→いせ町菊屋傳兵衛様	未7月	横切継紙・1通	え 4239-17

覚(鉢・包丁・品々細工・鎌代508文書付) かし町周作→ 菊屋傳兵衛様	未7月	横切紙・1通	え4239-18
覚(鍋鑄掛け代124文書付) 鍋屋伴左衛門→八田嘉右衛 門様	未7月	横切紙・1通	え4239-19
覚(桐足駄・味噌こし棒・桑籠など7筆代490文書付) みかや八百吉→八田嘉助様御内	未7月	横切継紙・1通	え4239-20
覚(品代書付) 升屋四兵衛→八田嘉右衛門様御内	未7月	横切継紙・1通	え4239-21
覚(饅頭84箇350文書付) 姫しや仙吉→御茶之間様御内	未7月	横切紙・1通	え4239-22

1.29.3. 諸色代金書上一括

(諸色代金書上関係一括)		綴/(え4222-1～ 34は一綴)・1綴	え4222
(袋)		袋・1点	え4222-1
覚(覚右衛門520文他ノ貫52文金銭書上) * (傳兵衛 覚6通とも) いせ町→中町様	5月6日	横切継紙・1通	え4222-2
覚(金1両ト5貫の内訳書上)		横切紙・1通	え4222-3
(練光寺より184文他金銭書付)		横切継紙・1通	え4222-4
覚(御玄関板塀下切石古直し新規共代7匁1分5厘他代 金書上) 大工逸作→喜左衛門	戌7月	横切継紙・1通	え4222-5
覚(御玄関板塀下切石古直し手間代7匁1分5厘他ノ13 匁5分代金書上) 大工逸作→(笠井)和七様	閏4月21日	横切継紙・1通	え4222-6
壁塗り直し御普請請負御入料控 左官松五郎→いせ町八 田様御内	戌4月	折紙・1通	え4222-7
覚(閏4月29日光神町2人他ノ7人半) 四ツや栄作→喜左 衛門		横切継紙・1通	え4222-8
覚(12人代27匁他金銭書上) 四ツや栄作		横切紙・1通	え4222-9
覚(閏4月2日より21日までノ36人の代金1両1分6朱) 四ツや栄作→喜左衛門		横切継紙・1通	え4222-10
覚(4月15日より25日までノ15人の代金2分1朱) 四ツ や栄作→御役人中様		横切継紙・1通	え4222-11
覚(越中表付畳101枚代40匁6分他ノ64匁7分5厘) 畳屋 源兵衛→菊屋傳兵衛様	戌5月	横切継紙・1通	え4222-12
覚(戸車1組36文他正月より5月までの代金ノ銀22匁2 分銭2貫584文) 美濃屋喜兵衛→八田酒造様	戌5月	横切継紙・1通	え4222-13
覚(御屋敷向ほか葺直し代ノ銀116匁9分5厘4朱ト790 文) 瓦屋儀八→八田嘉右衛門様御内喜左衛門様	戌4月	横切継紙・1通	え4222-14
(平瓦222枚他ノ376枚の代47匁)		折紙・1通	え4222-15
覚(下見世御2階26畳他御畳惣ノ101枚) 畳屋源兵衛	5月	横長半・1冊	え4222-16
覚(水引1把3分5厘他ノ金2朱ト203文受取に付) 菊屋 徳兵衛→菊屋傳兵衛様	5月21日	横切継紙・1通	え4222-17
覚(寺畳46枚銀46匁3分他ノ銀59匁) 畳屋儀左衛門→ (笠井)和七様		横切紙・1通	え4222-18

1.内方/29.諸書類/3.諸色代金書上一括

覚(1本200文受取書) 儀左衛門→八田嘉助様御内(笠井)和七様	5月	切紙・1通	え4222-19
(へり付銀2匁5分5厘他ノ金1両ト88匁受取に付) 義左衛門→喜左衛門様	5月	横切継紙・1通	え4222-20
(書状、痛み入るに付) 弥兵衛→(笠井)和七様	5月	横切紙・1通	え4222-21
覚(ノ金2分29匁1分8厘差上げに付) たゝみや源兵衛→(笠井)和七様	戌6月5日	横切継紙・1通	え4222-22
覚(御水風呂桶代金3分他ノ金1両2分ト銭18文) 桶工善次郎→(笠井)和七様	5月10日	横切継紙・1通	え4222-23
覚(折釘1本代他ノ36匁ト2貫29文) かしわ藤吉→八田嘉右衛門様御内御役人中様		横切継紙・1通	え4222-24
覚(寅藏23人半他御巡見手問書上) 大工寅藏→上	5月	横切継紙・1通	え4222-25
覚(御畳46枚銀46匁3分他ノ銀57匁5分請取に付) 義左衛門→喜左衛門様	戌5月	横切継紙・1通	え4222-26
覚(4分板2尺8寸6分組木板8匁5分8厘他惣ノ2両1分2朱ト532文受取に付) 北尾張部村久兵衛→御普請方喜左衛門様	閏22日	横切継紙・1通	え4222-27
設案 甚十郎様御旅宿御賄被下人別(北村茂兵衛へ6組他ノ84人)		横切継紙/(綴じ穴あり)・1通	え4222-28
(10筆ノ853匁5分3厘銭3貫61文金銭書上) * (前欠)		横切紙/(え4222-29は30に貼付)・1通	え4222-29
(菊屋傳兵衛他853匁1分8厘611文の内訳書上)		横切紙・1通	え4222-30
(かゝけ等を次膳所に他台所道具書上) * (紙背文書使用)		横切紙/(綴じ穴あり)・1通	え4222-31
(萬屋徳兵衛より不端切紙3束19匁5分他金銭書付)		横長半/(綴じ穴あり)・1冊	え4222-32
(先年領主用向相務めに付)		切紙・1通	え4222-33
亭主役心得方扣(御巡見様亭主役仰せ付けられに付心得の事他)	5月	横切継紙・1通	え4222-34

1.29.4. 不用書類

(袋) * (封筒裏書)「不用書類」		袋/(え4396-1～54は紙綴一括)・1点	え4396-1
(書状、今夕一杯献じたく御待ち申上げる旨) (八田嘉助→友作様御用)	7月28日	横切継紙・1通	え4396-2
酒御差引(山極より借両金入金書付返却の旨)	7月28日	横切継紙・1通	え4396-3
(書状、施喜弥川大水にて) 松代そほ→江戸周作殿内用(徳間傳藏)		横切紙・1通	え4396-4
(習字手習い雑記)		小切紙・1通	え4396-5
		横切紙・1通	え4396-6
(書状、去申年人馬助成金当11月中返済につき入用増しにて御繰り合わせを願う旨) 松代伊勢町菊屋傳兵衛→南堀内太兵衛様	5月	横切継紙・1通	え4396-7

(元金2000両8ケ年元利返済につき勘定書)		折紙/(筆試し書き跡あり)・1通	え4396-8
(書状、此品龜末の品にて御笑留下される旨断簡)		横切紙/(筆試し書き跡あり)・1通	え4396-9
(才木織り方并縞物8月までのところ手数ながら早速に願う旨)		小切紙/(え4396-10-1～2は巻込一括)・1通	え4396-10-1
(織り方并縞物8月までのところ早速にも調い貰い度旨)		小切紙・1通	え4396-10-2
(献立は此にて宜しき様に付断簡)		小切紙・1通	え4396-11
(書状、此品龜末なれど御笑留下されたき旨)	8月18日	小切紙・1通	え4396-12
(やね手入れは追ってのことと仕る旨断簡)		小切紙・1通	え4396-13
(金子御入用の趣に付断簡)		小切紙・1通	え4396-14
(書状、秤少々狂いあり座付天秤拝借願う旨)		横切紙・1通	え4396-15
(書状、今夕龜飯献じたく緩々御咄仕り様の旨)	7月25日	横切継紙/(「菊傳」の印6点あり)・1通	え4396-16
(書状、「不勝之天氣御望候處益御安」)		横切継紙/(え4396-17-1～2は巻込一括)・1通	え4396-17-1
(書状、「不勝之天氣御望候處益御安泰」)		横切継紙・1通	え4396-17-2
(書状、仰せの羽織の儀差し掛かりの場合にては出来兼ねる旨)		横切継紙/(え4396-18-1～5は巻込一括)・1通	え4396-18-1
(書状、「不勝之天氣御望候處益御安泰被為入泰大悦候…」)		横切紙・1通	え4396-18-2
(長左衛門一件につき此方暇出し并同人抱えの儀は無きに付)	西9月8日	横切紙・1通	え4396-18-3
(書状、御役場方御番士仰せ付けられ御知らせに付) 宮下鎌太夫→八田嘉右衛門様・八田嘉助様	9月8日	横切紙・1通	え4396-18-4
(書状、中借金100両入用につき今日は延刻となり出来兼ね別段御才覚の旨) 喜兵衛→(八田)嘉助様	8日	横切継紙・1通	え4396-18-5
(はも・ゆり根・初茸など食材計29点書付)		横切継紙・1通	え4396-19
(書状、馬場丁の儀同姓御叱りに付)		折紙・1通	え4396-20
(11月16日御切長崎拜齋主断簡)		横切紙・1通	え4396-21
(包紙) * (包紙上書)「八田様 小林」		包紙・1点	え4396-22
(「快晴・冷氣・相増候処」雜記断簡)		横切紙・1通	え4396-23
(雜記断簡)		横切継紙・1通	え4396-24
(書翰未開封) * (端裏書)「儀左衛門様申上 嘉助」		横切継紙・1通	え4396-25
(白紙)		横切紙・1点	え4396-26
(雜記断簡)		横切紙・1通	え4396-27

ヶ条書(暮らし方月々割合入料少々幾重にも御暮らしのことほか)		横切紙・1通	え 4396-28
(白紙)		横切紙・1点	え 4396-29-1
(白紙)		横切紙・1点	え 4396-29-2
(1口敷当・脇掛・末取・寺町など)		横切紙・1通	え 4396-30
(書状、断簡)		横切紙/(え 4396-31-1~7は巻込一括)・1通	え 4396-31-1
口上(蕎麦差し上げ度夕方より笹井御隠居御待ち上げるに付)	菊月11日	横切紙・1通	え 4396-31-2
口上(蕎麦差し上げ度笹井御隠居御道に付)		横切紙・1通	え 4396-31-3
(書状、蕎麦差し上げ度笹井御隠居御道に付)		横切紙・1通	え 4396-31-4
(書状、「不勝之天気御望候處益御安泰被指入…」)		横切紙・1通	え 4396-31-5
赤倉山一件書取(多分金子掛補理負振いたすに付断簡)		横切紙・1通	え 4396-31-6
(断簡)		横切紙・1通	え 4396-31-7
(書状、朝暮冷氣相増しに付断簡)		横切紙・1通	え 4396-32
(書翰未開封) * (端裏表書)「松山丁様御書入奉願候 嘉助」		横切紙・1通	え 4396-33
(当春中慶助殿御勝手取り片付けに付ほか雑記)		折紙・1通	え 4396-34
(書状、質地代金返済の旨) 松代菊屋傳兵衛分→南堀村太兵衛様		横切紙・1通	え 4396-35
(長沼村など雑記断簡)		横切紙・1通	え 4396-36-1
(栗田など雑記断簡)		横切紙・1通	え 4396-36-2
(吸物雑記断簡)		小切紙・1通	え 4396-37
(源八様・九兵衛様・喜蔵様など手習い雑記)		横切紙・1通	え 4396-38
(目方16匁)		縦紙・1通	え 4396-39
(堀内与一右衛門様断簡)		横切紙/(え 4396-40-1~2は巻込一括)・1通	え 4396-40-1
(白紙)		小切紙・1点	え 4396-40-2
(包紙) * (包紙上書)「八田嘉右衛門様 堀内与一右衛門」		包紙・1点	え 4396-41
(書状、たんひう大中小取り混ぜ10本御調え願う旨)		横切紙・1通	え 4396-42
(書状、御不快御封達なされず哉断簡)		横切紙・1通	え 4396-43

(書状、此品御笑納下されば大悦の旨) (八田)嘉助→ (堀内)与一右衛門様	9月24日	横切継紙・1通	え4396-44
(無尽多掛御書き調べ御手数ながら願う旨)		小切紙・1通	え4396-46
覚(金95両嘉右衛門より金130両取替のうち残金ほか 雑記)		折紙・1通	え4396-47
覚(金12両引当として大小身4本、当月晦日限り返済の 旨) 松本——印→菊屋傳兵衛殿	年号月日	横切紙/(え4396-48-1~6は巻込一括)・1通	え4396-48-1
覚(金12両引当として刀身13本、当月晦日限り返済の旨)		横切紙・1通	え4396-48-2
覚(金18両大小売渡金) 菊屋傳兵衛印→松本町小宮牧太殿	年号月日	横切継紙・1通	え4396-48-3
覚(唐沢口大小1通代金18両ほか3件売渡代金ノ50両書付)	西9月12日調	折紙・1通	え4396-48-4
覚(金30両借用、来る10月15日限り返済、引当は当村御 高辻のうち、案文)		小切紙・1通	え4396-48-5
覚(大小1通り代金18両売渡代金受取) 菊屋傳兵衛		小切紙・1通	え4396-48-6
覚(嘉右衛門より取替金95両ほか残金146両余無尽終 会まで年賦にて返済)	西11月	横切継紙/(墨書棒線消あり)・1通	え4396-49
(菊月19日客用献立)		横切継紙・1通	え4396-50
当暮取計方(無尽金50両うち内借り・返済など差引14 両余勘定書) * (端裏書)「無尽式ケ年調覚」		横切継紙・1通	え4396-51
(申利金18両・東福寺申利金15両落手) 真田勘解由(印) →八田嘉右衛門殿	文政7申極月29日	横切紙/(え4396-52-1~2は巻込一括)・1通	え4396-52-1
(書状、例年の金子御投恵下され千万申し尽くし難く に付)	極月29日	横切紙・1通	え4396-52-2
覚(舩72俵代金20両余ほか3口ノ32両うち拝借金返済 など差引19両余年中入料勘定)		横切継紙・1通	え4396-53
(書状、暑中御見廻の縮緬2反贈られ年寄共宜しくの御 意に付) * (包紙上書)「八田嘉右衛門様 吉松四郎左衛 門・高田茂左衛門」 高田茂左衛門良容(花押)・吉松四郎左 衛門集美(花押)→八田嘉右衛門様	6月7日	折紙・1通	え4396-54

1.30. その他

覚(炭代272文請取に付) 鍛次や万吉(印「信州松代鍛冶 町」)→八田様御内	申2月	横切紙/(え4240-1~59は一綴)・1通	え4240-4
覚(金2分、御礼に付) 松本牧太(印「直壹」)→八田嘉助様	11月15日	小切紙/(え4373-1~32は紙縫一括)/(え4373-1~28は紙縫一括)・1通	え4373-10
(大平様水菓・かうやくなど書付)		折紙/(え4381-1~11は紙縫一括)・1通	え4381-1

1.内方/30.その他

(御葉礼など書付墨消)		小切紙・1通	え4381-11
(伊勢町伴之助ほか10町19名書付)		折紙/(え4382-1 ～19は紙縫一 括)・1通	え4382-3
(「塩鮭」筆記断簡)		小切紙・1通	え4382-5
(15日迄上納の旨断簡)		小切紙・1通	え4382-6
(寺町宇兵衛ほか16町18名書付墨消)		横切継紙・1通	え4382-8
覚(御状1通・封物1ツ落手) 壕内	12月21日	横切継紙・1通	え4382-16
(徳田様・大瀬様ほか13名人名書付)		横切紙/(え4384 -1～51は紙縫 一括)/(虫損)・ 1通	え4384-4
(桐箱入白斜子1疋・干瓢10把など書付)		横切継紙・1通	え4384-33
(石倉加太夫様ほか5名人名書付断簡)		横切紙・1通	え4384-40
(らふれ・喜撰など片桐・入・ほか4名書付)		横切継紙/(え 4387-1～33は 紙縫一括)/(え 4387-17-1～2は 巻込一括)・1通	え4387-17- 1
(大瀧・片桐・入・永井ほか8名書付)		横切継紙・1通	え4387-17- 2
(傳助申立之事ほか3ヶ条書付)		横切継紙・1通	え4387-20
(傳右衛門ほか10名書付)		横切紙・1通	え4387-28
(小野肇殿の事、水井市治の事ほか書付)		横切紙・1通	え4387-29
乍恐以書付奉願上候(訴答一同婦村の仰せ付けなれど も在所奉行所へ平兵衛召し出し御糺しを願う旨) *(端裏貼紙)「同人共婦村延引ニ相成候付差出候書面」 御領分松代町傳兵衛代沖八(印)・差添栄八(印)→御留守居 様御役所	子12月	堅紙/(え4388-1 ～20は紙縫一 括)/(虫損)・1通	え4388-12
(文政9年丙戌年4月、立田玄道老) * (端裏書)「日記ニ 相載可申事」		横切継紙/(え 4389-1～50は 紙縫一括)/(虫 損甚大)・1通	え4389-6
覚(昀150俵受取り重ねて引替につき) 堤右兵衛(印)→ 八田嘉右衛門殿	天保9戌年12月	横切紙/(え 4400-1～25は 紙縫一括)/(作 成者は御蔵奉 行)・1通	え4400-6
覚(金30両元金受取書) 八田嘉右衛門内浦野忠七(印)→ 森村八五郎殿	文政10亥年12月25日	小切紙/(え4400- 24-1～14は紙縫 一括)・1通	え4400-24- 1
覚(御口入金のうち50両受取書) 八田嘉右衛門(印)→堀 内楯一郎殿	天保3辰年7月13日	横切継紙/(棒線 消しあり)・1通	え4400-24- 2
覚(金50両受取書) 八田嘉右衛門(印)→岩崎勝介殿御内	文政6未年12月28日	横切紙・1通	え4400-24- 3
覚(御取集金のうち金18両受取書) 八田嘉右衛門(印墨 消)→長岡助右衛門殿	文政12年丑12月27日	横切継紙/(棒線 消しあり)・1通	え4400-24- 4

(書状、御証文差上げるに付御引替を願う旨) (堀内) 与一右衛門→(八田)嘉助様		横切継紙・1通	え4400-24-5
覚(当丑の御取集金9兩受取書) 八田嘉右衛門(印墨消) →長岡助右衛門殿	文政12年丑12月20日	横切継紙/(棒線消しあり)・1通	え4400-24-6
覚(片岡主計殿へ御口入金御取立金20兩受取書) *(端裏書)「丑十二月書入分御証文返す」/(端裏貼紙) 「十二年指上置候証文と御引替可被成下候」 八田嘉右衛門 →堀内与一右衛門殿	文政13寅年6月2日	横切継紙/(棒線消しあり)・1通	え4400-24-7
覚(堀内密御無心申上げ金子調達金100兩御渡し下され受取書) *(端裏貼紙朱字)「八田嘉右衛門」 八田嘉右衛門(印墨消)→堀内与市一衛門殿	天保4巳年2月18日	横切継紙/(棒線消しあり)・1通	え4400-24-8
覚(御取集金のうち金10兩受取書) 八田嘉右衛門(印墨消)→長岡助右衛門殿	天保3寅年12月25日	横切紙・1通	え4400-24-9
覚(メ金5兩2分余当寅御利足金受取書) 菊屋傳兵衛→糸方御会所	天保元年寅年12月29日	横切継紙・1通	え4400-24-10
(書状、御渡し印籠御差出しの旨) 竹山丁→鉄之助様	5月22日	横切紙・1通	え4400-24-11
覚(地代金のうち金30兩受取書) 八田嘉右衛門内浦野忠七(印)→森村唯七郎殿	文政13寅年閏3月朔日	横切紙・1通	え4400-24-12
覚(元金懸金30兩受取書) 八田嘉右衛門内浦野忠七(印)→森村八五郎	文政11子年12月25日	横切紙・1通	え4400-24-13
(卯12月2日飯山作徳滞証文)		小切紙・1通	え4400-24-14
(喜兵衛様・辰三郎様認書入 嘉助) *(断簡)		小切紙/(え4420-1~46は紙縫一括)・1通	え4420-30
(荒物屋友吉の覚合にて可然と可存候)		横切紙/(下げ札あり)/(え4420-34-1~2は巻込一括)・1通	え4420-34-1
(両御頭衆御用地出につき御別印のこと)		横切紙・1通	え4420-34-2
(明24日御出席前御遺書の事ほか)		横切継紙/(え4424-1~14は紙縫一括)/(虫損)・1通	え4424-5
(風聞に木町伊左衛門に巧みをもって引き込まれ過分の金子損失いたす旨)	6月5日	横切継紙/(え4425-1~17は紙縫一括)・1通	え4425-6
(風聞に木町伊左衛門に巧みをもって引き込まれ過分の金子損失いたす旨)		横切継紙・1通	え4425-7
口上之覚(木町伊左衛門につき金銭指引一切御座無き旨) *(包紙上書)「覚」 唐沢屋久蔵(印)→徳兵衛殿	寅2月	横切紙・1通	え4425-14
(久蔵旧冬木町伊左衛門に工をもって引き入れられ過分の金子損毛いたすに付)		横切継紙・1通	え4425-17
覚(御わり取分金10兩余うち金3兩3分差し上げ) *(端裏書)「八田様」		小切紙/(え4427-1~37は紙縫一括)・1通	え4427-29

1.内方/30.その他

聞書(上田御本陣柳沢太郎兵衛・海野宿御本陣藤田徳左衛門)		横切継紙/(え4429-1~4は紙縫一括)/(え4429-2-1~7は包紙一括)・1通	え4429-2-3
(海野宿御本陣藤田傳左衛門家系略記)		横切継紙・1通	え4429-2-7
包紙 * (包紙上書)「文政六癸未年十一月山越韓左衛門殿竹内源兵衛殿方婿養子引越ニ付為心得認遣候下案 知義」		包紙/(え4430-1~6は紙縫一括)・1点	え4430-4-1
寸忱(忠孝は百行の始道の大本孝誼の厚薄を顧て忠義の厚薄を萬知す)	文政6年癸未冬11月	横切継紙・1通	え4430-4-2
寸忱(忠孝は百行の始道の大本孝誼の厚薄を顧て忠義の厚薄を萬知す)	文政6年癸未冬11月	横切継紙・1通	え4430-4-3
寸忱(忠孝は百行の始道の大本孝誼の厚薄を顧て忠義の厚薄を萬知す)	文政6年癸未冬11月	折紙・1通	え4430-4-4
覚(巳2月25日金1分2朱過銀利足当町役元へ出し分ほか) 荒神町傳兵衛→上	午11月24日	横切紙/(え4432-1~31は紙縫一括)・1通	え4432-9
(右一件につき訴答一同御願ひ毛頭仕り間敷く旨)		横切紙/(え4435-1~15は紙縫一括)/(え4435-5-1~2は巻込一括)・1通	え4435-5-2
(金1両馬場町・2両2分堀田など書付)		横切紙/(え4435-8-1~2は巻込一括)・1通	え4435-8-2
(大栄寺金5両・真田楽水2疋ほか11名メ7両3分2朱余書付)		横切継紙・1通	え4435-9
(書状、八幡参社罷り帰るにて昨晚惣左衛門申上候通り拝借下さるべきに付) 徳左衛門→(八田)嘉助様	6月28日	横切紙/(え4437-1~24は紙縫一括)・1通	え4437-1
差出申一札之事(この度組合中甚だ難渋にて貴殿より請書印御貰い申すにて御承知下されたきに付) 暖人三人中印→役代源右衛門殿		堅切紙・1通	え4437-2
(取調の本書中島氏へ相頼みに付書付)		折紙/(え4438-1~30は紙縫一括)・1通	え4438-4
(書状、今朝より御仕の義御工夫の段願上げたきに付) 大関よし→八嘉尊君膝下	7月21日	切紙・1通	え4438-8
(書状、手形売買の件年内は遠慮、委細は金子又左衛門申候通りに付) 宮下信右衛門→八田長左衛門様	極月23日	横切継紙・1通	え4438-18
(日記ほか諸帳面書上)		切紙/(え4439-1~40は紙縫一括)・1通	え4439-32
(鉄之助御請ほか書面下書) * (下書)		切紙・1通	え4439-33
(宛名・差出人書上) 堀内与一右衛門→八田嘉助様		切紙/(え4441-1~39は紙縫一括)・1通	え4441-8
(書状、印書差上、お届け成し下されに付) 馬場丁→(八田)嘉助様	12月27日	横切紙・1通	え4441-14

(書状、御印書2通返上に付) 忠蔵→(八田)嘉助様	12月27日	横切継紙・1通	え4441-17
(書状、嘉助殿御役につき私引き請け嘉助殿名代相勤める旨) * (端裏書)「片岡様」/* (包紙上書)「片岡源左衛門様 坂井権七郎」→源左衛門様	5月27日	横切継紙/(え4444-1~25は紙縫一括)・1通	え4444-5
(私とも帰村の義当月下旬にて、板木1封孫兵衛様へ御届依頼の旨)		小切紙/(え4450-1~22は紙縫一括)・1通	え4450-3
(「八田知道 金拾五両 癸酉八月十九日」書付)		小切紙/(え4451-1~25は紙縫一括)・1通	え4451-2
(「忠蔵様 用蔵様 儀左衛門様 義三郎様村廻り 桑十郎 桑助」書付)		切紙・1通	え4451-8
(所在地・身分・名前など記載事項書上) * (雛形)		切紙・1通	え4451-9
(小布施村唐澤清太郎所在地・家族書上) 戸主第廿九區 松代田町四十九番屋敷在東京村上松園・代判八田知道(印)	明治6年7月	縦紙/(え4451-17-1~2は紙縫一括)・1通	え4451-17-1
記(所在地・家族・年令など書上) * (雛形)	年号月	切紙・1通	え4451-17-2
(旧暦正月元日より新暦7月13日迄の徳田庄右衛門殿勤日数書上) * (端裏書)「癸酉年七月」	癸酉年7月	横切継紙・1通	え4451-18
覚(証文代金及び正金ノ11兩2分書上)	未12月24日	切紙/(え4452-1~17は紙縫一括)・1通	え4452-6
覚(去る子年分御病気金1兩1分と5匁5分4厘請取に付) 矢野倉惣之進(印)→八田嘉右衛門殿	天保12丑年11月	切紙/(え4452-8-1~8は巻込一括)/(綴痕あり)・1通	え4452-8-2
(酒2升此宿に御遣下されたきに付書上) 八田にて 南角勇右衛門→菊屋傳兵衛様	4月晦日	切紙・1通	え4452-10
覚(子11月18日より3月30日まで金9兩1分190文ほか3筆ノ26兩2分274文ほか金銭書上)		横切継紙/(え4453-1~13は紙縫一括)・1通	え4453-4
(前書きの通り立会相違なきに付) * (前欠) 信州松城佐藤伝兵衛(印墨消)		縦切紙・1通	え4453-6
(喜助ほか12名人名書上)		切紙・1通	え4453-9

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

2. 店方

2.1. 酒造方

2.1.1. 酒造株高

乍恐以書付奉願上候(酒造株石高税金につき騒擾事件での白米御買上の代金362両余御下げ金なければ上納出来ざる旨) 伊勢町傳兵衛・弥吉→松代県御役所	明治4末年10月	横切継紙/(え4387-1~33は紙縫一括)・1通	え4387-1
乍恐以書付奉願上候(酒造株石高税金につき騒擾事件での白米御買上の代金362両余御下げ金なければ上納出来ず7月まで御日延願う旨) 伊せ町弥吉・豊田傳兵衛→長野縣御役所	明治5午年5月	横切継紙・1通	え4387-2

2.1.2. 酒造鑑札

乍恐以書付奉申上候(酒造商売御差し止めのため代人差し遣わし穿鑿の始末に付) 伊勢町傳兵衛→御奉行所	天保7申年10月	横切継紙/(え4374-1~35は紙縫一括)・1通	え4374-25
文化三寅年より相始候酒造人左之通(水内郡鬼無里村莊之助ほか酒造株願い・酒造休み・勝手不如意など21名取調に付)		横切継紙/(え4400-1~25は紙縫一括)・1通	え4400-5

2.1.3. 酒蔵・酒店勘定

(酒勘定取極めにつき現金売りから仕入金引き去り残り金高を有物に立てる)		縦紙/(え4389-1~50は紙縫一括)・1通	え4389-2
覚(有代呂物金522両余ほかメ金635両余、可有代呂物金527両ほかメ633両余、差引2両余目出度く以上)定吉	丑正月	横切継紙/(え4416-1~24は紙縫一括)・1通	え4416-8
(諸味澄酒残り物金488両ほか有り金・代呂物金高6135両書付)		横切継紙/(え4419-1~12は紙縫一括)/(剥離あり)・1通	え4419-3
以書付申上候(去亥4月残り酒など取調のところ50石余不足、当春棚卸の節多分の損毛にて申し訳なき旨) 長助→市兵衛様	嘉永5子年閏2月	横切紙/(え4435-1~15は紙縫一括)・1通	え4435-11
覚(味醂酒1斗5升・代5貫148文ほか差引金3兩3分2朱685文余金に付) * (包紙上書)「上酒店」	子7月23日	横切継紙/(え4453-1~13は紙縫一括)/(包紙共)/(下げ札あり)/(紙縫共)・1通	え4453-1

2.1.4. 仕法

覚(御用向は傳兵衛名目にて勤めること、ほか店則9か条書付) * (包紙上書)「文政八乙酉年酒店の方差引利益取調方致見可申、右手続書立扣」	文政8乙酉年	横切継紙/(え4400-1~25は紙縫一括)・1通	え4400-8
--	--------	---------------------------	---------

2.1.5. 酒造高

(須田弥吉白米11石、豊田傳兵衛同19石8斗ほか書付)		横切継紙/(え4387-1～33は紙縫一括)/(え4387-14-1～2は巻込一括)・1通	え4387-14-1
(酒造米高2539石余、付税金507両うち300両上納、残り金207両書付)		横切継紙・1通	え4387-14-2
(酒造高3分の1酒造制限令など書付)	12月	折紙/(え4431-1～17は紙縫一括)・1通	え4431-9
以書付申上候(亥4月酒蔵酒揚にて残り酒取調石高算当仕らず多分の減石に付)		横切継紙/(え4435-1～15は紙縫一括)・1通	え4435-10

2.1.6. 奉公人

御内々奉申上候(西村角南様長屋住居喜右衛門奉公後小商いの内約束に付) 多七→田町様御内	11月	横切継紙/(え4386-1～30は紙縫一括)・1通	え4386-9
(多七儀御暇頂戴店持ちの節引き取りの由に付) 庄助	11月	横切継紙・1通	え4386-11

2.1.7. 書状

(書状、酒造人冥加永上納につき出府を願う旨) 江戸牛込赤堀明神下崎屋四郎五郎→酒造人衆中様	3月12日	堅紙/(え4425-1～17は紙縫一括)・1通	え4425-2
---	-------	-------------------------	---------

2.1.8. 酒造関係綴

(酒造関係一括)		綴/(え4213-1～22は一綴)・1綴	え4213
(袋) * (袋上書)「酒造一卷入」	天保15辰年5月	横切継紙・1点	え4213-1
(書状、御内話の別紙図面の趣に付) 音門→喜兵衛様	7月3日	横切紙・1通	え4213-2
(西方・北方方角易占に付書付)	5月28日	横切紙・1通	え4213-3
覚(諸入用2両2分他×12両3分他金銭書付)		横切紙・1通	え4213-4
覚(10両20匁米10石4升他×12両3分5匁他金銭書付)		横切紙・1通	え4213-5
覚(米100石に付此粕3500、他酒造定書上)		折紙・1通	え4213-6
一札之事(酒造米高540石の御免札小八方へ譲り渡しに付) 松代いせ町草前惣三郎印・小八印→鬼無里村七郎左衛門殿	年号9月	横切紙・1通	え4213-7
(金20両を親父栄助ほか伏銀相定)		切紙・1通	え4213-8
(恩田奎死去により来る5日迄鳴物停止に付) 山寺・菅沼・岡島	6月6日	横切継紙・1通	え4213-9
(書状、酒造預のところ本人差し遣わすに付) 中西利七→信州松代伊勢町菊屋惣兵衛様・手代衆様	5月日	横切継紙・1通	え4213-10

2.店方/1.酒造方/8.酒造関係綴

覚(内弁桶ふた付10本代金50匁他メ106両1分金銭書付)		折紙・1通	え4213-11
(書状、酒造杜氏の儀差し上げ当年より御造込みのつもりに付) 安達六兵衛→(八田)八田喜兵衛様	6月28日	横切継紙・1通	え4213-12
御願奉申上候口上覚(岩城買役並びに上州表の客案内延引に付) 唯吉→行桐守之助様御内	10月19日	横切継紙・1通	え4213-13
(書状、当春大黒屋 菊屋御酒店入用に付無心の事) (安達)六兵衛(印)→柏屋藤吉様	10月18日	横切継紙・1通	え4213-14
(書状、杜氏之人頼りたき趣に付しかるべく御取り計らいの事) 學記五兵衛→八尾様御店衆中様	2月16日	横切継紙・1通	え4213-15
(書状、江戸表より御品到来し御歎びに付) 六兵衛→(八田)喜兵衛様	23日	横切継紙・1通	え4213-16
(書状、此度酒造杜氏召し抱えに付) 安達六兵衛→八田嘉兵衛様	4月23日	横切継紙・1通	え4213-17
(書状、杜氏出立の日取りに付) (安達)六兵衛→(八田)嘉兵衛様	4月25日	横切継紙・1通	え4213-18
(書状、杜氏の義に付内実の存意を糺せし事他) (安達)六兵衛→(八田)嘉兵衛様	4月24日	横切継紙・1通	え4213-19
(書状、杜氏出立に付) 安達六兵衛→八田喜兵衛様	5月7日	横切継紙・1通	え4213-20
覚(6尺桶2本他改め貸しの品書上) 木町本印大十郎→菊屋山之助殿	寛政9年丑8月	横長半・1冊	え4213-21
(木町通の通用御取繕い苦しからざるに付絵図) *(下げ札あり)		25.4×32.2・1舗	え4213-22

2.1.9. 藩御用

①(金治組合預け請書)、②乍恐指上申一札之御事(金治組合預け御台所御酒御用向組合与兵衛方へ仰せの旨) ①糸助・喜三郎・傳兵衛・与兵衛→御奉行所、②糸助・喜三郎・傳兵衛・与兵衛	①丑2月9日②丑2月	堅紙/(え4425-1～17は紙繕一括)・1通	え4425-10
乍恐以書付奉願候(手代病気のため、往々御酒御用向相勤め難きに付) 菊屋伝兵衛→竹国甚右衛門様・浦野勇右衛門様・新村兵江様・宮下三郎治様・塚本左五兵衛様・中村与右衛門様・小林喜八郎様		横切継紙/(え4452-1～17は紙繕一括)/(紙繕共)・1通	え4452-1
(竹池甚左衛門殿より内頼の御用酒の件別紙条書持参ゆえ、早速書面差出されたきに付書上)	2月19日	横切継紙・1通	え4452-4
(往古より御用酒差上も近年造酒出来仕難きに付願書) *(雛形)		横切継紙・1通	え4452-5

2.2. 呉服店

2.2.1. 売買

(高崎表よりの呉服物現金売りは心配多く迷惑のこと、高崎表より帳元取締方1人差くさればこの方にも安心の旨)	11月	横切継紙/(え4374-1～35は紙繕一括)・1通	え4374-29
--	-----	---------------------------	----------

(包紙) * (封筒上書)「卯六月十六日 勢州より幸八 京いせ屋茂兵衛殿 為登金八拾五両請取入 但シ京差引違相見へ申候ニ付大切成入用金」		包紙/(え4375-1～17は紙縫一括)/(え4375-6と関連)・1点	え4375-5
覚(金85両御買物掛金のうちにて受取) 伊勢屋茂兵衛(印)→八田幸八様	宝暦9年卯6月16日	堅紙/(え4375-5と関連)・1通	え4375-6
覚(京都伊勢屋金284両10年賦願いなど御尋ねのため存じ寄り申上に付) 八田嘉右衛門	午正月	折紙・1通	え4375-11
(書状、何品商売高直のため質素駿約諸色下直に商売の旨触書) 呉服問屋行事蛭子屋八郎左右衛門・松坂屋八助→信州呉服買次持下り御行事衆中	丑7月22日	横切継紙/(え4375-13-1～5は紙縫一括)・1通	え4375-13-2

2.2.2. その他

(角店などにて遣いまわす道具御引換願い上げるに付口上) * (端裏書)「口上」		横切継紙/(え4451-1～25は紙縫一括)・1通	え4451-15
---	--	---------------------------	----------

2.3. 醤油店

2.3.1. 売買差引勘定

覚(中町醤油店三ヵ年利潤勘定につき最初にて明細書御覧に入れる旨) 中町醤油方	文政2卯年3月初調	横切継紙/(え4385-1～18は紙縫一括)・1通	え4385-14
覚(卯年諸方残り遣わし勘定除き金4両2分417文ほか2筆ノ金34両2分1貫66文卯年遣わしの雑用高に付) 中町醤油店	辰3月	横切継紙/(え4437-1～24は紙縫一括)・1通	え4437-12

2.3.2. 入用

覚(和七赤倉出向きの入用書付) * (端裏書)「清兵衛一件ニ付赤倉出張中雑用遣払之一紙」	申7月	横切継紙/(え4376-1～22は紙縫一括)/(剥離あり)・1通	え4376-20
覚(飯山より赤倉出向小遣いなど入用書付) 赤倉より嶋町喜左衛門→勝之助殿	5月4日	横切継紙・1通	え4376-21

2.3.3. 藩御用

覚(亥12月大晦日上納金12両銭10貫文ほか2件ノ金46両3分銭810文上納辻勘定書) * (端裏書)「御通江載可申分」 中町松井店	子12月	折紙/(え4390-1～24は紙縫一括)・1通	え4390-24
--	------	-------------------------	----------

2.4. 質店

乍恐以書取奉願候(昨年中御手縮の御手段立てられたく見込み存念御内々御尋ねに付) 勝之助	3月	横切継紙/(え4373-1～32は紙縫一括)/(え4373-29～32は紙縫一括)・1通	え4373-32
---	----	--	----------

2.店方/4.質店

覚(質店上納金305両ほか正金上納255両ノ560両上納書付) 質店→御内方	辰2月16日	横切継紙/(え4379-1~26は紙縹一括)・1通	え4379-11
覚(上納金および払高勘定書付) 質店	文政10亥年2月	横切継紙・1通	え4379-12
覚(質店流物利潤など勘定書)		横切継紙・1通	え4379-24
卯六月十五日質方手段取調一紙(金500両質物取入金高に定め置くに付)	卯6月	横長半/(え4422-1~16は紙縹一括)・1冊	え4422-1
卯六月十五日調質方手段書(金500両質物取入金高に定め置くに付)		折紙・1通	え4422-14

2.5. 角店・酒店

(店方出精・貸金返済願書綴)		綴/(え4224-1~24は一綴)・1綴	え4224
(袋) * (袋上書)「角店酒店等ニ而入用書下書扣」/(茶袋を使用)/(鉛筆書)「嘉永4年2冊21通」		袋・1点	え4224-1
(書簡、過日は遠境お尋ね下され、殊に何よりの品下され、且つ印箱お送り下され辱く存じに付 (八田)慎蔵	6月17日	横切継紙・1通	え4224-2
(勤方不出精の事他宜しからざること聞きに付)		横切継紙・1通	え4224-3
(傳兵衛抱屋敷譲渡内談違いに付頼状) 八田慎蔵→名主佐吉	嘉永5子年4月	横切継紙・1通	え4224-4
(勤方不出精の事他宜しからざること聞きに付) *(4224-3の下書)		横切継紙・1通	え4224-5
(今般御勝手向店方等御改革遊ばされに付)		横切継紙・1通	え4224-6
(書状、先般鉄次郎罷り越しの節は御取り持ち千万有難く、いまだ御腹病全快の様子にも見受けられず、又々御過酒の様子何とも不行き届きの段) *(端裏書)「子九月馬場茂介殿江手紙」/下書	子9月	横切継紙・1通	え4224-7
(書状、相変わらず御買役文治郎様御出向下され有難く存じ、御借入金返上残りの分御助成下され印書返却下され受取に付) *(端裏書)「子十一月十九日 高崎へ佐助出向ニ付書状案文」 傳兵衛・市兵衛→希御店茂助様	11月19日	横切継紙・1通	え4224-8
子供抱方(年12から13 当人心柄次第年季15ヶ年に定め給金ノ50両)		横切継紙・1通	え4224-9
(是まで廣田筑後様御旅家と存じ御世話申し来たり、建家普請入料など町内非常の御出金ありこれまで御祭礼稽古ならびに若衆寄合など差し支えなく用いられるなど) *(端裏書)「他家世話人心得方差下案」他家世話人	11月	横切継紙・1通	え4224-10
和談規定書之事(当町大神宮旅宿の儀祭礼稽古その外若者寄合に用い、平常明家のため非常の用心宜しからず留守居を差置くについて、若者と旅宿人との熟談の上差置くにつく旨) 若者4人・世話人・立入人→名主岡田伴之助殿	嘉永5年(抹消)子11月11日写	横切継紙・1通	え4224-11
(今般御勝手向ならびに店方御改革につき、第一金子融通仕り諸品買入方差支え無ければ店小供に至るまで商い励みにも相成り、此の段幾重にも御深慮下され度願ひ) 角店	2月	横切継紙・1通	え4224-12

乍恐以書付御訴訟奉申上候(今般杜氏柳作御暇の一条、御訴訟申上げ心得違ひの場御流し御情け御赦免願ひ)		横切継紙・1通	え4224-13
覚(金1両受取書) 大林寺役司[印]→八田嘉助様御役中	申12月27日	横切継紙・1通	え4224-14
差上申一札之事(留吉思召しに叶わず御暇下され、私共支配方不行届き、過分の金子貸し渡し不調法の段何分よろしく御取り成し願ひ)		横切継紙・1通	え4224-15
乍恐以書付御訴訟奉申上候(酒屋杜氏柳作儀御暇一条につき等閑に致し置き御叱り何とも申し訳御座無くに付) 酒店長助→酒屋敬次郎様御内		横切継紙・1通	え4224-16
[天]保十四卯七月御用金被仰付候連名(鴻池善右衛門10万両ほか34名大坂両替商連名) 東山童與助	天保14卯7月	横切継紙・1通	え4224-17
以書付奉歎願候(天保度よりの油市自力に及びがたく去る未年の大雪にて金子入用となり、借入金返済には手元才覚行き届き兼、何卒御勘弁を以て金千両を御恩借願ひ)		横切継紙・1通	え4224-18
(相之助殿・覚左衛門殿日延の儀、古澤十右衛門様を頼み相之助殿まで御出向きの筈)	9月9日	横切継紙・1通	え4224-19
(先月御懸合ひの一条につき御挨拶下されず当惑仕り如何の御尊慮に御座候哉、御答へ承りたく貴意を得度に付) 和泉屋忠兵衛→菊屋傳兵衛様要用	9月8日	横切継紙・1通	え4224-20
乍恐以書付奉歎願候(去西年諏訪宮普請につき金10両余傳兵衛酒代貸付ほか2件売掛返済滞りのため格別の御憐愍を願う)		横切継紙・1通	え4224-21
(去西5月より諏訪宮普請に世話人中より私店商売諸品頼まれ貸し置くところ代料返済なく、練光寺・世話人中川十衛門殿催促にても一切埒明き申さず格別の御憐愍をもって済まし方願う)		横切継紙・1通	え4224-22
乍恐以書付奉願上候(金10両傳兵衛酒代貸し高ほか2件書留)		横切継紙・1通	え4224-23
覚(西ノ8貫258文銀58匁4分ほか2件書留)		横切継紙・1通	え4224-24

2.6. その他

證(明治9年醸造商半税金92円50銭受取) 長野縣権令樋崎寛直→第13大区4小区松代町八田知道	明治9年4月26日	横切紙/(え4374-1~35は紙縫一括)・1通	え4374-7
(天保12丑年傳兵衛店向仕入の品物売捌き差支え断簡)		小切紙/(え4383-1~49は紙縫一括)・1通	え4383-20
口上覚(私共店方御用の儀この度の儀御流し下され度願う旨) →赤池善兵衛様・町田甚右衛門様		横切継紙/(え4403-1~16は紙縫一括)・1通	え4403-5

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

3. 町方 / 町年寄

3.1. 宗門改

覚(紙屋町ほか町内惣人数および男女内訳書付)	寛政元酉年御改	横切継紙/(え4416-1~24は紙縫一括)/(虫損甚大)・1通	え4416-10
宗門人別御改入用(御用紙20枚など諸物書上)	2月	切紙/(え4452-1~17は紙縫一括)・1通	え4452-3

3.2. 殿様御用

3.2.1. 殿様御入接待

(真田幸専湧泉亭御入の節諸色留書一括)		綴/(え4209-1~8は一綴)・1綴	え4209
(袋) * (袋上書)「文政五壬午年八月四日殿様湧泉亭江御入之節諸色留書」	文政5	袋・1点	え4209-1
(書状、祭礼滞りなく済みに付) 長藤蔵→八(八田)嘉右衛門様	(文政5)8月20日	横切継紙・1通	え4209-2
献立(御次・御徒土方等役職別献立書上)		横切継紙・1通	え4209-3
覚(三盆砂糖代3匁7分5厘他メ2朱ト2匁38文)		横切紙・1通	え4209-4
午八月二日雇人覚(殿様御入につき雇人7人半1貫50文他4日までメ4貫200長50文) 御下屋敷 伝惣治→御茶ノ間長七様	8月8日	横切紙・1通	え4209-5
覚(橋詰勘右衛門より金100疋他進上金書上)		横切継紙・1通	え4209-6
(御吸物ほか献立書上)		横半半・1冊	え4209-7
覚(煮しめ・吸物など代金メ140匁8分受取に付) 林井義兵衛(印)→八田嘉右衛門様御内浦塾忠七様		横切継紙・1通	え4209-8

3.3. 救済

3.3.1. 飢饉

(書状、去冬中から今日までの御救粥入料込に付) 菊池孝助→八田嘉右衛門様	7月26日	横切継紙/(え4386-1~30は紙縫一括)・1通	え4386-4
(書状、御粥頂戴人別御調帳三帳御入手の旨)	7月5日	横切継紙/(包紙あり)・1通	え4386-24
覚(真米356駄金9両3分余去申年など粥入料書上) 八田嘉右衛門	9月	横切紙/(え4396-1~54は紙縫一括)/(え4396-45-1~5は紙縫一括)・1通	え4396-45-1

覚(当正月粥施し人数13万人余白米45石7升ほか書上) 八田嘉右衛門	9月	横切紙・1通	え 4396-45-2
覚(申12月施粥15万1097人ほかノ29万33人書付)		横切紙・1通	え 4396-45-3
覚(施粥人数28万5635人書付)	6月15日調	横切継紙/(え 4396-4-1~3は巻込一括)・1通	え 4396-45-4-1
(手穀人数書付)		小切紙・1通	え 4396-45-4-2
(正月4日より人数13万4567人書付)		小切紙・1通	え 4396-45-4-3
(人数ノ28万8552人書付)		小切紙・1通	え 4396-45-5

3.3.2. 火災・水害

(包紙) * (包紙上書)「八町家敷町長サ横幅改候上ル書付」		包紙/(え 4450-1~22は括り紐一括)/(え 4450-22-1~13は包紙一括)・1点	え 4450-22-1
覚(中町町屋66間酉4月3日焼失書上) 肝煎六之丞	申6月	折紙・1通	え 4450-22-2
覚(町屋46軒うち45間酉2月29日焼失書上) 紺屋町肝煎忠右衛門・長町人儀右衛門	申6月	横切継紙/(剥離あり)・1通	え 4450-22-3
(紙屋町・紺屋町酉2月29日、伊勢町・中町・荒神町、肴町・鍛冶町酉4月3日焼失書上)	申6月	横切継紙/(え 4450-22-4-1~2は巻き込み一括)/(剥離あり)・1通	え 4450-22-4-1
(馬喰町焼失無しにつき書上)	申6月	横切継紙/(剥離あり)・1通	え 4450-22-4-2
(馬喰町無焼失につき書上) 肝煎奎右衛門	申6月25日	横切紙・1通	え 4450-22-5
(紙屋町町家34間酉2月29日焼失書上) 肝煎清兵衛・長町人清右衛門	申6月	横切継紙/(剥離あり)・1通	え 4450-22-6
(鍛冶町町家39間残らず焼失書上) 肝煎源七・長町人喜右衛門	6月25日	横切紙・1通	え 4450-22-7
覚(肴町町屋45軒享保2年酉4月3日残らず焼失書上) 肴町五右衛門・藤左衛門	享保13年申6月	折紙・1通	え 4450-22-8
覚(荒神町町屋59軒酉4月3日残らず焼失書上) 肝煎新兵衛・長町人吉左衛門	享保13年申6月	折紙・1通	え 4450-22-9
覚(通筋馬喰町・紙屋町・紺屋町・伊勢町・中町・荒神町、裏通肴町・鍛冶町、酉2月29日焼失、酉4月3日焼失書上)		折紙・1通	え 4450-22-10
(信州埴科郡松代町酉の焼失覚)		小切紙・1通	え 4450-22-11
覚(紙屋町・紺屋町2月29日焼失、伊勢町・中町・荒神町・肴町・鍛冶町4月3日焼失書上雛形)		横切継紙/(剥離あり)・1通	え 4450-22-12

覚(木町・伊勢町・鳥井横丁・鏡町焼失書上) いせ町肝煎仁兵衛	申6月	折紙・1通	え4450-22-13
--------------------------------	-----	-------	-------------

3.4. 触書写控

(知行所百姓田畑質地金子借用の類い禁令)	享保20卯年5月	堅紙/(え4374-1~35は紙縫一括)・1通	え4374-16
(知行所百姓田畑質地金子借用の類い禁令)	享保20卯年5月	堅紙・1通	え4374-18
定(栃原村市、3日・8日・13日・18日・12日・28日、3月25日から4月1日まで駄馬市禁令) 岡野弥右衛門元禮(花押)・石倉源五左衛門為廣(花押)	文政7年8月日	堅紙・1通	え4374-21

3.5. 町政

覚(炭屋彦五郎旅宿修復御入料のうち御下げ金10両受取) いせ町傳兵衛(印)→宮澤善治様・宮本慎助様 (松代町方規定の部分)	安政4巳年7月24日	堅紙・1通	え4374-14
乍恐口上書申上候御事(西田九兵衛方への5両のうち4両切手見え兼ねる旨) * (端裏貼紙)「寅四月廿一日扣」 いせ町伊兵衛・総右衛門、(奥書)名主徳兵衛印→小野喜太右衛門様・山越六郎右衛門様御役所	天明2壬寅年4月	横長半/(え4376-1~22は紙縫一括)/(横長半綴剥離)・2通	え4376-8
借用申金子證文事(蘭仕入金につき御上様より御町方へ御下げ金2件計金100両受取、丑11月25日限り引当は家屋敷など) 鏡屋町借主助弥・請人誰々、(奥書)名主太左衛門→御町年寄衆中検断津栄治殿	文政11子年12月	横切継紙/(え4422-1~16は紙縫一括)/(え4422-15-1~3は紙縫一括)・1通	え4389-45
借方覚(借り方御町年寄中検断津栄治120両ほか計218両、返済方計111両、引当家屋敷家財代呂物分散割)		横切継紙・1通	え4422-15-1
覚(町年寄検断金主金120両借用内52両余分散割、残り67両余大燈院様御寄付御下金など)		横切継紙・1通	え4422-15-2
		横切継紙・1通	え4422-15-3

3.6. 祭礼

(祭礼一件未だ務方相片付かず片岡主計殿役宅にて事済みに付)	未9月13日	横切継紙/(え4386-1~30は紙縫一括)・1通	え4386-23
(天保3年6月町内踊り舞台新規取り建て金17両余当暮までには調達に付) * (端裏書)「日記ニ書留置可申事」	6月14日	横切継紙/(え4422-1~16は紙縫一括)・1通	え4422-6
乍恐以書付御日延奉願候(町内御祭礼入料金30両借用につき追年利分滞り来る正月20日迄御猶予願う旨下書)		堅紙/(え4450-1~22は括り紐一括)・1通	え4450-12
乍恐以口上奉申上候(御祭礼時の御手代御重詰御肴物の儀外方へ願う、御祭礼御棧敷の下され物新助方へ願う旨下書)		堅紙・1通	え4450-13

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

4. 松代藩御用

4.1. 年貢諸役取立請負・御用米金調達

覚(真粳6俵西納御用粳相渡す) 森彦介(印)→四ツ屋村	享保14年西3月	小切紙/(え4373-1~32は紙縫一括)/(え4373-1~28は紙縫一括)・1通	え4373-6
-----------------------------	----------	--	---------

4.2. 御勝手御用役

(八田嘉右衛門義追年内証向不繰り合わせにつき御憐愍勝手向取復御用向相勤め候様御賢慮の程に付) *(端裏書)「八田嘉右衛門儀二付御内願申上 忠蔵」	11月	横切継紙/(え4373-29~32は紙縫一括)・1通	え4373-29
(八田嘉右衛門数年来御用金など出精ならびに産物御用向厚き心掛けにより忝辰三郎別家および御宛行玄米10人扶持と御勝手御用役仰せに付) *(包紙上書)「文政元寅年十二月十五日奉書到来十六日嘉右衛門名代中村銀兵衛殿辰三郎登城仕処辰三郎新規被 召出玄米拾人御扶持御勝手御用役被仰候」	文政元年12月16日	横切継紙/(え4375-1~17は紙縫一括)・1通	え4375-1
(小林唯蔵亡父内蔵太の拝領御宛行粳7人扶持、屋敷高5石3斗ほか、代給人格御勝手御用役など宛行状3通写)	7月18日	横切継紙・1通	え4375-8
(八田慎蔵亡父嘉助拝領の御宛行納粳30俵玄米30人御扶持くだされ、御勝手御用役仰せ付けられる旨) *(端裏書)「嘉永五壬子年正月十六日」(付け紙)「序之儀小林唯蔵次与可被相心得候 八田慎蔵」	正月16日	横切継紙/(え4379-1~26は紙縫一括)・1通	え4379-20
(書状、青木善左衛門申立への断りにつき御勝手御元メの仰せ立てを含み置くべき旨) 忠蔵・儀左衛門→(八田)慎蔵様・喜兵衛様	4月20日	横切継紙/(え4403-1~16は紙縫一括)・1通	え4403-7
(書状、御勝手御用役見習い並びに産物会所掛惣元方兼ね仰せ付けられ有難しほか西木町了道一件書面の通り何分御勘容下されたきに付) *(勘返状)(八田)嘉助→中島様	3月28日	横切紙/(え4437-1~24は紙縫一括)・1通	え4437-8

4.3. 産物御用掛

(書状、融通金200両御借入の積もりに付)		横切継紙/(え4383-1~49は紙縫一括)・1通	え4383-6
-----------------------	--	---------------------------	---------

4.4. 川船会所

(包紙) *(包紙上書)「八田嘉右衛門様 沼田善左衛門」		包紙/(え4400-1~25は紙縫一括)/(え4400-1-1~3は包紙一括)・1点	え4400-1-1
------------------------------	--	--	-----------

4.松代藩御用/4.川船会所

(書状、川船御役所一件につき水御普請役帰符また再御見分の旨) 沼田善左衛門→八(八田)嘉右衛門様	6月24日	横切継紙・1通	え4400-1-2
口上覚(当所より倉賀野への松代行きの茶荷物の積み送り願いの旨) 沼田善左衛門(印)→八田嘉右衛門様	辰6月	横切継紙・1通	え4400-1-3
乍恐以書付奉願候(通船荷物入れ置く蔵普請の場所30坪御用地願い) 伊勢町(墨消)傳兵衛代(墨消)栄八(墨消)・森村(墨消)船元和七代栄八→通船御掛り御役所		縦継紙/(え4416-1~24は紙縫一括)・1通	え4416-2
(包紙) * (包紙上書)「文政二卯年四月十日 金三拾兩川船方会所御下金之内 町田村大治郎」		包紙/(え4438-1~30は紙縫一括)/(え4438-30-1~6は袋一括)・1点	え4438-30-2
(書状、中野一件相手方広右衛門重病にて日延願い破談の御届になる旨) 素弓→書鳩様	9月25日	横切継紙/(え4445-1~14は紙縫一括)・1通	え4445-4

4.5. 御用金

(寛延元辰極月御利足年中1割5分文金500兩八田嘉助)	寛延元辰極月	縦紙(前後欠)/(え4374-1~35は紙縫一括)・1通	え4374-6
覚(才覚金返済粉500俵受取) 八田孫左衛門(印墨消)→杉田九左衛門様・山岸文太夫様・金井藤助様	元文4年未(マ)12月12日	縦紙/(え4374-1~35は紙縫一括)・1通	え4374-12
(去丑四月江戸御上屋敷類焼のため御下げ金をもって御入料金の趣にて取立の旨) * (端裏書)「亥正月十八日御下ヶ御内借懸り御配下へも当分 御郡方」	正月	横切継紙/(え4380-1~20は紙縫一括)/(付札あり)・1通	え4380-7
覚(調達金1270兩の未年利足147兩余受取書控) * (包紙上書)「覚」/(端裏書)「申十二月六日ニ相認文太夫扣置証明申候」 八田孫左衛門→正村治兵衛様・前嶋文蔵様・近藤七左衛門様	元文5年申12月	縦紙/(え4385-1~18は紙縫一括)・1通	え4385-4
覚(調達金1270兩去未年分利足金34兩2分余受取) 八田孫左衛門[印墨消]→山岸文太夫様・湯本十学様・宮下傳蔵様	元文5年申11月	縦紙・1通	え4385-8
覚(金20兩、御取集金のうち受け取り) * (包紙上書)「覚」 八田嘉右衛門(印墨消)→平林縫殿進殿	文化12亥年正月7日	横切紙/(え4426-1~35は紙縫一括)・1通	え4426-10
覚(御用金千兩分証文1通を宝暦6年9月14日に競方へ受取置くに付) 八田競		切紙/(え4439-1~40は紙縫一括)・1通	え4439-2

4.6. その他

預り申金子之事(文金75兩去巳年二の御丸御用材木金借用の残金45兩、御用材木代金御払いまで御延引に付) * (包紙上書)「寺尾平右衛門證文入」 町寺尾借り主平右衛門(印)・中町請人金右衛門(印)→菊屋甚右衛門殿・庄兵衛殿	元文3年午ノ4月	縦紙/(え4373-1~32は紙縫一括)/(え4373-1~28は紙縫一括)/(虫損)・1通	え4373-27
--	----------	--	----------

(御趣意金拝借人別追年大勢となり人別に限り御割合金高村方より上納に付) * (端裏書)「御趣意金拝借之儀御内尋付申上 御趣[](意拝)借掛」	11月	横切継紙/(え4375-1~17は紙縫一括)/(え4375-10-1~3は一括)/(下げ札あり)・1通	え4375-10-2
(進上 青銅30疋 八田慎蔵知道 受取にて御納戸へ収める旨) * (裏書)「表書之通槌受取御納戸江相収申候以上 嘉永五子年二月九日 西村源蔵(印)」 西村源蔵(印)	嘉永5子年2月9日	折紙/(え4379-1~26は紙縫一括)/(え4379-16-1~16は紙縫一括)・1通	え4379-16-2
(進上 青銅100匹 八田慎蔵知道) * (裏書)「表書之通槌受取御納戸江相収申候以上 嘉永五子年二月九日 西村源蔵(印)」	嘉永5子年2月9日	折紙・1通	え4379-16-16
(八田慎蔵数代数多御用向格段の出精につき西木町抱屋敷払い代金千両上納切など残らず払い切の旨) * (端裏書)「八田慎蔵 親類」		横切紙/(え4380-1~20は紙縫一括)/(え4380-2~4は紙縫一括)・1通	え4380-4
(大嶋文内御趣意拝借の儀申立の通り申し渡すに付) 御郡方	8月	横切紙/(え4380-12-1~2は綴一括)/(付札あり)・1通	え4380-12-1
覚(大嶋文内御知行召し上げられ永御暇下され、御趣意拝借の年賦割合返済に付) * (端裏貼紙)「大嶋文内御趣意拝借之儀ニ付伺 御郡方」 御趣意拝借掛	8月	横切継紙・1通	え4380-12-2
(金18万6千両余うち3千両余引替御納戸にある分勘定書)		横切継紙/(え4403-1~16は紙縫一括)/(虫損)・1通	え4403-6
覚(金3両2分、師念殿御趣意拝借去午割合不足分金児殿に遣わす旨) 御趣意掛	6月28日	横切紙/(え4427-1~37は紙縫一括)/(え4427-10-1~2は巻き込み一括)・1通	え4427-10-1
(正月25日金2分2朱、2月1日金4両ほか9件金額書付)		横切紙・1通	え4427-10-2

5.糸会所/1.会所貸下金

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

5. 糸会所

5.1. 会所貸下金

天保四巳年六月 御趣意御貸下金引当物取計元帳(貸し下げ金と引当糸の書上)	天保4巳年6月	横長半/(え4380-1~20は紙縫一括)/(え4380-8-1~3は紙縫一括)・1冊	え4380-8-1
(森村才兵衛ほか6名、倉科村平八ほか6名糸代金勘定買付)		横長半・1冊	え4380-8-2
(森村治郎右衛門ほか27名、倉科村三郎治12名糸代金勘定買付)		横長半・1冊	え4380-8-3

5.2. 借入金・預り金

(書状、糸会所余儀なく130両3人にて才覚弁納なければ済み難く迷惑の旨) * (端裏書)「御内覧後御返却奉願候 嘉右衛門」(八田)嘉右衛門		横切継紙/(え4389-1~50は紙縫一括)・1通	え4389-32
---	--	---------------------------	----------

5.3. 繭仲買

口上(上徳間村繭中買鑑札上納願い半年にては聞き済み難くに付)		小切紙・1通	え4389-5
--------------------------------	--	--------	---------

5.4. 紬市統制

(上田と松代の紬商売交渉につき西間屋彦三郎への申し含め内容の提案書) * (端裏貼紙)「中野西間屋江申含方御掛り御書取」		横切継紙/(え4211-1~21は一綴)・1通	え4211-2
(上田問屋との交渉方法についての提案書) * (端裏書)「当店手代可罷越趣評儀被仰渡申上書御懸書入有之御趣意書 別紙△印」		横切継紙・1通	え4211-3
(4211-3の提案書に対する紬取引に関する意見書) * (端裏貼紙)「評議書江御懸御書入有之右御趣意書△印」		横切継紙・1通	え4211-4
(書状、紬方後来御取締向につき山崎・松本両氏の名面無くば内外の相違迷惑に付)	11月2日	横切継紙/(え4388-1~20は紙縫一括)・1通	え4388-2

5.5. 糸売買

極御内密書取(松代にて為登糸取り計らい、松代商売方心得などにつき御勘考の旨)		横切継紙/(え4385-1~18は紙縫一括)・1通	え4385-16
--	--	---------------------------	----------

覚(22匁並江刺柄糸煮紺四分大小分ほか金2分銭704文 受け取り) 布袋屋松治郎[印「現金かけねなし」二重丸に 「本」]江戸尾張町糸物類安売仕候]]→戸田政吉様	10月21日	横切継紙/(え 4427-1~37は 紙縹一括)・1通	え4427-1
--	--------	-----------------------------------	---------

5.6. 諸書類

覚(上下地9反江戸表へ差出につき代金4両2分2朱銀3 匁3分受取書) 荒神町傳兵衛(印)→糸方御会所	辰12月25日	横切紙/(え 4211-1~21は 一綴)・1通	え4211-21
---	---------	--------------------------------	----------

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

6. 産物会所

6.1. 拝借金

覚(絹紬仕入金700両拝借、三井店勘兵衛から江府へ為替手形にて返済の旨) いせ町傳兵衛→酒井市治様・水野清右衛門様・関田莊助様		横切継紙/(え4380-1~20は紙縫一括)・1通	え4380-11
---	--	---------------------------	----------

6.2. 藩より拝借金

覚(御元金150両分8分利金60両当已御礼金御上納請取) 西村源蔵(印)・大嶋磯右衛門→八田嘉右衛門殿	天保4巳年12月23日	横切紙/(え4376-1~22は紙縫一括)/(え4376-10-1~17は括り紐一括)・1通	え4376-10-1
覚(御元金100両分金10両当已御礼金御上納請取) 西村源蔵(印)・大嶋磯右衛門→八田嘉右衛門殿	天保4巳年12月23日	横切紙・1通	え4376-10-2
覚(御元金100両分金10両当已御礼金御上納請取) 西村源蔵(印)・大嶋磯右衛門→八田嘉右衛門殿	天保4巳年12月23日	横切紙・1通	え4376-10-3
覚(御元金100両分金10両当已御礼金御上納請取) 西村源蔵(印)・大嶋磯右衛門→八田嘉右衛門殿	天保4巳年12月23日	横切紙・1通	え4376-10-4
覚(金100両御内借金当寅御礼金御上納受取) 入安兵衛(印)・西村源蔵(印)・大嶋磯右衛門(印「正美」)→八田嘉右衛門殿	天保元寅年12月	横切継紙・1通	え4376-10-5
覚(金100両御内借金当卯御礼金御上納請取) * (端裏貼紙)「天保二卯年十二月廿三日殿様より拝借金利足上納受取切手」 西村源蔵(印)・大嶋磯右衛門→八田嘉右衛門殿	天保2卯年12月23日	横切継紙・1通	え4376-10-6
覚(金39両御預金当卯御利足御上納請取) 西村源蔵・大嶋磯右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	天保2卯年12月	横切継紙・1通	え4376-10-7
覚(金39両御預金当巳御利分御上納請取) 西村源蔵・大嶋磯右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	天保4巳年12月	横切継紙・1通	え4376-10-8
覚(御元金200両分利金20両御預金当已御礼金御上納請取) 西村源蔵・大嶋磯右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	天保4巳年12月23日	横切継紙・1通	え4376-10-9
覚(御元金750両の内100両御上納請取) 西村源蔵・大嶋磯右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	天保4巳年12月29日	横切継紙・1通	え4376-10-10
覚(金100両御預金御元金の内御上納請取) 西村源蔵・大嶋磯右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	天保5午年12月晦日	横切継紙・1通	え4376-10-11
覚(金200両のうち金20両ほか受取) 西村源蔵(印)・大嶋磯右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	天保6未年12月28日	横切継紙・1通	え4376-10-12
覚(金34両御預金当未利分請取) 西村源蔵・大嶋磯右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	天保6未年12月20日	横切継紙・1通	え4376-10-13
覚(金200両御預金のうち受取) 大嶋磯右衛門(印)→八田嘉助殿	未年12月	横切継紙・1通	え4376-10-14

覚(御元金300両分1割金30両御預金当酉御礼金請取) 西村源蔵・大嶋磯右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	天保8酉年12月	横切継紙・1通	え4376-10-15
覚(金93両当酉利分受取) 西村源蔵・大嶋磯右衛門(印) →八田嘉助殿	天保8酉年12月29日	横切継紙・1通	え4376-10-16
覚(金89両当申御礼金御上納請取) 西村源蔵・大嶋磯右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	天保7申年12月	横切継紙・1通	え4376-10-17
覚(御元金750両のうち金125両御上納請取) 西村源蔵・大嶋磯右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	天保4巳年12月19日	横切継紙/(え4379-1~26は紙縫一括)/(包紙共)・1通	え4379-8
(書状、御請入利分御受取御印形に付) 大嶋磯右衛門→八田嘉右衛門様	2月17日	横切継紙/(え4380-1~20は紙縫一括)/(え4380-2~4は紙縫一括)・1通	え4380-2
覚(御元金500両分子利分100両利金請取) * (端裏貼紙)「千両御預り金当子御利足上納受取此方より千両御用達置候御利足御渡被下候ニ付請取印書差出置」 入安兵衛(印)・大嶋磯右衛門(印)→八田嘉右衛門殿	11月	横切継紙・1通	え4380-3
(書状、上納100両相揃候哉、御中借相極候旨) 儀左衛門→嘉十郎様	7月12日	横切紙/(え4393-1~22は紙縫一括)/(嘉十郎は産物会所掛役人松本)・1通	え4393-2
(書状、納方御中借御極めなされ有難く存じに付) 喜兵衛→(八田)嘉助様	17日	横切紙/(え4420-1~46は紙縫一括)・1通	え4420-7
覚(金30両、御礼金のうち預かりに付) 八田喜兵衛(印)→八田嘉助殿	天保14卯年12月	横切紙/(え4427-1~37は紙縫一括)・1通	え4427-24
覚(205両、当7月中200両御内借金御元利受け取り懸りの衆へ相渡しに付) 水井忠蔵(印)→八田嘉助殿	天保13寅年10月6日	堅紙・1通	え4427-25
覚(金82両1分余、御内借金年賦已御割合受け取り) 宮澤善後・入久左衛門・池田良右衛門・吉澤十助(印)→八田嘉右衛門殿	弘化3午年正月22日	横切紙・1通	え4427-27
覚(会所御中借金のうち御手元御取計分442両寅年御礼金44両ほか、49両1分受け取り) 八田喜兵衛(印)→八田嘉助殿	天保14卯年正月22日	横切紙/(下札あり)・1通	え4427-37

6.3. 会所貸下金

覚(紺屋町柳治申6月御貸下金43両のうち上納・御礼金勘定書)		横切紙/(え4391-1~20は巻込一括)/(え4391-2-1~20は巻込一括)・1通	え4391-2-1
覚(柳治口御元金10両3分上納、御礼金74匁1分4厘勘定書)		横切紙・1通	え4391-2-2
(御礼金3口、177匁8分勘定書) 打沢寅之助	西正月29日	横切紙・1通	え4391-2-3
(7月30日口82両御貸下金など元利18両3分余上納勘定書) 和七	正月30日	横切紙・1通	え4391-2-4

6.産物会所/3.会所貸下金

(武左衛門・惣左衛門など御元金・御礼金勘定書)	正月26日	折紙・1通	え 4391-2-5
覚(武左衛門・繁八御貸下金・御礼金勘定書)		横切継紙・1通	え 4391-2-6
(若宮村与惣右衛門・紺屋町保右衛門御礼金ノ62匁4分勘定書)		横切紙・1通	え 4391-2-7
(御貸下金27両うち御礼金162匁伊左衛門上納勘定書)		横切紙・1通	え 4391-2-8
(左市上納分御礼金ノ131匁勘定書)		横切紙・1通	え 4391-2-9
(和七御礼金ノ45匁3分7毛勘定書)		横切紙・1通	え 4391-2-10
(繁八分御礼金22匁5分勘定書)		横切紙・1通	え 4391-2-11
覚(柳治分59匁3分8厘) 武左衛門	正月29日	横切紙・1通	え 4391-2-12
覚(打沢村寅之助御貸下金ノ金35兩余御礼金勘定書)		横切継紙・1通	え 4391-2-13
覚(紺屋町藤兵衛御礼金12匁余、増田分内重五郎・こんや町正吉御礼金3口ノ84匁余勘定書) 当番専助	12月25日	横切継紙・1通	え 4391-2-14
(東福寺村左惣治御礼金3口ノ219匁勘定書)		横切紙・1通	え 4391-2-15
覚(豊吉分御礼金4口ノ398匁勘定書)		横切紙・1通	え 4391-2-16
(藤吉分11月利6分縣り御貸下金160両2ヶ月御礼金3匁3分勘定書)		横切紙・1通	え 4391-2-17
覚(傳兵衛分御元金9両うち御礼金18匁2分5厘勘定書)		横切紙・1通	え 4391-2-18
覚(荒神町惣左衛門分御礼金32匁2分5毛ほか勘定書)		横切継紙・1通	え 4391-2-19
覚(友吉分御礼金3口ノ102匁5分勘定書)		横切紙・1通	え 4391-2-20
(書状、残金の御取調御廻し願う、最早御貸下金も始まり御礼金の差し支えにもなり御廻し願う旨) 喜兵衛→(八田)嘉助様	5月晦日	横切継紙/(え 4420-1~46は紙縫一括)・1通	え 4420-12
(書状、御下げ札にて御尋ねの御貸下げ御利足につき御評議御賢考願う旨、三右衛門・忠蔵・儀左衛門の御評決につき) * (端裏書)「嘉助」(八田)嘉助	11月25日	横切継紙・1通	え 4420-42
覚(金24両銀12匁、会所御貸下金242両御礼金去辰年分受け取り) 八田喜兵衛(印)→八田嘉助殿	弘化2巳年7月11日	横切紙/(え 4427-1~37は紙縫一括)・1通	え 4427-20
(書状、中條村への御貸出金元金・1年利金滞り手代調べに差し遣わすに付) 宮下源助→八田嘉右衛門様	閏8月19日	横切継紙/(え 4439-1~40は紙縫一括)・1通	え 4439-25

(書状、新町村御貸出金年切れ年賦割合滞り等別筆御調べ1年中の内に遣わし下されたきに付) 師田幾五郎→八田嘉右衛門様	10月7日	横切紙・1通	え 4439-26
---	-------	--------	-----------

6.4. 会所より貸下げ品・拝借金

6.4.1. 拝借金

上納金差引調(利潤金100両暫く拝借願う旨) 清十→上	午3月23日	横切継紙/(え 4376-1~22は紙縫一括)・1通	え 4376-19
覚(御産物品物拝借代金のうち金20両受取) 八田嘉助→木町孫兵衛	天保7申年2月	横切紙/(え 4420-1~46は紙縫一括)・1通	え 4420-44

6.5. 冥加金

(市村北組久作・西和田村忠之助・下宇木村喜代蔵去未年杏子干仁并唐糸師鑑札を受け来17日会所へ冥加銀上納のこと) * (包紙上書)「御用 産物会所(印) 順村継 市村北組」/(包紙裏書)「閏三月十三日出ス」 産物方会所(印)→市村北組(印)・西和田村(印)・下宇木村(印) 右村々三役人	閏3月12日	横切継紙/(え 4379-1~26は紙縫一括)・1通	え 4379-17
--	--------	----------------------------	-----------

6.6. 絹紬類売捌

(紬市立による御城下町繁栄につき金子融通差支えなど永久立方相調い間敷き哉の旨)		横切継紙/(え 4374-1~35は紙縫一括)・1通	え 4374-33
口上覚(綿師并中買木綿布絹紬中買冥加銀差出し、善光寺領中買冥加銀差出しにつき内々伺いの旨) 産物会所懸	11月	横切継紙/(え 4375-1~17は紙縫一括)・1通	え 4375-2
(紬裏絹の機を増長の手段は如何にあるべきや、繭糸にて他へ捌くより品物に製するは助益の旨ほか)		横切継紙・1通	え 4375-3
(紬買取人数少なきの御沙汰御流し下される様御尋ねにつき願い)		横切継紙/(え 4379-1~26は紙縫一括)・1通	え 4379-14
乍恐以書付申上候(上州高崎布袋屋善左衛門買宿につき取為替書面の有無についての御尋ねの返答に付) 伊勢町傳兵衛→産物方御会所		横切継紙/(え 4380-1~20は紙縫一括)・1通	え 4380-14
(申3月7日 高井 蔵別絹時銭帳覚)	申3月7日	横長半/(え 4403-1~16は紙縫一括)・1冊	え 4403-2
(書状、古紬代金御預かりの内50両御廻し願う) 喜兵衛→(八田)嘉助様	7月12日	横切継紙/(え 4420-1~46は紙縫一括)・1通	え 4420-22-1
(書状、金50両古紬代金の内受取に付) 八田喜兵衛(印)→八田嘉助殿	天保7申年7月12日	横切紙・1通	え 4420-22-2
(書状、私よりの古紬代金165両請払い帳に御取り入れ御六ヶ敷ならば帳面并残金御廻し願う) 喜兵衛→(八田)嘉助様	6月7日	横切継紙・1通	え 4420-23

6.産物会所/6.絹紬類売捌

(金135両紬小売代金のうち上納受取、金100両紬小売代金のうち御貸し下げより受取)		横切紙・1通	え 4420-25
(紬56疋・代金35両2朱ほか生地反数金銭書上) * (端書)「六十式」		横長半/(え4453-1~13は紙縫一括)・1通	え 4453-8

6.7. 駄送

(道中方産物荷物送りにつき委細承知御勘弁達し申し渡し) 采女→監物様	7月8日	横長半/(え4393-1~22は紙縫一括)・1冊	え 4379-1
(書状、御荷物会所へ駄賃金伊木氏へ遣わされるに付) 辰三郎→(八田)嘉助様	12月5日	横切継紙/(え4420-1~46は紙縫一括)・1通	え 4420-46

6.8. 金銭請払

(書状、為替金取り計らいこの度金4両余受取に付) * (包紙上書)「八田嘉助様用答 山崎久右衛門」/(端裏書)「嘉助様」/(勘返状) 久右衛門→(八田)嘉助様申上	5月20日	横切継紙・1通	え 4420-1
(書状、産物代為替金600両御受取書早速御廻し願う) 重之助→喜兵衛様・(八田)嘉助様	12月15日	横切紙・1通	え 4420-4

6.9. 金銭請払取調勘定

(金6454両余のうち4788両余紬方へ廻す分、才覚金の分など差引勘定書付)		横切継紙/(え4374-1~35は紙縫一括)・1通	え 4374-22
(産物御出方御勘定帳亥子両年分御印鑑相済みにつき御下げのこと)	6月朔日	横切紙/(え4393-1~22は紙縫一括)・1通	え 4393-21
覚(生臘27俵・実綿・繰綿などの代金勘定差引書付)		横切継紙/(え4419-1~12は紙縫一括)/(剥離あり)・1通	え 4419-2
(篠巻・実綿・繰り綿・赤綿メ金73両余書付)		横切継紙/(剥離あり)・1通	え 4419-5

6.10. 会所役人心得方・取計方

(産物の儀この上の見込みについて5ヶ条荒々申上に付)		横切継紙/(え4388-1~20は紙縫一括)・1通	え 4388-4
(この節捨て置いては後來領内の産物上田表にて進退自在に取り計らう儀の旨) * (端裏書)「辰十月八日 矢沢公二而町方御郡方御勘定吟味中島堀内喜兵衛辰三郎被召出候、御評義之儀申達在之候付愚意及挨拶候以上」	10月	横切継紙・1通	え 4388-5

6.11. 産物無尽

口上覚(産物無尽立会有無につき中島三右衛門発起にて私儀名目のみにての旨) 八田嘉右衛門	10月	横切紙/(え4432-1~31は紙縫一括)・1通	え4432-28
---	-----	--------------------------	----------

6.12. 産業統制

6.12.1. 行司

乍恐以書付奉願候(吉田村要之助・同村重五郎・東風間村理喜谷蚕種行司役仰せ付けられるに付) 大豆島村行司小三郎・福嶋新田村行司大治郎(印)→産物御掛り御役所		縦紙/(え4389-1~50は紙縫一括)・1通	え4389-28
---	--	-------------------------	----------

6.12.2. 鑑札

(書状、鑑札願い出るに付下書)	12月28日	横切継紙/(え4383-1~49は紙縫一括)・1通	え4383-2
-----------------	--------	---------------------------	---------

6.12.3. 甘草

(書状、栄八甘草推参のところ平年の割にては5、6分通にて22匁から35匁位の由に付) 壕内屯人→八田嘉右衛門様・八田嘉助様	11月14日夜認	縦紙/(え4426-1~35は紙縫一括)・1通<3枚>	え4426-3
---	----------	-----------------------------	---------

6.12.4. 杏仁

(森村八郎右衛門商人でなく産物会所へ願い出で鑑札を受け森・倉科の杏干仁一手に買い入れにつき) *(端裏書)「森村杏干仁相場立之義ニ付内訴」 杏干仁中買倉科村音作		横切継紙/(え4375-1~17は紙縫一括)/(虫損甚大)・1通	え4375-9
(杏仁平年より下直にて会所役人に申立のため御加書を願う旨) * (端裏書)「回状」 嘉十郎、(奥書)忠蔵・儀左衛門→(水井)忠蔵様・(春日)儀左衛門様・(佐竹)周蔵様・喜兵衛様・(八田)慎蔵様・義三郎様・(高野)覚之進様	5月18日	横切継紙・1通	え4375-16
覚(杏仁改め方につき規定書) 会所→改方御番人中	6月	横切継紙/(え4380-1~20は紙縫一括)・1通	え4380-19
申上(稲荷山杏仁中買商人勇助ほか7名今日明日の内納め方ならびに代金皆済に付) 世話役中村市三郎→松本嘉十郎様申上	10月2日	横切継紙・1通	え4380-20
(稲荷山村葛屋八五郎・塩屋友作・美濃や常弥・米や甚左衛門・松や源之助・唐沢や重蔵、27駄書付)		横切継紙/(え4393-1~22は紙縫一括)・1通	え4393-9
(書状、杏仁嵩なども呑み込みの上の嘶にいたす旨) かのい→堀内様御早	10月17日	横切継紙/(え4395-1~31は紙縫一括)・1通	え4395-8
(書状、柏屋喜兵衛御国産杏干買い取り高崎表へ売り渡したくに付) * (端裏書)「六月六日認」		横切継紙/(え4400-1~25は紙縫一括)・1通	え4400-2

6.12.5. 楮

乍恐以書付奉願候(松本御領分生坂村より煙草紙・楮荷宿につき4ヶ条規定) 何村たれ印→郡御奉行所	年号月	横切継紙/(え4404-1~7は紙縫一括)・1通	え4404-2
---	-----	--------------------------	---------

6.12.6. 諸品

(書状、多葉粉問屋支配致し金3、4千兩にて相廻し年8歩の利足にて借用を願う) * (包紙上書)「信州綿内村堀内千吾様参人々御中 江戸大鋸町木曾屋弥兵衛」/(包紙裏書)「八月十一日 金壱分入」 木曾屋弥兵衛(印)→堀内千吾様参人々御中	8月11日	横切継紙/(え4385-1~18は紙縫一括)・1通	え4385-12
(書状、多葉粉荷蔵詰めの時荷主衆へ利足付にて内金貸し渡し、売り捌き代金取集め大凡3、4千兩で間に合い年8歩の利足にて借用願う) * (包紙上書)「信州綿内村堀内千吾様貴下御内披 木曾屋弥兵衛」/(包紙裏書)「四月十日 從江戸大鋸町」 木曾屋弥兵衛(印)→堀内千吾様参人々御中	亥年4月1日	横切継紙・1通	え4385-15

6.13. 葉藍

(包紙) * (包紙上書)「八四郎より甲三兩文已五月六日七日切」		包紙/(え4439-1~40は紙縫一括)/ (え4439-30-1~3は包紙一括)/(括り紐共)・1点	え4439-30-1
(書状、斧右衛門藍仕入れ金として甲3兩借用申したき由申すに付) 隼人→帶刀様	5月6日	横切継紙・1通	え4439-30-2
(書状、先日御約束の鰻葉は遣い切り、外の葉なれどこれも鰻葉なれば遣わし申すに付)		横切継紙・1通	え4439-30-3

6.14. 陶器竈

(国産御取立の竈場の場所につき地面その他勘弁いたし申し聞かす旨)	2月	横切継紙/(え4374-1~35は紙縫一括)・1通	え4374-26
覚(竈1登冥加金7兩ほか入料差引勘定書) 産物方	午7月調	横切継紙/(え4432-1~31は紙縫一括)/(下げ札あり)/(剥離)/(虫損甚大)・1通	え4432-3
(かま出し代品物代金34兩余書上) 荒神町傳兵衛	弘化2巳年2月	横切継紙/(え4442-1~26は紙縫一括)・1通	え4442-11
乍恐以書付御内々奉願候(陶器竈につき赤土掘商売故障に付) 荒神町渡世人傳兵衛・伊勢町竈主傳兵衛→郡御奉行所	嘉永6丑年8月	堅紙/(え4450-1~22は括り紐一括)/(え4450-18-1~2は巻き込み一括)・1通	え4450-18-1

(伊勢町傳兵衛所持の竈場借用最初より赤土山年貢差し出し掘り取りに付)		小切紙・1通	え4450-18-2
------------------------------------	--	--------	------------

6.15. 大坂交易

6.15.1. 西国産物買入

(越後よりの勘定書類など一括)		綴/(え4217-1～24は一綴)・1綴	え4217
(袋) * (袋上書)「越後より参り候書類」		袋・1点	え4217-1
初相庭(諸色初相場書上) 家紋(印「大坂金銀不用炭孫」) →「喜」(八田家屋号)様		横切継紙・1通	え4217-2
(杏仁など運賃勘定書上) 石塚六三郎(印「越後直江津石塚六三郎」)→菊屋傳兵衛殿	嘉永2酉年9月6日	横長半・1冊	え4217-3
(書状、塩代金300両私宅より立替友吉殿へ御渡し申すに付) 後合町	亥7月21日	横切継紙・1通	え4217-4
覚(白砂糖代金2両余受取書) 石塚六三郎[印「越後今町石塚」]→藤屋戸佐久殿	亥9月11日	切紙・1通	え4217-5
覚(塩など代金16両1分余書上) 石塚六三郎(印「越後直江津石塚六三郎」)→菊屋傳兵衛殿	6月6日	横切継紙・1通	え4217-6
惣目録(金122両3分の内差引書上) 石塚六三郎(印)→菊屋傳兵衛殿・藤屋戸左久殿	9月7日	横切継紙・1通	え4217-7
覚(白砂糖など代金12両2分余書上) 石塚六三郎(印「越後直江津石塚六三郎」)→菊屋傳兵衛殿・藤屋戸左久殿	戌5月13日	横切継紙・1通	え4217-8
覚(筵包など諸品代金書上) 藤戸→菊屋米八様	6月	横切継紙・1通	え4217-9
(書状、大坂表より御積下の塩積船清正丸、昨八日敷島2300俵陸上成りがたきに付) 石塚六三郎(印)→塩屋大三郎様・菊屋傳兵衛様・藤屋戸左久様	4月9日	横切継紙・1通	え4217-10
覚(八田屋号印井草99箇ほか合112箇など当月13日越後鬼舞浦伊藤権右衛門船に大坂炭屋孫七方まで積み送るに付) 越後今町湊石塚六三郎(印「越後直江津石塚六三郎」)→信州松代藤屋戸佐久殿	嘉永2酉年閏正月17日	横切継紙・1通	え4217-11
覚(赤穂塩1500俵など諸運賃書上) 石塚六三郎(印「越後直江津石塚六三郎」)→菊屋傳兵衛殿・菊屋戸左久殿	9月6日	横切継紙・1通	え4217-12
覚(宝来志鳥3本残金1両余相渡すに付) 石塚六三郎(印「越後直江津石塚六三郎」)→藤屋戸左久殿	亥4月14日	横切継紙・1通	え4217-13
覚(玉砂糖4挺代金など9両3分余金銭書上) * (奥裏書)「戌七月中」 石塚六三郎(印「越後直江津石塚六三郎」)→菊屋傳兵衛殿・藤屋戸佐久殿	戌7月7日	横切継紙・1通	え4217-14
覚(白砂糖12挺など運賃支払書) 石塚六三郎(印「越後直江津石塚六三郎」)→藤屋戸左久殿	閏4月	横切継紙・1通	え4217-15
覚(塩933俵など運賃代金書上) 石塚六三郎(印「越後直江津石塚六三郎」)→菊屋傳兵衛殿	5月3日	横切継紙・1通	え4217-16
覚(竹節2俵駄賃など5貫135文書上) 大森屋徳十郎[印「越後高田中小町大森林衛門」]→松代菊屋傳兵衛殿	酉9月12日	横切継紙・1通	え4217-17
覚(筵包など代金請求書) * (後欠) 大森屋徳十郎[印「越後高田中小町大森林衛門」]→野田屋庄兵衛殿	戌6月11日	横切継紙・1通	え4217-18

覚(筵包など残金1貫213文支払書) 大森屋徳十郎[印「越後高田中小町大森林衛門」]→飯山野田庄兵衛殿・松代藤屋戸佐久殿分	戌5月18日	横切紙・1通	え4217-19
覚(戸印筵包など駄賃4貫330文請求書) 大森屋徳十郎[印「越後高田中小町大森林衛門」]→松代藤屋戸佐久殿分・飯山野田庄兵衛殿	戌5月21日	横切継紙・1通	え4217-20
覚(ム印白砂糖4樽など代金26両1分余売渡代金書上) 水島屋太右衛門[印「太 直江津今町水嶋屋」]→松代菊屋友吉殿	亥8月11日	横切継紙・1通	え4217-21
覚(生口湊10樽など代金23両余金銭書上) 石塚六三郎(印「越後直江津石塚六三郎」)→菊屋傳兵衛殿・友吉殿	亥8月11日	横切継紙・1通	え4217-22
覚(井草3065貫余など書上)		横長半・1冊	え4217-23
キ印松白掛り物勘定帳 大森屋徳十郎→信州松代菊屋傳兵衛殿	嘉永3戌年12月	横長半・1冊	え4217-24
(包紙) * (包紙上書)「八田嘉右衛門様 大石彦四郎」/(包紙裏書)「文政三辰年三月廿九日来帖」		包紙/(え4430-1～6は紙縫一括)/ (え4430-1-1～3は包紙一括)・1点	え4430-1-1
(塩荷今町高田問屋掛如何様とも成る可く旨) * (端裏書)「口上」	3月29日	横切紙・1通	え4430-1-2
今町ニ而塩荷掛り物(塩1俵につき通役御運上4分3厘宛など)	3月29日	折紙・1通	え4430-1-3

6.15.2. 杏仁売捌

(杏仁の儀越後会所湊より積み出し195荷会所荷船にてに付) * (端裏書)「回状」 嘉十郎→(水井)忠蔵様・(春日)儀左衛門様・(佐竹)周蔵様・(八田)慎蔵様・喜兵衛様・義三郎様・(高野)覚之進様	9月28日	横切継紙/(え4393-1～22は紙縫一括)・1通	え4393-10
覚(三平村佐市195俵ほか10ヶ村10名大坂送り杏仁荷数代金入料書付)		横切継紙・1通	え4393-13
(包紙) 在今町殿村総心→信州松代八田嘉助様内御用上		包紙/(え4443-1～6は包紙一括)/ (括り紐共)・1点	え4443-1
(書状、日限相延べ申立てるも抛無く他借り致すも催促にて難儀、此段お聞訳け下されたきに付) * (包紙表書)「松代八田嘉助様御取次殿村洗心」/(包紙裏書)「信州松代越後今町より出」 殿村洗心(花押)→八田嘉助様御取次	10月20日認メ	横切継紙/(包紙共)・1通	え4443-2
(書状、先達ての御書面の趣恐れながら心急ぎにて御勘弁下されたきに付) * (包紙表書)「松代八田嘉助様御取次殿村洗心」/(封筒裏書)「内急用申上候間深美様より四丁御座候奉願上候越後高田より出」 殿村洗心(花押)→八田嘉助様御取次	9月23日	横切継紙/(包紙共)・1通	え4443-3
(包紙) 殿村洗心→八田嘉助様上		包紙/(え4443-4-1～3は包紙一括)・1点	え4443-4-1
(書状、鯛20枚・国本の干時鮫鰯8筋献上にて宜しく御風味成し下されたきに付ほか) 殿村洗心[印]→八田嘉助様御取次	8月2日夕認メ	横切継紙・1通	え4443-4-2

(書状、別紙金子の儀昨年相違なくこの者へ御頼上げ候に付)		切紙・1通	え4443-4-3
(包紙) 在今町殿村洗心→松代八田嘉助様外々より相添		包紙/(え4443-5-1~3は包紙一括)・1点	え4443-5-1
(書状、交易の品指上げほか当分の用向申上げ奉るに付) 殿村洗心[印]→八田嘉助様御取次	7月18日認メ	横切継紙・1通	え4443-5-2
(書状、先達ての御手形の儀別紙御内々に申上げるに付) 殿村洗心(花押)		横切継紙・1通	え4443-5-3
(包紙) 越中泊町殿村洗心→八田嘉助様御取次		包紙/(え4443-6-1~3は包紙一括)・1点	え4443-6-1
(書状、年始挨拶) 殿村洗心(花押)→八田嘉助様御取次	正月吉日	折紙・1通	え4443-6-2
(書状、御返し of 道具外に金子15両請取るも金子借用方へ入金不行届不勝手に相成り、道具御返し of 事故金子指上げたくも延引に付) 殿村洗心→八田嘉助様御取次	正月6日認メ	横切継紙・1通	え4443-6-3
(封筒) * (封筒上書)「松代御家中松本嘉重郎様御報内用 従大坂」/(封筒裏書)「□月廿三日極内用 一文字屋清八郎」		封筒/(え4444-1~25は紙縫一括)/(え4444-4-1~3は封書一括)・1点	え4444-4-1
(書状、杏仁の儀様々御手法付早速御書状下され千万有り難き旨) 一文字屋清八郎→松本嘉重郎様御報	9月23日	横切継紙・1通	え4444-4-2
(書状、追啓御内室様御様子よろしきよしにて御礼下され恐れ入りの旨) 一清→松本様		横切紙・1通	え4444-4-3

6.15.3. 炭屋孫七関係書状など綴

(難舟荷物関係書類一括)		綴/(え4219-1~5は一綴)・1通	え4219
(袋) * (袋上書)「難舟荷物調」/(袋裏印)「信州松代東店菊傳」		袋・1点	え4219-1
①(書状、越後今町造船積入荷物書上並びに難風に遭うにより様子分り兼ねるに付)、②乍恐以書付奉願上候(先月以来再度難船により御請の義宜しく御執り成し下される様願ひ上げ奉るに付)、③(書状、先月8日難風に遭うに付) ①炭屋孫七・相兵衛→菊や傳兵衛様・藤屋戸佐久様、②伊勢町傳兵衛→水井長蔵様・松本嘉十郎様、③炭屋孫七・松兵衛→松代菊屋傳兵衛様・藤屋戸佐久様	①9月18日②嘉永3年9月18日③9月18日	横切継紙・1通	え4219-2
(難風により水入荷物金銭書上)		横切継紙・1通	え4219-3
(友吉持参金15両など金銭書上)		横切継紙/(虫損甚大)・1通	え4219-4
覚(持参金利足などメ5貫586文余金銭書上) 津国屋友七→藤助様	戌12月	横切継紙・1通	え4219-5
(書状、甘草御取締方仰せ渡されの旨敬悦の儀、御町御役代傳兵衛御産物方御元メ仰せ渡され承知の旨) * (包紙上書)「八田嘉助様御請 炭屋孫七・炭屋松兵衛」炭屋孫七(花押「充」)・炭屋松兵衛(花押「忠順」)→八(田)嘉介様	10月28日	折紙/(え4378-1~6は紙縫一括)/(虫損)・1通	え4378-4

(書状、御手代栄八登坂の節恵贈品、千曲川鮭1尺・戸隠蕎麦2袋礼状) * (包紙上書)「菊屋傳兵衛様貴答 炭屋孫七・炭屋松兵衛」 炭屋孫七・炭屋松兵衛→菊屋傳兵衛様貴下	10月29日	折紙/(虫損甚大)・1通	え4378-5
(書状、貴所様御産物御元メ役目出度き儀、持病のため歩行難儀につき御自愛の旨、真綿1包蕎麦1袋恵贈の礼など) * (包紙上書)「菊屋傳兵衛様貴答 炭屋孫七・炭屋松兵衛」 炭屋孫七・炭屋松兵衛→菊屋傳兵衛様	10月28日	折紙/(虫損)・1通	え4378-6
(書状、御地積み入れのもの払底にて引き合い難く、米大豆とも随分余慶に積み入れを願う旨) * (包紙上書)「信州松代御城下 菊屋傳兵衛様・藤屋戸佐久様急用炭屋孫七」/(包紙裏書)「八月二日出 従大坂」 炭屋孫七・太兵衛→菊(菊屋)傳兵衛様・栄八様・藤(藤屋)戸佐久様	8月2日	横切継紙/(え4395-1~31は紙縫一括)・1通	え4395-2
(書状、今町問屋などへ御預荷物追々積み入れいたし荷着のうえ取為替金融通いたす旨) * (包紙上書)「於松代菊屋傳兵衛様玉机下 炭屋孫七」/(端裏書)「七月十三日夕申時到」 炭屋孫七→菊(菊屋)傳兵衛様	7月朔日	横切継紙/(え4444-1~25は紙縫一括)/(虫損)・1通	え4444-2

6.15.4. その他

(御領産御種人参および赤芝銅山につき大坂住友吉次郎別家道頓堀後見橋新戎町泉屋源兵衛代源八と相談に付) * (端裏書)「御領産人参并銅山之義ニ付御内々申上 松本嘉十郎」 松本嘉十郎	12月	横長半/(え4380-1~20は紙縫一括)・1冊	え4380-10
口書(兵庫北風方へ荷物渡し金子受取の段、国産荷物につき後々済みがたく旨) 産物会所懸→産物方御番人中	11月6日	横切継紙/(え4385-1~18は紙縫一括)・1通	え4385-6
(書状、過刻大坂表へ飛脚別紙送る旨) 嘉十郎→(堀内)与一右衛門様箱ハ御返却奉願上候	16日	横切継紙/(え4395-1~31は紙縫一括)/(虫損)・1通	え4395-7
(包紙) * (包紙上書)「大坂関田より之文通」		包紙/(え4416-1~24は紙縫一括)/(え4416-1-1~6は包紙一括)・1点	え4416-1-1
(書状、御約定の蚕種子御都合なされ與右衛門国許まで持下り安心仕る旨) * (包紙上書)「信州松代富岡良右衛門様・八田真蔵様 大坂木佐木新右衛門」/(包紙裏書)「午三月二日」 木佐木新右衛門→富岡良右衛門様・八田真蔵様	3月2日	横切継紙・1通	え4416-1-2
(書状、五明村仙四郎蚕種紙100枚薩摩邸に売り込み、残りの種紙阿波屋九兵衛に預け売捌きに付) 恭蔵→良右衛門様・(八田)慎蔵様	3月8日	横切継紙・1通	え4416-1-3
(書状、江州三上藩和泉国支配地ならびに和州吉野郡鉾山開拓地に桑木あり養蚕を国益とする旨) 恭蔵→良右衛門様・(八田)慎蔵様	3月8日	横切継紙・1通	え4416-1-4
(書状、江州三上藩和泉国支配地ならびに和州吉野郡鉾山開拓地に桑木あり養蚕を国益とするため御藩支配地のうち手馴染みの者一兩人差し向き願う旨) * (包紙上書)「関田恭蔵様 神山雪江」 神山雪江→関田恭蔵様	2月6日	横切継紙・1通	え4416-1-5

(書状、御藩和泉国御支配地にて養蚕御試しにつき当藩のうち手慣れた者一兩人差し向きのため国元へ申し達す旨) 関田恭蔵→神山雪江様	2月8日	横切継紙・1通	え4416-1-6
請取申金子之事(金5両、当表要用につき碇屋吉兵衛殿より受け取り) 大坂天神橋南詰小西嘉助方栄八(印)・定五郎[印]→伊勢屋友吉殿・新八殿	申11月10日	横切紙/(え4427-1~37は紙縫一括)・1通	え4427-17

6.16. 大坂にて金子調達

(大坂大手前菓子屋東雲堂金談一条綴)		綴/(え4236-1~11は一綴)・1綴	え4236
(袋) * (袋上書)「弘化二巳年六月より 大坂大手前菓子屋東雲堂江金談一卷」		袋・1点	え4236-1
(書状、佐久間様と心当たりの人如何に相成り候哉相分かり兼ねる旨) 白沢政吉→八田喜兵衛様・八田芳三郎様申上御内々		横切継紙・1通	え4236-2
(書状、この節迎も同様の振りにて御馴染みも重なり申さず利安の調金出来難く旨) 小出九兵衛→水井忠蔵様・八田喜兵衛様貴報	2月25日	横切継紙・1通	え4236-3
(書状、品物21通の書面に致し置くに付) * (勘返状) 喜兵衛様→(水井)忠蔵様	10月28日	横切継紙・1通	え4236-4
(書状、去々9日京都へ着、11日大坂に至り大手筋東屋九兵衛宅に逗留に付) 白沢政吉→八田喜兵衛様・八田芳三郎様申上	11月18日	横切継紙・1通	え4236-5
(書状、大坂着後の状況、八間という茶屋より佐久間様と別れ折屋町九兵衛方へ参るに付) 政吉→八田喜兵衛様・八田芳三郎様	11月18日	横切継紙・1通	え4236-6
(書状、大坂にての金談状況、東雲堂懇意の荒物屋清八・紅屋伊兵衛へ和泉政金談一条話しのところ得と呑み込みの旨) 安達左久馬→八田喜兵衛様・八田芳治郎様	11月18日	横切継紙・1通	え4236-7
(書状、①出立の節拝借の路用も不足となり、②先達で鳴の池に参る節着類に困り梟と同じく夜分に出かけ、③当月下旬にはその地へ参る旨) 左久馬→喜兵衛様・芳治郎様	2月11日	横切継紙・1通	え4236-8
心得書之事(証文振りのこと、利分のこと、金高のこと、返済のことなど全5条下書)		横切紙・1通	え4236-9
以書取御内々申上候(大坂大手前菓子屋東雲堂への金談につき治左衛門ならびに私登坂のため御役人中御書状を願うなどの旨) 紺屋町政吉→水井忠蔵様・八田喜兵衛様	巳10月	横切継紙・1通	え4236-10
(書状、紺屋町政吉より大坂東雲堂九兵衛への御借入金の際につき万端御含み御内慮御向うに付) 喜兵衛様→(水井)忠蔵様	10月14日	横切継紙・1通	え4236-11

6.17. 京都での取引

奉願口上覚(両替町二条上ル町河井十右衛門貸金訴訟にて御合力と思し召され御憐愍の儀を願う旨) *(端裏書)「在所表役人共より到来書面之写」 飛井宰相殿内大蔵帯刀→真田伊豆守様御留守居中	5月	横切継紙/(え4390-1~24は紙縫一括)/(虫損)・1通	え4390-1
--	----	--------------------------------	---------

6.18. 横浜での取引

横浜表相場(横浜弁天通3丁目売込問屋佐原屋傳之助よりの咄にて牡丹皮・松代生糸・上白真綿など)	12月20日	横切継紙/(え4385-1~18は紙縫一括)・1通	え4385-13
--	--------	---------------------------	----------

6.19. 江戸での取引

(江府会所残り物斜子縞・白絹・花色絹・絹縞・紬縞・白斜子など御在所会所へ荷出しに付) * (端裏書)「産物荷出之儀伺 江府産物会所懸」 江府産物会所懸	3月7日	横切紙/(え4379-1~26は紙縫一括)・1通	え4379-22
(これまで幸蔵買入れ候店の覚、江戸久松町伊勢屋清兵衛ほか15店書付) * (端裏書)「仙石組幸蔵取引場之書付」		横切継紙/(え4380-1~20は紙縫一括)・1通	え4380-18
(江府産物会所取扱の儀信州屋文右衛門引き受け、商売向多分の損耗となり江戸遣の荷品無きに付) 産物会所懸	4月	折紙/(え4395-1~31は紙縫一括)/(下げ札あり)・1通	え4395-5
(書状、産物代金御受取書落手に付) 重之助→喜兵衛様・(八田)嘉助様	6月21日	横切紙/(え4420-1~46は紙縫一括)・1通	え4420-20
(書状、金936両余、産物代江府への為替証文昨日までに相廻し度旨) 友作・重之助→喜兵衛様・(八田)嘉助様	6月20日	横切紙・1通	え4420-21

6.20. 入用

6.20.1. 会所普請・作事入用

覚(人足37人74匁ほか御普請御入用差引金4両1分2朱上納書) 荒神町傳兵衛→御産物方御会所	嘉永5丑年6月10日	横切継紙/(え4432-1~31は紙縫一括)・1通	え4432-4
覚(金7両2分、11月かま焚上納勘定書) 荒神町傳兵衛→御産物方御会所	弘化3年午11月24日	横切継紙・1通	え4432-7
(竈場絵図、三之丞拝借地願い)		32.0×25.5・1鋪	え4432-8
覚(金3分、かまとふき半普請入料ほか勘定書) ひくまや傳兵衛→寫田大蔵様	酉7月14日	横切継紙・1通	え4432-10
覚(さん直し114枚代銀14匁、なわ1束代164文ほか普請代銀33匁余勘定書) 東寺尾村安吉→傳兵衛様		横切継紙・1通	え4432-11
覚(瓦2坪14匁・葺手間2人7匁5分ほか普請料受け取り) 瓦師安吉→ひくまや傳兵衛	丑6月	横切継紙・1通	え4432-12

6.21. 会所運営・賄い領収書

6.21.1. 諸品

(書状、日名村御印紙40両口新潟取引の方へ廻す旨) 良右衛門→伊勢町様	申3月9日	横切継紙/(え4387-1~33は紙縫一括)・1通	え4387-26
口上(越後屋米運賃請取書この者へ御下げ願いに付) 良右衛門	3月10日	横切紙・1通	え4387-30

覚(金40両奉書紙代残金日名村牛越佐市へ渡すべく受け取り) 富岡良右衛門→八田慎蔵殿	壬申3月13日	横切継紙・1通	え4387-33
--	---------	---------	----------

6.21.2. 役人任免・俸禄

(松木源八本知150石内75石の取廻111俵余のうち11俵余野本力太郎方へ御渡し成されにつき) 草間一路(御用無印)・市場源七郎(印)	巳12月	横切継紙/(え4374-1~35は紙縫一括)・1通	え4374-11
---	------	---------------------------	----------

6.21.3. 賄い領収書

(袋) * (袋上書)「諸買もの売上小走江渡方書附入」	天保3辰年	袋/(え4211-1~21は一綴)・1点	え4211-1
覚(メ3両44文金銭書上) えとや金作	12月21日	横切紙・1通	え4211-5
覚(さけ2両32文他メ2両80文領収書)	3月20日	切紙・1通	え4211-6
(さけ150文他金銭書上)	1月28日	横切紙・1通	え4211-7
(米2升代金171文他金銭書上)		折紙・1通	え4211-8
覚(寅5月29日糸802匁代金4両他メ金66両2分金銭書付)		横切継紙・1通	え4211-9
(21日723文他メ1貫756文金銭書上)		折紙・1通	え4211-10
(上白米1升5合の代126文他メ302文)	12月6日	横切紙・1通	え4211-11
覚(銭100文に付中白米1升1合より1升1合5勺まで) 東木町幸之助→御会所	辰12月	横切紙/(え4211-12と13は紙縫一括)・1通	え4211-12
覚(銭100文に付中白米1升1合より1升1合5勺まで) 万屋藤蔵→御会所	辰12月	横切紙・1通	え4211-13
(46日間の中白米1斗1合2勺の代銭919文他メ銭1貫177文)		横切紙/(綴じ穴あり)・1通	え4211-14
(産物会所玄米直段関係一括)		綴/(え4212-1~4は一綴)・1綴	え4212
(玄米39俵の代金12両1分5匁3分4厘)	辰12月25日	横切紙・1通	え4212-1
覚(金10両に付真粳34俵他御町相払いに付) 中町升屋善兵衛(印)→産物御会所	辰12月	横切紙・1通	え4212-2
覚(真玄米金1両に付8斗8升直段他) 東木町幸之助→御会所	12月	横切紙・1通	え4212-3
覚(真玄米金1両に付8斗7升他) 紺屋町吉郎右衛門→御会所	辰12月	横切継紙・1通	え4212-4

6.22. 川船会所

議定書之事(御免通船2艘、西寺尾村河岸場通船会所譲渡し、御免札等引渡しにつき議定証文下書) 八田嘉助役代傳兵衛・立入人嶋田大蔵→金児忠兵衛様御内池田慎之丞様	嘉永4亥年正月	縦紙/(え4385-1~18は紙縫一括)/(え4385-5-1~2は巻込一括)・1通	え4385-5-1
--	---------	--	-----------

議定書之事(御免通船2艘、西寺尾村河岸場通船会所譲渡証文下書) いせ町傳兵衛・立入人嶋田大蔵→金児忠兵衛様御内池田慎之丞様	嘉永4戊(マ)年正月	切紙・1通	え4385-5-2
---	------------	-------	-----------

6.23. 役人任免

(八田慎蔵産物会所懸相勤るに及ばず) * (端裏貼紙)「文久元辛酉年二月廿三日 御勝手方赤沢助之進殿御宅ニ而被仰渡候」→八田慎蔵	文久元辛酉年2月23日	横切紙/(え4379-1~26は紙縫一括)・1通	え4379-21
--	-------------	--------------------------	----------

6.24. 用状

(書状、御産物御懸御役義仰せ付けられるにつき御祝詞) * (包紙上書)「菊屋傳兵衛様 炭屋彦五郎」 炭屋彦五郎(花押「知彰」)→菊屋傳兵衛様	11月朔(日)(虫損)	折紙/(え4378-1~6は紙縫一括)/(虫損)・1通	え4378-1
(書状、御町御役代菊屋傳兵衛御産物御懸御役義仰せ付けられ奉賀、御手代栄八出坂の拙御国織斜子2疋小布施薬2袋恵贈につき礼) * (包紙上書)「八田嘉助様貴報 炭屋彦五郎」 炭屋彦五郎(花押「知彰」)→八田嘉助様	11月朔日	折紙/(虫損)・1通	え4378-2
(包紙) * (包紙上書)「信州松代御城下菊屋傳兵衛様要用書 今井覚智」/(包紙裏書)「正月十六日出 徒江戸」/(包紙裏朱書)「戊正月廿□□(虫損)到来」	(安政2年)	包紙/(え4378-3-1~3は包紙一括)/(虫損)・1点	え4378-3-1
(書状、年始御祝詞) 今井覚智→菊屋傳兵衛様	(安政2年)正月5日	折紙/(虫損)・1通	え4378-3-2
(書状、佐久間修理出府すれどもお目通りなく、此方御産物の儀、上坂のうえ又々承り申すべきにつき) 今井覚智→菊屋傳兵衛様	(安政2年)正月16日	横切紙/(虫損)・1通	え4378-3-3
(書状、富永様より2朱廻す旨あり、御手許にあれば御廻し願うに付) 斎助→(八田)慎蔵様尊下	2月8日	横切紙/(え4387-1~33は紙縫一括)・1通	え4387-5
(書状、当局に無いため御状箱を拝借願う旨) 斎助→(八田)慎蔵様尊下	2月8日	横切紙・1通	え4387-8
(書状、別封来たり如何にあるべき哉御勘弁仰せを蒙りたく願うに付) 斎助・鉄蔵→(八田)慎蔵様	29日	横切紙・1通	え4387-9
(書状、御出頭は少々御見合わせを願うに付) 善右衛門→(八田)慎蔵様	2月4日	横切紙・1通	え4387-11
(書状、買継方上納金御免にて別帳御出方ほか都合136両余御廻し願う旨) 喜兵衛→(八田)嘉助様帳面入	7月13日	横切紙/(え4389-1~50は紙縫一括)・1通	え4389-44
(書状、御産物一条につき上田両家安心いたす様早々御取極めを願う旨) 小西彦七(印)・鍵屋彦右衛門(印)→菊屋傳兵衛様・同栄八様尊下	正月27日	横切紙/(え4391-1~20は巻込一括)・1通	え4391-3
(包紙) * (包紙上書)「御用印書入 八田喜兵衛様・堀内與一右衛門様 松沢文右衛門」		包紙/(え4393-1~22は紙縫一括)/(え4393-1-1~3は包紙一括)・1点	え4393-1-1
(書状、反物代金のうち36両余別紙兩人へ御渡し願う旨) 文右衛門→御会所御掛様	7月7日	横切紙・1通	え4393-1-2
覚(金36両余の内訳清十10両余、惣兵衛25両余勘定書)	7月	横切紙・1通	え4393-1-3

(書状、昨夜より不快にて万一罷出ずには宜しく願う旨) (八田)慎蔵→嘉十郎様	7月12日	横切紙・1通	え4393-7
(書状、唐糸一条約束の期月につきこの度もやはり宥談になるやも計り難くに付) * (封筒表書)「松本嘉十郎様 高井三九郎」 高井三九郎→松本嘉十郎様貴下	9月	横切継紙・1通	え4393-12
(書状、当年は以外の暑気にて御地は如何に候哉) 孝三郎→(八田)喜兵衛様・(八田)嘉助様・(堀内)与一右衛門様	6月11日	横切継紙/(え4395-1~31は紙縫一括)/(え4395-4-1~3は紙縫一括)・1通	え4395-4-1
(書状、浄福寺へ取替金20両産物為替証文1通落手に付) 孝三郎→(八田)嘉助様	7月5日	横切継紙・1通	え4395-4-2
(書状、白玉粉頂戴有り難く御礼に付) 孝三郎→(八田)嘉助様	7月3日	横切継紙・1通	え4395-4-3
(書状、甘草につき貴家様分虫入り下直にても余程上直に相成り御承引に付) * (端裏書)「□」に喜」 八苧屋弥介→菊屋傳兵衛様	正月21日	横切継紙・1通	え4395-13
(書状、御地御城下堀内勝之進殿継目御上京につき御指登り金槌かに御渡しに付) 下村店卯兵衛→松本嘉十郎様		横切継紙/(虫損)・1通	え4395-14
(書状、甘草は迎も間に合い兼ね委細承知の旨) 忠蔵→喜兵衛様奉復	5月27日	横切紙/(え4395-18-1~2は巻込一括)/(虫損)・1通	え4395-18-1
(書状、甘草の儀来月10日頃には間に合い兼ね、めんた嶋1箇10匁位の品に付) 山田為富→水井忠蔵様御受	5月27日	横切紙/(虫損)・1通	え4395-18-2
(書状、御国産取締一件につき名代栄八出張により申談の旨) 炭屋孫七→水(水井)忠蔵様・松(松本)嘉十郎様	2月16日	横切継紙/(虫損)・1通	え4399
(書状、買継人拝借代金取立元帳御廻し願ひ) 喜兵衛→(八田)嘉助様	11月11日	横切継紙/(え4420-1~46は紙縫一括)・1通	え4420-5
(書状、今晚取り計らい方につき御出張願う) 会所→(八田)嘉助様	12月3日	横切継紙/(え4420-17-1~2は巻込一括)・1通	え4420-17-1
(書状、大丸手代喜七儀御聞き済みにおよび都合次第御取り計らい方に付) 松本源八→八田辰三郎殿	12月12日	横切継紙・1通	え4420-17-2
(書状、御会所より迎えがあり伺えず下屋敷へも御通聲願う、為替証文に金24両添え御印形のうえ御廻し願う) 喜兵衛→(八田)嘉助様	8月7日	横切継紙・1通	え4420-18
(書状、菊屋傳兵衛へ信濃屋佐兵衛よりの産物代送り金100両為替上納御納戸へ差し出しに付) 江府懸り→御在所御懸り様	2月朔日	横切継紙・1通	え4420-24
(書状、年賦割合金早速御調達願う旨)	11月25日	横切継紙・1通	え4420-39
(書状、水井忠蔵様・松本嘉十郎様御伺国の御尊君様種々国益の儀厚く取扱に付)		横切継紙/(え4426-1~35は紙縫一括)・1通	え4426-12
(書状、この上領内難渋にもならず往々御国勢弱々にもならず一統便利宜しく歎喜仕る慮りに付荒々申上げる旨)		横切継紙・1通	え4426-29

6.産物会所/24.用状

(書状、大いに頂戴、佐久間公に上がり、そこへ横田公嫡子参られるに付) 嘉十郎→(八田)慎蔵様申上	1月29日	横切継紙/(え4433-1~10は紙縫一括)/(え4433-4-1~2は巻き込み一括)・1通	え4433-4-1
(書状、中町にて今日他職も交わりの事承りに付) 嘉十郎→いせ町様極密紙申上	1月29日	横切継紙・1通	え4433-4-2
(書状、菊屋よりの毛綱御上にて御入用もあるべく哉の旨) * (端裏書)「孫七へ文通 嘉十郎」 松本嘉十郎→炭屋孫七様	10月28日	横切継紙・1通	え4433-5
(書状、孫七へ申達しは別紙の通りに付) 嘉十郎→伊勢町様孫七へ之書状添	10月28日	横切継紙・1通	え4433-6
(書状、渡世人7両2分上納方会所より申渡すも1両のみ冥加上納と伝兵衛仰せ渡すに付) (八田)喜兵衛→(八田)嘉助様	22日	横切継紙/(え4437-1~24は紙縫一括)・1通	え4437-4
(書状、下宇木村木綿行用の儀、三輪村差出し候書面御廻しの上差図に付) (八田)喜兵衛→(八田)嘉助様	3日	横切継紙・1通	え4437-5
(書状、八十八夜的一条は渡世人へ差し遣わし申すべくに付) キヨノ拝→柴町様御差上	7月18日	横切継紙・1通	え4437-6
(書状、荒神町一件別紙の通り御聞き済みにて相談仰せ渡されに付) (八田)喜兵衛→(八田)嘉助様	27日	横切紙・1通	え4437-7
(書状、御勝手御用役見習い並びに産物会所掛惣元方兼ね仰せ付けられ有難しほか西木町了道一件書面の通り何分御勘容下されたきに付) * (勘返状) (八田)嘉助→中島様書面之適添	3月28日	横切紙・1通	え4437-8
(書状、三輪村宇兵衛帰村の由町宿より申聞きお宅へも伺い候や御内々に伺うに付) * (勘返状) (八田)嘉助→馬町様御書入奉願上候	9月10日	横切紙・1通	え4437-9
(書状、別紙周兵衛・佐兵衛・新兵衛柴丁へ廻すも差支え不穩にて柴丁は勿論清野にても同意に付) (八田)喜兵衛→(八田)嘉助様	7月4日	横切継紙・1通	え4437-10
(書状、産物一条につき) 忠蔵→(八田)嘉助様奉復	3月11日	横切継紙/(え4438-1~30は紙縫一括)・1通	え4438-12
(書状、先頃中は有り難き仕合わせ、御内々願ひ上げの儀に付) 八田嘉助→松本嘉十郎様	12月15日	横切継紙/(え4441-1~39は紙縫一括)/(虫損)・1通	え4441-30

6.25. その他

乍恐以書付奉歎願候(御産物問屋株伊勢町様に持ち込みに付) 清十→寺町旦那様	天保10亥年2月	横長半/(え4374-1~35は紙縫一括)・1冊	え4374-3
(盆前上がり高179両程)		切紙/(え4375-1~17は紙縫一括)・1通	え4375-4
御内用御入料金御金遣調(金400両御納戸遣午年12月中御金遣ほか取調辻) * (端裏書)「御内密御内用金御金遣調申上」	4月	横切継紙/(え4375-10-1~3は一括)/(虫損甚大)・1通	え4375-10-1

(御領産の糸機に転じ他国へ差出し当所の利益を得るに付)		横切継紙/(下げ札あり)・1通	え4375-10-3
以書付見込奉申上候(御産物大売買ばかりにては手透きになり、是より現金正札付呉服太物小売り始めたく見込み申上げる旨) 清十→上	子5月	横切継紙・1通	え4375-14
(16匁紅葉麻2丈、10匁5分紺緑麻1反に付) * (断簡)		小切紙/(え4383-1~49は紙縫一括)・1通	え4383-19
差上申一札之事(御差札10枚の入札) 紺屋町判物師弥作→産物方御役所	安政2卯年7月16日	横切継紙/(え4393-1~22は紙縫一括)・1通	え4393-3
(布施高田村芝沢村安兵衛・徳五郎ノ30俵、原村専五郎22俵書付)		横切紙・1通	え4393-5
口上手扣(押切村仲右衛門へ90貫目売り渡し、1駄品物渡し、右品買い戻し65貫目にて先日書上より相増しに付) 卯兵衛		横切継紙・1通	え4393-6
真綿三貫九十五匁 拾把 未九月廿三日菊蔵より御買上 代金七両三分貳朱四百拾三文		木札・1点	え4394
(亀屋清吉金80両今日明日に下金願う) * (前欠) (八田)喜兵衛・嘉助→御金掛様		横切継紙/(え4420-1~46は紙縫一括)・1通	え4420-27
手紙差出候人別(四ッ屋吉田分藤右衛門・荒神町傳兵衛ほか13名御取り計らいのこと)	11月23日	横切継紙・1通	え4420-38

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

7. 松代商法社

①(白米48石3斗代金568両余、味噌薪代金177両余去午11月騒擾事件賄炊き出し代金御下げ願ひ)、②乍恐以書付奉願上候(白米9石8斗豊田傳兵衛・岸田佐助ほか5名今般騒擾につき炊き出し書付) ①豊田傳兵衛・岸田佐助・渡辺惣兵衛・須田弥吉・南澤新左衛門・小島茂七郎・瀧澤惣八郎→民事御役所、②伊勢町瀧澤惣八郎→計政方給禄御懸り御役所	②明治3午年12月	横切継紙/(え4387-1~33は紙縫一括)・1通	え4387-15
長野縣官員(左局幹事斎藤大属ほか、右局幹事杉野大属ほか、中局、御影出張所詰、追分貫目改、東京詰書付)		横切継紙・1通	え4387-18
覚(午9月22日生糸代金421両うち金400両御下げ金残り金21両余書付) 菊屋傳兵衛→商法方御役所	未12月	横切継紙・1通	え4387-32
(書状、志垣村広太への三橋の書状当地商社一条ほか申談たき儀ありに付) * (端裏書)「四月十四日付同廿四日夕相達」 良右衛門→御三人様	4月14日	横切継紙/(え4388-1~20は紙縫一括)・1通	え4388-8
(書状、妙見・六右衛門・萬藏などの一件早速御取計い下され有難き旨ほか) 良右衛門→(八田)慎蔵様	4月8日	横切継紙/(え4389-1~50は紙縫一括)・1通	え4389-40

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

8. 会所・商社来状一括

(諸色請取その他一括)		綴/(え4223-1～9は一綴)・1綴	え4223
(袋) * (袋上書)「諸色請取通帳其外半紙書類入」		袋・1点	え4223-1
(書状、昨日約速の通りこの者へ生縮緒3貫疋借用させ たきに付) 十郎右衛門→(八田)嘉右衛門様	3月2日	横切継紙・1通	え4223-2
(書状、蚕倉の儀御直談されたきに付) 善左衛門→(八 田)嘉右衛門様	12月7日	横切継紙・1通	え4223-3
(書状、八丁封金子の儀証文下されたきに付) (長谷 川)善兵衛→(八田)嘉右衛門様		横切継紙・1通	え4223-4
覚(金3分6朱77分3厘他通帳請取証) 長谷川善兵衛(印) →八田嘉右衛門様		横切継紙・1通	え4223-5
覚(金220両7匁5分請取書) 長谷川善兵衛(印)→八田嘉 右衛門様	文化3年寅11月27日	横切紙・1通	え4223-6
覚(新町村彦左衛門銀4匁5分他ノ金3両13朱5分金銭書 上) 坂本彦左衛門	戌2月	横切継紙・1通	え4223-7
覚(金22両1分9朱の差引残金17両) 長谷川善兵衛(印)	文政3年12月22日	横切継紙・1通	え4223-8
(利足金30両受取書) 九郎右衛門・富治	3月25日	横切継紙・1通	え4223-9

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

9. 松木家

9.1. 書簡

(書状、鉄次郎様御帰りにつき) はるより→おてふどの	13日	横切継紙/(虫損)・1通	え4246
(書状、ご存じの通り半乱の体にて中々一寸には参らず仰せの通り気長より外致し方なきに付) いく→御兄上様申上	10月16日	横切紙・1通	え4247
(書状、松山丁も留守のこと致し方もなく、毎度恐れ入り候得共御出で下される様何分にも御願いに付) *(封筒上書)「松木御兄上様人々御もとへ いう幾より」 いく→御兄上様人々申上	1月21日	折紙・1通	え4248
(書状、紋付き帷子の尻のところが大綻びにつき馬場氏へ願ひ候ところ尻を鼠に食べられそのまま返し遣わしご勘弁申し上げるに付) 源十郎→御父上様・御母上様	11月6日	横切紙/(虫損)・1通	え4249
(書状、①夫・老婆へ煙草、亭主へ玉子20籠入、娘・女房へおしろいなどを歳暮として送るにつきほか年始の挨拶、②幕長戦争従軍のお手当拝借不平等のため不承知の者あるの風聞など大坂情勢、③中井(懷徳堂)へ入門) (松木)源八→御父上様	(元治)正月元旦	横切継紙/(虫損甚大)・1通	え4250
(書状、愚姉を御藩八田慎蔵様御舎弟鉄次郎様へ配偶させられたきこと承諾に付) 竹内庄左衛門→松木源八様御取次中	11月15日	横切継紙・1通	え4251
(書状、私事少々不快のところ御尋ね下され、また珍しき御品いただき有難くどなた様へもよろしく御礼に付) *(封筒上書)「松木御兄上様申上 伊とう幾より」 幾より	11月14日	折紙・1通	え4252
(書状、御用の隙間に一日も早くおいで下さるよう御願ひ、松山丁へは別段文も差上げ申さずに付) *(封筒上書)「松木御兄上様人々申参人 いう幾より」 幾より→御兄上様人々申参人	3月5日	横切継紙・1通	え4253
(書状、源太郎も決まりなく如何に致し宜しくやと存じに付) *(封筒上書)「まつき御兄上人々申上参人 いういく」 幾より→まつき御兄上様申上	4月15日	横切継紙・1通	え4254
(封筒) *(封筒上書)「松木御兄上様人々申上参人 伊とう幾より」		封筒/(え4255-1~3は封筒一括)・1点	え4255-1
(書状、この度は栄太郎様お出でござれうれしく、急にお出での事お案事のほど如何の様子に付) 幾より→御兄上様人々御もとへ	4月18日	横切継紙・1通	え4255-2
(書状、無理にも御留め申さず御帰し申上げまことに御かまい申さずよろしく御願ひ申上げるに付) 幾より→お長様申上	4月18日	横切紙・1通	え4255-3
(書状、いよいよ18日ときわ祭りにて遠方また御用多きところまことに恐れ入り候得共御出でくださる様に付) *(封筒上書)「松木御兄上様申上 い藤いく」 幾より→御兄上様申上	9月16日	横切紙・1通	え4256

(封筒) * (封筒上書)「松木御兄上様申上 伊藤よりいく」		封筒/(え4257-1~3は封筒一括)・1点	え4257-1
(書状、病人ももはや1月になり次第に病氣も強くなり夜も帰り申さず致し方なきに付) 幾より→御兄上様申上	4月1日	横切紙・1通	え4257-2
(書状、なかなかよろしき方にも相成り申さず最早わたくしだけにいたし度、それにつき御話したく御事に付) 幾より→お長様申上	4月1日	横切紙・1通	え4257-3
(書状、着物・麻襦半・蚊帳・味噌漬け有難く、金子お送り下され有難きに付ほか) * (端裏書)「御母上様」源十郎→御母上様申上	3月29日	横切継紙・1通	え4258
(書状、昨18日御先荷出しに付荷物に葛籠を差出しに付ほか) 源十郎→御父上様申上	6月17日認	横切継紙・1通	え4259
(書状、大殿様昨夜5半頃御村へ入らせ御痰つめかけ甚だ難渋のところ、翌日病状回復に付) 源十郎→御父上様申上	2日	横切継紙/(虫損甚大)・1通	え4260
(書状、金子逼迫困り入り少しも早く御送り成し下されたきに付ほか) 源十郎→御父上様申上	3月21日	横切継紙・1通	え4261
(書状、御叔父様へ御送り金の儀此の程も申上げ早々遣わずに付ほか) 源十郎→御父上様申上	4月12日	横切継紙/(虫損)・1通	え4262
(書状、銀子甚だ心配の書状を受け取ったため、湯島横町御叔父様・世話人大和屋卯三郎方へ一寸立寄りにつきほか) * (端裏書)「御父上様」源十郎→御父上様申上	閏2月27日	横切継紙/(虫損)・1通	え4263
(書状、湯島の御叔父へ3両3分2朱御渡し申す所殊の外大悦びにつきほか) 源十郎→御父上様申上	3月2日	横切継紙・1通	え4264
(封筒) * (封筒表書)「信州松代竹山町松木董宣様要用乞親展」/(封筒裏書)「東京向佐久間町江崎次郎」		封筒・1点	え4265
(書状、殊に今年の盆は難渋の儀にて御父上様よりも金3円の大金御都合下され御送り下されたこと有難きに付礼状) * (端裏書)「松代御母上様申上東京董隆拝」董隆拝→御母上様御許	8月15日	罫紙・1通	え4266
(書状、名も替わり猶さら心配いたし候ところ誠に楽に相済み安心致すに付) * (封筒上書)「松木御兄上様申上 伊藤幾」幾より→御兄上様申上	9月16日	横切継紙・1通	え4267
(書状、明夜は篠原良主殿へ同氏嫡子玄理の禪月にて呼ばれ居り、篠原氏も万寿毎度丁寧にいたすに付ほか) 源十郎→御父上様申上	4月25日	横切継紙/(虫損)・1通	え4268
(書状、①寺内氏9日夕出立のところ1日引き上げ明晩出立につき何かと大混雑に付、②扇子13本送り左の通り御配りのこと) 源十郎→御父上様	5月7日認	横切継紙・1通	え4269
(書状、一昨日、三村氏などと船橋大神宮参詣につき天気快晴にて大仕合、長屋を7ツ時に出で両国橋にて夜明け渡りに付) 源十郎→御父上様申上	4月18日	横切継紙・1通	え4270
(書状、①今朝御老中様御連名の御達し書のこと、②相陣長谷川着のこと、③御叔父様へ相窺いたきのこと、④先日諸御役替えの節常田氏へ御恩賞高15石のこと) 源十郎→御父上様申上	5月6日	横切継紙・1通	え4271

(書状、大殿様御不快にて、先日日黒へ参り川垢離仕り護摩を焼き、谷中の吉祥院にて観喜天の護摩を焼かせるに付) * (端裏書)「五月廿九日付」 源十郎→御父上様申上	29日夕刻	横切継紙・1通	え4273
(書状、別紙の通り山寺氏申し呉れられ不十分の取り計らいには候得共私においては然るべく哉と申しに付)		横切紙・1通	え4274
(書状、①柔道稽古格別出精のこと、②上野の花盛りにて広小路の往来も出来兼ねる程の人のこと、③御母上様上田表より御帰りのことなどに付) * (端裏書)「御父上様」 源十郎→御父上様申上	閏2月29日	横切紙・1通	え4275
(書状、①6日出立にて田中彦一御地へ、深川伊豫橋辺旗本水上御膳火元にて出火のこと、②何ぶん御叔父様へ金子年重なりにも御送りのこと、③師岡も追々出府のこと、④元結い油近便送りにつき字の丸か下村かよろしき方のこと) * (端裏書)「御父上様」 源十郎→御父上様申上	4月4日	横切継紙・1通	え4276
(書状、①小宮山又七入門のこと、②御叔父様一条御同人様よりは一切金子の沙汰無きこと、③昨日越中守様御出でなされ幸い当番にて御膳のこと、④今日は橋場三宅土佐守様へ参勤のこと、⑤昼後より御瓢箪御用につき浅草黒船丁まで参り御注文の瓢箪穿鑿のこと、⑥元結い油少々差上げることなどに付) * (端裏書)「御父上様 源十郎」 源十郎→御父上様申上	閏2月6日	横切継紙・1通	え4277
(書状、磯田赤沢両氏出立につき元結い油差上げ、この度はしもむらにて差上げ、字の丸とどちらが宜しいか御使い較べのこと、今朝御急ぎの写し物仰せ付けられ7人にて11冊20日までに写すにつき寝る間もなきこと) 源十郎→御父上様申上	3月4日認	横切継紙・1通	え4278
(書状、先日御叔父様の義につき御手簡下された趣申談の旨) 源十郎→御父上様・御母上様申上	閏2月1日	横切継紙・1通	え4279
(書状、①先月21日かた岡様その御地へ出立につき手紙認めたところ御立ちが延びその後一向御便りもなく、②栄太郎のこと御案じなきように付)	9月10日	横切継紙・1通	え4280
(書状、翌3日朝老母早朝罷り越し恩田様の御手札その外書類など表に落とし物、一見しわたくしの書類その外印形まで捨ててあるに付) 源八→御父上様申上	正月12日船開認置	横切継紙・1通	え4281
(書状、御両親様共御不快にてさぞ御心配の御事と御案事申上げるに付) * (封筒上書)「松本御兄上様人々御返事申上 伊藤いく」 いく→御兄上様人々御返事	神無月22日	横切継紙・1通	え4282
(書状、栄太郎方より便りあり、またまた金子入用の由、この手紙御覧の上宜しきよう御頼み申したくに付) * (封筒上書)「董正様御元へ 松城宅より」	6月3日	横切継紙・1通	え4283
(書状、栄太郎方より手紙遣わし、又々金子入り様の由に付)	5月25日	横切継紙・1通	え4284
(関山 師岡重造)		小切紙・1通	え4285
(書状、地京原村太十へも無尽少々頼み) 栄太郎→御父上様御元へ	12月24日	横切継紙・1通	え4286
(書状、在京同郷親睦会の景況につき外より返却のため直様御目にかかるに付) 董四郎→流岡老先生席皮下	8月12日	横切継紙・1通	え4287

(書状、魚にても差し上げ度も珍しき品も無く私より宜しくに付)		横切継紙・1通	え4288
(書状、伊勢町証人の場にて金35円借り受け、差上げるにつき御入手くだされるに付) 彦次郎→董定様金員添	8月18日	横切継紙・1通	え4289
(書状、株券抵当にて30円御借入の義いよいよ御借入取り計らいに付) 彦次郎→董正様	8月17日	横切継紙・1通	え4290
(封筒) * (封筒上書)「松代竹山町 松木董宣兄机下」/(封筒裏書)「第八月十一日 東京神田末廣丁拾八番地 星野秀太郎」		封筒・1点	え4291
(書状、例の算術鰯訳出来、真の草稿にて1回の校正もなさざるものにて、御父上様へ然るべく左の趣願い上げるに付) * (封筒上書)「松代御兄上様足下 東京董隆拝」 董隆尊拝→御兄上様御許	8月8日	横切継紙・1通	え4292
①(書状、当所本月限り廃止につき通知)、②(廃校につき御面談の日時には御参会の通知) * (封筒上書)「長野県下信州埴科郡松代町千三百六十一番地松木董宣殿 東京木挽町十丁目[朱印]「商法講習所」」 ①商法講習所→松木董宣殿、②矢野次郎	①②7月30日	横切紙・1通	え4293
(書状、兼ねて申し上げ候金員一条、既に2回の期限も切れ、何卒御都合くだされ至急御調達下されたきに付)		横切紙・1通	え4294
(書状、35円の義承知いたし、御父上様御印形書無くば御廻し下され度は非一兩日も早く御借入に付) 彦次郎→董宣様	8月11日	横切紙・1通	え4295
(書状、商法講習所一件、9月5日開校に付) 與一→董宣様	8月22日	横切継紙・1通	え4296
(書状、中島の方も早速埒明けかね、一時には30位は手元にて出来申すべくよろしく御相談の旨) 知道→董宣様至急	12日	横切継紙・1通	え4297
(書状、先達て東京支店にて取組の期日明30日になりこの段申上げるに付) * (封筒上書)「董宣様内用 知道」	7月29日	横切紙・1通	え4298
(書状、貯積銀行考課状御認くだされ候哉、御済み無くば御出来丈御下附願う旨) 元賢→董宣様	8月9日	横切継紙・1通	え4300
(書状、先月は逗留いたし御世話様にて、なおまた品々土産下され有難く御礼申し上げる旨) * (封筒上書)「松木御兄上様申上参人 いとう幾」 幾→御兄上様	10月26日	横切紙・1通	え4301
(はがき、親睦会去31日無事終了し、一同喜歴の旨) 東京本郷竜岡町21番地宮木仲拝→長埜県下信州松代竹山町西側松木董正様・同董宣様	8月2日	はがき・1枚	え4302
(はがき、1月より6月1日までの新聞代金など金1円68銭御送付のこと) (朱印「東京京橋区元数寄屋町二丁目十番地東京横浜毎日新聞社」)→信州松代町1261番地松木董宣様	明治14年8月12日	はがき・1枚	え4303-1
(はがき、御書御送り下され有難く拝受の旨) 松代竹山町松木董宣→更級郡八幡村西澤重蔵様方西澤時三郎君	8月24日	はがき・1枚	え4303-2
(はがき、来る9日は晴雨にかかわらず御出事ありたく待ち上げる旨) 八幡西澤時三郎→松代竹山町松木董宣様	8月6日	はがき・1枚	え4304

9.松木家/1.書簡

(はがき、御両様より御書面正に相達し拝見仕る旨) 東京中橋北横町18番地松山方松木董隆→信州松代町松木董宣様	8月5日後2時	はがき・1枚	え4305
(書状、先般は半賊(叛賊)応接に付)		横切継紙/(虫損甚大)・1通	え4306
(書状、水井氏一条、先生の御場合にて水井氏へも承了に願うに付) * (封筒上書)「長野県管内埴科郡松代町竹山町ニテ松木董正様」/(封筒裏書)「長野県師範学校小林常四郎」 小林常男→松木先生侍史	12年2月8日	横切継紙・1通	え4307
借入金証書(金額墨消) 借主松木董正(印墨消)・証人八田彦次郎(印墨消)・同豊田傳兵衛(印墨消)→第六十三国立銀行頭取・支配人中(墨消)	明治13年2月23日	印刷物(活版)・1通	え4308
(はがき、上田伊藤様よりの御送金本日通運会社より拝受の旨) 東京々橋区北横町18番地松山慶次郎方松木董隆(朱印「松隆」)→長野県信州埴科郡松代町第1261番地松木董正様	明治13年5月20日	はがき・1枚	え4309
(はがき、羽田君送道中無事昨30日着、銀行にて公債大里様へ御渡しにつき御安意の旨) 東京々橋区北横町18番地松山慶次郎方松木董隆→信州埴科郡松代町1261番地松木董正様	8月31日	はがき・1枚	え4310
(はがき、一兩日は滞留にて長野まで御出張の旨) 長野県下埴科郡松代町松木董正様→花房屋寓来瀬和吉	2月18日	はがき・1枚	え4311
(はがき、貴社諸規則類など拝借願いたく御許容申上げるに付) 同県下北佐久郡小諸町山本清明→長野県下埴科郡松代ニテ松木董正様	明治13年第1月7日	はがき・1枚	え4312
(書状、明月より7月までの都合6ヶ月分の謝金御都合願う旨) 董宣拝→御父上様	1月18日認	横切継紙・1通	え4313
(書状、水井公借宅につき長野宿は仁王門脇の塚田と申す宿屋にての旨) 知道→董正様内用	7日	横切継紙・1通	え4314
(書状、稽古のこと、宅も手狭にても1人くらいは増しても稽古は出来に付) 知道→董正様	14日	横切継紙・1通	え4315
(書状、僕心得違いの次第、今日学校へ御出張ならば一寸尊来願う旨) 澹庵→竹山町様	28日	横切継紙・1通	え4316
(書状、松山丁へも願い置き、何分御勘弁なんとか納まり候様願いたくに付) * (封筒上書)「竹山様御内披澹庵」	18日	横切継紙・1通	え4317
(書状、水井氏につき本県師範学校宛て臨時一期試験志願願書など差出しの旨) * (封筒上書)「長野県管内埴科郡松代竹山町ニテ松木董正様」/(封筒裏書)「長野県師範学校小林常男」 小林常男→松木大先生侍史	12年2月4日	横切継紙・1通	え4318
(封筒) * (封筒上書)「長野県下松城松本源八様侍者御中」/(封筒裏書)「明治十二卯二月廿七日投函 山梨県下切石宿四十八番皆川依田正俊」		封筒・1点	え4319
(書状、①中江正直様御帰郷につき在京中種々御厄介の御礼、②師岡重道様御上京につき伊勢町様より50銭ほか書簡添えにて拝戴につき御礼、③松山町様・伊勢町様・小山田様・学校諸先醒方へ御鳳声のこと) * (封筒上書)「長野県下松代町松木董正様平信東京より」/(封筒裏書)「東京第一中学校寄宿生松木董宣」 董宣拝→御父上様	4月14日	横切継紙・1通	え4320

(書状、金10円御通送にて御査受下され、この度は伊勢町彦次郎様へは御願い申上げず方然るべくと御母上様よりも相談ありに付) 董隆拝→御父上様申上	5月17日認む	横切継紙・1通	え4321
(書状、主人来月上旬までに罷り出で候間この段左様思し召し下される様に付) * (封筒上書)「松代竹山丁松木董正様御報 上田町より」 喜助→御旦那樣	3月14日	横切継紙・1通	え4322
(書状、過日の献額頂戴願の義仰せの如く、今日午后より閑暇あり午後3時より御待ち申上げるに付) 伊三拝→待三年誕生	31日	横切紙・1通	え4323
(書状、年末寒気増しシャツ代など、例の忘年会の入り費ひとり1円ほどかかり願いたき旨) 董宣様→董隆様	8日	横切継紙・1通	え4324
(書状、おいく様御暮らし方1ヶ年70円の割にて右にて不足と申すにはある間敷き旨) * (封筒上書)「竹山丁様 松山丁」	9月8日	横切継紙/(下げ札あり)・1通	え4325
(書状、この度御伯父上様御一同御帰郷につき道中および当地止宿中の入用如何に相成り候哉に付) * (封筒上書)「信州松代松木董正様平信 東京より」/(封筒裏書)「東京本郷学舎内松木董宣」 董宣→御父上様	11月23日	横切紙(洋紙)・1通	え4326
(封筒) * (封筒上書)「松代松木董正様法事御便」/(封筒裏書)「十月十九日」		封筒・1点	え4327
(書状、兼ねて山寺先生御依託の時計を久保先生御帰郷の節御送り、高価の品にて定めて貴重なものと存じなど) * (封筒上書)「長野県信州松代松木董正様平信 東京より済」/(封筒裏書)「東京木挽町商法講習所松木董宣」 董宣拝→御父上様	11月9日	横切継紙・1通	え4328
(封筒) * (封筒上書)「長野県信州埴科郡松代竹山町松木董正様要用信 従 済」/(封筒裏書)「十一月三日発ス 東京々々橋北横町拾八番地松山慶次郎方松木董隆」		封筒(え4329-1~3は封筒一括)・1点	え4329-1
(書状、曙新聞仰せの通り拝承いたし6月より10銭ツ、高価になり、上田御叔母上様より仰せの絵入新聞代価正に拝受につきほか) 董隆拝→御父上様御許	11月2日夜認む	横切継紙・1通	え4329-2
別示(書状、先月末の試験出来よろしく、来春2月には中学卒業となるべく旨)		横切紙・1通	え4329-3
(封筒) * (封筒上書)「長野県信州埴科郡松代町第一二六番地松木董正様平信要用 済」/(封筒裏書)「東京々々橋区北横町拾六番地松山慶次郎方松木董隆」		封筒(え4330-1~3は封筒一括)・1点	え4330-1
(書状、金円の義彼是御心配下され、上田よりは未だ到着なく書面を持参にて南澤様より拝借仕る旨ほか) 董隆拝→御父上様御許	11月10日夜認む	横切継紙・1通	え4330-2
(はがき、新聞代金など金5円2銭不足分年内送付のこと) 銀座4丁目9番地朝陽社→信州松代町1261番地松木董隆様	2013/11/0118日	はがき・1枚	え4330-3
(封筒) * (封筒上書)「長野県下信州埴科郡松代竹山町松木董正様 平安信 従東京」/(封筒裏書)「京橋区北横町松山方松木董隆 十二月二日午後第九時」		封筒(え4331-1~3は封筒一括)・1点	え4331-1
(書状、①書物購求代金3円拝納に付、②新聞不足代金55銭拝受に付、③寺尾長命寺にての夜学開設御疲労の程推察に付ほか) 董隆拝→御父上様御許	12月1日	横切継紙・1通	え4331-2
記(董宣講商会忘年会費金75銭、同商法講習所生徒一同忘年会ほか、6円80銭書付)		横切紙・1通	え4331-3

(書状、①中学校も当時大学予備門にても漢学不十分の人は本科へ昇級許されずに付、②東京横浜毎日新聞の用紙は本日1日より紙幅余程大きくなるに付など) * (封筒上書)「長野県下信州埴科郡松代町第千二百六十一番地」/(封筒裏書)「京橋区北槇町十八番地松山慶次郎方松木董隆」 董隆拝→御父上様御許	12月3日	横切継紙・1通	え4332
(書状、董宣前かけの義小縞にて願いたく、当夏期師岡重脩様御帰郷の節縮緬帯地如何に相成る哉に付) 董宣拝→御父上様	12月14日	横切紙・1通	え4333
(書状、①過般御書簡拝戴の御返詞月末試験のため今日まで御無音に付、②本月分学費・書籍購求費および新聞代金拝納に付、③前掛け寸法に付) * (封筒上書)「長野県下信州松代松木董正様平信」/(封筒裏書)「東京木挽町拾丁目商法講習所松木董宣 十二月四日投函」 董宣→御父上様	12月14日	横切継紙・1通	え4334
(封筒) * (封筒上書)「長野県下信州埴科郡松代町千二百六十一番地松木董正様要用平信 従東京 済 (朱字)「量目貫目以上 不足積」」/(封筒裏書)「東京々橋区北槇町拾八番地松山慶次郎方松木董隆」		封筒(え4335-1~3は封筒一括)・1点	え4335-1
(書状、伊藤様よりの拝戴金到着仕らず甚だ困難の次第に付) 董隆拝→御父上様御許	10月23日午前第8時認む	横切継紙・1通	え4335-2
(書状、山岸先生へ御依頼の伊勢町御伯父上様御時謝の儀先生よりも御通報に付) 董隆再拝→御父上様	10月18日夜12時前認	縦紙・1通	え4335-3
(書状、商法講習所羽田氏の骨折にて入舎となり爾後書簡詰め所宛てに付) 董宣拝→御父上様	10月1日	横切継紙・1通	え4336
(書状、師岡重道子へ金具取替の趣にて1円50銭御手許より拝戴に付) 董隆拝→御父上様御許	9月28日	横切継紙・1通	え4337
覚(3円25銭5厘この者におつかわし下されたく願いに付) * (封筒上書)「松代竹山町松木董正様要用 長野清水」/(封筒裏書)「九月十四日」 清水拝→松代松木様	9月4日	横切紙・1通	え4338
(書状、その節の金子師岡重脩君をもって御返却になり入手仕るに付) * (封筒上書)「松木董正様平信 中澤彦吉」/(封筒裏書)「八月十二日」 中澤彦吉→松木董正様座右	8月12日	横切継紙・1通	え4339
(書状、この状御披見次第当地まで御来車願うに付) * (封筒上書)「松城松木董正様急信 上田伊藤九右衛門無事」/(封筒裏書)「五月七日 別紙電信報相寄」 伊藤九右衛門→松木様	5月7日	横切継紙・1通	え4340
(書状、今朝田町栄兵衛と申す者参りきんこうより金子借受に付) * (封筒上書)「松代竹山町松木董正様貴報 上田町より」/(封筒裏書)「第四月二十九日発ス 伊藤源十郎」 いく→松木御兄上様申上もとへ	4月29日	横切継紙・1通	え4341
(は、より→おかふとの・おきいとへの)	3月25日	横切継紙・1通	え4342
(書状、今日御出向の儀御迷惑の趣に付) * (封筒上書)「松木董正様御侍史 伊藤九右衛門」 伊藤九右衛門・伊藤甲造・伊藤林左衛門→松木董正様	5月9日夜	横切継紙・1通	え4343
(書状、皮文庫内の金円および紫縮緬の袱紗共紛失に付) * (封筒上書)「長野県下信州松代松木董正様方ニテ秋里董隆様平信 東京より」/(封筒裏書)「第八月三十一日発ス 東京京橋区北槇町十八番地松山慶次郎方師岡重道同居松木董宣」 董宣拝→董隆様	8月31日	縦紙・1通	え4344

(書状、いかなる存寄か実にはわかりかね4月参り候ままだかえりかねに付) * (封筒上書)「松木御兄上様参人申上 伊藤いく」 いく→御兄上様申上	6月12日	横切継紙・1通	え 4345
(書状、着早々御礼申し上げるところ新世帯彼は取り込み大延引になり御宥恕の旨) 汐左衛門→源八様	11月7日認	横切継紙/(虫損)・1通	え 4346
(書状、今日はわざわざ御使い下され、なおまた何よりの御品戴き山々ありがたに付) * (封筒上書)「松木お長様参人申上 幾」	10月16日	横切継紙・1通	え 4347
(書状、御兄上様御寒さの時分御出くだされ、その御礼も申上げず日々の事のみごたごたいたし真っ平御免に付 いく→御長様申上	12月24日	折紙・1通	え 4348
(書状、当年は殊の外御暑さ強くその上雨も御座なく方々にて雨乞いいいたし候得共中々降らず野菜類など不自由に付) いくより→松木お長様人々御もとへ	8月28日	折紙・1通	え 4349
(封筒) * (封筒上書)「□(松)木御兄上様申上 いたう幾」		封筒(え4350-1~3は封筒一括)・1点	え 4350-1
(書状、御用多様の御中15日過ぎ御ふたり様とも御出下さる様何分御願い申上げるに付) いく→御兄上様申上	2月13日	横切紙・1通	え 4350-2
口上(先日拝借の品々長々留置き誠に申し訳御座無く御免申上げるに付)		切紙・1通	え 4350-3
(封筒) * (封筒上書)「松代松木源八様至急用 上田伊藤源太郎」		封筒(え4351-1~3は封筒一括)・1点	え 4351-1
(書状、愚妻多分飯田表へ罷り越すにつき飛脚つかわし、この者と同道で母を差し戻す願いに付) 伊藤源十郎→松木源八様	3月11日午前2時	堅紙・1通	え 4351-2
(書状、妻の儀につきこの者同伴にて帰宅を願う旨) 源十郎→御母上様	3月11日午前2時	堅紙・1通	え 4351-3
(書状、敬次郎殿着にててうたひ或いは拝借ありがたく存じ上げ御はは様へも御礼仰せ上げに付) 源十郎→御母上様申上		横切継紙/(虫損)・1通	え 4352
(書状、野州一揆も越前へ退去し朝鮮へ渡海いたすなど、長州昨年来の大乱の基源は牧和泉堂上方へ立ち入り無法相払いに付など情勢通知) 源八→御父上様申上	12月12日常吉当番所認	横切継紙/(虫損)・1通	え 4353
(書状、先月は御世話様に相成り、御土産物をいただき有難くに付) * (封筒上書)「松木おてふ様人々御もとへ 伊藤いく」 いく→おてふ様人々御もとへ		横切紙・1通	え 4354
(書状、栄太郎その御地へ御頼み、その節いろいろ御相談もいたし度旨)	3月12日	横切継紙/(虫損)・1通	え 4355
(書状、状は今以て届かず別段の用事の書状にさえ御座無く、状況通知) 源十郎→御父上様申上	5月9日	横切継紙・1通	え 4356
(書状、色々申し上げ度義あり御下がりの節御立ち寄りを願う旨) □□市重郎→□□藤太郎様	30日	横切継紙・1通	え 4357
(書状、上田源七おいくへも磯田東沢出立の節御母上様御出で御丁寧下されるに付) 源十郎→御母上様申上	3月7日	横切紙/(虫損)・1通	え 4358

(書状、御叔父様への御送金の品御繰り出し御送り願うに付、田中氏娘おたか両角主脩へ縁組昨夜婚姻滞り無く整うなど通知) 源十郎→御父上様申上	4月9日	横切継紙/(虫損)・1通	え4359
(書状、御上 大殿様御不快今以て御快とは相成らず何卒少しも早く御全快仕り度旨) 源十郎→申上	5月15日	横切紙/(虫損)・1通	え4360
(書状、今月中は紹の羽織、来月は紗の羽織、色々それに準じて帷子なども無くでは成らず誠に大弱りに付) 源十郎→御父上様申上	5月3日	横切継紙/(虫損)・1通	え4361
(書状、真田藩士常田鉄大夫ほか7名役職替え通知など) 源十郎→御父上様申上	5月2日	横切継紙/(虫損)・1通	え4363
(書状、袴と羽織は何分少しも早く御送り下され5月の間に逢う様に願う旨) 源十郎→御父上様申上	4月朔日認置	横切継紙/(虫損)・1通	え4364
(書状、深川三十三間にて一昼夜大矢数棧敷にて300本程見物に付) * (端裏書)「三月廿一日付」		横切紙/(虫損)・1通	え4365
(書状、明朝御発棺となり大取り込みに付) 源十郎→御父上様申上	6月21日昼時認	横切継紙・1通	え4366
(書状、綿入れ1つ・袴1つ・帷子も差し上げ度存じながらその様にも御頼み申しかねるに付) 栄太郎→御父上様申上	5月27日夜	横切継紙/(虫損)・1通	え4367
(書状、この度よき便り、亀末の品差上げ、この品にて流行り物にて裾じばんに致し度に付) 幾より→御あに上様		横切継紙・1通	え4368
(書状、大殿様御不快の御様子内密委細仰せ下されるに付) * (端裏書)「内密御報」 □実→松木君	5月27日	横切継紙・1通	え4369
(書状、昨日おみつさんへ遣わした縫い物は込みおり明後夕までにはできる様子に付) は、→おちゅうとの人々	6日	横切継紙・1通	え4370
(書状、御話し申上げた御事18日に決まり御兄上様御願い申し度御出で下さる様御執り成し願いに付) いく→お長様申上	9月16日	小切紙・1通	え4371
(書状、先日はおかね御様子よろしく無く、この節はまずまずよろしき方になり何より御嬉しくに付) 栄太郎→御父うえ様もふし上	12月26日	横切継紙・1通	え4372
(書状、伊勢町彦次郎様への御贈り物下駄差し上げる旨) * (封筒上書)「御母上様申上 董隆」 董隆拜→御母上様御許	11月21日	横切継紙/(え4417-1~29は紙縫一括)・1通	え4417-1
(書状、伊勢町様より御さいは御送り下され近日御礼の手紙差し上げる旨) * (封筒上書)「松代御母上様御許 東京董隆百拜」/(封筒裏書)「一月十九日」 董隆拜→御母上様御元	1月19日朝6時認む	横切継紙・1通	え4417-2
(書状、あわせも遅くなく新たにお誂え有り難く、伊勢町彦次郎様へ何か見計らい差し上げる旨など) * (封筒上書)「御母上様申上 董隆」 董隆→御母上様申上	5月16日	横切継紙・1通	え4417-3
(書状、昨日御文下され御返事もに付) * (勘返状) はる→おちやうとの参		横切継紙・1通	え4417-4
(書状、鶯さしに上がり度夕方早々御一同に参るべくと御話しの旨) 竹山町様→(八田)慎蔵	28日	横切継紙・1通	え4417-6

(書状、たはこ御送り下され御礼も申さず所残りのたはこに小梅戴き御礼) * (勘返状) いく→おてふ様人々	卯月12日	横切継紙・1通	え4417-7
(書状、今夕近親に法事御座候ところ) →董隆兄様長聲御書入是非	12月7日	横切継紙・1通	え4417-8
記(10年10月14日迄3円29銭5厘) 清水楼→松木様	(明治)10年10月	横切紙/(赤線罫紙)・1通	え4417-9
(書状、師岡氏一条につき御心配をかけ、商法講習所入学にて書物多分の入用に付など) 董宜拝→御母上様御許	9月23日	横切継紙・1通	え4417-10
(封筒) * (封筒上書)「御母上様御許 董隆」/(封筒裏書)「十月一日」		封筒/(え4417-11-1~3は封書一括)/(剥離あり)・1点	え4417-11-1
(書状、この程中の御迷惑の詫ならびに講習所入舎に付) 董宜拝→御母上様御許	10月1日	横切継紙・1通	え4417-11-2
(書状、御兄上様物入り多く伊勢町伯父上様へ御願い下され有り難き仕合わせの旨) (東京)董隆拝→(松代)御母上様申上	9月1日	横切継紙/・1通	え4417-11-3
(書状、金子5両村方名面にて請取書差し上げ、御年玉何よりの品頂戴に付) * (包紙上書)「御請」 唯蔵→東様御請	正月2日	横切継紙・1通	え4417-12
(封筒) * (封筒上書)「御母上様申上 董隆拝」		封筒/(え4417-13-1~3は封書一括)・1点	え4417-13-1
(書状、伊勢町彦次郎様への送り物御兄上様と相談のうえ下駄と仕り淡路町通運会社より送るに付など) 董隆拝→御母上様	26日夜認む	横切継紙・1通	え4417-13-2
物貨請取證(信州松代松木董正様宛紙包壱ツ) 東京佐内町内国通運会社[朱印]→松木様	明治13年5月24日	横切紙・1通	え4417-13-3
(書状、綿入れ羽織など御送り物にて有り難きに付) * (封筒上書)「松代御母上様御許 東京董隆拝」 董龍拝→御母上様御許	18日	縦紙・1通	え4417-15
(封筒) * (封筒上書)「松代御母上様御許 東京董隆拝」/(封筒裏書)「第十一月二日」		封筒/(え4417-16-1~4は封筒一括)・1点	え4417-16-1
(書状、諸方様への御送り物左内町内国通運会社へ今朝差出し追々到着の旨) 董隆拝→御母上様御元	10月30日認む	横切継紙・1通	え4417-16-2
再白(荷物送り賃銭は篠ノ井までにて松代までの配達料は御手元にて願う)		小切紙・1通	え4417-16-3
物貨請取證(信州松代竹山丁松木董正様宛紙包壱個) 東京左内町内国通運会社→松木董隆様	明治13年10月30日	横切紙・1通	え4417-16-4
(書状、源八様御くろふ御ねかへ申上、いろいろ御せわ様にかたぐに付) 母より→おちやうとの参御返事		横切継紙・1通	え4417-17
(書状、久々の御光来にて亀之助へ何よりの御書物ありがたく、相統一条親類中寄合相談に付) * (封筒上書)「松代松木様 人々御返事 井上村坂本」 坂本→松木様	9月11日	横切継紙・1通	え4417-18

9.松木家/1.書簡

(書状、出京の節色々御心配下され昨30日着京の旨、上田伊藤様学費増額のこと付) * (封筒上書)「御母上様御許 董隆」/(封筒裏書)「八月三十一日」 董隆→御母上様申上	8月31日	縦紙・1通	え4417-19
(書状、御兄上様の前掛け紬にて御仕立て御送り下され度付) * (封筒上書)「松代御母上様申上 東京董隆」/(封筒裏書)「十一月十六日」 董隆→御母上様御元	11月16日	横切継紙・1通	え4417-21
(書状、ときわ油・びんつけ松香油・書簡袋など御送り物に付) * (封筒上書)「松代御母上様申上 東京董隆」 董隆→御母上様御元	10月30日	横切継紙・1通	え4417-22
(書状、木綿綿入れ・じゅばんなど御送り下され受取に付) * (封筒上書)「松代御母上様申上 東京董隆」 董隆→御母上様申上	11月25日認む	横切継紙・1通	え4417-23
(封筒) * (封筒上書)「松代御母上様御元 東京董隆再拜」		封筒/(え4417-24-1~3は封書一括)・1点	え4417-24-1
(書状、南部縞綿入れ・上田縞綿入れなど御送り物有り難き旨) 董隆→御母上様御元	12月19日	横切継紙/(赤線罫紙)・1通	え4417-24-2
再白(みかん送料のうち半分は当地にて支払い残りの半分は御地にて支払い願う)		小切紙/(赤線罫紙)・1通	え4417-24-3
(書状、御兄上様先月末より風邪にて御なんぢうの所今月しげんにての旨) * (封筒上書)「松代御母上様申上 東京董隆」/(封筒裏書)「第二月廿日」 董隆再拜→御母上様御元	14年2月20日	横切継紙・1通	え4417-25
(書状、大金御送り願い上げにつき早速御聞き届け下され有り難きに付など) * (端裏書)「御内覧奉願候」/(封筒上書)「御母上様申上 董隆再拜」 董隆→御母上様	6月午後第11時	横切継紙・1通	え4417-26
(書状、袷羽織一枚御送り下され度願う旨) 董宜→御母上様御許へ	2月19日	横切継紙・1通	え4417-27
(書状、少々ふあんばいにてすぐにやどげ帰り申候に付) いせ町→竹山丁様		横切継紙・1通	え4417-28
(書状、級卒業につき書物入用にて河原様へ御願ひ金4円50銭拝借の旨) * (封筒上書)「松代御母上様至急要用 東京董隆再拜」 董隆→御母上様御元	14年2月19日	横切継紙・1通	え4417-29
(封紙) * (封紙上書)「松代松木栄太郎殿 従水原松木源八」		包紙/(え4436-1~19は紙縫一括)/(え4436-1-1~4は包紙一括)・1点	え4436-1-1
(書状、隆次郎痛みも快方の由、この方相変わらず御安意の旨) 源八→栄太郎殿	3月28日	横切継紙・1通	え4436-1-2
(書状、御買上げの鉄砲今日明日に送る旨、学校24.5日開校の旨) 源八→栄太郎殿	4月4日	横切継紙・1通	え4436-1-3
(書状、8日加茂より西福寺に宿陣いたす旨) 源八→栄太郎殿	3月15日	横切継紙・1通	え4436-1-4
口上(私方へも品々けつこふ成御みや下され山々ありがたく御嬉しく存じに付) 山てらしつ→まつ木御おく様		横切継紙・1通	え4436-14
(書状、帳面紙のこと伊勢町へ御相談のこと、綿は中綿上中下直段御申し越のこと) 源八→栄太郎殿	正月28日	横切継紙・1通	え4436-15

(書状、出雲崎より地藏堂と申所にて寺泊まりと成りに付、ほか) 源八→栄太郎殿	正月13日	横切継紙・1通	え4436-17
(松木源八家督御礼、御太刀1腰・御馬代銀1枚・大殿様へ青銅100疋献上) 玉川たつ→師岡源兵衛殿	3月29日	横切継紙・1通	え4436-18
(書状、小作地の儀望み無き由に付) (八田)嘉助→竹山丁様	12月15日	横切継紙/(え4441-1~39は紙縫一括)・1通	え4441-29
(書状、御兄上様3年位にて御卒業成される所、独身は宜しくなさに付) * (封筒表書)「松代御母上様御内覧 東京董隆」/(裏書)「御内覧」 董隆□拝→御母上様御元	1月8日認む	横切継紙/(え4442-1~26は紙縫一括)(封筒共)・1通	え4442-15
(書状等一括)		括り紐一括/(え4448-1~18は紙縫一括)・1点	え4448
(袋) * (袋上書)「赤坂一ツ木町浄土寺文通 四ッ谷西念寺横町遠藤孫八郎より文通」		袋・1点	え4448-1
(松山町から竹山町宛書状一括)		紙縫一括/(え4448-2-1~3は紙縫一括)・1点	え4448-2
(書状、昨日申し上げた一件兼ねて多宮殿申し聞かされるに付) 松山町→竹山町様不及御細答	11月25日	横切継紙・1通	え4448-2-1
(書状、手沢掛のこと2・3ヶ条も御引合下される様したきに付) 松山町→竹山町様	11月25日	横切継紙・1通	え4448-2-2
(書状、多宮殿内々申し聞かされる一件に付)		横切継紙・1通	え4448-2-3
(書状、御子息様御帰国の節細書申し上げる義しかるべき様御取計らい頼み上げるに付)		横切継紙・1通	え4448-3
(書状、みはる病死後御丹精下され石碑建立取りかかり御礼申し上げるべきに付) 遠藤孫八郎→松木源八郎様	3月16日	横切継紙・1通	え4448-4
(書状、長野みはる去4月上旬死去いたし跡式の事に付) 江戸赤坂浄土寺救阿→松木源八郎様貴下	3月15日	横切継紙・1通	え4448-5
極内々(小給の御家人株入用の人あるにより世話いたしくれる様御申成されるに付) 孫八郎→源八郎様	4月3日	横切継紙・1通	え4448-6
(書状、来4月3日みはる一周忌に当たるにより法安寺において芝山内社中一会仕るに付)		切紙・1通	え4448-7
(書状、長野七郎倅三郎、七郎病死後拙者方引き取る所、今般米山長左衛門方へ送り遣わずに付) * (包紙上書)「信州松代ニ而松木源八郎様用書 遠藤孫八郎」御臺様御広敷伊賀者遠藤孫八郎→松木源八郎様	正月28日	横切継紙・1通	え4448-8
(書状、この程御内御懸合仕る義について委細仰せを蒙るに付) 弥五右衛門→源八様	5月23日	横切継紙・1通	え4448-9
(書状、今日は御使下し置かれ肴頂戴仰せつかれ有り難きに付) 唯蔵→源八様尊答御請	12月20日	横切継紙・1通	え4448-10
(書状、昨晚蒙命通り延引仕るべき旨重々有り難きに付) 柴丁より→御請	8月19日	横切継紙・1通	え4448-11
(書状、今朝御母堂様御内密御話により御細書仰せを蒙る趣承知奉るに付) 松山町→竹山町様御内用答	3月28日	横切継紙・1通	え4448-12

9.松木家/1.書簡

(書状、長池村御頼母敷少々よんどころなきにより御受けいたすに付他) 松山町拜→竹山町様極密御内披	4月26日	横切継紙・1通	え4448-13
(書状、御内々御月番より御引役方をもって御沙汰あるに付) * (包紙上書)「松木源八様 北沢源次兵衛」源次兵衛→源八様	12月27日	横切継紙・1通	え4448-14
(書状、仰せ下される義樋口氏菅沼氏へも遣わされる貴書2通とも早速相届けるに付) 清右衛門→源八様	5月21日	横切継紙・1通	え4448-15
(包紙) * (包紙上書)「平治殿より到来之用書」/(紙背文書使用)		包紙・1点	え4448-16-1
(書状、御心配の金13両1分今朝菅沼氏へ相渡に付他) 岡嶋→松木様	正月6日	横切継紙・1通	え4448-16-2
(書状、別紙旧冬は今般仰せを蒙り御両所様より早速仰せ下され忝き次第に付) 岡嶋→松木御両衆様	正月7日	横切紙・1通	え4448-16-3
覚(数の子2冊他メ金15両2分1朱歩銭369文書上) 大嶋村吾妻屋佐平→御上様	庚午(年)12月17日	横切継紙・1通	え4448-17
乍恐口上書差上以申上候(東様より江戸表へ罷越候ては如何哉との旨仰せ聞かれ候処、松本辺より参り居候者に何か懸り合い出府延引に致度旨申に付御推察成し下され候様願ひ上げに付) * (包紙上書)「内用之事 用書解急事」/(紙背文書使用) 周吉→御父上様江御内々申上	2月9日	横切継紙・1通	え4448-18
(書状、松平和泉守様・松平伊賀守様御不使にて登城なく風説宜しからず、松床一件にて三四日和泉守より御屋敷へ御弁職のため帳滞りに付) * (包紙上書)「松木源太郎様貴管藤井浅右衛門」/(9月4日御免にて代わり脇坂様・土屋様の風説に付切紙共) 浅右衛門→松木大君	8月2日認置	横切継紙/(え4453-1~13は紙綴一括)・1通	え4453-3
(書状、柳原侍従東海道の方へ越させられ掛川・沼津・石和迄御警所、私御供申上げるに付宿陣報告) * (包紙上書)「松代松木栄太郎殿包物添□甲府松木源八」 源八→栄太郎殿	3月27日	横切継紙/(包紙共)・1通	え4453-5
(書状、久保雄之進殿・金児三郎殿10月18日付書状相届きの後一切便り無く御案事申居るに付) 源八→お長殿	12月13日	横切紙・1通	え4453-10
(書状、金子8両借用致したき旨) * (包紙上書)「八田孫左衛門様極内用 松木源八」 源八→孫左衛門様	6月15日	横切継紙/(え4454-1~22は括り紐一括)・1通	え4454-22

9.2. その他

(御無尽并品々入込候御差引金20兩3分3朱余り内訳金銭書上) →松木東様	大晦	横切継紙/(え4214-1~27は一綴)・1通	え4214-4
商法講習所第五級科業書(パーレー氏万国史壱円五拾銭ほか書籍文具書付)		横切紙・1通	え4299
記(道中諸費および御土産物代金9円20銭、御送り願う旨) 薫隆謹白		横切継紙・1通	え4362
借用金證文(金80円年中1割8分来31日限り借用) 借主松木薫正(印)・証人八田彦次郎(印消)・同豊田傳兵衛(印消)→第六十三国立銀行頭取支配人御中	明治14年5月21日	横切紙/(え4374-1~35は紙綴一括)・1通	え4374-34

(30円利子とも返済御落手のこと) * (封筒上書)「松木薫正様」 知道	7日	横切紙・1通	え4374-35
(和歌詠草 題夕初雁・山付明ほか10首) 董胤上		横切継紙/(え4388-1~20は紙縫一括)・1通	え4388-15
(和歌詠草 題秋夕風・江月冷ほか10首) * (端裏書)「季合格点」 董胤上		横切継紙・1通	え4388-16
(和歌詠草 題夏懷旧4首) 董胤上		横切継紙・1通	え4388-17
(和歌詠草 題時雨晴陰・落葉随風4首) 董胤上		横切継紙・1通	え4388-18
(和歌詠草 題月前露2首) 董胤上		横切紙・1通	え4388-19
(松木嘉吉諱「董胤(タダタネ)」花押鑑定書) ト木完前謹書[印]→松木嘉吉殿	寛政2庚戌歳6月日	折紙/(え4389-1~50は紙縫一括)・1通	え4389-50
口上覚(小池龍吉・小林桂治良・田中與総右衛門・御仲間栄蔵精勤につき御賞) 御手附→御元ト中様	丑10月	横切継紙/(え4417-1~29は紙縫一括)/(虫損)・1通	え4417-14
(佐枝玉師は長沼尊師のをしへをうけつき八十あまり九とせのよハひを重ねし) 宗董		横切継紙・1通	え4417-20
(「永き日を…」ほか和歌詠草) 董多渚→上		横切紙/(え4439-1~40は紙縫一括)・1通	え4439-35
(和歌詠草、河辺菊「川風にみたれてにほふきくの花下ゆく水に千代もこもれり」) 董胤		横切継紙/(え4444-1~25は紙縫一括)・1通	え4444-9
(包紙) * (包紙上書)「覚 松木源八内市川友左衛門」/(包紙裏書)「此ハ寺にて差急き候付此方寄出し候受所認遣候事也 萬端 金松院様御例之通」		包紙/(え4436-1~19は紙縫一括)/(え4436-16-1~4は包紙一括)・1点	え4436-16-1
覚(御布施金2朱・衣服料金1両ほかメ金2両1分余寺納書付) * (端裏書)「寄出し手扣 友左衛門」 願行寺納処→御使中		横切継紙・1通	え4436-16-2
(御布施100疋・衣服料300疋・道具料300疋など書付) * (端裏書)「慶応二年丙寅四月之例 小山田彦左衛門殿類例門合写」		横切継紙・1通	え4436-16-3
覚(御布施金1両1分2朱余ほか寺納のこと) 願行寺納所→松木様御内市川友左衛門様	正月19日	横切継紙・1通	え4436-16-4

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

10. その他

10.1. 不明

口上書(虫損甚大開披不能)		縦紙/(え 4374-1～35は 紙縫一括)/(虫 損甚大)・1通	え4374-15
[] 番覚		表紙断簡/(え 4376-1～22は 紙縫一括)/(虫 損甚大)・1点	え4376-6
(339両2朱ほか)(断簡)		断簡・1通	え4376-7
(断簡)		横切紙/(え 4381-1～11は 紙縫一括)・1通	え4381-2
(断簡)		小切紙・1通	え4381-5
(断簡)		小切紙・1通	え4381-7
一両日者梢すめきゝ時候		小切紙・1通	え4383-9
(宛名書「宮澤善治様證文入 八田嘉助」)		小切紙・1通	え4383-10
(「金五百四拾両」断簡)		折紙・1通	え4383-11
(「愈御安康奉賀候」断簡)		横切継紙・1通	え4383-12
(書状断簡)		横切継紙・1通	え4383-15
(宛名書「宮澤善治様證文入 八田嘉助」)		小切紙・1通	え4383-17
(300両仕入金断簡)		小切紙・1通	え4383-21
(書状断簡)		小切紙・1通	え4383-22
(断簡)		小切紙・1通	え4383-23
(「争座位帖之跋」断簡)		断簡・1点	え4383-27
(「昨晚者」断簡)		横切紙/(え 4384-1～51は 紙縫一括)・1通	え4384-28
(「以手紙致啓上候」断簡)		横切紙・1通	え4384-30
(「以手紙」断簡)		横切紙・1通	え4384-46
(「差重番知所」断簡)		横切紙/(え 4384-51-1～8 は巻込一括)/ (虫損甚大)・1 通	え4384-51- 3
(断簡)		断簡/(虫損甚 大)・1点	え4384-51- 4
(断簡)		断簡/(虫損甚 大)・1点	え4384-51- 5

(人名書付断簡)	断簡/(虫損甚大)・1点	え4384-51-7
(鎌原桐山様・同石見様ほか人名書付断簡)	断簡/(剥離あり)/(虫損甚大)・1点	え4384-51-8
(品書断簡)	横切継紙/(え4388-1～20は紙縫一括)/(虫損甚大)・1通	え4388-9
(帯封) * (帯封表書)「勤書印紙」/(帯封裏書)「伊藤一學・小出謹三郎」	帯封/(え4388-20-1～4は帯封一括)・1点	え4388-20-1
(断簡)	断簡/(え4389-1～50は紙縫一括)・1点	え4389-3
(断簡)	断簡・1点	え4389-4
(包紙) * (包紙上書)「絃月八日月」	包紙/(え4389-36-1～3は包紙一括)・1点	え4389-36-1
(絃月型紙)	型紙・1点	え4389-36-2
(八日月型紙)	型紙・1点	え4389-36-3
(断簡)	横切紙/(え4393-1～22は紙縫一括)/(虫損甚大)・1通	え4393-8

10.2. 袋・包紙・こより等

(包紙)	包紙/(麻紐とも)・1点	え4245
(包紙) * (包紙上書)「口上覚 八田孫左衛門」	包紙/(え4375-1～17は紙縫一括)/(え4375-13-1～5は括一括)・1点	え4375-13-5
(包紙)	包紙/(え4427-1～37は紙縫一括)・1点	え4427-15
(包紙) * (包紙上書「荒神町御会所料受□」)	包紙/(え4432-1～31は紙縫一括)/(え4432-5-1～3は包紙一括)・1点	え4432-5-1
(袋) * (袋上書)「證文入」	袋/(え4438-1～30は紙縫一括)/(え4438-30-1～6は袋一括)・1点	え4438-30-1
(白紙)	横切継紙/(え4439-1～40は紙縫一括)・1通	え4439-31

10.3. 白紙

(白紙) * (端裏貼紙)「伊藤一學」/(印)		横切紙/(え 4388-1～20は 紙縫一括)/(え 4388-20-1～4は 帯封一括)・1通	え4388-20- 2
(白紙) * (端書)「小林斎太」/(印)		横切紙・1通	え4388-20- 3
(白紙) * (印)		横切紙・1通	え4388-20- 4
(白紙)		横切紙/(え 4389-1～50は 紙縫一括)/(紅 色宿紙)/(封筒 共)・1通	え4389-46
(白紙)		横切紙/(え 4431-1～17は 紙縫一括)・1点	え4431-11

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

11. 混入文書

11.1. 信濃国佐久郡御馬寄村町田家文書

(謹考御実名「恒篤」) 小栗温(花押)→町田良右衛門殿	保成夏5月嘉祥日	折紙/(え 4389-1~50は 紙縫一括)・1通	え4389-49
-----------------------------	----------	---------------------------------	----------

11.2. 出羽国村山郡山家村山口家文書

書出し覚(水色無地1反250文ほか書付) 山かた□屋久四郎→山口三右衛門様	辰極月	横切紙/(え 4376-1~22は紙 縫一括)・1通	え4376-3
払証文之事(源八娘いち上山口村甚太郎女房に縁付き御改帳外しに付) 山家村名主三右衛門→上山口村十右衛門殿	明和5年子8月	堅紙・1通	え4376-11
払証文之事(浄土真宗東善行寺旦那五郎右衛門女子しの山家村平次郎女房に縁付きに付) 天童三日町名主理兵衛[印]→山家村名主三右衛門殿	明和4年亥2月	堅紙・1通	え4376-13
覚(山家村与右衛門娘当町市五郎妻に縁付きに付) *(包紙上書)「拂手形請取壺通」/(包紙裏書)「当与右衛門娘つね一日町市五郎女房ニ縁付之受取書 未三月」 天童一日町名主権四郎(印)→山家村御名主中	未3月4日	堅紙・1通	え4376-14
人別払請証文事(山家村喜六娘当村久次郎姫に縁付きに付) * (包紙表書)「人別請証文壺通」 田麦野村名主忠左衛門(印)→山家村名主三右衛門殿	9月	堅紙・1通	え4376-15
(包紙) * (包紙上書)「拂払(マ)証文壺通 清水水村喜兵衛 三右衛門殿」		包紙/(え4376-16-1~3は包紙一括)・1点	え4376-16-1
村払証文之事(大清水村惣兵衛娘きよ山家村傳兵衛弟娘縁付きに付) 長瀬料大清水村名主喜兵衛(印)→柴橋御料山家村御名主三右衛門殿	明和4年亥2月	堅紙・1通	え4376-16-2
村払証文之事(大清水村多郎八娘みよ山家村多助養子娘縁付きに付) 大清水村名主喜兵衛(印)→山家村御名主三右衛門殿	明和4年亥2月	堅紙・1通	え4376-16-3
払証文之事(当村又兵衛娘しやうふ山家村八助子供弥之助女房縁付きに付) * (包紙上書)「拂証文」 天童小路町市右衛門[(印)]→山家村御名主三右衛門殿	明和4年亥2月	堅紙・1通	え4376-17
縁付払手形之事(当村万吉娘山家村源八姫縁付きに付) * (包紙上書)「暇手形之事」 山口村寺領庄屋庄次郎(印)→山家村名主三右衛門殿	明和4年亥2月	堅紙・1通	え4376-18
払証文之事(当組下弥助俵五郎次山家村与惣次養子縁付きに付) * (包紙上書)「拂証文壺通」/(包紙裏書)「安永六西三月道帰村より山家村与惣次養子五郎治拂」 道帰村名主惣兵衛(印)→山家村御名主三右衛門殿	安永6年酉3月	堅紙・1通	え4376-22

11.3. 陸奥国白河郡栃本村根本家文書

(金子村荒地絵図)(28.0×55.0) 組頭近内源蔵(印)・同我妻源八(印)・同野崎重蔵(印)・同森善次(印)・庄屋鈴木源五郎(印)・同有賀模次郎(印)・大庄屋市川寛八→触元御役所	明治4辛未年3月	横切継紙/(え4450-1~22は括り紐一括)・1鋪	え4450-4
---	----------	----------------------------	---------

11.4. 甲斐国山梨郡下井尻村

(書状、上萩原村へ罷り越すにつき明朝刻限遅刻のこと) 万力村泉花→下井尻村鶴瀬勇鳳様無別条	3月28日	横切継紙/(え4390-1~24は紙縫一括)・1通	え4390-14
---	-------	---------------------------	----------

既刊目録に見られる八田家文書の階層構造一覧

凡 例：大＝大項目、中＝中項目、小＝小項目、小々＝小々項目とする。

大	中	小	小々	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10	その11
01	内方(御茶之間)			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	01	系図・親類書		1	2				6		8		10	11
		01	由緒		2				6		8		10	
		02	扶持方請取		2									
	02	相続／家督		1	2				6		8			11
	03	家訓・規定		1	2				6		8			11
		01	条目・遺言		1						8			11
		02	東条村養父運右衛門殺害候八十吉磔罪一件								8			
		03	勝手向取締(家政立て直し)		1	2								
		04	役代調印規定		1									
		05	帳簿口立規定		1									
		06	店入足規定(奉公人規定)		1									
		07	帳面仕立方			2								
		08	元方・勘定一式			2								
	04	人別改		1										
	05	家族・奉公人(別家・日傭)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		01	鉄之助内室出産				4							
		02	市兵衛意見書				4							
		03	増田徳左衛門家勝手向き立て直し								8			
		04	本家勝手向立直し									9		11
		05	婚姻											11
		06	鉄之助嫡子								8			11
		07	大瀬登へ養女縁組								8			
		08	鉄治郎松村家養子入り								8			
		09	嘉永7年江戸表鉄治郎離縁一条書類綴／鉄治郎不行跡								8			11
		10	鉄治郎金井家養子入り								8			11
		11	辰三郎引き取り								8			11
		12	八田喜兵衛(一件)									9		11
		13	人名・年齢書上				4							
		14	儀礼					5						
		15	役代					5			8			11
		16	店人別規定(奉公人規定)		2									
		17	奉公人請状									9		
		18	奉公人勤向		2						8	9	10	11
		19	奉公人給金(不払一件／出入)		2	3					8			11
		20	貸付金								8			
		21	八田鉄之助前髪剃										10	
		22	書状その他											11
	06	親類				3								11
		01	増田徳左衛門家勝手向立て直し			3								
		02	親類不埒示談仲介			3								
		03	八田本之進跡目申立入用書類											11
		04	書状											11
		05	その他											11
	07	田村半右衛門書状綴					4							
	08	家政						5						
	09	藩への上納金・才覚金					4	5		7	8	9	10	11
	10	藩関係								7	8	9		11
		01	御目見							7		9		11
		02	救恤							7				
		03	勤務									9		11
		04	献上									9		
		05	藩士との交際									9		11
		06	藩士への縁組への助力									9		

大	中	小	小々	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10	その11
			07 藩主相撲上覧一件									9		
			08 他藩ほかの情報									9		
			09 その他							7				11
	11 町関係									7				
		01 立入人								7				
		02 上水関係								7				
	12 給人格取立・扶持加増						4	5			8			
	13 土地経営(所有地経営)			1	2	3			6	7	8	9	10	11
		01 持地		1					6		8	9	10	
		02 借家(借家・借地経営)							6			9	10	11
		03 江戸屋敷							6					
		04 持地・抱屋敷絵図		1										11
		05 抱屋敷肝煎用留		1										
		06 買取・質取		1					6		8	9		11
		07 売渡		1								9		11
		08 田畑見廻		1										
		09 田地譲渡							6					
		10 家賃・小作年貢取立		1	2									11
		11 小作年貢滞納出入		1	2									
		12 小作方日記		1										
		13 年貢諸役上納		1							8		10	11
		14 米・桑売渡		1							8			
		15 家屋敷建築			2								10	
		16 下屋敷			2				6				10	11
		17 抱屋敷引請			2						8			
		18 抱屋敷普請			2									
		19 手作地			2									
		20 田地譲渡取調			2									
		21 質地証文・借用証文				4(小々々)								
		22 所持地年貢目録綴										9		
		23 所持地石高取調										9		
		24 土地絵図										9		
		25 小作				4(小々々)			6		8		10	
		26 土口村(小作)			2						8	9		
		27 矢代村(小作)			2					7	8	9	10	11
		28 生菅村小作			2									
		29 長岡助右衛門小作			2									
		30 古川敷小作			2									
		31 東寺尾村新堰			2									
		32 居屋敷・土蔵				3					8			
		33 自作・小作貸出				3								
		34 質入							6					
		35 根津村									8			11
		36 小作米日延									8			
		37 赤倉温泉									8		10	
		38 鹿沢温泉・山野湯温泉									8			
		39 年貢諸役上納									8			
		40 御安口堤土手									8			
		41 井上村									8			
		42 東寺尾村									8	9		
		43 西寺尾村									8	9		
		44 沓野村									8			
		45 上徳間村									8			
		46 皆神山									8	9	10	
		47 牧内村									8	9		
		48 田野口村								7	8			
		49 後町								7				
		50 清野村								7		9		
		51 東条村								7		9		11
		52 平林村								7	8	9		

大	中	小	小々	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10	その11
		53	赤岩村									9		
		54	田中村									9		
		55	河原新田									9		
		56	浦新田									9		
		57	木町									9		
		58	西条村									9	10	11
		59	岩野村新田									9		
		60	会村									9		
		61	東荒町村									9		
		62	中条村									9		11
		63	荒町村									9		
		64	御安口村									9		
		65	新御安口村									9		
		66	荒町									9	10	11
		67	浄行寺									9		
		68	練光寺							7				11
		69	地券								8			
		70	所持地年貢皆済明細勘定書綴										10	
		71	その他							7			10	11
	14	小作年貢滞出入一件			2			6(中中)						11
		01	岩村田小作年貢滞一件		2									
		02	飯山小作年貢滞一件		2									
		03	田野口村小作年貢滞一件		2									
		04	中野質地一件		2									11
		05	赤倉湯一件		2									
		06	その他											11
	15	材木方		1	2				6		8			11
	16	通船方		1	2						8			11
	17	金融		1	2	3		5	6	7	8	9	10	11
		01	借入金・預り金	1		3		5	6		8	9	10	11
			01 松代藩御用達金預り運用			3								
		02	貸付金	1	2	3		5	6		8	9	10	11
		03	他家借財片付	1					6					11
		04	無尽	1	2	3(中)		5	6	7	8	9	10	11
		05	預り金利払		2								10	
		06	貸付金調		2									
		07	貸付金返済滞		2									
		08	広田筑後・岩出六右衛門無尽一条		2									11
		09	皆神山無尽		2									
		10	家中侍借財勝手向立直し		2				6					
		11	質地・借金					5						
		12	飯山藩・岩村田藩領(小作年貢滞一件)					5						11
		13	伊勢山田御師広田筑後一件					5			8			11
		14	貸借金							7			10	11
		15	宿方式割増御手充積金								8			
		16	余計金上納								8			
		17	下屋敷御助成金								8			
		18	拝借米								8			
		19	高遠へ御貸金取立方一件										10	
	18	飯山領								7	8(小)	9	10	11
		01	無尽							7		9		11
		02	訴訟							7				11
		03	貸付金									9		11
		04	質地									9		11
		05	本多豊後守婚礼										10	
		06	本多豊後守松代城下止宿関係綴										10	
		07	芝津村斧右衛門借財片付方一件										10	
	19	上田領										9		
	20	岩村田領								7	8(小)	9	10	11
		01	勝手御用									9		

大	中	小	小々	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10	その11
		02 仕送金										9		
		03 地所改										9		
		04 小作										9		
		05 貸付金										9		11
		06 無尽											10	
		07 訴訟											10	11
		08 岩村田差引方調書類綴											10	
		09 岩村田村法華堂差引勘定一件											10	
		10 その他												11
	21	田野口領										9	10	
	22	埴科郡下戸倉村(幕領)										9		
	23	小県郡根津(旗本知行所)										9		
	24	赤倉温泉										9		11
	25	出張		1	2									11
	26	金銭・穀物請払		1	2			5	6	7	8	9	10	11
		01 店方江下ケ金・上納金		1	2						8			
		02 金銭請取		1	2									11
		03 暮方見積		1										
		04 入用		1							8			
		05 買物方日記		1										
		06 金銭出入帳(金銭請払帳)		1										
		07 金銭差引(金銭差引帳)		1							8		10	11
		08 穀物・諸品請払		1			4(中)				8	9	10	11
		09 金銭穀物請払取調勘定		1										
		10 請払勘定覚			2									
		11 木町伊勢町差引帳			2									
		12 金銭払方			2				6					11
		13 雑穀			2									
		14 売掛金滞			2									
		15 金銭勘定							6					
		16 普請							6			9		11
		17 近代税金領収書									8			
		18 近代諸領収書									8			
		19 小切手									8			
		20 株券(・公債)									8			11
		21 その他												11
	27	賄		1	2			5	6					11
		01 賄穀物請払		1										11
		02 入用		1										11
		03 勝手方日記・控帳		1										
		04 御膳日記		1										
		05 諸品通帳(家計)			2									11
		06 諸品請払							6					11
		07 献立												11
	28	勝手向				3					8		10	11
		01 勝手向立て直し				3					8		10	
		02 勝手向取極・諸入用				3								
		03 金銭出入帳				3								
	29	棚卸		1	2									
	30	家計取調										9		
	31	日記・控留		1	2									
		01 被仰付書・願書控留		1										
		02 状留		1										
		03 茶之間日記・元方日記・役代日記他		1										
		04 万書留帳		1										
		05 手控		1	2									
		06 殿様湧泉亭御入一条			2									
	32	儀礼(家族)		1	2	3		6	7	8	9	10	11	
		01 為知帳		1	2									

大	中	小	小々	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10	その11
		02	赤飯配	1	2									
		03	出生									9		
		04	元服(・成人)									9	11	
		05	献上・進物	1		3					8			
		06	献上・寄付						6					
		07	来訪人名面帳	1										
		08	到来物	1	2	3								
		09	贈答覚帳(贈答)	1						7				
		10	贈答・進物									9	11	
		11	婚姻・離縁	1	2				6	7		9	10	11
		12	葬儀・法事	1	2				6	7	8	9	10	11
		13	先祖供養									9	11	
		14	大福帳(諸儀礼覚帳)	1										
		15	年中行事(帳)	1									10	11
		16	宴会	1							8		10	
		17	引越為知		2									
		18	祝儀入料		2									
		19	書状[儀礼的書状]			3			6		8		10	11
		20	中島三右衛門書状								8			
		21	目録・目録包紙一括								8			
	33	旅		1									10	11
		01	社寺参詣	1									10	
		02	入湯	1									10	
	34	寺社(寺社奉加)		1	2			5	6	7	8	9	10	11
		01	社寺奉加		2									
		02	浄福地借財関係									9	10	
		03	浄福寺(無尽一件)											11
		04	浄福寺祠堂金貸付一件									9		
		05	菩提寺浄福寺(一件)		2				6	7	8		10	11
		06	松代大林寺								8			11
		07	松代清瀧山観音堂								8			
		08	松代証蓮寺								8			
		09	湯田中梅翁寺								8			
		10	高野山明泉院								8			
		11	松代興善寺								8			
		12	松代離山神社								8			
		13	埴科郡倉科村福昌寺										10	
		14	江戸								8			11
		15	その他							7	8	9	10	11
	35	家財		1	2	3								
		01	武器	1	2						8			11
		02	衣類・諸道具・書画(ほか)	1	2						8			11
		03	武具・印章等注文			3								
		04	茶道具等売払			3								
		05	諸道具貸出			3								
	36	投資								7				
		01	松代貯積銀行							7				
	37	蔵書(・読書)		1		3			6					11
	38	見聞・風説書		1	2	3			6		8		10	11
	39	アメリカ船渡来情報収集					4							
	40	外交・軍事情報						5			8			
	41	諸芸		1	2	3			6	7	8	9	10	11
		01	武芸・文芸	1	2			5(中)			8		10	11
		02	茶の湯	1	2						8	9		11
		03	学芸			3								
		04	能			3								
		05	柔術			3								11
		06	水術			3								
		07	松明製法			3								
		08	手習								8			11

大	中	小	小々	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10	その11
		09	占い									9		11
		10	泰全様御在命中山口専始斉先生より御伝達書類綴										10	
		11	その他											11
	42	学校		1		3			6		8			
		01	試験問題			3								
		02	教科書								8			
	43	証書		1										
		01	生系改会社証記簿	1										
		02	横浜正金銀行創立証書	1										
	44	養蚕				3								
	45	信心				3								11
	46	書状類						5		7			10	11
		01	嘉永6年12月中到来書状綴											11
		02	嘉永7年正月より到来書簡											11
		03	嘉永7年3月よりの到来書簡											11
		04	嘉永7年4月よりの到来書簡											11
		05	安政2年10月よりの来状											11
		06	安政2年11月中よりの書簡綴											11
		07	安政2年12月よりの来簡											11
		08	安政3年6月よりの来簡											11
		09	安政3年7月よりの来簡											11
		10	安政3年11月中より来状											11
		11	安政3年12月書簡綴											11
		12	安政4年4月中より到来の書簡											11
		13	安政4年7月よりの来状											11
		14	安政4年10月中より到来の要用書簡											11
		15	安政5年正月より到来書簡											11
		16	年代不明の袋											11
		17	その他											11
	47	諸書類						5			8	9	10	11
		01	大瀬弥門縁付関係綴								8			
		02	京平岡入日記								8			
		03	雑用書類								8			
		04	岩村田上向筋調帳面綴								8			
		05	文政5年御出張付入用書類								8			
		06	当用書帖								8			
		07	天保7年御向來状綴								8			
		08	嘉永5年中到来の要用書状綴								8			
		09	嘉永7年3月より品々差引書抜								8			
		10	安政2年6月よりの要用來簡綴								8			
		11	安政3年8月以降來簡綴								8			
		12	安政3年～文久元年要用の書類綴								8			
		13	安政4年7月中到来書簡								8			
		14	安政4年11月中到来書簡								8			
		15	紀元2533年6月中よりの来章綴								8			
		16	巳年京都入綴								8			
		17	明治10年2月用書類綴								8			
		18	善光寺一件								8			
		19	澤守禮ほか印書関係									9		
		20	安政3丙辰年正月中よりの参簡									9		
		21	依田市右衛門関係									9		
		22	諸方到来之文通									9		
		23	天保8年正月中よりの來簡綴										10	
		24	天保11子年切手関係綴										10	
		25	嘉永5子年10月取調要用書状綴										10	
		26	嘉永7年入用の書類綴										10	
		27	安政3丙辰年12月晦日より到来書状綴										10	
		28	安政4年正月下旬よりの到来要用書状綴										10	
		19	安政4年3月中よりの到来要用書簡綴										10	
		30	安政6年4月よりの來簡綴										10	

大	中	小	小々	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10	その11
			31 安政7年正月よりの来簡綴										10	
			32 文久元年5月～10月までの来簡綴										10	
			33 文久元年10月～12月の来簡綴										10	
			34 慶応2年9月中よりの書簡綴										10	
			35 慶応2年11月中よりの来簡綴										10	
			36 慶応3年正月よりの来書簡綴										10	
			37 慶応3年4月中よりの来状綴										10	
			38 慶応3年8月よりの来簡綴										10	
			39 慶応4年2月～9月まで来簡一綴										10	
			40 明治2年3月より10月までの来簡綴										10	
			41 明治4年正月中よりの来簡綴										10	
			42 明治5年5月よりの来簡綴										10	
			43 明治5年10月よりの来簡綴										10	
			44 明治5年10月中よりの書状綴										10	
			45 酉2月中来簡関係綴										10	
			46 酉3月中諸方御到来状并諸向差出書類綴										10	
			47 酉4月中諸方より到来状并申立書類綴										10	
			48 酉5月中諸方御到来書帖及び書取類の綴										10	
			49 酉6月中諸方よりの到来状・雑書等綴										10	
			50 酉極月中諸方到来状綴										10	
			51 10月中入用書類綴										10	
			52 松代表より到来書状及び入用書状の綴										10	
			53 弘化年間金銭書上書類綴											11
			54 書出品々入綴											11
			55 諸色代金書上一括											11
			56 不用書類											11
		48 吹直金銀引替											10	
		49 泰全院一代一巻綴											10	
		50 その他		1								9	10	11
02 店方				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	01 酒造方(酒蔵・酒店)			1	2	3	4		6	7	8	9	10	11
		01 酒株・酒造高書上/酒造株高		1		3	4	5						11
		02 酒造鑑札		1								9		11
		03 内方より拝借米金・上納金		1								9		
		04 酒造入用		1								9		
		05 酒蔵より酒店出酒		1										
		06 売渡		1		3								
		07 金銀出入帳		1										
		08 取替(立替)		1										
		09 棚卸		1	2							9		
		10 酒蔵・酒道具貸付		1	2									
		11 諸控留		1	2									
		12 蔵書		1										
		13 酒蔵・酒店勘定			2						8		10	11
		14 酒売掛帳			2									
		15 酒蔵普請			2									
		16 水油			2									
		17 質地証文					4							
		18 酒株・鑑札							6		8			
		19 仕法							6		8			11
		20 酒造高									8		10	11
		21 酒造米貸付									8			
		22 奉公人(使用人)							6		8			11
		23 手充							6					
		24 諸品請払							6					
		25 借入金							6		8	9		
		26 一件							6					
		27 道具調							6					
		28 書状							6					11
		29 褒賞									8			

大	中	小	小々	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10	その11
		30	酒造関係綴								8		10	11
		31	酒造関係重要古書類									9		
		32	藩御用											11
	02	呉服店		1	2			5		7	8			11
		01	売買	1							8			11
		02	御会符荷物	1										
		03	棚卸	1										
		04	控留	1										
		05	呉服仕入勘定		2									
		06	古着		2									
		07	その他											11
	03	油店		1	2				6		8			
		01	内方より拝借金・上納金	1										
		02	金銭請払	1										
		03	棚卸	1										
		04	油・醤油		2									
		05	奉公人(使用人)								8			
	04	醤油店(松井店)		1	2	3			6	7	8	9		11
		01	内方より拝借金・上納金	1										
		02	仕入	1										
		03	売渡	1										
		04	売買差引勘定	1										11
		05	入用	1								9		11
		06	取替(立替)	1										
		07	棚卸	1							8			
		08	道具調	1										
		09	越後赤倉松井店	1						7				
		10	店立て直し			3					8			
		11	他店立て直し									9		
		12	藩御用			3								11
	06	質店		1	2				6		8			11
		01	内方より拝借金・上納金	1										
		02	入用	1										
		03	取替(立替)	1										
		04	棚卸	1										
		05	控留	1										
	07	角店・酒店												11
	08	陶器方			2	3	4							
	09	甘草方					4							
	10	諸勘定						5						
	11	その他		1										11
03	町方/町年寄			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
	01	控留		1							8		10	
		01	高札・条目写控	1							8		10	
		02	町年寄用留	1			4							
	02	触留						5						
	03	宗門改						5			8	9	10	11
	04	諸役・貢税		1							8			
		01	家数・町役書上	1							8			
		02	伝馬役	1							8			
		03	巡見本陣役	1										
		04	明治期貢税取調	1										
		05	御用金								8			
	05	殿様御用		1					6		8		10	11
		01	殿様帰城出迎	1										
		02	殿様御入接待	1									10	11
	06	救済		1							8			11
		01	飢饉	1							8			11
		02	火災・水害	1							8			11
	07	講		1										

大	中	小	小々	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10	その11
		01	町内無尽講	1										
		02	恵比寿講	1										
	08		町会所		2									
	09		穀行司		2									
	10		御巡見様入用		2									
	11		大庄屋		2									
	12		触書写控			3								11
	13		転切支丹類族改			3								
	14		殿様御入			3					8			
	15		飢饉時米調達			3								
	16		町政ノ一件						6	7	8	9	10	11
	17		御取締						6					
	18		御巡見様御用						6		8			
	19		貸借						6		8			
	20		社倉						6					
	21		町内無尽						6					
	23		祭礼								8			11
	24		相場								8			
	25		町役金								8			
04			松代藩御用	1	2	3			6		8	9	10	11
	01		年貢諸役取立請負・御用米金調達	1	2						8		10	11
	02		御勝手御用役	1		3								11
		01	月番表	1										
		02	用留・日記	1										
		03	融通金	1										
	03		産物御用掛	1		3	4				8			11
		01	用留	1										
		02	産物取立無尽	1		3								
		03	国産方入用	1										
		04	産物御用掛任命			3	4							
		05	藩より拝借金			3								
	04		手控	1										
	05		御用達金預り運用			3					8			
	06		産物売捌方問屋			3								
		01	褒賞			3								
	07		川船会所			3					8	9	10	11
		01	通船免許			3					8	9	10	
		02	通船貸下			3								
		03	通船取締			3								
		04	会所世話料			3								
		05	金子・田畑屋敷貸下			3					8			
		06	冥加金			3								
		07	飯山一件									9		
		08	中野一件									9		
		09	貸付金									9		
		10	諸書類綴								8			
	08		接待用諸道具貸出			3								
	09		御用金・御用米ノ御用米納入						6			9		11
	10		江戸運送						6					
	11		人足						6					
	12		漬物御用								8			
	13		荷物札差認方								8			
	15		巡見使接待									9		
	16		分量金									9		
	17		荷物差札認方									9		
	18		融通米世話										10	
	19		椀類挽物問屋										10	
	20		その他											11
05			会所・商社/糸会所	1(中)	2	3	4	5			8	9		11
	01		藩より拝借金品	1(小)		3								

大	中	小	小々	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10	その11
	02	諸方より預り金・借入金		1(小)		3								
	03	会所貸下金		1(小)		3								11
	04	借入金・預り金・貸付金					4	5						11
	05	繭中買入仲間・糸元師仲間/繭仲買		1(小)										11
	06	糸元師への鑑札給付					4							
	07	糸元師不正取り締まり					4							
	08	糸元師の統制						5						
	09	紬市統制					4							11
	10	紬中買入仲間		1(小)								9		
	11	糸売買		1(小)										11
	12	買物帳		1(小)										
	13	取替(立替)		1(小)										
	14	金銀請払		1(小)										
	15	日記・用留		1(小)										
	16	御内用荷		1(小)										
	17	糸会所締掛任命				3								
	18	糸元師				3								
	19	紬類売捌				3								
	20	上州売り捌き					4				8			
	21	紡会所			2									
	22	木綿行司			2									
	23	諸書類(綴)					4							11
06	会所・商社/産物会所		1(中)			3	4	5	6	7	8	9	10	11
	01	触順		1(小)										
	02	拝借金							6			9		11
	03	藩より拝借金(上納金)		1(小)		3	4	5						11
	04	会所江献上金		1(小)										
	05	会所貸下金		1(小)		3					8	9		11
	06	会所より貸下品・拝借金					4	5						11
		01 蚕種紙					4							
		02 拝借金					4							11
		03 諸品					4							
	07	産物改		1(小)										
	08	出役		1(小)										
	09	鑑札渡		1(小)										
	10	産物会所鑑札名面			2									
	11	冥加金(取立)		1(小)	2							9		11
	12	絹紬類買入		1(小)										
	13	絹紬類売捌		1(小)										11
	14	絹紬類貸下		1(小)										
	15	甘草・杏仁大坂取引		1(小)										
	16	駄送/江戸への荷物運送駄賃・取引		1(小)				5	6		8			11
	17	麻・木綿売買		1(小)							8			
	18	蚕種・生糸売買		1(小)										
	19	入用		1(小)	2									
	20	金銭請払		1(小)							8			11
	21	金銭請払取調勘定		1(小)										11
	22	棚卸		1(小)										
	23	日記・用留		1(小)										
	24	褒賞		1(小)								9		
	25	過料		1(小)										
	26	産物助成講		1(小)							8			
	27	道具帳		1(小)										
	28	蔵書		1(小)										
	29	会所役人心得方・取計方条々				3								11
	30	藩江献上金				3								
	31	藩入用品調達				3								
	32	諸方より預り金				3	4				8			
	33	産物会所仕入金融通			2									

大	中	小	小々	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10	その11
	34	産物無尽			2						8			11
	35	産業統制				3	4	5			8		10	11
		01	市役金・店口銭			3								
			01 糸市役金			3								
			02 店口銭			3								
		02	絹紬・木綿布・麻布等他製品商売禁制			3								
		03	諸国より城下入込商人改			3					8			
		04	行司			3								11
		05	産物改			3								
			01 木綿改所			3								
			02 縮緬改			3								
			03 産物会所并取締役			3								
		06	鑑札			3		5						11
			01 領産取締			3								
			02 絹紬仲買鑑札			3	4							
			03 繭仲買・蚕種商売・糸繭買・唐糸師等			3	4	5						
			04 蚕種・生糸鑑札			3	4							
			05 木綿商買・木綿布仲買鑑札			3								
			06 杏干仁商売鑑札			3	4							
			07 甘草仲買鑑札			3	4							
			08 天秤振商売(香具)鑑札			3	4	5						
			09 煙草鑑札			3								
			10 楮商人荷宿并鑑札			3	4	5						
		07	糸商売免許			3								
		08	冥加金			3						9(中)		
			01 絹紬仲買冥加金			3	4							
			02 繭仲買冥加金			3	4							
			03 唐糸師冥加金			3								
			04 木綿師冥加金			3								
			05 品々冥加金			3								
		09	陶器竈場			3		5	6					
		10	桑畑			3								
		11	縮緬製造			3								
		13	関係書類綴					5						
		17	蚕種・絹紬				4	5			8			
			01 紬売り代金書上				4	5						
			02 隠糸挽				4	5						
			03 触留					5						
			04 仕法替え					5						
			05 糸繭取引					5						
			06 紬ほか売り代金書上					5						
			07 荷札					5						
			08 冥加金				4							
		18	甘草				4				8			11
			01 取締筋				4							
			02 植え付け				4							
			03 鑑札				4				8			
		19	杏仁				4				8	9(中)	10	11
			01 買入れ				4							
			02 惣勘定				4							
			03「杏仁御買上三付入用之雑書類入」				4							
			04 諸書類綴				4						10	
		20	杏仁・甘草			2(中)	4	5						
		21	楮				4							11
		22	天秤振				4							
		23	蚊帳				4							
		24	明礬				4	5						
		25	白粉				4							
		26	硫黄				4				8			
		27	木綿				4	5			8			

大	中	小	小々	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10	その11
		28 麻						5						
		29 薬草							6					
		30 銅山							6					
		31 諸品					4							11
		32 その他					4							
		01 鑑札給付					4							
		02 鑑札制作					4							
	36	絹紬類売買				3								
		13 絹紬類織立				3								
		14 絹紬類買上				3								
		15 絹紬類売捌				3								
		01 絹紬類専売仕法替				3								
		02 上州吹屋村一件				3								
		16 絹紬類貸下				3								
	37	葉藍			2									11
	38	陶器竈			2									11
	39	大坂交易				3	4	5	6		8		10	11
		01 嘉永期甘草・杏仁等大坂売捌仕法				3	4	5			8		10	
		01 大坂交易関係文書書留				3								
		02 甘草相場下落				3								
		03 炭屋孫七手許不繰合一件				3								
		04 大坂表無心一件				3								
		05 御用場									8			
		02 西国産物買入／西国産諸品買い上げ				3	4							11
		03 安政期杏仁大坂売捌仕法／杏仁売捌				3	4	5						11
		01 杏仁買上				3								
		02 杏仁大坂試捌				3								
		04 維新时期京坂交易				3								
		05 北国への荷物運送駄賃・取引					4	5					10	
		06 炭屋孫七割済金関係					4							
		07 炭屋彦五郎からの預り金					4							
		08 炭屋孫七関係書状など綴					4	5					10	11
		09 諸仕切状綴					4							
		10 その他					4							11
	40	大坂にて金子調達			2									11
	41	京都での取引					4	5	6					11
	42	横浜での取引					4							11
		01 才覚金徴集					4							
		02 横浜交易取扱所					4							
	43	近郷での取引					4	5						
	44	江戸での取引					4	5			8		10	11
		01 諸品					4	5						
		02 売り捌き代金滞り					4	5			8			
		03 荷物送り状					4							
		04 取引						5			8		10	
	46	その他地域での取引						5						
	47	麻・木綿売買				3								
		01 麻売買				3								
		02 木綿売買				3								
	48	明礬江戸送				3								
	49	蚕種・生糸改并外国交易				3								
	50	検断・調停				3								
		01 不実商い吟味				3								
		02 商い出入調停				3								
	51	入用				3								11
		01 諸入用				3								
		02 会所普請・作事入用				3								11
	52	勘定				3			6					
	53	会所運営・賄い領収書					4	5						11
		01 近代産物会所領収書綴					4							

大	中	小	小々	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10	その11
		02	御用米世話料				4							
		03	荷物駄賃				4							
		04	諸品				4							11
		05	通船川岸端地所売り渡し				4							
		06	役人任免・俸禄					5						11
		07	用地取得					5						
		08	賄い領収書					5						11
		09	相場情報					5						
	54	産物会所手控			2									
	55	産物会所勤人別			2									
	56	産物会所仲間給金			2									
	57	川船会所					4	5						11
		01	貸付金				4							
		02	廻送荷物の改め				4							
		03	船手の者の願書受付				4							
		04	川船会所への地所売り渡し				4							
		05	小作証文				4							
		06	その他				4							
	58	藩内地域の産物会所					4	5						
		01	力石村				4							
		02	内川村				4							
		03	向八幡村				4							
	59	役人任免・俸禄					4				8			11
	61	一件							6					
	62	諸書類綴				3	4	5	6		8		10	
		01	東京より来状綴								8			
		02	産物方用事書状								8			
	63	用状				3								11
	64	その他				3								11
07	会所・商社/松代商法社			1(中)		3	4	5	6	7		9	10	11
	01	商法社貸出金		1(小)										
	02	貸付金の貸与					4							
	03	蚕種・生糸売買		1(小)										
	04	商社手形・太政官札引換		1(小)										
	05	入用		1(小)										
	06	棚卸		1(小)										
	07	商社引払		1(小)										
	08	諸書類綴							6				10	
	09	商社			2									
	10	書状							6					
08	会所・商社来状一括											9		11
09	長野県					3								
	01	勸業				3								
	01	蚕種・生糸交易				3								
10	松木家					3								11
	01	書簡				3								11
	02	その他												11
11	副区長(第大区小区)								6					
12	第六十三国立銀行頭取								6	7	8			
	01	借用									8			
	02	預金									8			
13	電信切手売下所										8			
14	混合文書									7		9		
	01	内方・系会所混合文書										9		
	02	内方・産物会所混合文書					4	5				9		
		01	「有用之紙屑」				4							
		02	書状・領収書ほか一括				4	5						
		03	白紙・断簡					5						
16	内方・店方・産物会所混在文書								6					
17	その他						4		6	7	8	9		11

大	中	小	小々	その1	その2	その3	その4	その5	その6	その7	その8	その9	その10	その11
	01	諸書類綴					4							
	02	真田家郡方当番日記					4							
	03	不明									8			11
	04	袋・包紙・こより等									8			11
	05	白紙												11
18	混入文書										8	9		11
	01	信濃国佐久郡御馬寄村町田家文書									8			11
		01 町田家									8			
		02 収集史料									8			
	02	下総国相馬郡藤代村飯田家文書									8			
	03	出羽国村山郡山家村山口家文書												11
	04	陸奥国白河郡栃本村根本家文書												11
	05	甲斐国山梨郡下井尻村												11
	06	不明									8			

『信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録(その1～11)』より作成。

丸括弧やスラッシュで示した項目名は、類似の項目をまとめるための表現である。

例えば、「奉公人給金(不払一件／出入)」は、「奉公人給金」「奉公人給金不払一件」「奉公人給金出入」という三種類の項目表現をまとめた表現であることを意味する。

史料目録 第 108 集

信濃国埴科郡松代伊勢町八田家文書目録（その 11）

印刷発行 平成 31 年 3 月 31 日

発行者 人間文化研究機構 国文学研究資料館

編集 学術資料事業部

〒 190-0014

東京都立川市緑町 10-3

電話 050-5533-2900（代）

印刷 三鈴印刷株式会社

© 人間文化研究機構 禁無断複写

（本目録は国文学研究資料館史料館の『史料館所蔵史料目録』（第 78 集まで発行）を継続しています。）

（本文用紙は中性紙を使用しています。）

ISBN 978-4-87592-191-2

ISSN 2189-9010



9784875921912

ISBN 978-4-87592-191-2

ISSN 2189-9010